

2017 年に出版

この欄には、2017 年 1 月から 12 月までに刊行された新刊書を掲載しています。

旅する教会

再洗礼派と宗教改革

永本哲也・猪狩由紀・早川朝子・山本大丙編

幼児洗礼を否定したため弾圧され、安住の地を求めて世界を旅する教会となった再洗礼派。気鋭の研究者らがその全容を明らかにする。

四六判 302頁 本体2800円 2017年
978-4-400-22725-0

知的障害者と教会

驚きを与える友人たち

F. バウアーズ著 片山 寛・加藤英治訳

英国バプテスト教会理事等を務めた著者がダウン症の子をもつ母の立場から、教会が開かれた共同体となるための神学的問題と具体的課題を考察。

四六判 250頁 本体1800円 2017年
978-4-400-40741-6

事実によりて

福音の証言

西田恵一郎・西田 玄著

2 人の息子と妻を病で天に送る痛切な経験をした父と、神学生として志半ばで天に召された息子が、与えられた恵みとは何かを証しする。

四六判 170頁 本体1500円 2017年
978-4-400-52730-5

日本基督教団戦争責任告白から 50 年

その神学的・教会的考察と資料 新教コイノニア 33

「時の徴」同人編

一方に論争と分裂、他方に新たな連帯と他教派への刺激を生んだ日本基督教団戦責告白。「時の徴」に連なる者たちがその意義を神学的に考察。

A5判 167頁 本体1300円 2017年
978-4-400-40711-9

内なる生

E. アンダーヒル著 金子麻里訳

英国国教会の信徒にして小説家・詩人の著者が、司祭らにむけて語った 3 つの講演録。現代人の心のケア、祈りと瞑想、そして愛と奉仕。

小B6 148頁 本体1800円 2017年
978-4-400-31081-5

文脈化するキリスト教の軌跡

イギリス人宣教師と日本植民地下の台湾基督長老教会
三野和恵著

植民地支配下という文脈と格闘しつつ福音を探し求めた、イギリス人宣教師と台湾人たちの出会いと信仰の変遷を膨大な資料から追う貴重な研究。

A5判 528頁 本体7000円 2017年
978-4-400-22726-7

原子力発電と日本社会の岐路

聖書と共に考える混成型共生社会と脱原発

日本クリスチャン・アカデミー編 姜 尚中・上山修平著

未曾有の原発事故を受け「混成型共生社会」を提唱する姜氏。科学的批判精神と聖書的信仰を携えて歩めと訴える上山氏。白熱の対話の記録。

四六判 187頁 本体1500円 2017年
978-4-400-40742-3

宗教改革の人間群像

エラスムスの往復書簡から

木ノ脇悦郎著

宗教改革に大きく寄与しながら、ルターと対立し改革陣営を追われた屈指の人文学者エラスムス。その往復書簡から改革者たちの姿を浮上させる。

四六判 284頁 本体3000円 2017年
978-4-400-22727-4

イエスの譬え話 2

いのちをかけて語りかけたメッセージは？

山口里子著

福音書の行間を読み解き、イエスの言葉の核心に迫るフェミニスト神学の最新成果。見慣れた譬え話が、共生を希求する現代的な物語として再読。

A5判 245頁 本体2200円 2017年
978-4-400-12759-8

ルター自伝

新教新書 276

M. ルター著 藤田孫太郎編訳

ルターの「卓上語録」から自伝的な文章を抜粋。編訳者の詳細な解説を間に配し、その生涯、信仰、人間性を伝える。宗教改革 500 年記念復刊。

新書判 163頁 本体1200円 2017年
978-4-400-22125-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

山上の説教から憲法九条へ

平和構築のキリスト教倫理

宮田光雄著

聖書釈義、思想史的考察、憲法九条に基づく防衛戦略など4論文を収録。イエスの説く平和の福音が政治学的にも有力だとの驚くべきメッセージ。

B6変型判 259頁 本体1800円 2017年
978-4-400-40743-0

神の和の神学に向けて

三位一体から三間一和の神論へ

宮平 望著

キリスト教の核心たる三位一体論を、間と和という日本的思考と感覚のもとに再表現する新たな神学の冒険。版元廃業による絶版書の復刊。

A5判 320頁 本体2400円 2017年
978-4-400-32764-6

ゴッホと〈聖なるもの〉

正田倫顕著

ゴッホとキリスト教の関係やその作品の核にある〈聖なるもの〉の秘密を作品と書簡の分析で明らかにした俊英の力作。オールカラー口絵38頁。

A5判 204＋14＋口絵38頁 本体2700円
2017年 978-4-400-82802-0

日本で神学する

栗林輝夫セレクション1

栗林輝夫著 大宮有博・西原廉太編

2015年に急逝した著者の選集第1巻。田中正造や賀川豊彦の再評価からポストフクシマの神学まで、日本の文脈における解放神学の真髄。

A5判 350頁 本体3600円 2017年
978-4-400-31067-9

キリスト者の標識

キリスト教講話集Ⅲ 新教新書 277

井上良雄著

バルト「和解論」翻訳や日本基督教団社会委員長としての歴任などで、信徒として教会に仕えた井上良雄の1940－60年代の説教12編を収録。

新書判 304頁 本体1700円 2017年
978-4-400-51452-7

ポップカルチャーを哲学する

福音の文脈化に向けて

高橋優子著

大学で教鞭をとる著者が、日本のポップカルチャーに底流する福音の現在形を解き明かした講義録。ジブリから村上春樹まで全24作品を紹介。

四六判 220頁 本体2000円 2017年
978-4-400-31082-2

待ちつつ祈りつつ

キリスト教講話集Ⅳ 新教新書 278

井上良雄著

信徒として多大な足跡を残した井上良雄。晩年にいたるまでの説教全11編を収録し、その至純な信仰を蘇らせる。講話集全4巻の最終巻。

新書判 288頁 本体1700円 2017年
978-4-400-51453-4

宗教改革史

R.ペイントン著 出村 彰訳

宗教改革はなぜ起こりいかに展開したのか。16世紀の歴史的・社会的条件を見つつ改革者たちの信仰と思想の全容をまとめる。待望の改版復刊。

四六判 364頁 本体2800円 2017年
978-4-400-23030-4

正教会入門

東方キリスト教の歴史・信仰・礼拝

T.ウェア著 松島雄一監訳

1963年の刊行以来、正教会の入門書として不動の地位を誇る名著の、大幅に増補された第3版を訳出。歴史・神学・実践まで深く正確な解説。

A5判 400頁 本体4000円 2017年
978-4-400-32119-4

キリスト教思想史Ⅱ

アウグスティヌスから宗教改革前夜まで

J.ゴンサレス著 石田 学訳

多様な教理の成立と展開を、教会のみならず、政治経済、一般思想との関係の中で重層的に読み解き、教科書としても定評のある名著。全3巻。

A5判 426頁 本体5000円 2017年
978-4-400-32425-6

ジョン・マクマレー研究

キリスト教と政治・社会・宗教

宮平 望著

関係論的人間理解に立ち独自の共同体思想を形成したスコットランド出身のキリスト教哲学者ジョン・マクマレーについて、本邦初の本格研究。

A5判 233頁 本体2400円 2017年
978-4-400-32766-0

宗教改革と現代

改革者たちの500年とこれから 新教コイノーニア34

新教出版社編集部編

『福音と世界』の宗教改革500年連続特集における全論考を収録。4論文の増補を加え、宗教改革を現代に続く継起的な運動として捉え直す。

A5判 326頁 本体2200円 2017年
978-4-400-30717-4

戦後70年の神学と教会

新教コイノーニア35

新教出版社編集部編

戦後70年にあたる2015年『福音と世界』特集を、神学と教会の二つの視角から精選。信仰と社会の切り結びから戦後とは何かを問う。

A5判 160頁 本体1500円 2017年
978-4-400-30718-1

ギレアド

M.ロビンソン著 宇野 元訳

アイオワ州の片田舎の町ギレアド。自らの死期を悟った老牧師が幼い我が子に手紙を綴る。2005年ビュースター賞・全米批評家賞受賞小説。

四六判 350頁 本体3000円 2017年
978-4-400-64001-1

いのちの水

T.ハーバー原作 中村吉基訳 望月麻生絵

「いのちの水」はなぜ自由に飲めなくなったのだろう。カナダ人神学者が残した痛烈な寓話を、流麗な訳文と幻想的な消しゴム版画と共に贈る。

B6判 54頁 本体1500円 2017年
978-4-400-62774-6

第二コリント書8－9章

現代新約注解全書

佐竹 明著

パウロはなぜコリント教会にエルサレム教会への献金を熱心に勧めたのか。パウロ神学の恵み理解をめぐる重要部分の詳細な注解。

A5判 393頁 本体7000円 2017年
978-4-400-11169-6

現代に生きる教会

対話・共生・平和

森野善右衛門著

日本基督教団の教師として60年務めた著者の、教会論をめぐる最近の論考を集成。北村牧師免職問題などに現れた教団の問題を鋭く問う。

B6判 236頁 本体1500円 2017年
978-4-400-33328-9

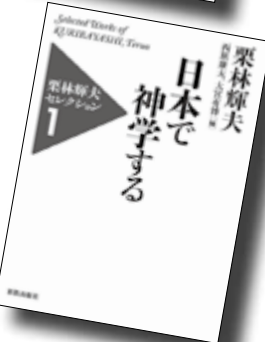
ローマ帝国のたそがれとアウグスティヌス

磯部 隆著

古代末期の神学的巨人の生涯を帝国の衰亡史と重ねつつ、弟子アリピウスの述懐を通して描いた壮大な歴史小説。

46判 350頁 本体2200円 2017年
978-4-400-22754-0

2017年に出た本



福音と世界

毎月1日発行。1952年4月創刊以来、半世紀以上にわたり、神学・教会と世界の諸問題を集形式で論じてきた。批判的精神に立ち、キリスト教の信仰と教会的伝統とを絶えず内側から問い直すキリスト教神学専門誌。

A5判 80頁
税込635円(年間予約:送料共8460円)

〈2017年 特集一覧〉

- 1月号 信徒と教職——宗教改革500年①
- 2月号 義とは何か——宗教改革500年②
- 3月号 正統と異端——宗教改革500年③
- 4月号 結婚の変容——宗教改革500年④
- 5月号 サクラメント——宗教改革500年⑤
- 6月号 世界史の中で——宗教改革500年⑥
- 7月号 改革しつづけるアジアの教会
- 8月号 象徴天皇制・国家・キリスト教
- 9月号 沖縄——過去・現在・未来
- 10月号 かざることの神学
- 11月号 ユダヤ教のいま
- 12月号 ポピュリズム・デモクラシー・キリスト教

〈2017年 連載一覧〉

- みことば散歩／望月麻生（1月号～）
- 聖書とわたし／リレーエッセイ
- ことばの履歴書／佐藤 優
- 詩編の思想と信仰／月本昭男
- 現代神学の冒険／芦名定道
- 新約釈義 第一テモテ書／辻 学
- アメリカの神学と教会のいま／吉松 純（～10月号）
- はじめての台湾キリスト教史／高井ヘラー由紀（4月号～）
- 福音の地下水脈（アンダーグラウンド）／インタビュー（11月号～）

表紙の絵 八木美穂子



シリーズ類の内容

【ウェスレー著作集】全7巻

- 1 新約注解 上 4500円
- 2 新約注解 下 3500円
- 3 説教 上 2900円
- 4 説教 中 2900円
- 5 説教 下 2900円
- 6 神学論文 上 品切
- 7 神学論文 下 品切

【植村環著作集】全3巻

- 1 神の約束によりて 品切
- 2 主は生きておられる 品切
- 3 私の歩んだ道 2800円

【植村正久記念講座】

- 1 植村正久の福音理解 1000円
- 2 神の栄光の神学 1800円
- 3 改革神学の展望 1800円

【植村正久著作集】全7巻

- 1 時代思潮 → 〈オ〉4600円
- 2 時事評論 → 〈オ〉4600円
- 3 文学 → 〈オ〉4600円
- 4 神学思想 → 〈オ〉4600円
- 5 信仰と生活 → 〈オ〉4600円
- 6 教会と伝道 → 〈オ〉4600円
- 7 説教 → 〈オ〉4600円

【大森講座】

- 1 しるしの福音書 800円
- 2 改革派教会の礼拝 品切
- 3 子どもの神学 品切
- 4 預言者と政治 800円
- 5 改革主義信仰告白と説教 品切
- 6 カール・バルトにおける神認識の特徴 品切
- 7 長老制とは何か 品切
- 8 現代の教会と信仰告白 品切
- 9 あなたはむさぼってはならない 1000円
- 10 神の言としてのコヘレト 1000円
- 11 ブツァーとカルヴァン 1300円
- 12 ヨハネとパウロ 1000円
- 13 アタナシオスの救済論 品切

- 14 もう一つの召命物語 1000円
- 15 改革教会における霊性 品切
- 16 カルヴァンからアミローへ 1000円
- 17 カール・バルト「和解論」における復活 1000円
- 18 宣教する教会の説教 品切
- 19 新約聖書における模範 850円
- 20 ジョン・マクラウド・キャンベルの贖罪論 900円
- 21 主の祈りと山上の説教 900円
- 22 カルヴァンの神学と霊性 1000円
- 23 プロテスタント・スコラ神学の再考察 1100円
- 24 近代韓国における大復興運動の歴史的展開 1100円
- 25 栄光のキリスト 1000円
- 26 は未刊
- 27 信仰告白と教会 1000円
- 28 キリスト者は何を信じているのか 1000円
- 29 ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの贖罪論 1300円

【岡村民子著作集】全5巻

- 1 信仰的甘えの構造 4000円
- 2 正典としての聖書 4000円
- 3 聖書解釈試論 4000円
- 4 旧約聖書概論 4000円
- 5 対話としての正典 4000円

【カール・バルト著作集】全18巻

(*印＝新教セミナーブック)

- 1 教義学論文集 上 品切
- 2 教義学論文集 中 4500円
- 3 教義学論文集 下 6700円
- 4 神学史論文集 5000円
- 5 倫理学論文集 品切
- 6 政治・社会問題論文集 上 品切
- 7 政治・社会問題論文集 下 品切
- 8 知解を求める信仰・われ信ず* 品切
- 9 神認識と神奉仕*・教会の信仰告白*・キリスト教の教理* 品切
- 10 教義学要綱*・福音主義神学入門* 品切
- 11 19世紀のプロテスタント神学 上 3000円

12 19 世紀のプロテスタント神学 中 5000 円
13 19 世紀のプロテスタント神学 下 5000 円
14 ローマ書 →〈オ〉7600 円
15 死人の復活*・ピリピ書注解*・ローマ書新解* 品切
16 説教 上 品切
17 説教 下 品切
18 書簡・総索引・年譜 未刊（中止）

【カール・バルト教会教義学】

神の言葉Ⅰ /1 教義学序説 →〈オ〉9500 円
神の言葉Ⅰ /2 神の啓示（上）三位一体の神 →〈オ〉8500 円
神の言葉Ⅱ /1 神の啓示（中）言葉の受肉 →〈オ〉9500 円
神の言葉Ⅱ /2 神の啓示（下）聖霊の注ぎ →〈オ〉10000 円
神の言葉Ⅱ /3 聖書 →〈オ〉8800 円
神の言葉Ⅱ /4 教会の宣教 →〈オ〉8000 円
神論Ⅰ /1 神の認識 →〈オ〉8300 円
神論Ⅰ /2 神の現実（上） →〈オ〉7200 円
神論Ⅰ /3 神の現実（下） →〈オ〉8300 円
神論Ⅱ /1 神の恵みの選び（上） →〈オ〉9100 円
神論Ⅱ /2 神の恵みの選び（下） →〈オ〉7400 円
神論Ⅱ /3 神の誠め →〈オ〉9200 円
創造論Ⅰ /1 創造の業（上） →〈オ〉9600 円
創造論Ⅰ /2 創造の業（下） →〈オ〉4700 円
創造論Ⅱ /1 造られたもの（上） →〈オ〉7800 円
創造論Ⅱ /2 造られたもの（中） →〈オ〉8700 円
創造論Ⅱ /3 造られたもの（下） →〈オ〉8400 円
創造論Ⅲ /1 創造者とその被造物（上） →〈オ〉9000 円
創造論Ⅲ /2 創造者とその被造物（下） →〈オ〉8600 円
創造論Ⅳ /1 創造者なる神の誠めⅠ →〈オ〉5000 円
創造論Ⅳ /2 創造者なる神の誠めⅡ →〈オ〉7700 円
創造論Ⅳ /3 創造者なる神の誠めⅢ →〈オ〉8500 円
創造論Ⅳ /4 創造者なる神の誠めⅣ →〈オ〉5500 円
和解論Ⅰ /1 和解論の対象と問題 →〈オ〉5400 円
和解論Ⅰ /2 僕としての主イエス・キリスト（上）

→〈オ〉7300 円
和解論Ⅰ /3 僕としての主イエス・キリスト（中） →〈オ〉9500 円
和解論Ⅰ /4 僕としての主イエス・キリスト（下） →〈オ〉6000 円
和解論Ⅱ /1 主としての僕イエス・キリスト（上1） →〈オ〉7800 円
和解論Ⅱ /2 主としての僕イエス・キリスト（上2） →〈オ〉8500 円
和解論Ⅱ /3 主としての僕イエス・キリスト（中） →〈オ〉8800 円
和解論Ⅱ /4 主としての僕イエス・キリスト（下） 5200 円
和解論Ⅲ /1 真の証人イエス・キリスト（上1） →〈オ〉8600 円
和解論Ⅲ /2 真の証人イエス・キリスト（上2） →〈オ〉5200 円
和解論Ⅲ /3 真の証人イエス・キリスト（中） →〈オ〉9500 円
和解論Ⅲ /4 真の証人イエス・キリスト（下） →〈オ〉9500 円
和解論Ⅳ〈断片〉 5000 円
別巻 キリスト教的生Ⅰ →〈オ〉8800 円
別巻 キリスト教的生Ⅱ 7200 円

【カルヴァン・キリスト教綱要 改訳版】

全3冊

第1篇・第2篇 4500 円
第3篇 4500 円
第4篇 4500 円

【カルヴァン旧約聖書註解】全6巻

創世記Ⅰ 1～23 章 →〈オ〉4600 円
創世記Ⅱ 24～50 章 未刊
詩 篇Ⅰ 1～37 篇 →〈オ〉5300 円
詩 篇Ⅱ 38～74 篇 →〈オ〉4600 円
詩 篇Ⅲ 75～106 篇 →〈オ〉4600 円
詩 篇Ⅳ 107～150 篇 →〈オ〉4700 円

【カルヴァン新約聖書註解】全14巻

1 共観福音書 上 →〈オ〉5300 円
2 共観福音書 下 未刊
3 ヨハネ福音書 上 →〈オ〉3900 円
4 ヨハネ福音書 下 →〈オ〉4200 円
5 使徒行伝 上 →〈オ〉4700 円
6 使徒行伝 下 →〈オ〉4400 円
7 ローマ書 →〈オ〉4900 円
8 コリント前書 →〈オ〉4700 円

9 コリント後書 →〈オ〉4510 円
10 ガラテヤ・エペソ書 →〈オ〉3600 円
11 ピリピ・コロサイ・テサロニケ書 →〈オ〉3800 円
12 テモテ・テトス・ピレモン書 未刊
13 ヘブル・ヤコブ書 →〈オ〉3800 円
14 ペテロ・ユダ書・ヨハネ書簡 →〈オ〉4000 円

【教会と宣教双書】

1 説教と教会 →〈新セ〉1900 円
2 共に生きる生活 →改訳新版 1500 円
3 教会の本質 →〈新セ〉1600 円
4 説教の本質と実際 品切
5 教会の改革の形成 品切
6 教会 品切
7 集められた共同体 品切
8 他者のための教会 2200 円
9 日本キリスト教団教会論 品切
10 改革主義信条の神学 品切
11 使命に生きる教会の建設 品切
12 現代の宣教と聖書解釈 1800 円
13 派遣される教会 品切
14 改革派教会の伝統 品切
15 地上を旅する神の民 →〈新セ〉2500 円
16 現代の宣教と伝道 1553 円

【熊野義孝著作集】全12巻+別巻2巻

1 聖書講解 上 品切
2 聖書講解 下 5000 円
3 聖書神学 品切
4 神学議論 品切
5 終末論・キリスト論・教会論 品切
6 キリスト教本質論 品切
7 教義学 上 →〈オ〉8100 円
8 教義学 下 →〈オ〉6900 円
9 教会と文化 品切
10 歴史と現代 上 品切
11 歴史と現代 下 品切
12 日本のキリスト教 品切
別巻Ⅰ 神学論 4800 円
別巻Ⅱ 信仰論 4800 円

【現代神学双書】

1 ナザレのイエス 3200 円
2 信徒の神学 →〈オ〉3200 円
3 宣教の神学 品切
4 カルヴァンの神学 →〈オ〉4600 円

5 教義学要綱 →〈新セ〉2000 円
6 危機に生きる信仰 品切
7 原始キリスト教 品切
8 キリストとキリスト者 品切
9 キリスト教の神 品切
10 聖書（ドッド） 品切
11 ローマ書新解 →〈新セ〉2400 円
12 人間 品切
13 キリスト教倫理入門 品切
14 神の痛みの神学 品切
15 礼拝学概論 →〈新セ〉2500 円
16 真人の共同体 品切
17 現代のイエス伝 品切
18 福音主義神学入門 →〈新セ〉2200 円
19 戦争・平和・キリスト者 品切
20 キリスト教信仰の本質 2000 円
21 古代キリスト教思想家 →〈オ〉3500 円
22 パウロ（ディベリウス） 品切
23 ペテロ（クルマン） →〈オ〉5000 円
24 自由の要求 品切
25 現代の神学と日本の宣教 品切
26 苦難の僕 品切
27 聖書のイエスと現代の思惟 品切
28 時の中心 →〈オ〉5200 円
29 宗教改革史 →〈新セ〉→品切
30 明日の社会と明日の教会 2500 円
31 聖書のキリストと実存 品切
32 責任を負う自己 →〈オ〉3800 円
33 ドイツ教会闘争への道 品切
34 新約聖書における教会像 →〈オ〉4600 円
35 希望の神学 →〈オ〉5800 円
36 世俗都市 3200 円
37 ルターと現代 品切
38 実存と歴史 品切
39 神の死の神学 品切
40 使徒行伝と歴史 品切
41 イエスの譬え →〈オ〉3000 円
42 世俗時代の人間 品切
43 状況倫理 →〈オ〉3100 円
44 パウロ（ボルンカム） →品切
45 日本の教会と信仰告白 品切
46 パウロとイエス 品切
47 キェルケゴールと現代の神学 品切
48 キリストと歴史 品切
49 キリスト教信仰の本質 2000 円
50 洗礼について 品切
51 神学の展望 品切
52 新約思想の探究 品切

53 日本の説教者たち →〈オ〉4300 円
 54 共観福音書概説 品切
 55 イエス 品切
 56 初期キリスト教の思想的軌跡 →〈オ〉4200 円
 57 20 世紀のプロテスタント神学 上 →〈新セ〉2800 円
 58 からだと倫理 品切
 59 十字架につけられた神 →〈オ〉5800 円
 60 抑圧された者の神 品切
 61 人間解放の神学 品切
 62 近代プロテスタント神学 →〈オ〉4100 円
 63 新約聖書の諸問題 →〈オ〉3900 円
 64 バルト初期神学の展開 品切
 65 20 世紀のプロテスタント神学 下 →〈新セ〉2500 円
 66 プロセス神学の展望 品切
 67 福音主義神学の展開 2800 円
 68 聖霊の力における教会 →〈オ〉5200 円
 69 身体性と神学 1600 円
 70 小さき者の友イエス 4200 円
 71 洗礼論概説 3500 円
 72 旧約聖書の中心 品切
 73 身体性の神学 2427 円
 74 ティリッヒの神と諸宗教 2718 円
 75 恩寵と類比 3398 円
 76 歴史の主に従う 4000 円
 77 旧約聖書の預言と黙示 2700 円
 78 神・キリスト・悪 2500 円
 79 現代神学の論理の転換 7000 円

【現代新約注解全書】

マルコによる福音書 上巻（増補改訂版） 4000 円
 使徒行伝 上巻 6000 円
 ガラテヤ人への手紙 6660 円
 ビリビ人への手紙 4800 円
 ヤコブの手紙 5000 円
 ヨハネの黙示録 上巻（旧版） 品切
 ヨハネの黙示録 下巻（旧版） 品切
 ヨハネの黙示録 上巻 4800 円
 ヨハネの黙示録 中巻 8500 円
 ヨハネの黙示録 下巻 8500 円
 〈別巻〉ガラテヤ人への手紙 4800 円

【現代キリスト教倫理双書】

1 解放と変革の神学 品切
 2 人権の思想 品切

3 教会に未来はあるか 品切
 4 十戒 品切（→新装復刊）
 5 キリスト教社会倫理概説 品切れ
 6 キリスト教と文明の諸問題 品切
 7 自由の道しるべ 品切
 8 カトリック倫理とプロテスタント倫理 品切
 9 平和を可能にする神の国 品切

【現代のイエス理解】

イエスが生きた世界 2000 円
 イエスの弟子とは誰か 2000 円
 パウロから見たイエス 2000 円
 イエスについて何を知らうるか 2000 円
 教師としてのイエス 2000 円

【ケンブリッジ旧約聖書注解】全 20 巻

1 創世記 4800 円
 2 出エジプト記 品切
 3 レビ記 品切
 4 民数記 未刊
 5 申命記 未刊
 6 ヨシヤ記 品切
 7 士師記 未刊
 8 サムエル記 4800 円
 9 列王記 品切
 10 歴代誌・エズラ記・ネヘミヤ記 未刊
 11 ルツ記・エステル記・伝道の書・雅歌・哀歌 品切
 12 ヨブ記 3400 円
 13 詩篇 1-75 篇 品切
 14 詩篇 76-150 篇 品切
 15 箴言 品切
 16 イザヤ書 未刊
 17 エレミヤ書 3883 円
 18 エゼキエル書 品切
 19 ダニエル書・ホセア書・アモス書 品切
 20 ヨナ書・ミカ書他 未刊

【C.S. ルイス宗教著作集】全 8 巻＋別巻 2

1 悪魔の手紙 2200 円
 2 四つの愛 2200 円
 3 痛みの問題 2500 円
 4 キリスト教の精髓 2800 円
 5 詩篇を考える 2000 円
 6 悲しみを見つめて 2000 円
 7 神と人間との対話 2200 円
 8 栄光の重み 2500 円
 別巻 1 偉大なる奇跡 2600 円

別巻 2 被告席に立つ神 品切

【シュラッター新約聖書講解】全 14 巻＋別巻 1

1 マタイによる福音書 4000 円
 2 マルコによる福音書 品切
 3 ルカによる福音書 品切
 4 ヨハネによる福音書 品切
 5 使徒行伝 品切
 6 ローマ人への手紙 品切
 7 コリント人への第一の手紙 品切
 8 コリント人への第二の手紙 品切
 9 ガラテヤ・エペソ書 品切
 10 ビリビ・コロサイ・ピレモン書 品切
 11 テサロニケ・テモテ・テトス書 品切
 12 ヘブル人への手紙 品切
 13 ヤコブ・ペテロ・ユダ書 品切
 14 ヨハネの手紙・黙示録 品切
 別巻 自伝・総索引 品切

【新教コイノーニア】

1 日本のキリスト教の現在と将来 品切
 2 靖国公式参拝を批判する 品切
 3 日本のキリスト教とバルト 品切
 4 日本の宗教と部落差別 品切
 5 沖縄から天皇制を考える 1100 円
 6 合同教会としての日本基督教団 品切
 7 朝鮮半島の平和と統一をもとめて 970 円
 8 カール・バルトと現代 1359 円
 9 激動のドイツと教会 970 円
 10 岩手靖国違憲訴訟戦いの記録 2427 円
 11 日本基督教団 50 年史の諸問題 品切
 12 日本の神学の方法と課題 1165 円
 13 現場の神学 1359 円
 14 死刑廃止とキリスト教 品切
 15 バルト＝ボンヘッファーの線で 1650 円
 16 現代の終末論とフェミニズム 2000 円
 17 地球温暖化とキリスト教 1200 円
 18 平和憲法を守りひろめる 3000 円
 19 人間の盾 1400 円
 20 カール・バルトとユダヤ人問題 1600 円
 21 いのちの倫理を考える 品切
 22 人類に希望はあるか 1200 円
 23 井上良雄研究 1900 円
 24 聖餐 イエスのいのちを生きる 1500 円
 25 時代のように訪れる朝を待つ 1800 円
 26 原発とキリスト教 1600 円
 27 わたしたちはいま、どこにいるのか 1800 円

28 なぜ「秘密法」に反対か 1300 円
 29 東アジアでボンヘッファーを読む 1800 円
 30 国家の論理といのちの倫理 2200 円
 31 戒規か対話か 1600 円
 32 キリストが主だから 700 円

【新教セミナーブック】

1 教義学要綱 2000 円
 2 日本プロテスタント・キリスト教史 5000 円
 3 キリスト教綱要抄 3800 円
 4 信条集 →〈オ〉9500 円
 5 アガペーとエロース 1 →〈オ〉3400 円
 6 私にみ言葉をください 5800 円
 7 宗教改革史 品切
 8 福音的基督教 品切
 9 詩篇研究 3800 円
 11 われ信ず 2200 円
 12 キリスト教の教理 2000 円
 13 教会の信仰告白 2000 円
 14 神認識と神奉仕 2400 円
 15 死人の復活 2400 円
 16 ビリビ書注解 2200 円
 17 ローマ書新解 品切
 18 福音主義神学入門 2200 円
 19 国家の暴力について 1800 円
 20 地上を旅する神の民 2500 円
 21 教会の洗礼論 1100 円
 31 キリストに従う 3200 円
 32 現代キリスト教倫理 4000 円
 33 説教と牧会 1800 円
 34 教会の本質 1600 円
 35 イエスの死の意味 1800 円
 36 イエスの十字架の意味 1800 円
 37 イエスの復活の意味 1800 円
 38 告白教会と世界教会 3800 円
 39 知解を求める信仰 2800 円
 40 イスカリオテのユダ 2200 円

【新教セミナーブック 20 世紀の遺産】

説教と牧会（→セミナーブック 33）
 教会の本質（→セミナーブック 34）
 礼拝学概論 →単行本 2500 円
 パウロ（ボンカム） 品切
 子どもの信仰と教会 品切
 20 世紀のプロテスタント神学 上 2800 円
 20 世紀のプロテスタント神学 下 2500 円
 アダム（リュティ） 品切

黒人霊歌とブルース 2400 円
十戒（パークレー） 2400 円
イエスの宣教 4800 円
新約聖書と神話論（ブルトマン） 品切
アブラハム（リュティ） 品切
ヤコブ（リュティ） 2600 円

【新教ブックス】

幻なき民は滅ぶ 1456 円
賢い悪魔 1359 円
大地は主のもの 1650 円
神への然り、カイサルへの否 1748 円
詩人イエス 1456 円
よみがえれ、平和よ！ 2718 円
聖書 2718 円
イエシュア 2500 円
唯一なる神 2500 円
女の語る神、男の語る神 1800 円
教会の性差別と男性の責任 2800 円
入門 解放の神学 品切
世紀末のアメリカとキリスト教 1800 円
教会であること 2100 円
メシアは夢か幻か 1800 円
新約聖書入門 品切 →新教新書に
旅人の時代に向かって 2800 円

【鈴木正久著作集】全 4 巻

1 1938 ～ 1951 年 2800 円
2 1952 ～ 1960 年 2800 円
3 1961 ～ 1969 年 2800 円
4 自伝・日記・手紙・年譜 品切

【聖書の使信】全 16 巻

1 マタイによる福音書 上 2800 円
2 マタイによる福音書 下 3000 円
3 マルコによる福音書 3800 円
4 ルカによる福音書 上 2500 円
5 ルカによる福音書 下 3000 円
6 ヨハネによる福音書 3400 円
7 使徒行伝 3200 円
8 ローマ人への手紙 2800 円
9 コリント人への第一の手紙 2400 円
10 コリント人への第二の手紙 2400 円
11 ガラテヤ書・エペソ書 2600 円
12 ピリピ書・コロサイ書・テサロニケ書 2700 円
13 テモテ書・テトス書・ピレモン書 2000 円
14 ヘブル書・ヤコブ書 2400 円

15 ペテロ書・ヨハネ書・ユダ書 2500 円
16 ヨハネ黙示録 2400 円

【叢書 新約聖書神学】全 15 巻

1 マルコ福音書の神学 4000 円
2 ルカ福音書の神学 3600 円
3 ヨハネ福音書の神学 3500 円
4 使徒言行録の神学 2800 円
5 ローマ書の神学 未刊
6 第一コリント書の神学 未刊
7 第二コリント書の神学 3000 円
8 ガラテヤ書の神学 2800 円
9 パウロ小書簡の神学 4000 円
10 コロサイ・エフェソ書の神学 未刊
11 牧会書簡の神学 3000 円
12 ヘブル書の神学 3000 円
13 公同書簡の神学 3000 円
14 ヨハネ書簡の神学 2600 円
15 ヨハネ黙示録の神学 品切

【続・黒崎幸吉著作集】全 3 巻

1 旧約研究 4660 円
2 新約研究 4660 円
3 信仰・所感・回想 4660 円

【高倉徳太郎著作集】全 5 巻

1 形成期の高倉神学 →〈オ〉4300 円
2 確立期の高倉神学 →〈オ〉4300 円
3 聖書の宗教：人と思 想 →〈オ〉4300 円
4 説教 →〈オ〉4300 円
5 聖書講義・ロマ書 →〈オ〉4300 円

【武〈福音と預言〉双書】

1 主イエスと弟子たち 600 円
2 預言者アモスと現代 800 円
3 主イエスの譬え話 800 円
4 絶対的平和主義とキリスト教 800 円

【デイリー・スタディー・バイブル旧約編】全 23 巻

1 創世記Ⅰ 3500 円
2 創世記Ⅱ 5000 円
3 出エジプト記 品切
4 レビ記 2800 円
5 民数記 3301 円
6 申命記 3400 円
7 ヨシュア記・士師記・ルツ記 品切
8 サムエル記 品切

9 列王記 2400 円
10 歴代誌 3301 円
11 エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記 3400 円
12 ヨブ記 4600 円
13 詩篇Ⅰ 品切
14 詩篇Ⅱ 3500 円
15 箴言 4200 円
16 伝道の書・雅歌 2800 円
17 イザヤ書Ⅰ 品切
18 イザヤ書Ⅱ 3500 円
19 エレミヤ書・哀歌 品切
20 エゼキエル書 2900 円
21 ダニエル書 2400 円
22 十二預言書Ⅰ 品切
23 十二預言書Ⅱ 品切

【ティリッヒ組織神学】全 3 巻

組織神学 第 1 巻 5300 円
組織神学 第 2 巻 →〈オ〉5000 円
組織神学 第 3 巻 6600 円

【寺田 博著作集『恩寵』】全 6 巻

1 創世記 上 品切
2 創世記 下 品切
3 イザヤ書 5500 円
4 ローマ書 5500 円
5 神に信じる 4000 円
6 聖書学道 3000 円

【トゥルナイゼン著作集】全 6 巻

1 ピリピン人への手紙・山上の説教 品切
2 ヤコブの手紙 2200 円
3 説 教 2500 円
4 神の言葉と教会 神学論文集 2621 円
5 キリスト者と礼拝 未刊
6 ブルームハルト・ドストエフスキー・バルト 2200 円

【21 世紀キリスト教選書】

1 出エジプトと解放の政治学 2200 円
2 乳と蜜の流れる国 2800 円
3 生態学的破局とキリスト教 品切
4 富める社会と解放の神学 2800 円
5 アメリカ教会の現実と使命 3204 円
6 石ではなくパンを 品切
7 マリアとは誰だったのか 品切
8 神を考える 3300 円

9 性差別と神の語りかけ 4300 円
10 聖霊は女性ではないのか 3800 円

【日本キリスト教史双書】

1 内村鑑三不敬事件 →〈オ〉4200 円
2 日本キリスト教社会経済史研究 2000 円
3 天皇制下のキリスト教 品切
4 日本プロテスタント史論 品切
5 戦時下キリスト教の抵抗と挫折 品切
6 尾張名古屋のキリスト教 2800 円
7 明治初期神戸伝道と D.C. グリーン 2200 円
8 ジョナサン・ゴープル研究 3200 円
9 天皇制と韓国キリスト教 2500 円
10 夜が明けるまで 2913 円
11 無教会史Ⅰ 2524 円
12 愛知のキリスト教 3689 円
13 無教会史Ⅱ 品切
14 無教会史Ⅲ 4100 円
15 無教会史Ⅳ 4500 円
16 長老・改革教会来日宣教師事典 3000 円

【咸 錫憲著作集】全 10 巻

1 死ぬまでのこの歩みで 3107 円
2 苦難の韓国民衆史 品切
3 聖書的立場より見た世界歴史 未刊
4 新しい時代の宗教 3800 円
5 人間革命の哲学 未刊
6 恐れずに叫べ 未刊
7 民主統一への道 未刊
8 シアル革命の夜 3107 円
9 考える民でこそ生きられる 2913 円
10 水平線の彼方に 未刊

【福音の原点】

1 プロテスタンティズムになぜ聖餐は必要か 品切
2 パウロカルターか 800 円
3 日本人は宗教が分かっているか 800 円

【福田正俊著作集 全 3 巻】

1 説教集 品切
2 神学論文集 3883 円
3 聖書研究・エッセイ集 3883 円

【ブルトマン著作集】全 15 巻

1 共観福音書伝承史Ⅰ →〈オ〉5200 円
2 共観福音書伝承史Ⅱ →〈オ〉3500 円

- 3 新約聖書神学Ⅰ 3200 円
- 4 新約聖書神学Ⅱ →〈オ〉 5300 円
- 5 新約聖書神学Ⅲ 3500 円
- 6 イエス／原始キリスト教 5631 円
- 7 聖書学論文集Ⅰ 品切
- 8 聖書学論文集Ⅱ 3800 円
- 9 聖書学論文集Ⅲ 3300 円
- 10 聖書学論文集Ⅳ 未刊
- 11 神学論文集Ⅰ 6000 円
- 12 神学論文集Ⅱ 品切
- 13 神学論文集Ⅲ 品切
- 14 神学論文集Ⅳ 3500 円
- 15 神学論文集Ⅴ 未刊

【ボンヘッファー聖書研究】全 2 巻

- 旧約編 3800 円
- 新約編 4700 円

【ボンヘッファー説教全集】全 3 巻

- 1 1925-1930 年 3800 円
- 2 1931-1935 年 4500 円
- 3 1935-1944 年 4500 円

【ボンヘッファー選集】全 9 巻

- 1 聖徒の交わり 品切
- 2 行為と存在 品切 →新訳 4500 円
- 3 キリストに従う →〈新セ〉 3200 円
- 4 現代キリスト教倫理 →〈新セ〉 4000 円
- 5 抵抗と信徒 品切 → ボンヘッファー獄中書簡集 6000 円
- 6 告白教会と世界教会 →〈新セ〉 3800 円
- 7 キリスト論 3800 円
- 8 説教 品切
- 9 聖書研究 品切

【増田 孝著作集】全 4 巻

- 1 人生と宗教と教育 2913 円
- 2 学園創設とその後の時代 2913 円
- 3 自伝 2913 円
- 4 日記・書簡・思い出の人々 2913 円

【松木治三郎著作集】全 5 巻

- 1 使徒パウロとその神学・新約聖書に於ける宗教と政治 5340 円
- 2 人間とキリスト教・新約神学序説 7573 円
- 3 イエスと新約聖書の教会・イエスと新約聖書の関係 6990 円
- 4 ローマ人への手紙 7573 円
- 5 説教と私の聖書の学び 5825 円

【水谷昭夫著作選集】全 3 巻＋別巻 1

- 1 漱石文芸の世界 3700 円
- 2 漱石の原風景 3700 円
- 3 近代文芸とキリスト教 3700 円
- 別巻 山本周五郎の世界 3700 円

【宮本武之助著作集】全 2 巻

- 上巻 4854 円
- 下巻 4854 円

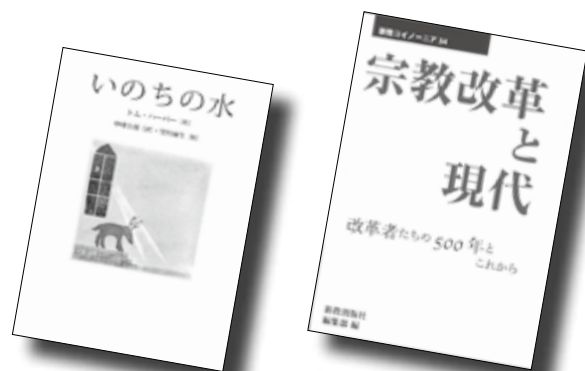
【モルトマン組織神学論叢】全 6 巻

- 1 三位一体と神の国 4500 円
- 2 創造における神 品切
- 3 イエス・キリストの道 品切
- 4 いのちの御霊 品切
- 5 神の到来 6600 円
- 6 神学的思考の諸経験 6400 円

オンデマンド・ブック一覧

- アガペーとエロースⅠ ニーグレン 3400 円
- アガペーとエロースⅡ ニーグレン 4100 円
- アガペーとエロースⅢ ニーグレン 4400 円
- アブラハムの神 渡辺信夫 3300 円
- イエスの譬え J. エレミアス 3000 円
- イエスの復活とその使信 X. レオン＝デュフル 4800 円
- 内村鑑三不敬事件 小沢三郎 4200 円
- カルヴァン神学論文集 J. カルヴァン 5500 円
- カルヴァンの神学 W. ニーゼル 4600 円
- 希望の神学 J. モルトマン 5800 円
- 救済の神学 佐藤敏夫 5000 円
- 教会史綱要 H. v. シューベルト 5200 円
- 教会論・上下 H. キュンク 上＝6200 円、下＝5500 円
- 共観福音書伝承史Ⅰ R. ブルトマン 5200 円
- 共観福音書伝承史Ⅱ R. ブルトマン 3500 円
- キリスト教神学概論 佐藤敏夫 5000 円
- キリスト教的生Ⅰ K. バルト 8800 円
- キリスト論要綱 W. バネンベルク 6900 円
- 近代の神学 佐藤敏夫 4000 円
- 近代プロテスタント思想史 P. ティリッヒ 4100 円
- 基督教教育 高崎毅 2600 円
- 基督教の起源 山谷省吾 6800 円
- 苦難と栄光の主 カルヴァン 3600 円
- 熊野義孝全集 7、8 (教義学上・下) 上＝8100 円、下＝6900 円
- 講解説教 降誕・復活 竹森満佐一 3300 円
- 講解説教 山上の説教 竹森満佐一 5200 円
- 講解説教 ガラテヤの信徒への手紙 竹森満佐一 2700 円
- 講解説教 コリント人への第一の手紙 竹森満佐一 6600 円
- 講解説教 コリント人への第二の手紙 竹森満佐一 5400 円
- 講解説教 エペソ人への手紙 竹森満佐一 4700 円
- 講解説教 ペテロの第一の手紙 竹森満佐一 4700 円
- 古代キリスト教思想家 H. カンペンハウゼン 3500 円
- 宗教改革の神学 北森嘉蔵 4400 円
- 十字架につけられた神 J. モルトマン 5800 円
- 「十字架の神学」の成立 青野太潮 5000 円

- 「十字架の神学」の展開 青野太潮 4000 円
- 状況倫理 J. フレッチャー 3100 円
- 初期キリスト教の思想的軌跡 J. ロビンソン／H. ケスター 4200 円
- 神社問題とキリスト教 戸村政博編 6000 円
- 信条集 前後篇 (合本) キリスト教古典双書刊行委員会編 9500 円
- 信徒の神学 H. クレーマー 3200 円
- 新約思想の成立 八木誠一 5300 円
- 新約聖書神学Ⅱ R. ブルトマン 5300 円
- 新約聖書における教会像 E. シュヴァイツァー 4600 円
- 新約聖書の諸問題 佐竹 明 3900 円
- 聖霊の力における教会 J. モルトマン 5200 円
- 責任を負う自己 H. R. ニーパー 3800 円
- 組織神学 第二巻 ティリッヒ 5000 円
- 高倉徳太郎傳 小塩 力 3500 円
- 時の中心 H. コンツェルマン 5200 円
- 土着と背教 武田清子 5400 円
- 特高資料による戦時下のキリスト教運動Ⅰ～Ⅲ 同志社人文研編 Ⅰ＝8900 円、Ⅱ＝8900 円、Ⅲ＝8900 円
- なぜ私は生きているか フロマートカ 2380 円
- 日本キリスト教史論 石原 謙 5200 円
- 日本の説教者たち 加藤常昭 4300 円
- パウロをどうとらえるか 荒井 献編・弓削達・佐竹明・田川建三・青野太潮他 4200 円
- フルベッキ書簡集 フルベッキ 5700 円
- ペテロ O. クルマン 5000 円
- ヘブライ人とギリシヤ人の思惟 T. ボーマン 5800 円
- ボンヘッファー伝Ⅰ E. ベートゲ 3300 円
- ボンヘッファー伝Ⅱ E. ベートゲ 4100 円
- ボンヘッファー伝Ⅲ E. ベートゲ 4100 円
- ボンヘッファー伝Ⅳ E. ベートゲ 5300 円
- マルコ福音書講解説教Ⅰ 渡辺信夫 3600 円
- マルコ福音書講解説教Ⅱ 渡辺信夫 4700 円
- 預言者サムエル リュティ 2700 円
- 預言者ネヘミヤ リュティ 2400 円
- ローマ書 K. バルト 9900 円
- ローマ書講解説教Ⅰ～Ⅲ 竹森満佐一 Ⅰ＝4200 円、Ⅱ＝4400 円、Ⅲ＝4800 円



植村正久著作集

- 第1巻 時代思潮 4600 円
 第2巻 時事評論 4600 円
 第3巻 文学 4600 円
 第4巻 神学思想 4600 円
 第5巻 信仰と生活 4600 円
 第6巻 教会と伝道 4600 円
 第7巻 説教 4600 円

高倉徳太郎著作集

- 第1巻 形成期の高倉神学 4300 円
 第2巻 確立期の高倉神学 4300 円
 第3巻 聖書の宗教：人と思想 4300 円
 第4巻 説教 4300 円
 第5巻 聖書講義・ロマ書 4300 円

カール・バルト「教会教義学」

- 神の言葉 I /1 9500 円
 神の言葉 I /2 8500 円
 神の言葉 II /1 9500 円
 神の言葉 II /2 10000 円
 神の言葉 II /3 8800 円
 神の言葉 II /4 8000 円
 神 論 I /1 8300 円
 神 論 I /2 7200 円
 神 論 I /3 8300 円
 神 論 II /1 9100 円
 神 論 II /2 7400 円
 神 論 II /3 9200 円
 創造論 I /1 9600 円
 創造論 I /2 4700 円
 創造論 II /1 7800 円
 創造論 II /2 8700 円
 創造論 II /3 8400 円
 創造論 III /1 9000 円
 創造論 III /2 8600 円
 創造論 IV /1 5000 円
 創造論 IV /2 7700 円
 創造論 IV /3 8500 円
 創造論 IV /4 5500 円
 和解論 I /1 5400 円
 和解論 I /2 7300 円
 和解論 I /3 9500 円
 和解論 I /4 6000 円
 和解論 II /1 7800 円
 和解論 II /2 8500 円
 和解論 II /3 8800 円

- 和解論 III /1 8600 円
 和解論 III /2 8000 円
 和解論 III /3 9500 円
 和解論 III /4 9500 円

カルヴァン旧約聖書註解

- 創世記 1 4600 円
 詩 篇 1 5300 円
 詩 篇 2 4600 円
 詩 篇 3 4600 円
 詩 篇 4 4700 円

カルヴァン新約聖書註解

- 1 共観福音書 上 5700 円
 3 ヨハネ福音書 上 3900 円
 4 ヨハネ福音書 下 4200 円
 5 使徒行伝 上 4700 円
 6 使徒行伝 下 4400 円
 7 ローマ書 4900 円
 8 コリント前書 4700 円
 9 コリント後書 3200 円
 10 ガラテヤ・エペソ書 3600 円
 11 ビリピ・コロサイ・テサロニケ 3800 円
 13 ヘブル・ヤコブ書 3800 円
 14 ペテロ・ユダ書・ヨハネ書簡 4000 円

**辞典・図説・語学****カラー版聖書大事典**

G. ヴィゴーター編集／荒井章三・山内一郎監修
 聖書と考古学に関する最新の研究を踏まえ、4200項目の聖書用語を的確に解説。歴史的意味・聖書の意義を平明で親しみ易く紹介。全頁カラー。
 菊倍判 1100頁 本体39806円 1991年
 4-400-11000-1

新共同訳聖書コンコルダンス

新教出版社編
 新共同訳聖書をテキストとする聖句索引。続編・固有名詞・小見出しもリストアップした、ハンディで価格も手頃なコンコルダンスの最高決定版。
 36判 480頁 本体2500円 1997年
 978-4-400-10602-9

旧新約聖書神学辞典

山谷省吾／小塩 力監修
 旧新約聖書的重要語句、概念用語 175 項目の神学的解釈を簡明に叙述、索引を利用すれば約 600 の用語の神学的意味が理解可能となる貴重な辞典。
 36判 510頁 本体2500円 1961年
 4-400-11003-6

新教 = タイムズ聖書歴史地図

J. B. プリチャード編
 荒井章三／山内一郎他監修
 壮大で立体的なカラー地図・図版 600 点に詳細な聖書時代史を配し、聖書学・考古学・オリエント学・言語学界の総力を結集した画期的成果。
 B4判 272頁 本体26214円 1993年
 4-400-11001-X

新約聖書小辞典

山谷省吾著 東海林勤増補改訂
 戦後早くから文庫版で刊行された旧版を、最新の学説に準拠しながら増補・改訂、図版 20、地図 8面に新共同訳との対照表を加えて新装再刊。
 小B6判 206頁 本体1500円 1989年
 4-400-10601-2

図説・新約聖書の歴史と文化

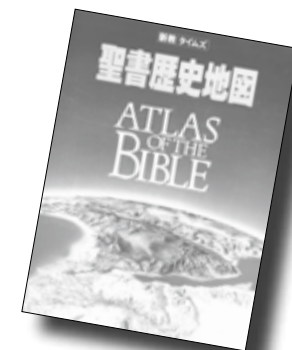
C. M. ジョーンズ編 松本富士男／佐々木敏郎訳
 新約の地理・風俗・考古学・キリスト教美術・シンボルの図版 180 と地図・年表 20、現代英国の新約学者の要を得た解説を付した新約聖書案内。
 B5判 190頁 本体1800円 1973年
 4-400-11005-2

新共同訳 聖書辞典

新教出版社編
 ハンディな聖書辞典の決定版！ 総項目 2420。図版・地図 20 点。カラー口絵 8 頁。聖書全小見出表などの付録充実。情報満載。聖書研究に必携！
 36判 608頁 本体2800円 2001年
 978-4-400-11073-6

エレメンツ 新約聖書ギリシャ語教本

増補改訂版
 J. ダフ著 浅野淳博訳
 定番の新約ギリシャ語入門がバージョンアップ。ギリシャ語フォントを大きくし、アクセントに開する新たな章を加えるなど、さらに使いやすく。
 B5判 267頁 本体4000円 2016年
 978-4-400-11027-9



〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

二十世紀キリスト教の歴史観

笠井恵二著

世紀末の歴史意識から、20 世紀のキリスト教歴史観の特質を、バルト、ティリッヒ、トインビーら 7 人を通して考察、21 世紀を展望した意欲作。

46判 304頁 本体3200円 1995年
4-400-31994-6

二十世紀の聖書理解

笠井恵二著

聖書論の歴史とドイツ・日本の神学者の多様な聖書理解の実際、聖書の持つ使信の豊かさや聖書に取り組む際の姿勢を明解・平易に論じる。

46判 336頁 本体3200円 1997年
4-400-12426-6

神学思想

ソクラテスの死とキリストの死

日本における講演と説教

B.クラッパート著 武田武長編

西欧精神を深く刻印してきた二人の刑死者をボン・ヘッファーを介して読み解き、またユダヤ教とイスラームとの対話を模索する論考など、8 編収録。

46判 330頁 本体3200円 2016年
978-4-400-32408-9

実践する神秘主義

普通の人たちに贈る小さな本

イヴリン・アンダーヒル著 金子麻里訳

神秘主義を「技法」と定義し、一般の人々にも届く清新・明晰な言葉でキリスト教信仰の霊性を再解釈した名著。

A5判 230頁 本体2100円 2015年
978-4-400-31078-5

自由意志論

ジョナサン・エドワーズ選集 1

J.エドワーズ著 柴田ひさ子訳 森本あんり監修
人間は自ら善を選ぶという啓蒙主義的・楽観的人間観を精緻に批判し、罪から救い上げる恩寵と真摯に向き合うことを力強く訴える。1754 年刊。

A5判 424頁 本体7000円 2016年
978-4-400-32051-7

原罪論

ジョナサン・エドワーズ選集 3

大久保正健訳 森本あんり監修

18 世紀を風靡した啓蒙主義的・楽観的人間観を徹底的に批判し、人間の罪と真摯に向き合うことを力強く訴える。アメリカ精神の源流にあるもの。

A5判 440頁 本体7000円 2015年
978-4-400-32053-1

21 世紀の信と知のために

キリスト教大学の学問論

西谷幸介・茂 牧人編

建学の精神にキリスト教を掲げる大学は、学問研究と信仰、教育活動と伝道とを、どのように位置づけるべきなのか。共同研究の成果。

A5判 380頁 本体5000円 2015年
978-4-400-31077-8

神とはいったい何ものか

次世代のキリスト教

J.ヒック著 若林 裕訳

現代の多元化の問題に最も果敢に取り組んできた思想家が、キリスト教に留まりつつ、独善的でない真に普遍的な信仰のあり方を追究した 10 編。

46判 249頁 本体2700円 2014年
978-4-400-31074-7

キリスト教の自己批判

明日の福音のために

上村 静著

イエスのラディカルな福音から現代社会と教会を見直した問題作。気鋭の著者の今までの研究と思索のエッセンスを平易にまとめた一冊でもある。

新書判 136頁 本体950円 2013年
978-4-400-32490-4

「十字架の神学」の成立

〈オンデマンド・ブック〉

青野太潮著

十字架の逆説とは何か、贖罪論は新約思想の中心なのか。佐竹、八木、荒井、松永、田川、滝沢らへのボレミックを通して浮かび上がるもの。

46判 540頁 本体5000円 (89年)2011年
978-4-400-14433-5

「十字架の神学」の展開

〈オンデマンド・ブック〉

青野太潮著

『「十字架の神学」の成立』以後の著者の思想の深化展開を示す重要論考の他、金子啓一、田川建三らとの対論、大貫隆との対談などを収録。

46判 440頁 本体4200円 ' (06年)2013年
978-4-400-12105-3

信仰と経験

イエスと神の王国の倫理

廣石 望著

イエスの譬えや奇跡物語に見るシンボリズムや教会の儀礼行為の意味を斬新な視点から解き明かし現代の信仰・倫理に橋渡しする 21 世紀の信仰論。

46判 360頁 本体2700円 2011年
978-4-400-11181-8

唯一神教の創出とその展開

預言者・イエス・パウロの働き

野村 喬著

教会の深刻な退潮を前に、改めて聖書を丹念に読み直し、その唯一神教の核心的メッセージと真の宗教の条件は何かを再確認しようとする試み。

46判 293頁 本体2000円 2014年
978-4-400-32449-2

キリスト論要綱

〈オンデマンド・ブック〉

W.パネンベルク著 麻生信吾／池永倫明訳

新約以来現代に至るキリスト論の諸問題を歴史に沿って徹底的に吟味した大著。神学の根本問題を考えるために繰り返し参照すべき基本文献。

A5判 496頁 本体6900円 (82年)2003年
4-400-30766-2

神学入門

プロテスタント神学の転換点 平野清美訳

J.L.フロマートカ著 佐藤 優 監訳・解説

戦後、亡命先からブラハに戻って行った講義。初学者を対象とした 20 世紀の神学潮流への入門。著者の神学観がにじみ出た興味尽きぬ内容。

46変判 200頁 本体1800円 2011年
978-4-400-31981-8

人間への途上にある福音

キリスト教信仰論

J.L.フロマートカ著 平野清美訳 佐藤 優監訳

佐藤優氏が「この本が私の人生を定めた」と語る名著。フス派の伝統を継承し、世界の中で積極的に奉仕の務めを負う強烈な召命信仰を展開。

46判 370頁 本体3500円 2014年
978-4-400-31983-2

歴史の主に従う

フロマートカの神学的遺産 〈現代神学双書〉

畠山保男著

共産主義革命の渦中で、福音の自由のために闘ったチェコの神学者フロマートカの波乱の生涯を辿り、その神学の独白性と現代的意味を論じた力作。

B6判 460頁 本体4000円 1995年
4-400-33077-X

神 学

神学部とは何か 〈シリーズ神学への船出 00〉

非キリスト教徒にとっての神学入門

佐藤 優著

鬼才佐藤優の原点は神学部。「虚学」としての神学の逆説的な有用性を熱く説き、神学的認識の魅力を語り下ろしたユニークな「神学への誘惑」。

46判変型 180頁 本体1700円 2009年
978-4-400-30000-7

復活と歴史的理性

神学の方法の研究

リチャード・R.ニーバー著 西谷幸介訳

ハーバードで長く組織神学を講じた著者の若きデビュー作。神学方法論の根本問題に対する透徹した考察により現代の古典と評価されている名著。

46判 288頁 本体3500円 2009年
978-4-400-32406-5

復活の神学

W.キュネット著 渡辺省三訳

ルター派教義学者の立場からブルトマンと対決する。1933 年の初版以来 4 度改訂を重ね、82 年の第 6 版に至った息の長い名著（底本は第 5 版）。

46判 450頁 本体3882円 1993年
4-400-32405-2

キリストの復活事件と教会

藤井孝夫著

キリストの復活事件を、その歴史的・終末論の一回性においてとらえ、それが今日の教会と宣教に持つ力と生命を、教会で苦闘する働き人に訴える。

46判 232頁 本体1800円 1987年
4-400-31047-3

愛と正義

ボール・リクール聖書論集 2

久米 博 小野 文 小林玲子訳

著者傘寿を挟む円熟の聖書論 7 編。テキスト、解釈行為、倫理にまたがる不可避の連関を徹底的に追究。エキュメニカルな影響も明らかにされる。

46判 290頁 本体3300円 2014年
978-4-400-31999-3

物語神学へ

ボール・リクール聖書論集 3

久米 博／小野 文／小林玲子訳

20 世紀フランスを代表する哲学者のとくに聖書解釈に関する論考や説教を集成した日本独自企画の第 3 巻。物語神学とは何か、その必要性を提示。

46判 215頁 本体2400円 2008年
978-4-400-31998-6

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

死まで生き生きと

死と復活についての省察と断章

ボール・リクール聖書論集 別巻 久米 博訳

自らの死を目前に哲学者が紡ぎだした最後の思索。生と死、復活をめぐる澄明な言葉が綴られている。没後発見されたノートを厳密に校訂。

46判 160頁 本体2000円 2010年
978-4-400-32002-9

文化の起源

人類と十字架

ルネ・ジラル著 田母神顯二郎訳

自らの精神形成の道のりを振り返りながら、その思想の射程を縦横に論じたインタビュー集。暴力が昂進する世界に向けて発する貴重な発言。

46判 432頁 本体4000円 2008年
978-4-400-31995-5

サタンが稲妻のように落ちるのが見える

R. ジラル著 岩切正一郎訳

サタンとは何者なのか？欲望のミメーシス理論とスケープゴート論を駆使して受難物語を読み解いた、暴力批判の哲学とは。ジラル思想の集大成。

46判 300頁 本体3100円 2008年
978-4-400-31996-2

救済の神学

〈オンデマンド・ブック〉

佐藤敏夫著

聖書的な救済観から現代の教義学的論争に到るまでを一望の下に収め、キリスト教における救済論の主要問題を網羅し、分析した書。

A5判 314頁 本体5000円 (87年)2015年
978-4-400-30783-9

キリスト教神学概論

〈オンデマンド・ブック〉

佐藤敏夫著

教会史と教理史への造詣に深く、現代的問題に鋭敏な感性を備えた著者による、バランスの取れた福音主義的な神学概論。桑田秀延以来の労作。

A5判 346頁 本体5000円 (94年)2007年
978-4-400-34414-8

現代教義学総説

新版

H. G. ペールマン著 蓮見和男訳

ドイツで神学生 of の標準的な教科書として読み継がれてきた名著。最新の第6版(02年)に基づく新訳。伝統的な13の主題に斬新な視点を盛る。

A5判 536頁 本体6000円 2008年
978-4-400-31997-9

ギリシャ人には愚かなれど

福音と西洋文化

L. ニュービギン著 矢口洋生訳

西洋化と共にあった宣教観を根底から覆し、近代世界の基にある価値構造に福音を対峙させる。その後の宣教論に大きなインパクトを与えた名著。

46判 208頁 本体2200円 2007年
978-4-400-32668-7

三位一体論的神学の可能性

あるべき「社会」のモデルとしての三一神

松見 俊著

三位一体論の社会的アナロジー理解をバルト、バネンベルク、モルトマン、ポフなどとの対話を通して追求、古い教理の革新性を明らかにする。

A5判 270頁 本体4400円 2007年
978-4-400-32702-8

神をめぐる対話

新しい神概念を求めて

小川圭治著

神とは何か。現代世界の多元主義状況をふまえ、排他的な超越的一神論の神を越える新しい神概念を提示。多年に渡る思索の集成。

A5判 366頁 本体5400円 2006年
4-400-32701-9

知恵なる神の開かれた家

E. シュスラー＝フィオレンツァ著 山口里子他訳

04年に来日した著者の日本での講演・説教を収録。既成の神概念を打破し、新しい信仰共同体のあり方を示唆する著者最新の理論的達成を示す。

A5判 232頁 本体2100円 2005年
4-400-32135-5

神への問い

新しい組織神学的試み 〈希望と十字架1〉

蓮見和男著

長年対話を重ねたバルト、モルトマンを機軸にしながら、近代以後の神学思想や東洋の思想宗教との対話の上に無の思想と名の神学の構築を図る。

46判 412頁 本体5000円 2001年
4-400-32723-X

対話する神——三位一体論

新しい組織神学の試み 〈希望と十字架2〉

蓮見和男著

三位一体論の秘義を、西方と東方の神学の総合によって論じ、存在と信仰の類比に神の苦悩と痛み of の類比を見出し、真実への道を探る。

46判 384頁 本体4500円 2004年
4-400-32769-8

神の和の神学入門

21世紀日本の神学

宮平 望著

キリスト教信仰の核心は西洋的な神学的言語でしか表現され得ないのか？ヘレニズム化された三位一体論を日本的な文脈で語り直す意欲的な書。

46判 96頁 本体950円 2005年
4-400-32762-0

日本における宣教の共同体の形成

使徒信条の文脈的注解

石田 学著

西欧キリスト教の正と負の歴史的遺産をはっきりと見据えた上で、日本の天皇制的精神風土の中で使徒信条を告白することの射程を徹底的に問う。

46判 214頁 本体1900円 2004年
4-400-32761-2

日本人は宗教が分かっているか

〈福音の原点3〉

佐藤敏夫著

教理史、宗教史理解、M. ウェーバー宗教社会学との対話を踏まえ、日本人に有効な宗教としてのキリスト教信仰の独自性と可能性を探った試論。

小B6判 72頁 本体800円 1997年
4-400-51852-3

荊冠の神学

被差別部落解放とキリスト教

栗林輝夫著

部落解放運動の戦いのシンボル「荊冠」に連なるイエスの苦難と死を通し、既成のキリスト教の歴史・信仰・教理を批判的に吟味した大作。

A5判 556頁 本体4800円 1991年
4-400-31058-2

現代神学の最前線

「バルト以後」の半世紀を読む

栗林輝夫著

20世紀の神学的巨人なきあと、ポストモダンから宗教右派まで混沌の中にある現代神学の多様な潮流を、解放的視点からシャープな筆致で描く。

46判 280頁 本体2200円 2004年
978-4-400-32765-3

現代アメリカ神学思想

平和・人権・環境の理念

宮平 望著

活発なアメリカ神学から黒人神学、フェミニズム、エコロジー、プロセス神学、物語の神学など6テーマの代表的論考を取り上げ詳説した労作。

46判 344頁 本体2800円 2004年
4-400-32763-9

日本の神学の方法と課題

〈新教コイノーニア〉

新教出版社編

日本の神学の立場と拠点、それが進む方向をめぐって、25名の若い世代の神学者たちが、その展望を真剣に語った新鮮で意欲的な論考を集成。

A5判 128頁 本体1164円 1993年
4-400-30711-5

福音的キリスト教

〈ハンディ版〉

高倉徳太郎著 小塩 力 宮田光雄解説

近代日本のキリスト教が生み出した神学的古典の一つが読みやすいかたちで再登場。福音信仰を確立する苦闘は今も変わらぬ真理契機を帯びる。

B6変判 248頁 本体1800円 2014年
978-4-400-31026-6

現場の神学

〈新教コイノーニア〉

富坂キリスト教センター編

日本の宣教と神学を、現場から創り出して行こうとする学際的共同研究。生の現場からの発言と白熱の討論による新しいスタイルの神学の誕生。

A5判 150頁 本体1358円 1993年
4-400-30712-3 僅少

熊野義孝全集 第七巻〈教義学上〉

〈オンデマンド・ブック〉

熊野義孝著

熊野の記念碑的な大作。邦人の手でこれを越える教義学は未だに書かれていない。本全集版では上巻に第1巻「神」及び第2巻「創造」を収録する。

A5判 627頁 本体8100円 (80年)2003年
4-400-30764-6

熊野義孝全集 第八巻〈教義学下〉

〈オンデマンド・ブック〉

熊野義孝著

第3巻「宥和と自由」。聖書釈義と厳密なキリスト論を中核として展開された熊野教義学の中心であり、教会の形成と聖礼典へ説き及んで完結する。

A5判 520頁 本体6900円 (82年)2003年
4-400-30765-4

永遠回帰の神話と終末論

人間は歴史に耐えうるか

佐藤敏夫著

「人間はいかにして歴史の不幸に耐えうるか」との根本問題に対し、永遠回帰の神話と終末論の折衝を機軸に検討、終末論の積極的肯定に到る。

46判 224頁 本体1941円 1991年
4-400-41969-X

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
パウロカルターか 〈福音の原点 2〉 佐藤敏夫著 ルターとの比較の上でパウロの信仰と義認、罪の赦しと救い、聖霊の力の自覚と理解の意味を、広く現代神学思想の問題点から光をあてて論じる。 B6変型 60頁 本体800円 1996年 4-400-51851-5

神学諸科入門 〈第1分冊〉 今橋 朗・西村俊昭編 日本聖書神学校教師陣の共同執筆による、キリスト教学各科全体の入門案内。聖書・歴史・組織・倫理・実践の各科にわたる方法論と実際を紹介。 46判 236頁 本体1941円 1990年 4-400-31964-4
--

イエス 十字架につけられた民衆 C. S. ソン著 梶原 寿監修 現代アジアを代表する神学者待望のキリスト論。伝統的教義学に立つ教説を根底から解体、民衆の苦難の物語の視点からイエスの生を捉え直す。 A5判 392頁 本体4400円 1995年 4-400-31066-3

イエス・キリストその教会

藤井孝夫著 「教会とは何か」の問いに正面から取り組み、使徒的伝統の流れの中に現代の私たちの教会を改めて位置づけ直した、教会論の本質的・現代的展開。 46判 160頁 本体1455円 1993年 4-400-31062-0
--

ナザレのイエスとは誰か

H. G. ペールマン著 秋山卓也訳 ユダヤ教、ヒューマニズム、マルクス主義、神学等の視点から捉えた多様なイエス像を個々に踏まえた上で、神人イエスを提示する。 46判 224頁 本体1941円 1984年 4-400-52330-6
--

キリスト教本質論に関する一考察

村上和男著 明治学院大学論集と紀要に連載した「キリスト教本質論」に関する論稿を集大成。問題の提出と展開、キリスト論、神観の問題、信仰論に及ぶ。 A5判 460頁 本体3688円 1990年 4-400-31965-2 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
キリストへの信従 一つの福音的挑戦 R. シュトゥルンク著 大島かおり訳 使徒、殉教者、フランチェスコ、トマスア・ケンピスから、ボンヘッファーを経て解放の神学に至る敬虔史を、キリスト信従として捉えた意欲作。 46判 384頁 本体3200円 1984年 4-400-52332-2

受肉者イエス その生涯と教え J. S. スチュアート著 椿憲一郎訳 1933年出版された原著は英語圏で長く読み継がれ、特に信徒の教会教育に用いられている。信仰の書として絶賛される名著。 46判 334頁 本体2800円 1979年 4-400-52588-0
--

キリスト論

清水義樹著 教義学者、牧師としてユニークな足跡を昭和史に残した遺稿。ライフ・ワーク「キリスト論」の独自性を示す歴史的キリストの生命を伝える力作。 A5判 306頁 本体3688円 1991年 4-400-31057-4

しもべとなった王 弟子達のキリスト論 C. N. クラウス著 棚瀬多喜雄訳 豊かな聖書釈義を踏まえつつメノナイトの伝統に立つ独自のキリスト論。「メシアなるイエスは誰か」「メシアなるイエスの革命」の二部構成。 B6判 356頁 本体3500円 1987年 4-400-31949-0
--

幼子の救い 悲しむ親への慰め ロナルド・ナッシュ著 川越敏司訳 洗礼を受けず亡くなった子どもの救いはどうなるのか？などの親の素朴な疑問に、聖書的・教義学的に丁寧に答える貴重な牧会的示唆に富む一冊。 46判 192頁 本体1900円 2008年 978-4-400-32729-5

いばらに薔薇が咲き満ちる 神秘主義とキリスト教の将来 J. ツインク著 宍戸 達訳 教会の長い伝統の中で忘却されてきた神秘主義の承譜を辿りなおし、隘路に陥った現代のキリスト教に対してその回復を静かに訴える。 46判 464頁 本体4000円 2001年 4-400-32106-1
--

小塩力神学論集 小塩 力著 「パウロにおける死」「死の死」等の神学論文と随想、評伝等の代表作を収録。著者の思想と感性の豊かさ、神学的洞察の鋭さが溢れる秀作選。 B6判 300頁 本体1800円 1979年 4-400-31043-4
--

現代世界と宗教学

北川三夫著 シカゴ大学でエリアーデと共に現代の宗教学の発展に貢献して来た著者が、近代宗教学の流れを追って、宗教学の現状を展望した宗教学の道案内。 B6判 128頁 本体1000円 1985年 4-400-19391-X

心の宗教哲学 心の自然な構造に即して 川村永子著 キエルケゴール研究に従事するかたわら、臨済宗相国寺に参禅し、哲学、神学と仏教哲学との統合に取り組む著者の、独自の宗教哲学構築の試み。 A5判 276頁 本体3800円 1994年 978-4-400-01064-7
--

民族主義とキリスト教

青山学院大学総合研究所編 聖書時代の「民族」概念の検討から始まり、近現代における民族問題とキリスト教の関わりに至るまで、9人の寄稿者による学際的共同研究。 A5判 260頁 本体4000円 2003年 4-400-42738-2
--

聖霊と人間 藤井孝夫著 伝道生活 50 年への感謝と日本の教会の宣教の前進への願いをこめて、人間と教会を生かし導く聖霊の限りない力への賛美告白を豊かに響かせる。 46判 176頁 本体1600円 1994年 4-400-31065-5

ブルトマンとナチズム 「創造の秩序」と国家社会主義 R. ブルトマン著 深井智朗訳解題 ナチが全権掌握した年に行った特別講義や論考、説教など3編を収録。ブルトマンはいかにしてナチと対決したのか。実存論的聖書解釈と政治。 46判 130頁 本体1850円 2014年 978-4-400-40734-8
--

神 学
王道 21 世紀中国の教会と市民社会のための神学 王 艾明著 松谷曄介編訳 三自愛国が家の教会かの二項対立を払拭し、教会に「真に教会たれ」と訴え、教会が教会となることが現代中国市民社会の成熟につながると。 46判 274頁 本体2300円 2012年 978-4-400-22710-6

勝利と敗北の逆説

池 明観著 世界の激動の中で、聖書に聞き従う者として、主キリストの恵みの支配を指し示し、預言者の洞察のもとに神の勝利にあずかる人間の希望を語る。 46判 280頁 本体2523円 1990年 4-400-54570-2

現代に生きる思想 ハンナ・アレントと共に 池 明観著 政治哲学者 H. アレントの思想との対話から、世紀末に立ち向かう現代人の存在根拠、それを支える思想の可能性をアジアの視点から考察。 46判 282頁 本体2600円 1989年 4-400-41567-8

破局の時代に生きる信仰

池 明観著 日本の教会への批判的同伴者として対話を続ける中で、日韓のキリスト者のあり方を、鋭い歴史感覚と信仰的洞察をもって縦横に論じた 16 の論文。 46判 344頁 本体2200円 1985年 4-400-41517-1 僅少

仲介者なる神 聖霊とキリスト教信仰 J. V. テイラー著 村上達夫訳 ホーケンダイクらの宣教の神学・現代論理学・文学・心理学との対話を通して、聖霊の働きの意味を把握、今日の世俗化社会における宣教論を展開。 46判 432頁 本体2600円 1979年 4-400-32590-3 僅少

世俗都市の宗教

H. コックス著 大島かおり訳 「世俗都市」の変貌の前に、「霊性」復活の意味を新たに検証。両極化する「民衆宗教」の爆発の中で、「誰を隣人とするか」との決断を迫る。 46判 448頁 本体3400円 1986年 4-400-32348-X 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
世俗都市 〈現代神学双書〉 H コックス著　塩月賢太郎訳 キリスト教の存在意義を、現代都市の世俗化と都市化の問題の中で問い、教会の宣教とキリスト者の実存の革新、社会変動の神学を展望した力作。 B6判　430頁　本体3200円　1967年 4-400-43036-7

都市の神学

高柳俊一著 都市化の進む現代社会において、キリスト教の進むべき道を探るために試みた、神学者、社会学者、心理学者の緊密な共同作業が生んだ豊かな成果。 B6判　300頁　本体1600円　1977年 4-400-33324-8
--

からだの救い

第一コリント書を中心にして 松永晋一著 パウロが示すからだの理解を、特にⅠコリントに即して追究、からだの自制と訓練、自由と愛、からだのよみがえり、そして教会論に及ぶ論集。 46判　264頁　本体2200円　2001年 4-400-32717-5

身体性の神学

〈現代神学双書〉 日本組織神学会編 20世紀末、鏡く露呈された生態学的問題を真剣に受けとめ、それを「身体」の問題の究明から解明する斬新な試み。日本組織神学会の総力を結集。 B6判　262頁　本体2426円　1990年 4-400-33074-5

身体性と神学

〈現代神学双書〉 喜田川信著 身体性を神学的に位置づけるという課題からハイデggerの『存在と時間』と対話しつつ、神学の現代的展開の可能性を示唆する。 B6判　200頁　本体1600円) 1987年　4-400-33070-2
--

福音主義神学の展開

〈現代神学双書〉 H. ゴルヴィツァー著　村上　伸訳 〈運帯への解放〉を与えるみ言葉の衝迫にうながされて、現代の教会が直面する諸問題を、社会科学・哲学との対話の中で大胆率直に論じた力作。 B6判　346頁　本体2800円　1980年 4-400-33067-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
現代神学の論理の転換 その場・理論・確証 〈現代神学双書〉 D. リッチュル著　畑　祐喜訳 価値の多元化と多様化の進む現代、神学の枠組みの転換の可能性を探索してきた著者が、倫理と教会両面における神学の実践の行方を大胆に提示。 B6判　544頁　本体7000円　1997年 4-400-33080-X

キリスト教の修練

S. キルケゴール著　井上良雄訳 イエスの精神を失った19世紀のデンマーク国教会に対し謙卑と犠牲に生きるイエスの生き方から痛烈なる批判を投げかけた名著。現代にも通じる。 46判　360頁　本体3500円　2004年 4-400-42129-5

ジョン・マクラウド・キャンベルの贖罪論

受肉論的構成を持つ贖罪論 〈大森講座 20〉 真田　泉著 牧会で喜びを失った信仰者と出会い、独自の贖罪論にたどり着くキャンベル。異端として職を追われた彼の贖罪論から十字架の意味を読み解く。 46判　80頁　本体900円　2005年 4-400-31694-7
--

神学の方法と内容

清水　正著 牧師であり教務教師でもある著者の神学的立場を表明した本。神学的思惟、キリストの存在、聖霊の御業、三位一体の神について見解を述べる。 B6判　202頁　本体1942円　1991年 4-400-31060-4
--

キリスト教の教師

聖書と現場から（山内一郎先生献呈論文集） 嶺重　淑　辻　学　大宮有博編 関西学院大学神学部教授として多くの人材を育てた山内一郎教授の中堅・若手の教え子たちが「キリスト教の教師」について寄稿した献呈論文集。 A5判　244頁　本体3800円　2008年 978-4-400-32001-2
--

死の意味

キリスト教の視点から 宮谷宣史編 聖書から教父を経て近代の思想家・文学者に至る死生観を学ぶ一方、現代社会の死の諸相を追究した研究者11人による学際的共同研究。 46判　300頁　本体2600円　1994年 4-400-61582-0

性の意味 キリスト教の視点から 宮谷宣史編 性の問題を、聖書神学、キリスト教思想、女性学の各専門分野から、11名の研究者によって論じられた、多彩で活発な共同研究。 46判　396頁　本体3000円　1999年 4-400-61591-X　僅少
--

神学の履歴書

初学者のための神学書ガイド 佐藤　優著 バルトからエンゲルまで、今読むに値する神学書13冊を取り上げ、その勘所を丁寧に解説。佐藤流の紙上神学ゼミナール。実践的な神学入門。 46判　260頁　本体1900円　2014年 978-4-400-31982-5

悪の意味

キリスト教の視点から 宮谷宣史編 悪と悪の存在の意味を問うために、聖書、中世西欧キリスト教、同じく近世、そして現代神学と、四つの視点から追究した16人の共同研究。 46判　420頁　本体3000円　2004年 4-400-42759-5　僅少
--

【カルヴァン・キリスト教綱要】

キリスト教綱要　第1篇・第2篇

改訳版 渡辺信夫訳 プロテスタント最初の組織神学と呼ばれる必読の古典が、40年ぶりの改訳により驚くほど明快・流麗な文力で蘇る。本巻は神論とキリスト論。 A5判　600頁　本体4500円　2007年 978-4-400-30108-0

キリスト教綱要　第3篇

改訳版 ジャン・カルヴァン著　渡辺信夫訳 旧訳版のⅢ /1、Ⅲ /2の改訳版。聖霊論、信仰論、義認論、二重予定説など、きわめて重要な改革派神学の核心部をいっそうの正確さで表現した。 A5判　528頁　本体4500円　2008年 978-4-400-30109-7
--

神　学

キリスト教綱要　第4篇

改訳版 J. カルヴァン著　渡辺信夫訳 ローマ教皇制を批判し宗教改革の本義に立った教会論を展開。聖職者の意味や聖礼典のあり方、また最終章では国家論を詳述する。全3分冊完結。 A5判　608頁　本体4500円　2009年 978-4-400-30110-3
--

宗教改革関連書

天国から締め出されたローマ法王の話

エラスムス著　木ノ脇悦郎編訳 エラスムスの代表作。法王が天国の門番ペテロに阻まれ天国に入れてもらえないという風刺物語。エラスムス研究第一人者による解説・解題付き。 46判　284頁　本体2300円　2010年 978-4-400-32125-5
--

カルヴァン　霊も魂も体も

宗教改革論集 1 出村　彰著 わが国の宗教改革史研究を牽引してきた著者の、単行本未収録重要論考を全3巻に集成。本巻はカルヴァンへの歴史神学的アプローチを試みる。 A5判　420頁　本体5000円　2009年 978-4-400-22111-1
--

ツヴィングリ 改革派教会の遺産と負債

宗教改革論集 2 出村　彰著 スイス宗教改革の先駆者の生涯と思想に光を当て、その後の受容と影響作用史に及ぶ。また契約神学、再洗礼派に関する貴重な論考を収録。 A 5判　420頁　本体5000円　2010年 978-4-400-22112-8

牧会者カルヴァン

教えと祈りと励ましの言葉 カルヴァン著　E. マッキー編　出村　彰訳 カルヴァンの書簡、説教、『綱要』などの中から牧会者としての面目躍如たるものを抜粋、編集、解説したアンソロジー。貴重な示唆に富む必読書。 A5判　440頁　本体3800円　2009年 978-4-400-30111-0
--

カルヴァンから学ぶ信仰の筋道

生誕 500 年記念講演集

渡辺信夫著

カルヴァンの生誕 500 年と『キリスト教綱要 改訳版』完結を記念し催された 9 つの講演会の記録。二度の『綱要』翻訳の著者によるカルヴァン論。

46判 176頁 本体1800円 2010年
978-4-400-32446-1

カルヴァンの『キリスト教綱要』を読む

渡辺信夫著

広大で複雑な『綱要』の世界を、時代や思想状況に照らし合わせながら、的確・平易に解説する。『綱要』の訳者による最も信頼できる入門書。

46判 256頁 本体2100円 2007年
978-4-400-32436-2

カルヴァン 歴史を生きた改革者

1509-1564

B. コットレ著 出村 彰訳

膨大な資料を駆使して、その思想を正確に描き出し、宗教改革のみならずそれ以降の西欧世界に影響を与えた人物の存在を浮き彫りにした本格評伝。

A5判 550頁 本体5900円 2008年
978-4-400-22122-7

カルヴァンの神学と霊性

「来るべき生への瞑想」 〈大森講座 22〉

吉田 隆著

「霊性とは信仰のかたちである」と定義し、カルヴァンの『キリスト教綱要』第二版、特に「キリスト者の生活について」を精密に読み解く。

46判 102頁 本体1000円 2007年
978-4-400-31696-1

ウィクリフ

宗教改革の暁の星

E. ロバートソン著 土屋澄男訳

教会の専制的支配に直面し、教会の誤謬を大胆に批判しながら聖書の英訳を果たした宗教改革の先駆けとも呼ばれるウィクリフを丹念に描く。

46判 172頁 本体1800円 2004年
4-400-42131-7

カルヴァン神学論文集

〈オンデマンド・ブック〉

赤木善光訳

回心前後の内面的発展を示す「コップの講演」（1533 年）から死の 5 年前の「フランス信仰告白」（1559 年）までカルヴァン理解に不可欠な 9 論文。

A5判 407頁 本体5500円 （67年）2003年 4-400-30754-9

カルヴァンの神学

〈オンデマンド・ブック〉

W. ニーゼル著 渡辺信夫訳

告白教会の闘いの最中に刊行（1938 年）されて以後、全世界のカルヴァン研究の方向性に決定的な影響を与えた古典的名著。

46判 388頁 本体4600円
（60年）2004年 4-400-30773-5

初期カルヴァンの政治思想

田上雅徳著

人文主義者として知的生涯を開始したカルヴァンが、福音主義へと回心する過程で、政治の見方をどう変化したのかを辿った画期的な研究の成果。

46判 280頁 本体3000円 1999年
4-400-42449-9

ツヴィングリの人と神学

F. ビュッサー著 森田安一訳

都市宗教改革の先駆者、ツヴィングリの生涯と思想を再評価し、教会と社会の預言者的な改革者としての歴史的意味を明らかにした画期的研究。

46判 200頁 本体1800円 1980年
4-400-32597-0

改革神学の展望

〈植村正久記念講座 3〉

H. J. クラウス著 蓮見和男訳

ドイツ改革派教会議長であった著者が 86 年来日折に語った講演を収録。今日の状況下に受容すべき教会の生命と使命をダイナミックに訴える。

B6判 230頁 本体1800円 1987年
4-400-31652-1

改革派神学の光と影

ウェストミンスター信仰基準の成立

J. H. リース著 今井 献訳

17 世紀半ば、ウェストミンスターに結集した人々が、信仰告白、大小教理問答等を制定する経過、その歴史的・神学的意味と問題を鮮やかに描く。

46判 176頁 本体1700円 1997年
4-400-32433-8

ブツァーとカルヴァン

付 1537 年信仰問答 〈大森講座 11〉

芳賀繁浩著

カルヴァンとともに宗教改革の展開に多大な足跡を残した独自の改革者ブツァーの神学に〈信仰問答〉〈教会訓練〉の視点から迫った意欲作。

46判 136頁 本体1300円 1996年
4-400-31685-8

宗教改革の神学

〈オンデマンド・ブック〉

北森嘉蔵著

第 1 部「ルターの神学」、第 2 部「カルヴァンの神学」、第 3 部「教義学方法論」。歴史神学を媒介した組織神学の試みに著者の創見が満ちている。

A5判 294頁 本体4400円 （60年）2004年 4-400-30774-3

【カール・バルト 教会教義学】

神の言葉 I /1 (KD I /1)

序説／第 1 章 教義学の基準としての神の言葉

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

原書 1932 年。バルトの主著『教会教義学』の劈頭。教義学とは、その学問性とは、そして神の言葉とは何かをめぐる、教義学全体の根拠付け。

A5判 584頁 本体9500円 （95年）2005年 4-400-34301-4

神の言葉 I /2 (KD I /1)

第 2 章 神の啓示〈上〉三位一体の神

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

「教義学序説」1-7 節での形式的論述を受けて、バルトにおける啓示論＝神の言葉論の初めの部分に当たる三位一体論が詳説される。

A5判 408頁 本体8500円 （95年）2010年 4-400-30277-6

神の言葉 II /1 (KD I /2)

第 2 章 神の啓示〈中〉言葉の受肉

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

啓示論の第Ⅱ部では、聖書の証しの対象であるキリスト論が神の言葉の受肉の視点から展開される。再版に当たり部分的に改訳。

A5判 414頁 本体9500円 （95年）2009年 978-4-400-34303-5

神の言葉 II /2 (KD I /2)

第 2 章 神の啓示〈下〉聖霊の注ぎ

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

啓示論の第Ⅲ部である聖霊論。神の言葉の出来事＝聖霊の注ぎとの関連で、教会、宗教、信仰、信仰者のこの世での生き方などが論じられる。

A5判 504頁 本体10000円 （96年）2009年 978-4-400-34304-2

神 学

神の言葉 II /3 (KD I /2)

第 3 章 聖書

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

ここでは、聖書の正典性、靈感、教父や信条に体现された教会の権威、聖書解釈の責任と方法などの重要問題を、教会の説教のあり方から追求。

A5判 570頁 本体8800円 （77年）2015年 978-4-400-34305-9

神の言葉 II /4 (KD I /2)

第 4 章 教会の宣教

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

宣教論的な視点から教義学の基本的な方法論を論じる。教会に委託された宣教の内容と方法、教義学と倫理学との関係などが扱われる。

A5判 312頁 本体8000円 （77年）2009年 978-4-400-34306-6

神 論 I /1 (KD II /1)

第 5 章 神の認識

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

『教会教義学』はここ第 5 章より「神論」に入る。本巻では神論の方法論が、その「実現」「可能性」「限界」の各面から論じられる。

A5判 470頁 本体8300円 （78年）2005年 4-400-34307-3

神 論 I /2 (KD II /1)

第 6 章 神の現実〈上〉

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

神論の各論的叙述に入る。特に第 28 節「自由の中で愛する方としての神の存在」では神の人格性が「行為の中での神の存在」として捉えられる。

A5判 355頁 本体7200円 （79年）2005年 4-400-34308-1

神 論 I /3 (KD II /1)

第 6 章 神の現実〈下〉

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

第 31 節「神の自由の様々な完全性」のもと神の単一性／遍在、不変性／全能、永遠性／栄光によって、神の完全に関する叙述が完成する。

A5判 490頁 本体8300円 （79年）2005年 4-400-34309-X

神 論 II /1 (KD II /2)

第 7 章 神の恵みの選び〈上〉

K. バルト 吉永正義訳 〈オンデマンド・ブック〉

原書 1942 年。いわゆる予定論に対してバルトが施した独自の解釈が全面的に展開され、キリスト論的集中の特徴が最もよく現れている。

A5判 558頁 本体9100円 （82年）2005年 4-400-34310-3

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

神 論 Ⅱ /2 (KD Ⅱ /2)

第 7 章 神の恵みの選び〈下〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

バルトの予定論で最大の分量を配する「個人の選び」。とりわけイスカリオテのユダをめぐる長大な神学的釈義はあまりにも有名。

A5判 375頁 本体7400円 (82年)2005
年 4-400-34311-1

神 論 Ⅱ /3 (KD Ⅱ /2)

第 8 章 神の誠め

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 36 節「神論の課題としての倫理学」、第 37 節「神の要求としての誠め」、第 38 節「神の決断としての誠め」、第 39 節「神の裁きとしての誠め」

A5判 563頁 本体9200円 (83年)2005
年 4-400-34312-X

創造論 Ⅰ /1 (KD Ⅲ /1)

第 9 章 創造の業〈上〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

原書 1945 年。創造論の基礎付け。特に創世記の詳細な釈義を基に「契約の外的根拠としての創造」「創造の内的根拠としての契約」が論じられる。

A5判 611頁 本体9600円 (84年)2005
年 4-400-34313-8

創造論 Ⅰ /2 (KD Ⅲ /1)

第 9 章 創造の業〈下〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 42 節「創造者なる神の肯定」。創造が神の愛から出た恵みの業であり、神の力強い肯定であるという主題を、厳密にキリスト論的に展開する。

A5判 174頁 本体4700円 (85年)2005
年 4-400-34314-6

創造論 Ⅱ /1 (KD Ⅲ /2)

第 10 章 造られたもの〈上〉

K. バルト 菅 円吉／吉永正義訳〈オ〉

本章全体が人間論。バルトは、ここで旧来の神学的人間論に従うことができず、「開拓者として」取り組みねばならなかったと述懐している。

A5判 421頁 本体7800円 (73年)2005
年 4-400-34315-4

創造論 Ⅱ /2 (KD Ⅲ /2)

第 10 章 造られたもの〈中〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 45 節「神の契約相手に定められた人間」、第 46 節「精神とからだとしての人間」。創造論における人間論の高所。

A5判 528頁 本体8700円 (74年)2005
年 4-400-34316-2

創造論 Ⅱ /3 (KD Ⅲ /2)

第 10 章 造られたもの〈下〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 47 節「時間の中での人間」。時間をめぐる精緻な考察が展開され、人間学的な興味と同時にバルトの終末論を理解する上でもきわめて重要。

A5判 490頁 本体8400円 (74年)2005
年 4-400-34317-0

創造論 Ⅲ /1 (KD Ⅲ /3)

第 11 章 創造者とその被造物〈上〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

本巻では摂理論が展開される。第 48 節「摂理についての教説、その根拠と形態」、第 49 節「その被造物の主としての父なる神」。

A5判 548頁 本体9000円 (85年)2005
年 4-400-34318-9

創造論 Ⅲ /2 (KD Ⅲ /3)

第 11 章 創造者とその被造物〈下〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

悪の問題に渾身の力を込めて取り組んだ第 50 節「神と虚無的なもの」、及びトマスと比肩される天使論、第 51 節「天国と神の使とその敵対者」。

A5判 484頁 本体8600円 (85年)2005
年 4-400-34319-7

創造論 Ⅳ /1 (KD Ⅲ /4)

第 12 章 創造者なる神の誠め〈i〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 52 節「創造の教説の課題としての倫理学」、第 53 節「神の前での自由」。ここからバルトの創造論の倫理が展開されていく。

A5判 221頁 本体5000円 (80年)2005
年 4-400-34320-0

創造論 Ⅳ /2 (KD Ⅲ /4)

第 12 章 創造者なる神の誠め〈ii〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 54 節「交わりの中での自由」の下、「男と女」「親と子」「近い者と遠い者」など、性・世代間・異民族間の共生といった喫緊の主題が論じられる。

A5判 404頁 本体7700円 (80年)2005
年 4-400-34321-9

創造論 Ⅳ /3 (KD Ⅲ /4)

第 12 章 創造者なる神の誠め〈iii〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 55 節「生への自由」。ここでは「生への畏敬」「生の保護」「働く生活」の下で、安楽死や死刑、戦争の是非といった倫理学上の難問に取り組む。

A5判 492頁 本体8500円 (80年)2005
年 4-400-34322-7

創造論 Ⅳ /4 (KD Ⅲ /4)

第 12 章 創造者なる神の誠め〈iv〉

K. バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

第 56 節「限界の中での自由」。「一度だけの機会」「召命」「栄誉」に関する論述でもって創造論の大きな倫理が締めくくられる。

A5判 280頁 本体5500円 (81年)2005
年 4-400-34323-5

和解論 Ⅰ /1 (KD Ⅳ /1)

第 13 章 和解論の対象と問題

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

原書 1953 年。ここ第 13 章より第Ⅳ巻「和解論」の広大な世界が開始される。第 57 節「和解者なる神の業」、第 58 節「和解についての教説」。

A5判 286頁 本体5400円 (59年)2005
年 4-400-34324-3

和解論 Ⅰ /2 (KD Ⅳ /1)

第 14 章 僕としての主イエス・キリスト〈上〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

和解論の本論に入る。第 59 節「神の子の従順」の 1「異郷に赴く神の子」、2「われわれに代わって審かれ給うた者としての審判者」、3「父の判決」

A5判 380頁 本体7300円 (60年)2005
年 4-400-34325-1

和解論 Ⅰ /3 (KD Ⅳ /1)

第 14 章 僕としての主イエス・キリスト〈中〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第 60 節「人間の傲慢と墮落」、第 61 節「人間の義認」のもとに罪が傲慢と墮落として規定され、それがいかに審かれた後に義とされるかを論じる。

A5判 540頁 本体9500円 (60年)2012
年 978-4-400-34326-4

和解論 Ⅰ /4 (KD Ⅳ /1)

第 14 章 僕としての主イエス・キリスト〈下〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

和解論第Ⅰ部の掉尾おなる教会論と信仰論。第 62 節「聖霊とキリスト教団の集まり」、第 63 節「聖霊とキリスト教信仰」。

A5判 300頁 本体6000円 2011年(59
年) 978-4-400-34327-1

和解論 Ⅱ /1 (KD Ⅳ /2)

第 15 章 主としての僕イエス・キリスト〈上Ⅰ〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

本巻から和解論第Ⅱ部「主としての僕イエス・キリスト」。和解論のもう一つの主題、キリストの王職の持つ意味と射程が展開されていく。

A5判 310頁 本体7800円 (64年)2009
年 978-4-400-34330-1

和解論 Ⅱ /2 (KD Ⅳ /2)

第 15 章 主としての僕イエス・キリスト〈上Ⅱ〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第 64 節「人の子の高擧」の後半、3「王的人間」および 4「御子の訓令」。和解論第Ⅱ部におけるキリスト論の中核の部分。

A5判 398頁 本体8500円 (66年)2011
年 978-4-400-34331-8

和解論 Ⅱ /3 (KD Ⅳ /2)

第 15 章 主としての僕イエス・キリスト〈中〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第 65 節「人間の怠慢と悲惨」および第 66 節「人間の聖化」。キリストの十字架と復活によって克服され、新たに創造された人間の現実。

A5判 460頁 本体8800円 (68年)2011
年 978-4-400-34332-5

和解論 Ⅱ /4 (KD Ⅳ /2)

第 15 章 主としての僕イエス・キリスト〈下〉

K. バルト 井上良雄訳

第 67 節「聖霊とキリスト教団の建設」および第 68 節「聖霊とキリスト教的愛」。人を生かし、神の証人として献身させる力としての聖霊。

A5判 448頁 本体5200円 1972年
978-4-400-30233-4

和解論 Ⅲ /1 (KD Ⅳ /3)

第 16 章 真の証人イエス・キリスト〈上Ⅰ〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

本巻から第Ⅲ部「真の証人イエス・キリスト」で、その預言職を展開。本分冊は第 69 節「仲保者の栄光」。その 2 は有名な「生の光」論。

A5判 290頁 本体8600円 (84年)2015
年 978-4-400-34334-9

和解論 Ⅲ /2 (KD Ⅳ /3)

第 16 章 真の証人イエス・キリスト〈上Ⅱ〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第 69 節「仲保者の栄光」の後半。3「イエスは勝利者だ!」、4「御霊の約束」。この分冊で第Ⅲ部の「狭義のキリスト論的基礎づけ」が完成する。

A5判 366頁 本体8000円 (85年)2010
年 978-40-400-34335-6

和解論 Ⅲ /3 (KD Ⅳ /3)

第 16 章 真の証人イエス・キリスト〈中〉

K. バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

本分冊の第 70 節「人間の虚偽と断罪」と第 71 節「人間の召命」が、和解論第Ⅲ部における人間の罪および和解に関する教説を展開する。

A5判 560頁 本体9500円 (86年)2012
年 978-4-400-34336-3

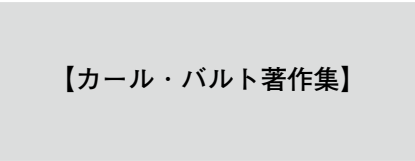
〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

和解論 Ⅲ /4 (KD Ⅳ /3)

第 16 章 真の証人イエス・キリスト 〈下〉
K. バルト 井上良雄訳 〈オンデマンド・ブック〉
第 72 節「聖霊とキリスト教団の派遣」はバルトの最大の教会論。第 73 節「聖霊とキリスト教的希望」は第Ⅰ部の愛、第Ⅱ部の信仰に対応する。
A5判 498頁 本体9500円 (86年)2009年 978-4-400-34337-0

和解論 Ⅳ (KD Ⅳ /4. Fragment)

キリスト教的生
K. バルト 井上良雄訳
バルトの洗礼論。「和解者なる神の戒め」の主題で展開される倫理学の一部だったが、完成されず、生前これのみが〈断片〉として刊行された。
A5判 378頁 本体5000円 1988年 4-400-30238-5



教義学論文集 中

〈カール・バルト著作集 2〉
菅 円吉／蓮見和男他訳
1930-34 年におけるバルトの教会教義学への発酵期・ブルンナーらとの激しい論争の中から生まれた諸論文。「福音主義教会の危急」他 8 篇。
A5判 326頁 本体4500円 1989年 4-400-30202-4

教義学論文集 下

〈カール・バルト著作集 3〉
井上良雄／小川圭治他訳
1936 年以降の代表作「神の恵みの選び」「ルドルフ・ブルトマン」等 10 篇収録。戦争の激動をくぐり抜け重大な転換を遂げた跡を示す。
A5判 432頁 本体6700円 1997年 4-400-30203-2

神学史論文集

〈カール・バルト著作集 4〉
吉永正義／小川圭治訳
シュライエルマッハー他近代神学者の神学を縦横に論じ、フォイエエルバッハ、キルケゴールを巡り興味つきない語り口を見せる。歴史神学論文 12 篇。
A5判 300頁 本体5000円 1999年 4-400-30204-0

十九世紀のプロテスタント神学 上

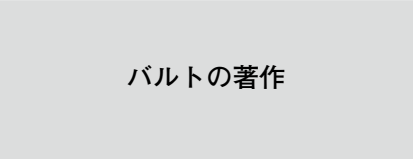
第一部 前史 [上] 〈カール・バルト著作集 11〉
佐藤敏夫 岩波哲男 高尾利数 小樋井滋訳
19 世紀神学の前提としての 18 世紀の啓蒙主義的人間観とその神学的な問題に迫り、近代神学史の課題を提示。
A5判 204頁 本体3000円 1971年 4-400-30211-3

十九世紀のプロテスタント神学 中

第一部 前史 [下] 〈カール・バルト著作集 12〉
佐藤司郎 安酸敏眞 戸口日出夫 酒井 修訳
ルソー、カント、ノヴァーリス、ヘーゲルらに神学的批評の光を当てた名講義。神学史家としての力量を遺憾なく発揮したユーモア溢れる論述。
A5判 380頁 本体5000円 2006年 4-400-30212-1

十九世紀のプロテスタント神学 下

第二部 歴史 〈カール・バルト著作集 13〉
安酸敏眞・佐藤貴史・濱崎雅孝訳
いよいよ本論たる 19 世紀の神学者。シュライエルマッハーからフォイエエルバッハ、シュトラウス、ブルームハルトからリッチェルまで 18 人。
A5判 384頁 本体5000円 2007年 978-4-400-30213-1



知解を求める信仰

アンセルムスの神の存在の証明 〈新セ〉
カール・バルト著 吉永正義訳
原著は 1931 年刊行。『ローマ書』に代表される前期と『教会教義学』に代表される後期との転換点をなす重要な著作。
A5判 240頁 本体2800円 2015年 978-4-400-30681-8

イスカリオテのユダ

〈新教セミナーブック〉
K. バルト著 吉永正義訳
バルト『教会教義学』の「神論」Ⅱ/1「神の恵みの選び」で特にユダの問題を取り上げた長大な神学的釈義を抜粋。審きと救いをめぐる神学。
B6判 200頁 本体2200円 1997年 978-4-400-30241-4

バルト・セレクション 1

聖書と説教
カール・バルト著 天野 有編訳
文庫で読めるバルトの新選集。全 7 巻・収録論稿 89 編はすべて新訳。その 1 が「聖書と説教」。代表的な説教論 2 篇と説教・講演 27 編を収録。
文庫判 624頁 本体1900円 2010年 978-4-400-30161-5

バルト・セレクション 4

教会と国家Ⅰ
カール・バルト著 天野 有編訳
宗教社会主義から弁証法神学を経て反ナチ闘争に至る激動期の重要論考 8 編を収録。「神学的公理としての第一誡」「今日の神学的実存！」等。
文庫判 544頁 本体1800円 2011年 978-4-400-30164-6

バルト・セレクション 5

教会と国家Ⅱ
カール・バルト著 天野 有編訳
反ナチ教会闘争時代的重要論考 10 編を収録。「福音と律法」「義認と法」など教会と国家の問題を考える上で必読の文献を詳細な訳注と共に。
文庫判 648頁 本体1900円 2013年 978-4-400-30165-3

キリスト教的生Ⅰ

〈オンデマンド・ブック〉
K. バルト著 天野 有訳
バーゼル大学神学部最終講義『和解論の倫理』遺稿の再構成。主の祈り講解形式で進められたユニークな展開、キリスト中心の強健な信仰が溢れる。
A5判 280頁 本体8800円 (98年)2013年 978-4-400-12107-7

キリスト教的生Ⅱ

K. バルト著 天野 有訳
『和解論』Ⅳで和解論の倫理の完成を目指したバルトの名著。「神の誉れを求める熱心」と題された 77 節は気宇壮大な講解である。
A5判 152頁 本体7200円 1998年 4-400-30266-2

晩年に贈られた友情

バルト・ツックマイアー往復書簡
宇野 元訳
死の 1 年半前 81 歳のバルトが文学者ツックマイアーに宛てた 1 通のファンレターから始まった友情。最晩年のバルトの肉声を伝える貴重な対話。
46判 140頁 本体1800円 2006年 4-400-32378-1

キリスト教倫理学総説Ⅰ /1

K. バルト著 吉永正義訳
1929-1931 年、二つの大学神学部で、心血を注いで試みた神学的倫理学講義の集大成。神の言葉、神の要求としての神の誠めに聴従する道を示す。
A5判 240頁 本体4000円 2000年 4-400-30267-9

キリスト教倫理学総説Ⅰ /2

K. バルト著 吉永正義訳
バルトが 40 歳代で講義した神学倫理（1928/29 年ミュンスター、29/30 年ボン）。本分冊では、「創造主なる神の戒め」の各論的主題を扱う。
A5判 290頁 本体5200円 2003年 4-400-30268-7

キリスト教倫理学総説Ⅱ /1

K. バルト著 吉永正義訳
いよいよ和解論の倫理に着手。ルター、カルヴァンと厳しく対論しつつ義認と聖化の問題をめぐる、和解主なる神の戒めと人間の責任を論ずる。
A5判 448頁 本体7200円 2003年 4-400-30269-5

キリスト教倫理学総説Ⅱ /2

K. バルト著 吉永正義訳
神の戒めに対する従順の行為は良心的で感謝に満ち、希望のうちに生きる現実である。バルトの「救済論」が凝縮された最重要書。
A5判 180頁 本体3200円 2005年 4-400-30270-9

国家の暴力について

死刑と戦争をめぐる創造論の倫理 〈新セ〉
K. バルト著 天野 有訳
1951 年刊行『教会教義学』Ⅲ /4「創造者なる神の戒め」で展開された創造論倫理のうち「死刑」「戦争」という国家的暴力の極限形態を論じる。
A5判 152頁 本体1800円 2003年 4-400-30679-7

ローマ書

〈オンデマンド・ブック〉
K. バルト著 吉村善夫訳
20 世紀神学の開始を告げたあまりにも有名なローマ書講解第 2 版の全訳。屈曲した原文に漲るさまざまな緊張を見事に伝える吉村訳も声価高い。
A5判 662頁 本体7900円 (67年)2013年 978-4-400-10215-1

<オ> = オンデマンド・ブック、<新セ> = 新教セミナーブック
<新コ> = 新教コイノーニア、<新ブ> = 新教ブックス

教義学要綱

〈新教セミナーブック〉

K. バルト著　井上良雄訳

1946 年、バルトがボン大学で、敗戦の痛手に悩むドイツの人々のために、キリストの恵みの自由な豊かさな心をこめて語った使徒信条講解。

A5判　208頁　本体2000円　1951年
978-4-400-30651-1

われ信ず

使徒信条に関する教義学の主要問題 〈新セ〉

K. バルト著　安積鋭二訳

ボン大学教授職停止を命じられたバルトが、翌35 年にオランダ・ユトレヒト大学で行った 16 回の講義。バルトの文字通り信仰告白的な名講義。

A5判　184頁　本体2200円　2003年
4-400-30671-2

キリスト教の教理

ハイデルベルク信仰問答による 〈新セ〉

K. バルト著　井上良雄訳

ドイツ敗戦後の 47 年にボン大学に招かれて行った講義。ハイデルベルク信仰問答の最良の解説であると同時に、バルト神学への入門書でもある。

A5判　140頁　本体2000円　1954年
4-400-30672-0

教会の洗礼論

〈新教セミナーブック〉

K. バルト著　宍戸　達訳

スイスの牧師、神学者たちに前に語られた歴史的名講演の記録。洗礼の本質、その力、意義、効果とは何か。聖餐問題を考える上でも必読の文獻。

A5判　96頁　本体1100円　2008年
978-4-400-30680-1

教会の信仰告白

ジュネーヴ教会信仰問答による使徒信条講解 〈新セ〉

K. バルト著　久米　博訳

大戦下、スイスの牧師たちにフランス語で行った講義の速記録。時にカルヴァンと対決しつつ、この偉大な改革者の真意を明らかにしようとする。

A5判　140頁　本体2000円　1971年
4-400-30673-9

神認識と神奉仕

スコットランド信条講解 〈新セ〉

K. バルト著　宍戸　達訳

伝統あるギフォード講演に招かれ（37/38 年）、ジョン・ノックスらの闘いが生んだ国民的信仰告白を、同時代の教会の課題に重ねて熟く語る。

A5判　208頁　本体2400円　1971年
4-400-30674-7

死人の復活

第一コリント書十五章の講義 〈新セ〉

K. バルト著　山本　和訳

1923 年のゲッティンゲンにおける講義。バルトの復活理解はもとより聖書釈義の特徴をよく示す初期の代表作の一。巻末の神学的自伝も感動的。

A5判　216頁　本体2400円　1981年
4-400-30675-5

ピリピ書注解

〈新教セミナーブック〉

K. バルト著　山本　和訳

1924 年、26/27 年に行ったピリピ書講義。キリスト教的生活に対する終末的信仰の意味を解明した、バルトのいわゆる「神学的釈義」の精髓。

A5判　180頁　本体2200円　1981年
4-400-30676-3

福音主義神学入門

〈新教セミナーブック〉

K. バルト著　加藤常昭訳

バーゼル大学での最後の講義（1961-62 年）。「神学の場所」「神学的実存」「神学の危険」「神学作業」の四部に分けて平明・簡潔にまとめる。

A5判　190頁　本体2200円　1968年
4-400-30678-X

地上を旅する神の民

バルト「和解論」の教会論 〈新セ〉

K. バルト著　井上良雄訳

カール・バルト「教会教義学」の第 4 巻「和解論」13 巻より特に教会の本質を論じた部分を抜粋編集したもの。教会論を体系的に学ぶための最適書。

46判　294頁　本体2500円　2008年
978-4-400-33432-3

カール・バルト＝滝沢克己往復書簡

1934-1968

寺園喜基訳

戦前から戦後にかけて、思想的な緊張をはらみながらも深い信頼に基づいて師弟の交わりを保った二人の、34 年に及ぶ 81 通の書簡を収録。

46判　275頁　本体2700円　2014年
978-4-400-31075-4

バルト関連書

翼をもつ言葉

説教をめぐるバルトとの対話

ウィリアム・ウィリモン著　宇野　元訳

北米を代表する実践神学者・説教者がバルトの説教および説教論と正面から取り組み、時にはバルトを批判しながら、徹底的に考察した大著。

A5判　460頁　本体5500円　2015年
978-4-400-32100-2

カール・バルトの教会論

信する神の民

佐藤司郎著

初期から後期に至る教会論の展開と深化を追跡し、内在する論理と歴史状況とを綿密に検討。バルト教会論を全体的に論じたわが国で初の労作。

A5判　416頁　本体5500円　2015年
978-4-400-31076-1

逆説から歴史へ

バルト神学におけるキリスト論的思惟の変貌

八谷俊久著

生成と展開が示すバルトの核心。初期『ローマ書』の逆説的キリスト論から後期「和解論」の新たなキリスト論の構想に至る巨大な神学的転換。

A5判　363頁　本体3600円　2015年
978-4-400-31079-2

カール・バルト

〈現代キリスト教の源泉〉

K. クーピッシュ著　宮田光雄／村松恵二訳

バルト神学形成と実存の姿を、思想環境や時代背景との関わりの中での確に位置づける。バルト神学の巨大な世界への簡潔で信頼に足る道案内。

46判　260頁　本体1900円　1994年
978-4-400-30576-7

バルト神学入門

E. ブッシュ著　佐藤司郎訳

バルト最晩年の助手を務めた最高の理解者による入門書。バルト神学の出発点から教会教義学にまで至る広大な世界をコンパクトに道案内。

46判　192頁　本体2000円　2009年
978-4-400-33100-1

日本におけるカール・バルト

敗戦までの受容史の諸断面

バルト神学受容史研究会編著

昭和初年から敗戦に至る四半世紀、教会、神学校から京都学派、SCM 運動等に至る広範な場で、バルトがいかにか読まれたかを検証した共同研究。

46判　506頁　本体4700円　2009年
978-4-400-21310-9

神　学

カール・バルトと現代

E. ブッシュ教授を迎えて 〈新教コイノーニア〉

小川圭治編

『K. バルトの生涯』の著者ブッシュ教授来日記録。バルト神学の今日的射程を、教会論・国家論に即して論じた講演・説教、日本側の応答を収録。

A5判　184頁　本体1358円　1990年
4-400-40707-1

和解と希望

告白教会の伝統における状況神学の試み

B. クラッパート著　寺園喜基編

「アウシュヴィッツ以後の神学」の建設に取り組む中で示される、バルトーボンヘッファアーの線にあるエキュメニカルな神学の現代的意味。

46判　480頁　本体5340円　1993年
4-400-32407-9

カール・バルトとユダヤ人問題

再び E. ブッシュ教授を迎えて 〈新コ〉

小川圭治／寺園喜基編

ブッシュが論じたバルトの反ナチ闘争の真相を日本の教会がどう受け止め神学的実存に生かすのか、その問題をめぐる講演・論文・説教・報告集。

A5判　152頁　本体1600円　2004年
4-400-40719-5

カール・バルトの生涯　改訂新版

1886-1968

E. ブッシュ著　小川圭治訳

バルトの生涯とそのダイナミックな神学の展開を、最晩年の助手が豊富な引用と共に 20 世紀の歴史的文脈に位置づけて描き切った大作。

A5判　768頁　本体8700円　1989年
4-400-32380-3

カール・バルトと反ナチ闘争 上巻

1933-1945 年　ユダヤ人問題を中心に

E. ブッシュ著　小川圭治他訳

バルメン宣言作成から、ボン大を追われてスイスに帰国するまでのナチズム批判、ユダヤ人問題認識の深化を、徹底的な資料精査によって描く。

A5判　368頁　本体6500円　2002年
4-400-42117-1

カール・バルトと反ナチ闘争 下巻

1933-1945 年　ユダヤ人問題を中心に

E. ブッシュ著　兩宮栄一他訳

スイス帰国後の活動を詳述。告白教会との連帯、難民救済事業への参加、反ユダヤ主義への批判から「イスラエルの神学」が生まれるまで。

A5判　392頁　本体6500円　2002年
4-400-42119-8

46判 240頁 本体1800円 1975年
4-400-32560-1 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

キリストに従う

〈新教セミナーブック〉

D. ボンヘッファー著 森 平太訳

ドイツ教会闘争の状況下で徹底的に考察されたキリスト信徒の道。著者生前（初版 1937 年）に出版された書物の中で主著ともいえるべき重要な書。

46判 380頁 本体3200円 1966年
978-4-400-30303-9

現代キリスト教倫理 増補改訂版

〈新教セミナーブック〉

D. ボンヘッファー著 森野善右衛門訳

1940 年代に書き始められ逮捕直前まで綴られた倫理学草稿の集成。「形成としての倫理」「究極のもの」と究極以前のもの」「教会とこの世」他。

46判 480頁 本体4000円 1978年
4-400-40304-1

キリスト論

〈ボンヘッファー選集 7〉

村上 伸訳

主として教義学的論考を精選。「社会的福音」「教会とは何か」「キリスト論」「宗教改革なきプロテスタンチズム」「洗礼の問題について」等。

B6判 435頁 本体3800円 1966年
978-4-400-30307-7

ボンヘッファー／マリーア

婚約者との往復書簡 1943-1945

U. カービッツ他編 高橋祐次郎／三浦安子訳

長く未公開だった幻の書簡集。婚約後 3 ヶ月足らずで逮捕され処刑されたボンヘッファーと、自立心溢れる婚約者マリーアとの 98 通の往復書簡。

A5判 480頁 本体6200円 1996年
4-400-30318-7

ボンヘッファー関連書

東アジアでボンヘッファーを読む

東アジア・ボンヘッファー学会 2013

日本ボンヘッファー研究会編

2013 年秋、東アジアから、さらにドイツ・ボンヘッファー学会会長も交えてボンヘファー研究者が集まった。その刺激的な研究発表と応答を収録。

A5判 180頁 本体1800円 2014年
978-4-400-32450-8

ボンヘッファー紀行

その足跡をたずねて

村上 伸著

ボンヘッファーゆかりの人々と土地を訪ね、その思想と行動を生き生きと伝える紀行的評伝。ボンヘッファー入門書としても格好の書である。

46判 248頁 本体2300円 2012年
978-4-400-30573-6

ボンヘッファーとその時代

神学的・政治学的考察

宮田光雄著

名著『ボンヘッファーを読む』に、婚約者との往復書簡にみる愛の構造や、社会主義政権下での受容史などの分析を増補。著者の研究の集大成。

A5判 430頁 本体3800円 2007年
978-4-400-30574-3

キリストの現実生きて

ナチズムと戦い抜いたボンヘッファー神学の全体像

鈴木正三著

ナチズム下に命を賭して教会的・政治的抵抗を闘ったボンヘッファーのキリスト服従の神学の核心を、その生成と展開に即して描く。

A5判 408頁 本体4500円 2006年
4-400-30320-9

告白と抵抗

ボンヘッファーの十字架の神学

森野善右衛門著

教会闘争の最前線で絶えず御言葉に聞き従い十字架の苦難を担ったボンヘッファーの告白と抵抗の神学を徹底的に追究。新しい希望の光を届ける。

46判 264頁 本体1800円 2005年
4-400-30319-5

ボンヘッファー伝 1

神学の魅力 〈オンデマンド・ブック〉

E. ベートゲ 村上伸訳

ボンヘッファーの盟友にして姪の夫でもあるベートゲの記念碑的な大作。伝記としても神学的分析としても、ボンヘッファー論の決定版である。

46判 333頁 本体3300円 (73年)2005年
4-400-34401-0

ボンヘッファー伝 2

キリスト者たるの価 上 〈オンデマンド・ブック〉

E. ベートゲ 雨宮栄一訳

大学私講師時代からロンドンのドイツ人教会牧師として働く 20 代後半、ナチ台頭と重なる緊迫した状況下での生活と思想形成を活写する。

46判 433頁 本体4100円 (73年)2005年
4-400-34402-9

ボンヘッファー伝 3

キリスト者たるの価 下 〈オンデマンド・ブック〉

E. ベートゲ 雨宮栄一訳

告白教会に連帯し牧師研修所所長として働くことから、ついにヒトラー暗殺計画に参与するに至る決定的な時期を、内外の情勢と併せて詳述する。

46判 454頁 本体4100円 (74年)2005年
4-400-34403-7

ボンヘッファー伝 4

ドイツの運命への参与 〈オンデマンド・ブック〉

E. ベートゲ 森野善右衛門訳

獄中書簡など豊富な資料を駆使して、逮捕から刑死に至るキリストの証人としての最後の歩みと神学思想の深化・発展を余すところ無く描く。

46判 588頁 本体5300円 (74年)2005年
4-400-34404-5

服従と抵抗への道 新版

ボンヘッファーの生涯

森 平太著

キリストへの徹底した服従の生涯を、豊かな資料と深い神学的理解に基づき、ドイツ教会闘争の中に動的に位置づけた伝記。新書版を改めて新装。

46判 254頁 本体3000円 (64年)2004年
4-400-42768-4

ボンヘッファー家の運命

その苦難・抵抗・勝利

S. ライプホルツ／G. ライプホルツ著 初宿正典訳

ボンヘッファーの双生児の妹ザビーネが、兄を回想しつつ、第二次大戦下の苦難を証言。夫ゲルハルトのボンヘッファー論を加えた貴重な資料。

46判 396頁 本体3200円 1985年
4-400-62338-6

ボンヘッファーの生涯

写真と著作による評伝

E. ベートゲ夫妻／Ch. グレメルス編 高橋祐次郎訳

500 枚以上の写真、著作・書簡・日記からの抜粋と解説によって、ボンヘッファーの生涯・時代・思想を余すところなく描き出した画期的評伝。

A4変型 256頁 本体6601円 1992年
4-400-30317-9

ボンヘッファーの神学

解釈・キリスト論・この世理解

E. ファイル著 日本ボンヘッファー研究会訳

ボンヘッファー神学の包括的研究としては最高の秀作の誉れが高い。方法論の提示に始まり、キリスト論の位置づけ、将来的展望と問題提起に及ぶ。

46判 500頁 本体5800円 2001年
4-400-32109-6

平和の神学

キリストの現実からの倫理

H. E. テート著 日本ボンヘッファー研究会訳

ハイデルベルク大学教授テートが、痛切な戦争体験と広い神学倫理の学殖に立ち、平和問題に焦点を合わせて、自由なキリスト者の生きざまを追及。

46判 408頁 本体3200円 1984年
4-400-42335-2 僅少

ボンヘッファーと日本

ベートゲ 80 歳祝賀論文集

村上 伸／森岡 巖／森野善右衛門編

ベートゲの 80 歳を祝ってその志につらなる日本とドイツの研究者が相呼応し、今日、共に生きかつ戦う意義と課題を真剣に追究した論文 20 篇録。

46判 380頁 本体3300円 1989年
4-400-41526-0

社会倫理と霊性

大庭昭博著

教会の宣教の現場で出会う問題と、ボンヘッファーが残した信仰と実践、特に教会論と深い霊性に生かされて格闘した教会的・神学的実践の総括。

46判 240頁 本体2200円 1998年
4-400-42446-4

D. ボンヘッファーの政治思想

抵抗と再建の論理と倫理

山崎和明著

責任参与の神学倫理が成立する過程を綿密な資料分析によって検証し、「世」の概念によるその論理を総体的に論じ切った類を見ない労作。

A5判 360頁 本体5000円 2003年
4-400-42739-0

この世的に生きるキリスト者

ボンヘッファーの幻

M. クスケ著 日本ボンヘッファー研究会訳

東ドイツの困難な状況下で、ボンヘッファーの思想に触発されつつ、キリスト者が「この世的に」生きる可能性を追求した真摯な試み。

46判 316頁 本体3300円 1991年
4-400-42376-X

【ティリッヒ組織神学】

組織神学 第一巻

P. ティリッヒ著 谷口美智雄訳

ティリッヒの名著の全訳。「序論」で「相関関係」の方法を提示、第1部「理性と啓示」、第2部「存在と神」で、啓示と理性論の上に神論を構築。

A5判 386頁 本体5300円 1969年
4-400-30521-X

組織神学 第二巻

〈オンデマンドブック〉

P. ティリッヒ著 谷口美智雄訳

第3部「実存とキリスト」。人間の实存様態が精緻に分析され、人間にとっての「キリストの現実性」が全面的に論じられる。

A5判 239頁 本体5000円 (69年)2010年
978-4-400-34282-3

組織神学 第三巻

(オンデマンド準備中)

P. ティリッヒ著 土居真俊訳

第4部「生と霊」、第5部「歴史と神の国」のもと、生の諸次元における聖霊の働きや、歴史との関連でカイロス概念をめぐる雄渾な思索が展開。

A5判 570頁 本体6600円 1984年
4-400-30523-6

ティリッヒ関連書

ティリッヒの『組織神学』研究

藤倉恒雄著

『組織神学』全体と真向から対峙し、その全体的思考構造を厳密に分析、独自の〈宗教哲学〉の本質と全貌を提示した本格的なティリッヒ神学研究。

A5判 250頁 本体3500円 1988年
4-400-31056-6

ティリッヒの神と諸宗教

〈現代神学双書〉

藤倉恒雄著

『組織神学』後に構想された「具体的な霊（性）の宗教」を基に、「新しい存在」と「諸宗教との対話」へと展開していく神学的な論理を辿る。

B6判 272頁 本体2717円 1992年
4-400-33075-3

ティリッヒの人間理解

茂 洋著

前著『ティリッヒの組織神学の構造』（1971年）を基礎に、ティリッヒの説教の検証のもとに、その人間理解と終末観、文化観を究明した力作。

A5判 300頁 本体4000円 1986年
4-400-31045-0

ティリッヒ神学における存在と生の理解

茂 洋著

「自分の神学を聖霊論から再構成してみたい」と語ったティリッヒの「存在」理解の基礎となる生の理解の追究を試み、聖霊論への可能性を探る。

A5判 152頁 本体2000円 2005年
4-400-32771-X

【モルトマン組織神学論叢】

三位一体と神の国

神論 〈組織神学論叢 1〉

J. モルトマン著 土屋 清訳

キリスト教的唯一神論を厳しく批判し、三一論の神学の今日的意義を「開かれた」「社会的・歴史的な三位一体論」の形で展開する意欲作。

46判 404頁 本体4500円 1990年
4-400-30525-2

神の到来

キリスト教的終末論 〈組織神学論叢 5〉

J. モルトマン著 蓮見和男訳

現代社会と宗教最大の問題である終末論を人間と社会の新しい創造の問題と捉え、個人的・歴史的・宇宙的終末論の壮大な構想を展開する。

46判 600頁 本体6600円 1996年
4-400-30529-5

神学的思考の諸経験

キリスト教神学の道と形 〈組織神学論叢 6〉

沖野政弘訳

モルトマンの組織神学体系の掉尾を飾る方法論の開示。あらゆる立場、解釈、人や出来事との出会いの経験から、神学とは何かを徹底的に論じる。

46判 480頁 本体6400円 2001年
4-400-30530-9

モルトマンの著作

希望の倫理

J. モルトマン著 福嶋 揚訳

テロ、戦争、貧困、環境破壊、生命操作など課題山積の21世紀を生きるための終末論的倫理。『希望の神学』でデビューした著者の神学的総決算。

46判 470頁 本体4000円 2016年
978-4-400-40738-6

わが足を広きところに

モルトマン自伝

J. モルトマン著 蓮見幸恵／蓮見和男訳

生い立ち、戦争と虜囚、修学と神学形成、その後の独創的な思想展開などをつぶさに記した神学的自伝。20世紀神学史としても興味尽きない。

A5判 552頁 本体5700円 2012年
978-4-400-32043-2

科学と知恵

自然科学と神学の対話

J. モルトマン著 蓮見和男・蓮見幸恵訳

科学技術の発展にとっての神学知の意義を、東洋的な自然観とも積極的に対話しつつ、聖書的な創造観の豊かな可能性を示唆しながら提示する。

46判 320頁 本体2800円 2007年
978-4-400-32042-5

希望の神学

キリスト教的終末論の基礎づけと帰結の研究

J. モルトマン著 高尾利数訳 〈オ〉

ブロッホと深く対話しつつキリスト教固有の未来的終末論を積極的に捉えその実践的意味を解明。希望の宗教としてのキリスト教を力強く弁証。

46判 490頁 本体5800円 1968年
4-400-30775-1

十字架につけられた神

〈オンデマンド・ブック〉

J. モルトマン著 喜田川信他訳

不受苦の神観念に異議申し立てをし、神に棄てられた中で死んで行ったイエスを神論の重要な次元として取り上げた問題作。

46判 530頁 本体5800円 (76年)2006年
978-4-400-30776-1

聖霊の力における教会

〈オンデマンド・ブック〉

J. モルトマン著 喜田川信他訳

解放の神学の基礎共同体論から大きな刺激を受けつつ、世界を革新する力としての聖霊論の視点から構築されたモルトマン渾身の教会論。

46判 582頁 本体5200円 (81年)2005年
4-400-34276-X

終りの中に、始まりが

希望の終末論

J. モルトマン著 蓮見幸恵訳

モルトマンが牧会者・教育者として、自らの終末論神学を平易に説く。個人の死後から世界全体の将来の運命までを貫く、希望の終末論。

46判 270頁 本体2700円 2005年
4-400-32134-7

いのちの泉

聖霊といのちの神学

J. モルトマン著 蓮見幸恵訳

組織神学論叢 4『いのちの御霊』の聖霊論をふまえて、現代人にとっての聖霊の意味と働きを平易かつ的確に語り、霊性溢れる生活の道を示す好著。

46判 240頁 本体2600円 1999年
4-400-32040-5

現代の終末論とフェミニズム

日本講演集 1996 〈新教コインーニア〉

E. モルトマン＝ヴェンデル／J. モルトマン著

1996年10月来日のモルトマン夫妻による講演会の記録。終末論の神学とフェミニズムの創造を論じ、日本の神学の応答に立って神学の将来を展望。

A5判 180頁 本体2000円 1997年
4-400-30715-8

政治的宗教と政治的神学

J. モルトマン／J. B. メッツ著 蓮見和男訳

カトリック、プロテスタントの俊英が、現代宗教の政治的形態である「非政治的宗教」の政治性を批判し、行動的な十字架の神学を展開する。

小B6判 164頁 本体1200円 1980年
4-400-32596-2

人への奉仕と神の国

J. モルトマン著 蓮見和男／芳賀繁浩訳

不安に満ちた現代、人間同士が助けあって生きて行くことの可能性を、弱い者、苦しむ者、精神的・肉体的に痛みを持つ者の立場から探究。

46判 180頁 本体1600円 1996年
4-400-52025-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
モルトマン関連書

現代プロテスタンティズムの政治思想 R. ニーバーと J. モルトマンの比較研究 千葉 眞著 20 世紀の政治と苦闘した神学者 R. ニーバーと J. モルトマンの神学の核心に迫り、そのキリスト教的政治思想の現代における有効性を検証する。 B6判 448頁 本体5500円 1988年 4-400-31051-4

神・キリスト・悪 現代キリスト教思想の問題点 〈現代神学双書〉 喜田川信著 リクール、バルト、モルトマンと対話し、特にリクールの解釈学から悪の問題に取り組み、キリストにおける神の現実性を指し示した意欲作。 B6判 256頁 本体2500円 1996年 4-400-33079-6
--

人類に希望はあるか 21 世紀沖縄への提言 〈新教コイノーニア〉 J. モルトマン著 モルトマン博士招聘委員会編 新しい戦争の世紀―21 世紀―にモルトマンが「辺境」沖縄で苦しみ闘う兄弟姉妹との触れ合いを通して、現代に生きる苦難と喜びの意味を伝える。 A5判 100頁 本体1200円 2005年 4-400-40721-7

【ウェスレー著作集】

新約注解 上 〈ウェスレー著作集 1〉 松本卓夫／小黒 薫訳 ウェスレーが、大衆に読みやすく私訳し簡明な注解を加えた新約聖書注解。エズワース版を底本とし、聖書本文の翻訳を松本卓夫が担当。 B6判 548頁 本体4500円 1979年 4-400-10326-9 僅少
--

新約注解 下 〈ウェスレー著作集 2〉 松本卓夫／草間信雄訳 上巻（マタイ伝～使徒行伝）に続き、下巻にはローマ書以下を収録。古典的注解が、ウェスレーの敬虔な霊的信仰を鮮明にしている。 B6判 578頁 本体3500円 1979年 4-400-10327-7

説 教 上 〈ウェスレー著作集 3〉 野呂芳男訳 メソジズムの信仰教理の標準をなすウェスレーの代表的説教 53 編の全訳を 3 巻に収録。メソジストの信仰等を聖書に基づき平明に説き明かす。 B6判 509頁 本体2900円 1961年 4-400-10328-3
--

説 教 中 〈ウェスレー著作集 4〉 野呂芳男訳 上巻につづいて「山上の説教について」の後半部分、「信仰によって確立される律法」「宗教的勲狂の質」「キリスト者の完全」等 18 篇を収録。 B6判 344頁 本体2900円 1963年 4-400-10329-1

ウェスレー関連書

ウェスレーと聖化 H. リントシュトレーム著 野呂芳男監訳 プロテスタンティズムの一方の支柱、英国に生まれたウェスレー神学の特徴を、贖罪・義認・聖化に基づくキリスト者の完全として豊かに展開。 46判 418頁 本体3494円 1989年 4-400-30377-2
--

ウェスレーの聖霊の神学 L. M. スターキー著 山内一郎／清水光雄訳 ウェスレーの信仰と伝道生活全体に溢れる聖霊の働きの教理と体験を総合的に検討し、その教会史的位置づけ、現代に対する神学的意義を考察。 46判 308頁 本体3000円 1985年 4-400-30376-4
--

キリスト教と人間形成 ウェスレー生誕三〇〇年記念 青山学院大学総合研究所編 ウェスレーの衣鉢を継ぐ立場からいかなる教育思想が可能か。聖書学から神学、教育学などにまたがる 8 名の寄稿者による学際的研究の成果。 46判 360頁 本体2500円 2004年 4-400-42757-9
--

宗教と労働者階級 メソジズムと英国労働者階級運動 1800-50 年 R. F. ウィアマス著 岸田 紀他訳 英国 19 世紀前半の労働運動の指導者の堅実な徳性と組織、その背景をなすメソジズムの組合組織を中核とする宗教的・政治的組織との関係を論究。 46判 384頁 本体3882円 1994年 4-400-40378-5
--

【トウルナイゼン著作集】

ヤコブの手紙 〈トウルナイゼン著作集 2〉 池永倫明訳 開戦直前の緊張高まる中、ユダヤ人難民救援に携わりながら語られた講解説教。堅実な釈義と福音への応答的視点に貫かれたヤコブ書講解の傑作。 46判 300頁 本体2200円 1987年 4-400-10552-2
--

説 教 〈トウルナイゼン著作集 3〉 浅井 力訳 牧会者と同時に説教者として、神の言葉に聴き従おうとするその真剣な姿勢から生まれた預言者的で祭司的な喜びと慰めに満ちた説教 35 篇。 46判 320頁 本体2500円 1988年 4-400-10553-9

神の言葉と教会 神学論文集 〈トウルナイゼン著作集 4〉 池永倫明訳 バルトの無二の友として、弁証法神学を創唱した著者のキリスト中心的な神学的・教会的・政治的・社会的実存を開示した論文集（1935 年）。 46判 322頁 本体2620円 1990年 4-400-10554-7
--

神 学 ブルームハルト・ドストエフスキー・バルト 〈トウルナイゼン著作集 6〉 永野羊之輔／国谷純一郎／武田武長訳 ドストエフスキーの文学思想、ブルームハルトの神の国の信仰と実践、初期バルトの社会主義との格闘に即して打ち立てた独自の信仰と神学。 46判 300頁 本体2200円 1987年 4-400-30556-X

解放の神学・民衆の神学

インドネシア教会の宣教と神学 開発と対話と解放の神学の間で 木村公一著 貧困と開発独裁の狭間で苦悩し宣教の課題に挑戦するインドネシアの神学者たちを活写。独特な宗教・政治・経済状況の中の教会を綿密に分析。 A5判 392頁 本体3000円 2004年 4-400-32755-8

いのちの神 G. グティエレス著 大倉一郎／林 巖雄訳 解放の神学の代表的論客による神論。いのちを支える恵みの神、そしていのちを守る正義の神のイメージを語る。その言葉は聖書的かつ革命的。 A5判 340頁 本体5600円 2000年 4-400-32101-0
--

正義と愛の御国を ソレンチナーメの農民による福音書Ⅱ E. カルデナル著 北條元子訳 中米ニカラグア・ソレンチナーメに成立した労働と祈りの共同体で、カルデナル神父が貧しい農漁民たちと行った聖書研究 28 篇を収録。 46判 342頁 本体2523円 1989年 4-400-32381-1

民衆が時代を拓く 民衆神学をめぐる日韓の対話 富坂キリスト教センター編 80 年代、世界の神学に衝撃を与えた韓国の民衆神学をめぐり、日韓の神学者が、数年にわたり討論を試み、対話を重ねてきた共同研究の記録。 46判 370頁 本体2717円 1990年 4-400-41529-5 僅少

民衆神学の形成と展開 1970年代を中心にして 朴 聖煥著 韓国民主化運動に参加して13年の獄中生活を送った著者が、民主化闘争の中から生まれた韓国固有の神学思想の成立と展開を記した労作。 46判 420頁 本体4000円 1997年 4-400-32429-5

民衆神学の探究

徐 南同著 金 忠一訳 民衆神学の担い手の一人であり、その道半ばにして夭逝した徐南同教授の、民衆神学の発端となった論稿から遺稿までを集大成した論文集。 46判 472頁 本体4368円 1989年 4-400-31527-4 僅少
--

民衆神学を語る

安 柄茂著 桂川 潤／趙 容来訳 民衆神学の開拓者の一人が、1945年の解放以後の波乱に富んだ人生と神学的模索、それがもたらした新しい信仰の展望を縦横に語った対論集。 46判 306頁 本体3688円 1992年 4-400-31534-7

民衆の神学をめざして

CCA 都市農村宣教部編 劣悪な労働条件にあえぐ工場で、強制退去を迫られているスラムで、民衆の生存と人権を求める命がけの戦いから生まれた、アジアの現場の神学。 B6判 270頁 本体1800円 1983年 4-400-32324-2 僅少
--

自由への旅

女性からみた人間の解放 L. M. ラッセル著 秋田聖子・奥田暁子他訳 女性解放運動への取組みから生まれた自由への洞察。支配・従順・対立の古い枠組を破り、男性と女性が解放への共闘者として歩むことを訴える。 46判 224頁 本体1300円 1983年 4-400-32321-8 僅少
--

女の語る神・男の語る神

E. モルトマン＝ヴェンデル／J. モルトマン著 内藤道雄訳〈新教ブックス〉 フェミニスト神学が直面する課題を、モルトマン夫妻が講演、インタヴュー等で縦横に論じ、夫妻してこの複雑微妙な問題に、新しい光をあてる。 46判 176頁 本体1800円 1994年 4-400-32484-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

教会の性差別と男性の責任

フェミニズムを必要としているのは誰か 〈新ブ〉 R. ホロウェイ著 小野功生／中田元子訳 キリスト教の基本教義に対する内部からの挑戦としてのフェミニズムに真摯に応答すべく、英国を代表する11人の神学者・牧師が対論する。 46判 312頁 本体2800円 1995年 4-400-42485-5
--

【21世紀キリスト教選書】

出エジプトと解放の政治学

M. ウォーザー著 荒井章三訳 出エジプト物語を政治学的に分析。政治思想史に繰り返し登場する脱出・革命のイメージの源流を探りながら、解放の政治学との関連を提示する。 46判 240頁 本体2200円 1987年 4-400-32451-6
--

乳と蜜の流れる国

フェミニズム神学の展望 E. モルトマン＝ヴェンデル著 大島かおり訳 父権制社会の歪みの克服を目指して、両性が連帯できる「乳と蜜の流れる国」への道を探り、21世紀に向かう教会の未来像を探究した名著。 46判 296頁 本体2800円 1988年 4-400-32452-4
--

アメリカ教会の現実と使命

プロテスタント主流派・福音派・カトリック M. E. マーティー著 三宅威仁訳 アメリカ教会史の大家が、多元化社会の典型である諸教会の現状を分析、信仰共同体の社会的参与のあり方を探りその将来像を提示する。 46判 358頁 本体3203円 1990年 4-400-42455-3

神を考える

現代神学入門 D. ゼレ著 三鼓秋子訳 果敢な実践と芸術への造詣によって著名な女性神学者が、現代世界の諸問題との折衝の中から信仰の可能性を追求した清新な神論。 46判 336頁 本体3300円 1996年 4-400-32458-3
--

性差別と神の語りかけ

フェミニスト神学の試み R. リューサー著 小楡山ルイ訳 既成の神学の方法・内容をラディカルに捉え直してその再構築をはかった、フェミニスト神学の古典ともいへべき記念碑的名著。 46判 372頁 本体4300円 1996年 4-400-32459-3
--

教会・牧会・礼拝

合同教会の「法」を問う

北村慈郎牧師の戒規免職無効確認等請求訴訟裁判記録 北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会編 原告側の陳述書を中心とした裁判記録であると同時に、裁判で問われた本質的な問題＝「教会法」と「戒規」をより根源的に考察する資料でもある。 B5判 256頁 本体1700円 2016年 978-4-400-32455-3
--

教会・牧会・礼拝

インクルーシブ神学への道

開かれた教会のために 鈴木文治著 障害児教育に長年携わり、教師また牧師としてインクルージョンの実現に取り組んできた著者が綴る、教会を開かれた場とするための実践と思想。 46判 217頁 本体2000円 2016年 978-4-400-32454-6
--

島の小さな教会

多摩美術大学環境デザイン学科編著 瀬戸内海に浮かぶアートの島として知られる直島にユニークな教会堂が建った。その建築に込められた祈りとコンセプトを美しい写真と共に紹介。 B5判 108頁 本体2000円 2016年 978-4-400-82801-3

悲しみに寄り添う

死別と悲哀の心理学 K. ラマー著 浅見 洋、吉田 新訳 悲しみとは何か。心理学諸家との対話や実践例を通し従来の段階モデルに代えて課題モデルを提示。悲しみを乗り越える道を共に考える入門書。 46判 168頁 本体1800円 2013年 978-4-400-40727-0

牧会カウンセリング入門

有馬式夫著 日本聖書神学校での名講義と『福音と世界』の好評連載をまとめた32講。著者自身の血のにじむ実践に裏打ちされた独自の理論を平易に説く。 46判 222頁 本体2200円 1996年 978-4-400-42419-2

自殺者の遺族として生きる

キリスト教的視点 G. L. カー／G. C. カー著 川越敏司訳 義理の娘の自殺から遺族になった夫妻がその喪のプロセスを克明に記録。また「自殺は大罪」という神学を克服し、遺族に真の慰めを与える。 46判 180頁 本体2000円 2010年 978-4-400-42709-4

自立と共生の場としての教会

北村慈郎著 未受洗者にも聖餐を行い、日本基督教団から退任勧告された著者が、問題の本質を見据えつつ自身の信仰観、宣教観に基づいて教会的実存を問う。 46判 210頁 本体1800円 2009年 4-978-4-400-32444-7
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
牧師 その神学と実践 W. ウィリモン著　越川弘英／坂本清音共訳 米国を代表する実践神学者による待望の牧師論。牧師の仕事を手11の側面から、その課題と方法を実践的・聖書的・神学的に語る渾身の書。 A5判　580頁　本体5000円　2007年 978-4-400-32111-8
教会論 上 〈オンデマンド・ブック〉 H. キュンク著　石脇慶総／里野泰昭訳 著者はカトリックの改革陣営を代表する著名な神学者。上巻では教会の現状・問題点を剔抉した上で新約の教会像からその本質論を追究する。 A5判　453頁　本体6200円　(76年)2003年　4-400-30760-3
教会論 下 〈オンデマンド・ブック〉 H. キュンク著　石脇慶総／角田信三郎訳 下巻では「一つなる・普遍的な・聖なる・使徒的」教会の諸次元をめぐって考察が深まる。最後に教会における「奉仕」で大作は締めくくられる。 A5判　406頁　本体5500円　(77年)2003年　4-400-30761-1
信徒の神学 〈オンデマンド・ブック〉 H. クレーマー著　小林信雄訳 第二次大戦直後「信徒は凍結資産になっている」と大胆な診断を下し既成教会の教職中心主義を批判し教会革新を訴えた。未だに新しい問題提起。 46判　246頁　本体3200円　1960年 4-400-30779-4
教会であること 21世紀のエキュメニズム〈新教ブックス〉 K. ライザー著　三村　修訳 世界教会協議会（WCC）総幹事が、現代世界と教会が直面する困難に、エキュメニカルな信仰と連帯によって大胆に取り組もうと訴える。 46判　180頁　本体2100円　2000年 4-400-42046-9

エクレシアの探求

量　義治著 大きな転換期にさしかかった無教会主義の現実の中で、聖書に立ち返りつつエクレシアの真理を探求し、新しい集会形成の実験を試みた収穫の報告。 46判　316頁　本体3800円　2001年 4-400-32718-3
--

罪責を担う教会の使命 井上良雄献呈論文集 雨宮栄一／森岡　巖編 教会の戦争責任と戦後責任の告白と悔改めに立って、新しい教会の使命、宣教の課題、政治的責任を担う根拠と方向を模索した力作の論文 14 篇。 46判　372頁　本体2800円　1987年 4-400-41522-8
今、教会を考える 戦争責任と戦後責任を担うために 渡辺信夫著 学徒出陣の世代として、苦しみながら歩み続けて来たその経験と問題を、教会の戦争責任、戦後責任に集中して考察、新しい教会形成の道を指示。 46判　490頁　本体3600円　1997年 4-400-41240-7
告白する教会を求めて 池田　伯著 日本基督教団所属の教会の悩みにあずかるべく、「告白する教会」を掲げて現場で苦闘してきた著者 20 年の探求から生まれた実践的教会論の試み。 46判　296頁　本体2426円　1991年 4-400-31971-7
河原の教会にて 戦争責任告白の実質化を求め続けて 大倉一郎著 川崎の河川敷内に建てた教会の立場と経験から、その町に住む人々に刻まれた日本の近現代史の跡を偲び、そこで共に生きる所に刻む宣教の証言。 46判　160頁　本体1600円　2000年 4-400-51593-1
教会の告白と実践 実践神学序説 森野善右衛門著 世のために生きる教会の実践的課題の領域を、教会の現場から捕らえ、宣教、教育、牧師と信徒、訓練、生活と祈り等の諸問題に、光を当てた労作。 46判　310頁　本体3000円　1999年 4-400-31070-1

福音宣教の使命に生きる教会

松田和憲著 世紀末、宣教への課題を問われる教会の使命に生きるため、戦後の宣教の経験を検証し、大胆な神学的・現実的展望を開示、教会の可能性を提示。 46判　240頁　本体2200円　1990年 4-400-32448-6

現代の宣教と伝道 エキュメニカルな視点から〈教会と宣教双書〉 WCC 世界宣教・伝道委員会編著　松田和憲訳 宣教と伝道はどう違うのか。人間への奉仕と証しの課題を担うため、世界教会の経験に学びつつ伝道と宣教の可能性を探究する方向を指し示す。 B6判　178頁　本体1552円　1991年 4-400-33433-8

現代の宣教と聖書解釈

〈教会と宣教双書〉 渡辺英俊著 現代新約学の成果を宣教の現場に生かす道はあるのか。現場からの間に新約学はどう応答して行けるのか。この困難な問いに正面から取り組む。 B6判　250頁　本体1800円　1986年 4-400-33429-5

旅人の時代に向かって 二十一世紀の宣教と神学　〈新教ブックス〉 渡辺英俊著 大きな転換の時代に向かっていかなる福音を語るべきか。安定と保身を事とする日本の教会への厳しい批判とアジアの状況を踏まえた大胆な試論。 46判　242頁　本体2800円　2001年 4-400-32488-5　僅少

世のために存在する教会

戦争責任から環境責任まで 武田武長著 教会が教会であるための責任の根拠を日独教会の歴史から考える。教会の戦争責任、現代の教会の環境問題に答える新しい信仰告白への模索の跡。 46判　244頁　本体2200円　1996年 4-400-42413-8

教会教育による教会形成 大森めぐみ教会の場合 岩村信二／森岡清美著 1927 年創立の大森めぐみ教会 65 年の歴史を、「教会教育」に基づいて、主任牧師と宗教社会学者が共同で、分析・総括したユニークな研究の試み。 46判　272頁　本体2500円　1995年 4-400-31586-X
--

恵みの契約

カンバーランド長老教会 1984 年信仰告白講解 H. W. マロウ著　松本雅弘訳 1810 年、ウェストミンスター信条の選びの条項の新解釈をもって出発した契約共同体が、更に 1984 年に新しく起草した信仰告白の懇切な解釈。 46判　334頁　本体3200円　2000年 4-400-52670-4

教会・牧会・礼拝
礼　　拝

洗礼とはなにか その今日の問題を問う R. ロイエンベルガー著　宍戸　達訳 幼児洗礼否定論を真摯に受けとめつつ、現代の教会状況との関連で、幼児・成人双方の洗礼の意義を説く。教会教育のあり方に徹底的な反省を迫る。 46判　282頁　本体2600円　2012年 978-4-400-32431-7

聖書から聖餐へ 言葉と祭儀をめぐって G. タイセン著　吉田　新訳 「御言葉と sacrament」が中心的命題。現代人にとって意味ある聖書の読み方、礼拝の方法を考える。日本語版オリジナル編集企画。 46判　224頁　本体2500円　2010年 978-4-400-11149-8

聖餐の豊かさを求めて

山口雅弘編　廣石　望　高柳富夫　山口里子　禿　準一他 すべての人に開かれた聖餐を模索する執筆陣が、具体例、説教例を交え、実践神学、組織神学、聖書学などさまざまな観点から論議の焦点に迫る。 A5判　250頁　本体2200円　2008年 978-4-400-32441-6
--

聖餐　イエスのいのちを生きる 57 人の発言　新教コイノーニア 24 高柳富夫　禿　準一編 非受洗者にも開かれた聖餐を行ってきた牧師が教師退任勧告を受けた。それは正しいのか。この現状に疑問を抱く 57 名の教職と信徒の見解集。 A5判　170頁　本体1500円　2008年 978-4-400-32443-0

ユーカリスト 神の国の sacrament A. シューママン著　松島雄一訳 著者はソルジェニツインが信頼を寄せた 20 世紀を代表する正教会神学者。神の愛の機密（ sacrament）を通して語る聖餐（ユーカリスト）論。 46判　368頁　本体3000円　2008年 978-4-400-32121-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

賛美歌にあった「君が代」

石丸　新著

明治22年山下樞之介編『讃美歌』から昭和18年『興亜少年讃美歌』までを、綿密な書誌的調査によって追い、信教の自由と平和について問う。

46判　200頁　本体1700円　2007年
978-4-400-21303-1

日本の説教者たち

日本キリスト教説教史研究

加藤常昭著　〈オンデマンドブック〉

植村正久、海老名弾正、山室軍平、宮川経輝、高倉徳太郎の5名を説教論の観点から分析した、実践神学・歴史神学の面でも開拓的な労作である。

46判　397頁　本体4300円　（72年）2007年
978-4-400-26000-4

説教学講義

イーヴァント著作選 1

H. J. イーヴァント著　加藤常昭訳

ナチ下の非法牧師研修所で若き牧師たちに語られた講義。説教の本質から実践的アドバイスを及ぶ緊張感に満ちた濃密な講義。

46判　256頁　本体2600円　2009年
978-4-400-30560-6

改革派説教学ノート

吉岡　繁著

改革派説教の本質論から、内容、構成、作成、演述までを平易な言葉で説き明かす。長年の説教者、神学教師としての研鑽が生んだ説教学の集大成。

46判　217頁　本体1800円　2006年
4-400-32435-4

新約聖書の礼拝

初期教会におけるその形を尋ねて

F. ハーン著　越川弘英訳

初期教会の礼拝における驚くほどの多様さの中から標準形が次第に形づくられていく過程をつぶさに追跡。68年発表以来読み継がれる基礎的文献。

46判　180頁　本体2000円　2007年
978-4-400-32438-6

礼拝学概論

由木　康著　松山與志雄解説

礼拝を祭司的傾向と預言者の傾向という2側面から考察し、その緊張関係を通して礼拝発展史を鮮やかに記述した名著。改版に際し解説を付した。

46判　320頁　本体2500円　2011年
978-4-400-33016-5

礼拝論入門

説教と司式への実践的助言

W. ウィリモン著　越川弘英／岩見育子訳

「信徒と共に礼拝を作り出す」プロセスを、教会形成と信仰形成に関わる本質的課題として位置づけ、礼拝における牧師の基本的任務を再確認。

46判　168頁　本体1800円　1998年
978-4-400-32437-9

言葉と水とワインとパン

キリスト教礼拝史入門

W. ウィリモン著　越川弘英訳

礼拝のあり方が初代教会以来現代までどのような変遷を辿ったかを豊富な情報で綴る。手頃な礼拝史であり、同時に優れた礼拝本質論でもある。

46判　220頁　本体2600円　1999年
978-4-400-22042-8

牧会としての礼拝

祭司職への召命

W. ウィリモン著　越川弘英訳

葬儀・結婚式・洗礼・聖餐など教会の日常的な礼拝行為を牧会という大きな文脈の中で捉え直し、礼拝と牧師職の本質を問うた問題提起の書。

46判　320頁　本体3300円　2002年
4-400-32110-X

洗礼論概説

〈現代神学双書〉

E. シュリンク著　穴戸　達訳

世界の教会の洗礼論の理解と実践を広く吟味・検討し、それを歴史的・神学的に総合した上で、教会の生命としての洗礼の必然性と意義を開示。

B6判　390頁　本体3500円　1988年
4-400-33072-9

祈　り

その神学と実際

長崎　巍著

長年にわたって発行し続けた伝道誌『恵の時』の中で、特に祈りの意味の探求に取り組んできた成果を、熱い祈りのこもった祈祷論として提示。

46判　316頁　本体2718円　1989年
4-400-31960-1　僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

日本的プロテスタンティズムの政治思想

無教会における国家と宗教

柳父閑近著

近代日本が国民国家を形成する激動期に「2つのJ」という永遠の課題に立ち向かった内村・南原・矢内原・大塚という4人の無教会人の足跡を追う。

46判　387頁　本体3800円　2016年
978-4-400-42772-8

教会と戦争

川端純四郎著

著者が残した数多くの論文、エッセイ、講演録などから28編を精選、多面的な活動の根底にあった信仰と思想の全体像を描き出す一書。

46判　434頁　本体2500円　2016年
978-4-400-21322-2

キリストが主だから

いま求められる告白と抵抗

山口陽一・朝岡　勝著　新教コイノーニア 32

安倍政権の施策を壊憲政治と批判し、第二次大戦下の教会の過ちに学びつつ、今やキリスト者の「抵抗権」と「信仰告白」に関わる事態だと訴える。

A5判　76頁　本体700円　2016年 978-4-400-40739-3

権利論

レフト・リバタリアニズム宣言

H. スタイナー著　浅野幸治訳

森村進氏（一橋大）曰く「分析的政治哲学の一頂点」。ロールズ正義論以後の自由と平等をめぐる議論に徹底した論拠から一つの見通しを示す名著。

A5判　496頁　本体5000円　2016年
978-4-400-40740-9

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

日本国を建てるもの

信仰・教育・公共性

梅津順一著

近代日本のキリスト教、日米キリスト教大学の歴史を振り返りつつ、信仰と社会科学の二つの足場から、日本の将来の精神的基軸を構想する力作。

46判　360頁　本体2800円　2016年
978-4-400-21324-6

バルメン宣言の政治学

宮田光雄著

信仰告白によってナチズムと闘った教会から何を学ぶことができるか。ドイツ教会闘争の研究に半生をかけてきた著者の熱い思いが伝わる講演録。

B6変判　50頁　本体500円　2014年
978-4-400-40733-1〈品切〉

ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの贖罪論

大森講座 29

川上直哉著

「犠牲」という観念を含む贖罪論は原発の過酷事故に苦しむ福島において何を意味するか。フォーサイスの贖罪論、救済論、社会倫理等と対話する。

46判　291頁　本体1300円　2015年
978-4-400-31703-6

今、なにをなすべきか

隅谷三喜男に学ぶ

姜　尚中・和田春樹・加山久夫著

日本がアジアの中で孤立と反動化を深めつつある今、隅谷没後10年を覚え、その志を継ごうとする三氏が熱く語った東京女子大での講演録。

A5判　80頁　本体1000円　2015年
978-4-400-40736-2

自民党改憲草案を読む

自民党改憲草案・日本国憲法付録

横田耕一著

憲法学者が自民党改憲草案を丹念に解説し、立憲主義を否定するその危険な本質を明らかにし、私たち自身の憲法理解を深める。今必読の書。

A5判　132頁　本体900円　2014年
978-4-400-40732-4

なぜ「秘密法」に反対か

開かれた平和な国のために祈りつつ（新コ 28）

特定秘密保護法に反対する牧師の会編

2013年12月6日悪法が成立した。なぜ反対か、またキリスト者として、教会として今何をすべきかを33名の牧師が訴える。秘密法全文を収録。

A5判　136頁　本体1300円　2014年
978-4-400-40731-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
3・11 後を生きるキリスト教 ブルトマン、マルクス、バッハから学んだこと 川端純四郎著 自らの信仰形成の途上で決定的影響を受けた3人と対話しつつ、この危機の時代にいかに聖書を読み、神を信じるかを、平易かつ徹底的に考える。 46判　94頁　本体1100円　2013年 978-4-400-52725-1

原発社会に生きるキリスト者の責任 いのちを選び取る生き方 藤井　創著 この1冊で放射線被曝や原発の問題がよく分かる。簡潔な解説と豊富な図版で原発事故の実相を正確に学び、生き方の方向転換を考える。 A5判　120頁　本体1300円　2014年 978-4-400-40730-0

原子力発電の根本問題と我々の選択 バベルの塔をあとにして 北澤宏一、栗林輝夫著　クリスチャン・アカデミー編 民間事故調の委員長を務めた物理学者北澤宏一氏と原発の政治神学的暗部を剔抉する神学者栗林輝夫氏とを中心とする白熱のシンポジウムの記録。 46判　210頁　本体1800円　2013年 978-4-400-40728-7
--

原発とキリスト教 私たちはこう考える　〈コイノーニア 26〉 新教出版社編集部編 福島第一原発事故を前に、キリスト者は何を語りなすべきかを24名の論者が共に模索する。故高木仁三郎氏の貴重な聖書論も収録。 A5判　180頁　本体1600円　2011年 978-4-400-40722-5

国家の論理といのちの倫理 現代社会の共同幻想と聖書の読み直し 上村　静編〈新教コイノーニア 30〉 気鋭の聖書学者が教会内外の識者に呼びかけ、現代の様々な局面で人権を脅かす諸問題を論じ、それに抗する〈いのちの倫理〉を模索する。 A5判　310頁　本体2200円　2014年 978-4-400-40375-3

キリスト教と社会の危機 教会を覚醒させた 社会的福音 W. ラウシェンブッシュ著　山下慶親訳 20世紀初頭、アメリカをはじめ世界のキリスト教に大きな影響を与えた社会的福音(ソーシャル・グospel)運動。本書はそのマニフェストの書。 46判　540頁　本体6100円　2013年 978-4-400-40725-6
--

キリスト教と民主主義 現代政治神学入門 J. W. デ・グルーチー著　松谷好明・松谷邦英訳 キリスト教と民主主義という曖昧で絡み合った歴史・関係を解きほぐし、民主主義のヴィジョンと歴史的・具体的システムを批判的に神学する。 46判　344頁　本体3600円　2010年 978-4-400-42771-1

平和創造への道 関西学院大学キリスト教と文化研究センター編 多様な論者から考察と提言を得た連続講演を収録。寄稿者は野田正彰、最上敏樹、水野隆一、山崎和明、前島宗甫、ブージット・オムリ氏。 46判　208頁　本体2000円　2010年 978-4-400-42766-7
--

生命への畏敬 A. シュヴァイツァー書簡集 H. ベール編　野村　実監修　会津　伸／松村国隆訳 1905～65年、シュヴァイツァーがその超人的な活動の中で書き送った手紙314通を年代順に編纂。生命への畏敬に貫かれた美しい魂の讃美告白。 A5判　360頁　本体4854円　1992年 4-400-52403-5

尊厳とは何か グローバル化と人類の共生 ドイツ福音主義教会編　小杉尅次訳 ダライ・ラマ、ミハイル・ゴルバチョフ、ティク・ナト・ハンら世界の有識者30人が語る、貧富の差がますますひらく現代の問題点と共生への課題 A5判　488頁　本体3500円　2009年 978-4-400-42708-7
--

21 世紀の倫理とキリスト教 細川道弘著 激動の時代を迎える今いかに生きるか。技術化社会に人間性の擁護を求め、確固たる福音的視点からキリスト教倫理を構築するための果敢な試み。 46判　210頁　本体1900円　1998年 4-400-42439-1
--

福音と現代倫理 藤井孝夫著 神なき世界で、神を信じ、愛の戒めに聞き従うことは可能か？神の自由において世俗を越え、人間の課題を追究し、キリスト者の生き方を問う。 46判　288頁　本体2000円　1988年 4-400-41052-8　僅少

状況倫理 新しい道徳〈オンデマンド・ブック〉 J. フレッチャー　小原　信訳 道徳的判断において、違法主義でもなく反律法主義でもなく「愛」を原理にした状況主義的な決断を説く。世界的反響を呼んだ神学的ベストセラー。 46判　316頁　本体3100円　(71年)2005年　4-400-44301-9
--

責任を負う自己 〈オンデマンド・ブック〉 ヘルムート・R. ニーバー著　小原　信訳 ラインホルドの弟ヘルムートが計画したキリスト教倫理三部作の第一部に相当。総論部分にも当たり、責任性を中核に据えて全面展開した名著。 46判　300頁　本体3800円　(67年)2006年　978-4-400-30777-8

平和のコンセプト 聖書的・神学的視座から J. マッコリーー著　東方敬信訳 キリスト教倫理の最も重要な概念として「平和」を捉え直し、その内実と広がりを構成概念（コンセプト）の対象として精密に把握する試みの書。 46判　172頁　本体1700円　2008年 978-4-400-42707-0
--

イエスと非暴力 第三の道 W. ウィンク著　志村　真訳 「絶対平和主義」でも「正戦論」でもなく、イエスの生き方を現代世界でいかに展開できるかを徹底的に考え抜く。9・11後の非暴力論。 46判　120頁　本体1600円　2006年 4-400-42705-6

十　戒 現代倫理入門〈新教セミナーブック〉 W. パークレー著　牧野留美子訳 英国の著名な神学者が、キリスト者に「十戒」の現代的再解釈を通して、「現代倫理」の基本を複雑な現代生活の多方面にわたって諄々と説く。 B6判　300頁　本体2400円　1980年 4-400-32595-4
--

絶対的平和主義とキリスト教 武〈福音と預言〉双書 4 武　祐一郎著 キリスト教平和主義確立に尽力してきた著者が、平和憲法の危機に直面する今、聖書の指し示す平和構築のための道筋を実践の場から考究する。 A5判　154頁　本体800円　2005年 978-4-400-50954-7
--

社会・倫理 大学とキリスト教教育 四国学院キリスト教教育研究所叢書 四国学院キリスト教教育研究所編 キリスト教大学を取り巻く困難をどう克服するか。古屋安雄・中山弘正・小川圭治・山内一郎・土井省悟・土戸　清・隅谷三喜男・山崎和明の8氏。 A5判　280頁　本体3000円　2005年 4-400-34263-8

東アジアの平和とキリスト教 日本キリスト教団百人町教会編 1979年、百人町教会日が韓国基督教長老会蚕室中央教会と出会って以来20年余、真剣に対話し続けて来た経験と成果を伝える誠実な告白と証し。 46判　208頁　本体1900円　1999年 4-400-42701-3　僅少

あなたはどんな修行をしたのですか？ オウムからの問い、オウムへの問い NCC 宗教研究所／富坂キリスト教センター共編 世界を震撼させた特異なカルトを戦後の精神状況への深刻な問いとして受け止めた共同研究。野田正彰、鈴木正三、寺園喜基、志村　真他。 A5判　280頁　本体2000円　2004年 4-400-42754-4
--

宗教間の対話と共生のために エキュメニカルな指針〈NCC 宗教研究所双書〉 神田健次編・解説　村瀬義史訳 世界教会協議会（WCC）の宗教間対話の取り組みから、とくにユダヤ教およびイスラームとの対話について公にされた3つの重要文書を収録。 46判　90頁　本体1000円　2006年 4-400-42763-3

原理主義 確かさへの逃避 W. フート著　志村　恵訳 プロテスタントからイスラーム、さらにアジアの諸宗教に至る広範な原理主義現象を、近代的不安の所産ととらえ、解決のための真の啓蒙を説く。 46判　328頁　本体2800円　2002年 4-400-42116-3

宗教間対話と原理主義の克服 宗際倫理的討論のために 西谷幸介著 グローバリゼーションの中で多様化し多元化する宗教同士のせめぎあい。そこで原理主義を克服して対話の道を開く可能性はあるかを真剣に問う。 A5判　214頁　本体1900円　2004年 978-4-400-42762-9
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
--

統一協会と文鮮明

青年たちの心理を探る
和賀真也編著

著者が救出した3人の元会員の体験談、原理運動の真相に迫る赤裸々な重要資料の紹介を通して、統一協会の行動と論理をあばく問題作となった。

B6判 360頁 本体2200円 1981年
4-400-41513-9

ことばによる闘い

キリスト教ジャーナリスト・貝沼信の発言

貝沼 信著　ひとひとの会編

キリスト教出版の使命を担って生きた著者（1945-99年）の『福音と世界』巻頭言を中心とする論考・発言を収録した遺稿集。池明観氏の序。

46判 368頁 本体3400円 2002年
4-400-52732-8

市民的抵抗

非暴力行動の歴史・理論・展望

M.ランドル著　石谷　行／田口江司／寺島俊徳共訳

19世紀から現代に至る非暴力抵抗の思想と実践の歴史を整理し、綿密に分析した労作。著者ランドル氏はイギリスの平和活動家。

A5判 264頁 本体2700円 2003年
4-400-421260

同時代史を生きる

戦後民主主義とキリスト教

宮田光雄著

著名な政治学者・篤信のキリスト者の戦後半世紀余にわたるエッセイ・講演から58編を精選。デモクラシー定着のためのペンによる闘いの軌跡。

46判 440頁 本体3800円 2003年
4-400-42743-9

ヒロシマと平和の福音

宗藤尚三著

著者は被爆後に献身し牧師として働きつつ、反核運動や平和教育活動に挺身した。核時代に生きるキリスト者の生き方を考えるヒロシマの神学。

46判 188頁 本体1800円 1995年
4-400-41999-1　僅少

平和の憲法と福音

深瀬忠一著

平和憲法の実践に全実存を賭けた憲法学者が、平和の福音を求めた末に到達した「平和的生存権」と「天皇制的構造」との対決を軸にした論文集。

46判 340頁 本体2523円 1990年
4-400-41528-7

平和憲法を守りひろめる

北海道キリスト者平和の会の証し〈新コ〉

深瀬忠一／橋本左内／榎本栄次／山本光一編

恵庭事件以来戦い続けて来た北海道のキリスト者を中心とする平和憲法の平和主義擁護の戦いの経験を、今日の危機的事態の中で吟味し展望する。

A5判 260頁 本体3000円 2001年
4-400-40717-9

平和の神学　1938-1965

P.ティリッヒ著　R.ストーン編　芦名定道監訳

第二次大戦前夜から戦後の冷戦期にわたる30年の激動の下に綴られた12編の論考。文明史家の冷徹な眼差しと信仰者の眼差しが交錯する。

46判 296頁 本体3000円 2003年
4-400-32123-1

平和を目指す共生神学

スリランカの「対話と解放の神学」に学ぶ

志村　真編

内戦に苦悩するスリランカの地で平和の使者たらんとし、教会論・聖書解釈論を包含する新たな神学を希求する3人の神学者の論考を紹介。

A5判 230頁 本体2380円 2008年
978-4-400-32124-8

ジョン・H・ヨーダーの神学

平和をつくり出す小羊の戦い

東京ミッション研究所ヨーダー研究会編

『イエスの政治』などで知られるヨーダーの神学を、日本人研究者たちが多角的に論じた。ヨーダーの思想へのよき導入となる論集。

46判 230頁 本体1900円 2010年
978-4-400-42403-1

アメリカの戦争と宗教

アジアのまなざしから

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編

9/11以後テロとの戦いに終始して世界に緊張を投ずるメリカ。その行動様式を分析・克服して新しい世界平和を創造する方途を探った学際的研究。

46判 216頁 本体2100円 2004年
4-400-42767-6

キリスト教国アメリカ再訪

古屋安雄著

名著『キリスト教国アメリカ』から38年。宗教多元化、主流教会の凋落、教会の保守化等、動きを止めないアメリカの教会・神学状況に鋭く迫る。

46判 184頁 本体1900円 2005年
4-400-42769-2

人間の盾

バクス・アメリカーナとキリストの平和〈新コ〉

木村公一著

2003年3月バグダッド郊外の変電所に配置され、米軍の攻撃下に踏みとどまり続けた40日間に渡る緊迫の記録。イラク戦争の実態。写真多数。

A5判 152頁 本体1400円 2003年
4-400-40718-7

世紀末のアメリカとキリスト教

〈新教ブックス〉

藤井　創著

キリスト教国アメリカの内実を鋭く問い、その凋落の現実を指摘しつつも、再生への様々な宣教的試みにも目配りする。深層からのアメリカ論。

46判 168頁 本体1800円 1999年
4-400-42500-2

人種の問題

アメリカ民主主義の危機と再生

C.ウェスト著　山下慶親訳

今最も注目を集めている黒人オビニオンリーダーがアメリカの人種問題の本質を深く探り、回心の政治学を論じる。1993年金米ベストセラー。

46判 172頁 本体2000円 2008年
978-4-400-42123-8

よみがえれ、平和よ！

差別と戦争と貧困の中から〈新教ブックス〉

J.ウォリス著　小中陽太郎監訳

黒人差別に荷担する白人教会の偽善と決別し、ベトナム反戦運動の経験から、ワシントンの黒人街で「寄留者共同体」を建設するまでの体験を語る。

46判 302頁 本体2717円 1992年
4-400-42480-4

神への然り、カイザルへの否

〈新教ブックス〉

R. M. ブラウン著　山下慶親訳

アメリカ大統領府政治戦略をカイザルの挑戦と位置づけ、神への忠誠に生きるキリスト者の決断の道を説き、現代への聖書信仰の責任を誠実に追求。

46判 216頁 本体1747円 1992年
4-400-52478-7

信教の自由とアメリカ

W. マーネル著　野村文子訳

信教の自由をめぐる教会と国家の闘争、西欧中世から宗教改革、米国憲法制定までの過程を検証し、諸宗派の対立と対話の実態を探る。

46判 272頁 本体2000円 1987年
4-400-42354-9

社会・倫理

幻なき民は減ぶ

今ドイツ人であることの意味〈新教ブックス〉

D.ゼレ著　山下秋子訳

罪責を自覚する〈民族〉の形成と〈貧〉の理想の再発見を、今日ドイツで最も必要な幻（ヴィジョン）として、預言者の洞察をもって語る。

46判 172頁 本体1455円 1990年
4-400-42383-2

教会と核武装

オランダ改革教会編　池永倫明訳

80年代、果てしない核武装競争の中で、キリストの平和り神学に依拠し、核兵器への明確な否をつきつけた教会的・神学的信仰告白的文書の白眉。

B6判 216頁 本体1800円 1985年
4-400-42345-5

北国の理想

クラーク精神の純化と展開

深瀬忠一／大友　浩編著

クラーク博士の開拓魂、内村鑑三の独立精神、日本国憲法の平和主義の三本柱の上に、自由・独立・平和の理想を、広く深く追究した論考20篇。

B6判 336頁 本体2000円 1982年
4-400-41555-4

キリストの平和

平和と核廃絶を求める委員会編

1983年以来の広島平和セミナーでの講演から、大量の核兵器が生産される危機的状況の中で教会の担う和解の務めと平和への道を聖書に聞く試み。

B6判 216頁 本体1800円 1987年
4-400-41519-8

教会と国家

G. デンツラー編／相沢好則監訳

今日の世俗化に直面して、教会と国家の問題はますます複雑な様相を呈している。それを究明する現代ドイツの法学者、神学者の論考22編を収録。

46判 424頁 本体4000円 1985年
4-400-32342-0

新しく生きる道

松永晋一著

現代をいかに生きるかを聖書から新しいいのちの意味を聞き取る中で、心とは何か、和解と終末、労働と職業等の問題に即し本質的具体的に考察。

46判 304頁 本体2500円 2003年
4-400-42747-1

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
--

自由に生きる

藤田英彦／池　明親著

長年にわたり靖国神社国営化反対運動の先頭に立った藤田牧師と、韓国の代表的知識人池先生との同時代への透徹した洞察と共感に溢れる対話。

46判　208頁　本体1800円　1995年
4-400-51993-7

働く人間像を求めて

関西労伝ノート・その20年

竹中正夫編

なぜ労働者伝道なのか、今後労働者の問題にいかに関わるか。関西労伝誕生から20年を迎え、その歩みを総括し、教会の伝道姿勢を問う。

B6判　338頁　本体1800円　1978年
978-4-400-41507-7

アイデンティティーへの侵略

今高校生と語る戦後補償・人権

今村嗣夫・小暮修也著

あの戦争は何だったのか。国民の「政治上の責任」が問われる政治状況のもとで、未来を開く高校生と「戦後補償・人権」について語り合う書。

46判　196頁　本体1600円　1995年
4-400-42412-X

未来をひらく人権

今村嗣夫／小暮修也著

人権擁護の戦いに参加してきた2人の著者が、その戦いの歴史と意義、特に差別、指紋押捺、公害等の基本的人権問題を検証の上、適切に解説。

46判　224頁　本体1747円　1992年
4-400-41535-X

天皇制・ヤスクニ

天皇とキリスト

近現代天皇制とキリスト教の教会史的考察

土肥昭夫著

08年に急逝した著者の16論文を精選、教界指導者、学校、ジャーナリズムなどの多様な側面から日本人キリスト者の意識と行動を明らかにする。

A5判　528頁　本体4700円　2012年
978-4-400-21317-8

光は闇の中に輝いている

靖国・天皇制・信教の自由　バプテスト40年の闘い
日本バプテスト連盟靖国神社問題特別委員会編

日本バプテスト連盟「靖国神社問題特別委員会」の1968年設置以来40年の軌跡を、貴重な資料・年表とともに振り返り、今後の課題を展望する。

46判　400頁　本体2500円　2010年
978-4-400-41545-9

下町の主の証人として

森山窓牧師説教・随想集

森山　窓著

本所緑星教会に40年仕えた牧師の説教・論文の他、牧師を慕う40人以上の証言を収録。靖国闘争を担い続けた一信仰者の実存が浮き彫りになる。

46判　256頁　本体2500円　2004年
4-400-52677-1　僅少

天皇の葬儀

笹川紀勝著

象徴天皇制を真正面に据え、国民主権主義に立ちながら、天皇の葬儀で予想される事態を、大胆に歴史的・憲法的視点から分析。

46判　216頁　本体1800円　1988年
4-400-41523-6

天皇制の検証

日本宣教における不可避な課題

東京ミッション研究所編

ポスト大嘗祭の日本宣教の不可避の問題である天皇制を取り上げ、その将来を考えながら、勇気をもって歴史・政治・神観・近代化問題を検証。

46判　210頁　本体1650円　1991年
4-400-41966-5

天皇制の神学的批判

富坂キリスト教センター編

神学的な視点から天皇制にいか批判し克服するか？　日本宣教のための教会の抱える実践的課題を歴史的・神学的に追究した研究10編を収録。

46判　342頁　本体2426円　1990年
4-400-41531-7

岩手靖国違憲訴訟闘いの記録

石割桜のごとく〈新教コインノーニア〉

岩手靖国違憲訴訟を支援する会編

盛岡地裁構内にある咲かせる“石割桜”に象徴されるような、原告団・弁護団・支援する会の担った政教分離原則確立への戦いの記録全体を盛る。

A5判　390頁　本体2426円　1992年
4-400-40709-8　僅少

世に遣わされて

キリスト者の社会参与

中平健吉著

宗教と国家のあり方をめぐる違憲訴訟を初め、基本的人権の擁護確立の戦いに誠実に全力投球してきたクリスチャン弁護士の思索の結実の書。

46判　380頁　本体2800円　1982年
4-400-61558-8　僅少

民人と自然

沖縄からの出発

水野たかし／渡久山章著

石垣島の白保の海を守る闘いから、アメリカで先住民問題と取り組む水野氏と、地球科学者で詩人の渡久山氏という異質な二人が生み出す随想集。

46判　230頁　本体1849円　1993年
4-400-42626-2　僅少

いのち・こころ・性

ロゴセラピーのエッセンス

18の基本概念

V. フランクル著　赤坂桃子訳

重要概念のコンパクトで行き届いた解説（『夜と霧』英語版に著者が付した貴重な補遺）。日本人精神科医・心理療法師による解説2本も収録する。

小B6　160頁　本体1850円　2016年
978-4-400-31080-8

自死と遺族とキリスト教

「断罪」から「慰め」へ、「禁止」から「予防」へ
土井健司編

自死予防の最前線、自死者の葬儀、遺族の悲嘆に寄り添う人々、さらにキリスト教における自死の意味を問う者らが共同研究を行った成果。

46判　265頁　本体2600円　2015年
978-4-400-40737-9

ラディカル・ラブ

クィア神学入門

P. チェン著　工藤万里江訳

性的少数者の視点から伝統的な三位一体論を大胆に読み替え、「クィア」（奇妙）なものとしての福音の本質を鮮明に打ち出した画期的な書。

A5判　220頁　本体2300円　2014年
978-4-400-32491-1

社会・倫理

「レズビアン」という生き方

キリスト教の異性愛主義を問う

堀江有里著

レズビアンであることを公にした牧師の、今ここで生きるたたかいを綴る、ねばり強い実践と思案の書。『福音と世界』好評連載の単行本化。

46判　263頁　本体2200円　2006年
4-400-42704-8

虹は私たちの間に

性と生の正義に向けて

山口里子著

同性愛断罪の根拠とされてきた聖書テキストを網羅的・徹底的に再検討し、多様なセクシュアリティを含む神の創造の祝福を確認する渾身の労作。

A5判　368頁　本体3600円　2008年
978-4-400-42706-3

カナダ合同教会の挑戦

性の多様性の中で

A. ハントリー著　R. ウィトマー他訳

1988年、同性愛を牧師職から排除しないことを決議するに至った教会の困難な歩み。関係者個々人の素顔をルポルタージュ風に活写した記録。

46判　272頁　本体2100円　2003年
4-400-42121-X

死刑囚の母となって

この病は死に至らず

向井武子著

死刑囚の青年を養子にし、処刑の日まで寄り添い続けた女性牧師の手記。罪の償いを問い死刑廃止を静かに訴える。裁判員制度導入の今こそ必読。

46判　144頁　本体1400円　2009年
978-4-400-61579-8

モンスターチルドレン

子ども時代を奪われた子どもたち

M. ヴィンターホフ著　織田晶子訳

ドイツの児童精神科医が、問題行動が増える背景に、子どもに対する大人の関係の変質が伏在することを指摘し、大人の責任を訴える。

46判　200頁　本体2000円　2009年
978-4-400-76000-9

ジャン・パニエの言葉

講話とインタビュー

J. パニエ　浅野幸治編訳

日本人の黙想会を指導した際の講話と対話や、メディアに応じた貴重なインタビュー類を収録。編訳者解説はパニエ思想の中核に迫る本格的論考。

46判　156頁　本体1600円　2012年
978-4-400-52360-4

人間になる

J. パニエ著　浅野幸治訳

知的なハンディを負う人たちの共同体「ラルシュ」の創始者が、不安や孤独から癒された真に人間らしい生き方とは何かを、美しい言葉で語る。

46判　238頁　本体1900円　2005年
4-400-42130-9

すべてのわざには時がある

在宅ターミナルケアの記録

松本襄二著

死と対峙し、それをキリスト者として受容するとはどういうことか。自ら喉頭癌の経験を持つ著者が、患者の視点からホスピスを問い直す。

46判　200頁　本体1300円　1994年
4-400-61585-5

みわざの現れるために

NCC 障害者と教会問題委員会編

障害を負ったキリスト者が、わが身こそ主に用いられていることを証しする一方、その弱き所に集中する世の不合理と闘って行く姿を力強く語る。

B6判　208頁　本体1400円　1984年
4-400-51516-8

ひびきあういのち

重症児者神学への道

久山療育園編著　寺園喜基編集

身辺自立できない重度の知的・身体的障害を負う重症児者たちと共に歩んできた久山療育園の25年。新しい福祉文化を創造する信仰と神学の冒険。

A5判　270頁　本体2100円　2003年
4-400-52744-1

喜びのいのち

出生前診断をめぐる

全国キリスト者障害者団体協議会編

医療技術の進展の先端で起こる生命操作の事態の中に、人間の傲慢を察知し、その問題点に障害の苦難の経験から問いを發した貴重な研究と発言。

46判　240頁　本体2200円　2000年
4-400-51592-8

心の病いとその救い

富坂キリスト教センター編

心の癒いを負う人々と共に歩む共同体として、その癒いと救いのために働くことを目指して、多様な立場の者たちが到達した研究の成果の集成。

46判　218頁　本体1800円　1991年
4-400-41973-8

いやしから救いへ

心の病いとその救い 2

富坂キリスト教センター編

好評の前書から16年。その後の環境の変化をふまえ、特にうつ、統合失調症の苦しみに向き合い、共に歩む教会のあり方を考察した共同研究。

46判　252頁　本体2000円　2007年
978-4-400-41974-7

二人が向かい合うために

夫と妻のワークブック

レーナルト夫妻著　たかお・まゆみ訳

結婚を不斷の努力の積み重ねととらえ、お互いが豊かになるライフスタイルをやさしく説く。ユーマラスな練習問題もついて参考に。

46判　168頁　本体1600円　2001年
4-400-42108-2

キリスト教家庭教育の展開

アメリカ・ピューリタン社会の場合

安達寿孝著

18世紀北米における理論と実践、とりわけJ.エドワーズらに学びながら、現代社会における家庭教育の問題への手がかりを見出そうとする試み。

46判　270頁　本体2800円　1998年
4-400-32440-0

キリスト教教育の現代的展開

J. L. シーモア編　奥田和弘／西垣二一訳

社会に責任的に生きる人間のを求める働きとしてキリスト教教育を理解し、その原理と方法を追求するアメリカ教育学者らが書いた教育論。

46判　256頁　本体2095円　1987年
4-400-32570-9

パパやママががんになったら

チャイルド・ライフの出会いから

藤井あけみ著

病と闘う子どもの心のケアを専門とする著者が、親が難病にかかったときの子どもとの接し方、また家族のあり方を、現場から考える。

B6変　140頁　本体1500円　2015年
978-4-400-52710-7

幸福のレシピ

藤井あけみ著

チャイルド・ライフ・スペシャリストの働きを日本に紹介した著者が、病棟現場での様々な出会いと別れをしなやかな感性で綴ったエッセイ集。

B6判　128頁　本体1400円　2010年
978-4-400-52714-5

チャイルド・ライフの世界

こどもが主役の医療を求めて

藤井あけみ著

大人の論理や視点から行われてきた小児医療のあり方に問題を提起し、こどもの心のケアの重要性を訴える。著者は数少ない日本における専門家。

B6判　152頁　本体1900円　2000年
4-400-52712-3

心を見つめる教育

思春期の子をもつ親へのメッセージ

藤倉恒雄著

思春期の子どもの親たち、その教育に関心をもつ読者に、教育現場の現実 に即した教育理念を展開、若者の霊性への配慮と家庭教育の復権を説く。

46判　200頁　本体1261円　1989年
4-400-51958-9

幼児の心との対話

ツインク夫妻著　内藤道雄訳

ドイツで活躍している児童心理学者、牧師夫妻の革新的な幼児教育論。さまざまな教育上の困難を持つ両親を念頭において共同執筆。

B6判　186頁　本体1300円　1974年
4-400-42017-5

こどものこころ

そのメッセージに聞く

大塚和子著

二～三歳児のための宣教と奉仕のために設けたナースリーで、キリスト教幼児教育の実験的な試みを行った。その体験をいきいきと率直に綴る。

46判　170頁　本体1700円　1999年
4-400-72665-7

こどもの苦しみと喜び

大塚和子著

保育者としての40数年間の経験に基づき、現在は保育アドバイザーとして活躍する著者が、こどもの目線から愛と共感を込めてその心象を綴る。

46判　136頁　本体1600円　2002年
4-400-72672-X

あなたの子どもは大人になれるか

保育の中の聖書

水野　誠著

幼稚園園長として園児の保護者たちに語った聖書講話。平易で身近な例話を豊富にちりばめながら聖書から子どもの成長と親の勤めを示す読み物。

46判　300頁　本体2000円　1999年
4-400-52668-2

主よ、いつまでですか

無実の死刑囚　袴田巖・獄中書簡

袴田巖さんを救う会編

強盗殺人事件の容疑者として逮捕、死刑判決を受け、無実を叫ぶ元プロボクサーが肉親等へ書き送った手紙。日々の苦悩、受洗に至る道程を語る。

46判　190頁　本体1524円　1992年
978-4-400-61575-0

キリスト者と福祉の心

村山幸輝著

近代日本の社会福祉実践のために働いた糸賀一雄、福井達男、小塩高恒、留岡幸助らに反映したキリスト教信仰の特色とは何であったかを解明。

46判　250頁　本体2200円　1995年
4-400-41998-3

市民生活とボランティア

R.ヘンドリー／J.スミス編　小田兼三／野上文夫監訳

ボランティア活動の古い歴史をもつ英国全国社会福祉協議会（NCVO）の歴史を振り返り、その理念の現状を多面的に考察する。

46判　320頁　本体2718円　1993年
4-400-42406-5　僅少

教会と地域福祉実践

活動方針の具体的展開

G.ラベル著　小田兼三訳

人々と共に生きたイエスの愛と苦難の道に従って展開した、英国都市の多様な社会問題との苦闘から生まれた、新しい共同体建設への実践的提言。

46判　176頁　本体2000円　1998年
4-400-42438-3

ディアコニー共同体

奉仕活動の理論と実践

M. E. コーラー著　畑　祐喜訳

世にある教会は、人間と世界に仕える存在であるという問題に真正面から取り組み、歴史的経験、将来的展望を広い視野から提示した力作である。

46判　460頁　本体4600円　2000年
4-400-32047-2

聖書の中のワイン

S.バキオキ著　新名友子訳

アルコールの脅威を深刻に憂い、学殖と良心を傾けて、聖書に描かれたワインの史的研究に取り組み、現代人の飲酒に対して厳しく問題提起する。

46判　112頁　本体1000円　1995年
4-400-51998-8

自然と科学
宗教・科学・いのち 新しい対話の道を求めて 金城学院大学キリスト教文化研究所編 学際的共同研究の成果。ハインリッヒ・オット、テッド・ピータース、芦名定道、小原克博、柏木哲夫、藤井 創、森田 進ら 15 名が寄稿。 46判 376頁 本体2800円 2006年 4-400-42703-X

科学技術とキリスト教

富坂キリスト教センター編 科学技術が突きつける諸課題をキリスト教信仰の立場から論じた共同研究。古谷圭一、上山修平、中島貴子、今井尚生、谷村慎一、安田治夫他。 A5判 208頁 本体2600円 1999年 4-400-42702-1
--

地球温暖化とキリスト教

「持続可能な社会」のために〈新教コイノーニア〉世界教会協議会「正義・平和・被造物」部局著 地球温暖化とは何かを解説し、その克服のために経済発展を至上とする価値観の転換を訴える。教会での共同学習に役立つ懇切なガイド付き。 A5判 112頁 本体1200円 1999年 4-400-40716-0

自然的世界とキリスト教

笠井恵二著 聖書の自然観に始まり、古代から現代に至る代表的な神学者の自然観を吟味考察した上で、今日の人間の自然との融和の可能性と共存の道を提示。 46判 280頁 本体3200円 1999年 4-400-42450-2
--

技術社会と信仰

H. モンテフィオレ著 関 正勝／塚田 理他訳 今日、教会が直面する科学技術、女性教職、国家と教会等の問題に指導的発言を続ける英国の神学者の来日講演集。キリスト教倫理の再考を促す。 46判 144頁 本体1358円 1991年 4-400-41968-1
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新プ〉＝新教ブックス
--

大地は主のもの 聖書の発見（新教ブックス） W. フーバー著 松田真理子／宮城多佳子訳 聖書の平和のメッセージが、時代にはなつ一筋の光のような 14 篇の黙想。人権侵害、環境破壊、経済的不正の中で「信仰告白」の意味を明示。 46判 184頁 本体1649円 1991年 4-400-52477-9

生き生きと農業をするための勇気

富坂キリスト教センター企画 日本農業の衰退と混迷に勇気をもって立ち向かい、農村と農業の再建を期するキリスト者が、ようやく到達した境地を、喜びをもって記録した問題作。 A5判 208頁 本体2500円 2000年 4-400-52709-3 僅少

共に生きる

いのちの糧の分かち合い

いま、教会の原点から学ぶ 山口里子著 斬新な視点から聖書を読み直し隠された声なき声を聴き取る解釈学。目からウロコの刺激に満ちた 8 章。「ダヴィンチコード」もこう読める！ A5判 260頁 本体2200円 2013年 978-4-400-12757-4
--

わたしたちは、いまどこにいるのか

隅谷三喜男先生から託されたもの 日本基督教団代田教会編（新教コイノーニア 27） 社会問題や教会改革に幅広く活躍した社会学者にしてキリスト者・隅谷の衣鉢を継ぐ 3 年連続シンボの記録。未発表宣教論も収録。 A5判 180頁 本体1800円 2012年 978-4-400-40723-2

七転び八起き寝たきりのいのちの証し クチマウスで綴る筋ジス・自立生活 20 年 阿部恭嗣著 竹之内裕編 クチマウスで綴ったユーモアあふれるブログ記事を中心に、遺された論考・創作を妻と友人たちが編集し、仲間がメッセージを添えた、生の証し。 46判 320頁 本体1450円 2010年 978-4-400-52720-6
--

山の上にある病院
岩村 昇／岩村史子著 村々を巡回し、人々に愛と奉仕の手をのべ、福音を証した医師夫妻の証言。読者に愛と勇気を起こす好著。ネパール最初の 3 年間の苦闘の記録。 B6判 264頁 本体1650円 1965年 4-400-61476-X

共に生きるために アジアの医療と平和 岩村 昇著 20 年間ネパールで医療活動を担ってきた著者が、実践の医学的・信仰的総括、アジアの医療ビジョン、強い平和への願いを綴った論文 20 篇を収録。 B6判 240頁 本体1650円 1982年 4-400-61557-X
--

アジアの地下水 サラワクの自然と人々 荒川純太郎著 東マレーシア・サラワクに派遣された経験の報告。過去・現在の侵略史を忘れた日本人に、アジアの民衆の心に地下水のように流れる痛みを伝える。 46判 248頁 本体1500円 1982年 4-400-61554-5

ヒマラヤ診療その日その日

伊藤邦幸／伊藤聡美著 神とアジアの隣人に伝えようと医学徒を志し、オカルドゥンガの地に派遣された夫妻が、家族をあげて真剣に働いたその辛苦を、赤裸々に伝える。 46判 380頁 本体2136円 1974年 4-400-61486-7

同行二人

伊藤邦幸著 JOCS ネパール派遣ワーカーとして亡き愛妻とキリストとの二人四脚の最後の活動の後に倒れた著者が、最後までネパールの民衆と共に生きた記録。 46判 420頁 本体3398円 1993年 4-400-61581-2

わが祈りの座

俵さん石川さんと共に歩む会編 ネパールとバングラデシュに派遣され、現地の人たちの自立のための国際協力に貴重な足跡を残した 2 人の報告と、共に歩んだ会員の 25 年の祈り。 46判 260頁 本体2500円 1994年 4-400-61583-9
--

聖書学・聖書注解
おりておいで！ 現代の若者に問いかけるショートメッセージ 藤井 創著 現代世界において福音とは何かを問いかけ、私たちを支配する主流の価値観から降りて、真に人間らしい生き方を探ろうと呼びかける。 46判 223頁 本体1800円 2010年 978-4-400-52715-2

アジアの風に吹かれて

藤井 創著 現代の巻き起こす問題をまともに受けて苦闘するアジアの民衆。その証言に沿いながら、若者と共に聖書を読み、信仰を見直した成果を率直に語る。 46判 190頁 本体2000円 2001年 4-400-52716-6

現場からの道

阿蘇敏文著 牧師、フリースクールの農園ゼミの講師と二つの顔を持つ著者。農、反原発、移住労働者支援などの現場で出会った「闘う」人たちとの対話集。 A5判 320頁 本体1905円 2005年 4-400-42770-6

滅亡の予感と虚無をいかに生きるのか 聖書に問う 新免 貢、勝村弘也著 福島第一原発事故という、人間が引き寄せた滅亡の予感と虚無に、どのように向きあうのか。改めて聖書を読む。関西神学塾特別講座の記録。 A5判 130頁 本体800円 2012年 978-4-400-40724-9
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新プ〉＝新教ブックス
--

旧約聖書と新約聖書

シリーズ　神学への船出　第02巻

上村　静著

旧約と新約、ユダヤ教とキリスト教など、連続性と断絶が常に問われる繊細なテーマを気鋭の聖書学者が徹底的に論じる。42のコラムも充実。

46変判　361頁　本体2000円　2011年
978-4-400-30002-1

聖書を読む技法

ポストモダンと聖書の復権

E. デイヴィス／R. ヘイズ編　芳賀　力訳

聖書の権威を復権させんと集まった10人の神学者たちによる「聖書プロジェクト」。ポストモダンの批判に応える共同研究と説教実践。

A5判　432頁　本体5000円　2007年
978-4-400-12432-0

聖書

その構造・解釈・翻訳〈新教ブックス〉

S. プリケット／R. パーンズ著　小野功生訳

聖書本文とその思想の成立過程を概観し、解釈史、翻訳史を明快に論じて、聖書を読む行為の意味の再考を促す。最も今日的な現代人の聖書入門。

46判　272頁　本体2718円　1993年
4-400-12481-9

女性たちの聖書注解

女性の視点で読む旧約・新約・外典の世界

C. A. ニューサム他編　加藤明子／鈴木元子他訳

女性の視点から聖書を読む試み。多様な文化・民族・教派的背景を持った41人の女性研究者が、そこに展開する独自の世界を提示するその全体像。

A5判　704頁　本体9000円　1998年
4-400-11145-8

ことばは光1

太田道子著

NGO「地に平和」代表である著者の珠玉の随想、市民運動論、そして聖書論。本巻は創世記の創造譚と墮罪物語を通して聖書的人間観に迫る。

46判　256頁　本体1900円　2006年
978-4-400-12791-8

唯一なる神

聖書における唯一神教の誕生〈新教ブックス〉

B. ラング編　荒井章三／辻　学訳

唯一神教の典型、ユダヤ教＝ヘブル思想成立の秘密に挑む。初期の多神教的形態から国家滅亡の危急に直面して「唯一神教」に至るダイナミズム。

46判　240頁　本体2500円　1994年
4-400-12482-7

聖書の宣教と風土・文化

柏井宣夫著

聖書学者からの宣教論への寄与。「聖書の生活の座を明らかにすることによって、宣教が生き生きとしたものになることが出来る」と説く。

46判　112頁　本体800円　2003年
4-400-12749-4

東と西の間の聖書

柏井宣夫著

聖書を東西文化の交流から説明する独自の構想に立つ聖書論。ヘレニズム文化の重要性に着目し、旧約聖書統編の位置づけにも一石を投ずる。

46判　112頁　本体1100円　2009年
978-4-400-12485-6

旧約聖書関連書

旧約聖書入門 1

現代に語りかける原初の物語

大野恵正著

聖書を平易かつ格調高く語ることに定評ある著者が、旧約から受け取ってきた豊かなメッセージの核心を現代人に取り次ぐ。全5冊シリーズ。

小B6判　272頁　本体1800円　2013年
978-4-400-12786-4

旧約聖書入門 2

現代に語りかける父祖たちの物語

大野恵正著

アブラハムからヨセフに到る族長たちの物語（創世記）を取り上げ、神による祝福の選びと働きかけの意味を考える。全5冊シリーズ。

小B6　368頁　本体1900円　2015年
978-4-400-12787-1

古代イスラエル預言者の特質

伝承史的・社会史的研究

樋口　進著

王国時代に集中的に出現した「預言」という特異な宗教現象。本書は彼らの支持グループに着目しつつ社会史的な視座からその謎に迫った労作。

A5判　294頁　本体5000円　2013年
978-4-400-12751-2

ラビの聖書解釈

ユダヤ教とキリスト教の対話

J. マゴネット著　小林洋一編

現代の改革派ラビが十戒、イサク奉獻、ルツ記を取り上げ「ラビ的解釈」を展開する3講演、また自らの個人史と重ねた宗教間対話論。

46判　205頁　本体1700円　2012年
978-4-400-30559-0

旧約聖書のメッセージ

福音の書として読む

小泉達人著

旧約聖書はいかなる意味で「福音」の書なのか。聖書学の成果に学びつつ、旧約を貫くメッセージを見据え、全体的な構造から解き明かす必読書。

46判　360頁　本体1900円　2005年
4-400-12763-X

旧約聖書の信仰の真髄

柏井宣夫著

ヤーウエ信仰の真髄とは何か。旧約学徒、神学教師、そして牧会者として、その一神教理解を中心に思索を重ねてきた成果を、平易な言葉で語る。

46判　152頁　本体1300円　2005年
4-400-12484-3

旧約聖書の預言と黙示

その本質と系譜〈現代神学双書〉

木田献一著

著者の旧約学研鑽の精髓である「預言と黙示」、預言の本質と歴史的系譜と意義を、信仰告白、宗教の危機、民衆等、現代的視点から見直した成果。

B6判　245頁　本体2700円　1996年
4-400-13078-9

旧約聖書に親しむ I

そして現代との対話

中道政昭著

市民講座・通信講座で定評の旧約聖書入門の単行本化。創世記から王国の成立（ソロモン王）時代まで。明快な説明と楽しい工夫が読者理解を促す。

46判　290頁　本体1800円　2004年
4-400-127605

旧約聖書に親しむ II

そして明日を見つめる

中道政昭著

市民講座・通信講座で定評の旧約入門の単行本化。王国の成立以降からダニエル書までを網羅。平易な説明で、より一層旧約理解を促す。

46判　360頁　本体1800円　2005年
4-400-12761-3

聖書学・聖書注解

アブラハム物語を読む

文芸批評的アプローチ

水野隆一著

複雑な語りと仕掛けを隠すアブラハム物語（創世記11:27～25:18）を、文芸批評的分析により読み解いた日本初の本格的注解書。

A5判　488頁　本体6600円　2006年
4-400-12768-0

創世記

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 1〉

R. デヴィッドソン著　大野恵正訳

NEBによる注解の第1巻。文献批判や考古学などの最良の成果を取り入れながら、手堅く中庸を保った注解姿勢が創世記のリアリティを伝える。

A5判　402頁　本体4800円　1986年
4-400-10401-X

サムエル記

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 8〉

P. R. アクロイド著　田淵　結訳

申命記の歴史の一部であるという認識に基づき、そのような歴史を要請した捕囚記の精神状況に注目しつつ、諸伝承に目配りした多元的注解。

A5判　440頁　本体4800円　1980年
4-400-10408-7

ヨブ記

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 12〉

N. C. ハーベル著　高尾　哲訳

ヨブ記にかんする優れた社会史的研究をものした著者による注解。無意味な苦しみの中でひとり神と対決しなければならない人間の姿を読みとる。

A5判　220頁　本体3400円　1994年
4-400-10412-5

エレミヤ書

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 17〉

E. W. ニコルソン著　松浦　大訳

エレミヤの言動が捕囚期を生きた伝承者たちをいかに力づけたかに着目し、申命記的歴史家の役割を高く評価しながらテキストを注解する。

A5判　424頁　本体3882円　1980年
4-400-10417-6

祝福したもう神

創世記の学び

塩野和夫著

世界創造に始まり、アブラハム以後のイスラエルの民の系譜を辿る創世記物語を、教会で深く学んだ経験をやさしい語り口でまとめた創世記研究。

46判　200頁　本体1500円　1987年
4-400-51631-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
解放の出来事 出エジプト記を学ぶ 塩野和夫著 好評だった『祝福したもう神』の続編。「覚えましょう」などの工夫を随所に凝らした構成によってイスラエルの民の脱出と契約の歴史を学ぶ。 46判　211頁　本体1500円　1991年 4-400-51632-6

サムエル記を読む 神の選びと和解の道（聖書に学ぶ） 泉　治典著 最新の聖書学的知見を援用しつつ、神学的釈義の視点から、イスラエルの歴史の中に人間の罪と神の救いのわざを深く読みとる。バルト論を付す。 46判　208頁　本体2000円　2000年 4-400-12704-4
--

自由の擁護 社会史の視点から見た十戒の主題 F.クリュゼマン著　大住雄一訳 キリスト教倫理の要諦とみなされる十戒を、成立時の社会史的文脈に置き直し、それが語られた社会層の性格を問うてその本質に迫る新しい十戒論。 46判　158頁　本体1700円　1998年 4-400-42035-3

旧約詩編の文献学的研究 第一ダビデ詩編を通して 飯　謙著 表題でダビデに帰される4群73編中、3～41編を第一ダビデ詩編と呼ぶ。ここに焦点を当てて詩編の成立と構成および中心思想を解明した労作。 A5判　300頁　本体5500円　2006年 4-400-12767-2
--

詩篇の思想と信仰　Ⅰ 第1篇から第25篇まで 月本昭男著 古代オリエント学に通暁する著者ならではの広い視野から、各篇に詳細な語釈を施し、思想・信仰の特質にまで鋭く踏み込む。詩篇の学びに必携。 46判　364頁　本体3200円　2003年 4-400-12741-9

詩篇の思想と信仰　Ⅱ 第26篇から第50篇まで 月本昭男著 読みやすい試訳と詳細な語釈。また解説では周辺世界の宗教思想とも比較対照しながら、広い地平からヤハウェ信仰の本質を深く探る。 46判　327頁　本体3200円　2006年 4-400-12743-5

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
詩篇の思想と信仰　Ⅲ 第51篇から第75篇まで 月本昭男著 古代オリエント学に通暁する著者ならではの広い視野から、各篇に詳細な語釈を施し、思想・信仰の特質にまで踏み込む。全6巻シリーズ。 46判　344頁　本体3000円　2011年 978-4-400-12745-1

詩篇の思想と信仰　Ⅳ 第76篇から第100篇まで 月本昭男著 一篇一篇の文体の微妙な陰影に入り込み、ヤハウェ信仰の様々な側面、多様な神観の表現に肉薄する。詩篇を読むための必携の書。 46判　380頁　本体3200円　2013年 978-4-400-12746-8
--

詩篇研究 〈新教セミナーブック〉 左近　淑著 詩篇の中から、特に愛唱される20篇を選び、厳密な批評的釈義と穩健的確な解釈を加えた、定評ある詩篇研究。著作集に未収録の代表的著作。 B6判　426頁　本体3800円　1971年 4-400-11193-8　僅少

古代イスラエル預言者の思想的世界 金井美彦／月本昭男／山我哲雄編 現代日本の聖書学の最前線で活躍する聖書学者15人が、預言者の存在と活動、その聖書的・歴史的・思想的・社会的意味を論じた最新の論文集。 A5判　340頁　本体6000円　1997年 4-400-11068-0
--

預言者と政治 解放の実践と根源的批判（大森講座4） 古賀清敬著 イザヤ、エレミヤらの終末的・未来的預言が、革新的な政治状況を示す言葉であることを明らかにし、教会の預言者的使命をより強く訴える好著。 46判　64頁　本体800円 1989年　4-400-31678-5　僅少

あなたはむさぼってはならない 〈大森講座9〉 三好　明著 教会とこの世が陥る「むさぼり」の罪を、聖書の・社会学的に考察する一方、その克服を通して形成されるべき教会共同体と市民共同体の姿を提示。 46判　70頁　本体1000円　1994年 4-400-31683-1

神の言としてのコヘレト 〈大森講座10〉 藤田英夫著 「すべてはむなし」と断ずるコヘレトとは？なぜこの書が聖書に収められているか？　この書に基づく説教の可能性を模索しその思想に肉迫。 46判　72頁　本体1000円　1995年 4-400-31684-X
--

【カルヴァン旧約聖書註解】

創世記　Ⅰ 〈オンデマンド・ブック〉 渡辺信夫訳 第1章から23章、すなわち天地創造よりサラの埋葬に至る部分。救済史的な視点に堅く立つ宗教改革的なメッセージ。 A5判　408頁　本体4600円　（84年）2005年　4-400-14401-1

詩　篇　Ⅰ 〈オンデマンド・ブック〉 出村　彰訳 第1篇から第37篇まで。信仰義認論を高らかに謳い上げる「信仰中心的」な釈義がまさに「キリスト中心的」な釈義であることを示す力作。 A5判　490頁　本体5300円　（70年）2005年　4-400-14403-8

詩　篇　Ⅱ 〈オンデマンド・ブック〉 出村　彰訳 第38篇から第72篇まで。奇をてらった転釈に陥ることを免れ、あらゆる権威に対し王者のごとき自由をもって聖句に対峙した渾身の傑作。 A5判　406頁　本体4600円　（71年）2005年　4-400-14404-6

詩　篇　Ⅲ 〈オンデマンド・ブック〉 出村　彰訳 第73篇から第106篇まで。旧新約聖書は一貫してキリストを指し示しているという基本的確信に基づき、神の契約の不変性を見事に表現する。 A5判　407頁　本体4600円　（72年）2005年　4-400-14405-4

聖書学・聖書注解
詩　篇　4 〈オンデマンド・ブック〉 出村　彰訳 第107篇から第150篇まで。詩篇をキリストの光のもとで読み解くカルヴァンの簡にして要を得た「字句主義」の素朴さが私たちの胸を打つ。 A5判　421頁　本体4700円　（70年）2005年　4-400-14406-2

【デイリー・スタディー・バイブル】

創世記　Ⅰ 〈デイリー・スタディー・バイブル1〉 J. C. L. ギブソン著　荒井章三／西垣内寿枝訳 創造物語からバベルの物語まで。旧約学の最新成果を紹介し、古代オリエントに並行する物語と比較しながら、聖書の独自な使信を読み解く。 46判　352頁　本体3500円　1998年 4-400-10426-5
--

創世記　Ⅱ 〈デイリー・スタディー・バイブル2〉 J. C. L. ギブソン著　加納孝代訳 12章から50章まで。アブラハム、ヤコブ、ヨセフの族長物語をそれぞれ、信仰の叙事詩、対立の叙事詩、運命の叙事詩として生き生きと論じる。 46判　540頁　本体5000円　1995年 4-400-10427-3

レビ記 〈デイリー・スタディー・バイブル4〉 G. A. F. ナイト著　水谷八也訳 レビ記の煩雑かつ延々と続く規定を歴史的文脈から再考し、契約関係における神の恵みの手段として位置づけ、新約との関連を力強く説く。 46判　304頁　本体2800円　1994年 4-400-10429-X
--

民数記 〈デイリー・スタディー・バイブル5〉 W. リガンズ著　石川　立訳 イスラエルの民の荒野の四十年を語る重要なテキストを、常にキリスト信仰から照らしつつ、堅実な講解説教風に解き明かす。 46判　434頁　本体3300円　1990年 4-400-10430-3　僅少
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

申命記

〈デイリー・スタディー・バイブル 6〉

D. F. ベイン著　丸橋　裕訳

古代の律法の根底にある普遍的な原理を洞察する注解によって、新約に好んで引用される申命記の数々が新たな相貌をもって読者に提示される。

46判　385頁　本体3400円　1997年
4-400-10431-1

列王記

〈デイリー・スタディー・バイブル 9〉

A. G. オールド著　藤本鈴恵訳

ダビデ王の死とソロモンの王位継承から、バビロンの侵略によって王国が最終的に滅亡するまでの約4世紀にわたる歴史。

46判　234頁　本体2400円　1994年
4-400-10434-6

歴代志

〈デイリー・スタディー・バイブル 10〉

J. G. マコンヴィル著　小野功生訳

捕囚から帰還した復興途上の共同体にあてて語るといふ歴代志史家の状況をふまえつつ、神への信頼、神からの赦しと恵みの思想を読み解く。

46判　416頁　本体3300円　1990年
4-400-10435-4

エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記

〈デイリー・スタディー・バイブル 11〉

J. G. マコンヴィル著　山森みか訳

紀元前5世紀、民族滅亡と捕囚の苦境から、エルサレム神殿の城壁再建に苦闘するエズラ、ネヘミヤ、そして美しいエステルのおの物語の研究。

46判　320頁　本体3400円　1999年
4-400-10436-2

ヨブ記

〈デイリー・スタディー・バイブル 12〉

J. C. L. ギブソン著　滝沢陽一訳

難解な本文をキリスト教の立場から整合的に理解することを戒め、神への抗議の積極的肯定、異教的象徴、暗い皮肉などをそれ自体として味わう。

46判　480頁　本体4600円　1996年
4-400-10437-0

詩　篇Ⅱ

〈デイリー・スタディー・バイブル 14〉

G. A. F. ナイト著　尾崎　安訳

73篇から150篇まで。豊かな学殖と博引旁証によりイスラエルの民の信仰の詩を注解する。訳文は尾崎氏独自の折衷体により原文の雅趣を伝える。

46判　670頁　本体5000円　1997年
4-400-10439-7

箴　言

〈デイリー・スタディー・バイブル 15〉

K. T. エイトケン著　松平陽子訳

イスラエルの民の世俗的な知恵の宝庫である箴言を、その社会的背景に注目しながら注解。10～31章は主題別に分類してその多様な特徴に迫る。

46判　440頁　本体4200円　1995年
4-400-10440-0

伝道の書・雅歌

〈デイリー・スタディー・バイブル 16〉

R. デヴィッドソン著　牧野留美子訳

聖典としての先入観から自由にテキストを読む。伝道の書の詩としての美を十全に味わい、また雅歌を寓意的に読まず純粹に愛の歌として鑑賞。

46判　288頁　本体2800円　1996年
4-400-10441-9

イザヤ書Ⅱ

〈デイリー・スタディー・バイブル 18〉

J. A. F. ソーヤー著　樋口　進訳

40～66章（第二イザヤ、第三イザヤ）を扱う。ただしイザヤ書全体を、密接な思想的関連性の下に統一的に捉えようとする意欲的注解。

46判　346頁　本体3500円　1995年
4-400-10443-5

エゼキエル書

〈デイリー・スタディー・バイブル 20〉

P. C. クレイギ著　友枝久美子訳

難解な象徴や比喩のために多くの注解者を挫折させてきたエゼキエル書を、神の神聖さという中核的メッセージに留意しながら注解を施す。

46判　494頁　本体2900円　1986年
4-400-10445-1

ダニエル書

〈デイリー・スタディー・バイブル 21〉

D. S. ラッセル著　牧野留美子訳

捕囚記の人物の口を借りながら、前2世紀の苛烈な迫害にある同胞を励ますために書かれた黙示文学。その複雑な象徴の世界を解き明かす。

46判　384頁　本体2400円　1986年
4-400-10446-X

新約聖書関連書

人生を聖書と共に

リチャード・ボウカムの世界

R. ボウカム　M. エリオットほか著

傑出した神学者の古希を記念し、主要7作品を愛弟子たちが解説、聖書神学の最先端への道案内でもある。巻頭にはボウカムの信仰自伝も付す。

46判　120頁　本体1600円　2016年
978-4-400-32456-0

新約聖書と神の民　上巻

キリスト教の起源と神の問題 1

N. T. ライト著　山口希生訳

英語圏を代表する新約聖書神学ついに全訳開始。第1巻の前半ににあたる本書は、綿密な聖書学方法論と新約聖書の時代背景を詳述する。

A5判　609頁　本体6400円　2015年
978-4-400-12441-2

信じない人のためのイエス入門

宗教を超えて

ジョン・シェルビー・スポンゲ著　富田正樹訳

アメリカ聖公会の著名な元主教が、聖書学の知見に基づき、従来の有神論を徹底的に批判し、本当の神体験とは何かをイエスを通して考える。

A5判　400頁　本体3700円　2015年
978-4-400-32492-8

最初期キリスト教思想の軌跡

イエス・パウロ・その後

青野太潮著

キリスト教誕生の瞬間を多様な角度から捉え直し、またキリスト教思想が現代人にとって有する意味を深く考究した刺激的論考 29編を収録。

46判　856頁　本体6000円　2013年
978-4-400-12104-6

イエス入門

R. ボウカム著　山口希生　横田法路訳

世界的な聖書学者が初学者向けに書き下ろしたイエス入門。オクスフォード大学出版局の定評あるVery Short Introduction シリーズの一冊。

46判変型　200頁　本体1900円　2013年
978-4-400-52071-9

隣人愛のはじまり

聖書学的考察〈シリーズ神学への船出 01〉

辻　学者

隣人愛の様々な聖書の源流を訪ねながら、当たり前と思われている観念の歴史をたどる刺激的な船旅。聖書学的方法論への船出にも誘う。

46変判　200頁　本体1700円　2010年
978-4-400-30001-4

聖書学・聖書注解

ローマ帝国とイエス・キリスト

磯部　隆著

イエス・キリストの世界史的意味を、ローマ帝国という当時の世界帝国の背景から解明。主流文化の価値意識や思考様式に対する内面的対決の跡。

46判　473頁　本体2600円　2013年
978-4-400-12107-7

新約聖書の伝道理解

F. ハーン著　勝田英嗣訳

初代教会のキリスト者は伝道をどう理解していたのか。伝道観の多様性を明らかにしつつ、そこを貫く共通の二つの根本問題を浮き彫りにする。

A5判　240頁　本体3800円　2012年
978-4-400-32439-3

フィロンと新約聖書の修辞学

山田耕太著

新約理解に欠かせない修辞学的分析をルカ文書や書簡に適用した研究成果と、同時代の著述家フィロンの修辞に関する考察。

A5判　352頁　本体6300円　2012年
978-4-400-12750-5

塚本虎二訳　新約聖書

塚本虎二訳新約聖書刊行会編

口語訳をライフワークとした塚本の訳業全体が初めて一書にまとめられた。学問的厳密さと躍動する文体が見事に統合された名訳。略注も収録。

A5判　1040頁　本体4000円　2011年
978-4-400-11119-1　僅少

新約全書

現代仮名字体版『志無也久世無志與』

ネイサン・ブラウン訳

覆刻『志無也久世無志與』を綿密に解読し、現代仮名字体に書き改めた。ブラウンの活き活きた訳を現代人がより短かに味わえる一冊。

A5判　912頁　本体7000円　2011年
978-4-400-10682-1　僅少

約翰福音之傳・約翰上中下書

1837年　シンガポール・堅夏書院版

K. F. A. ギュツラフ訳　秋山憲兄解説

「ハジメニカシコイモノゴザル」で始まるヨハネ福音書は、日本人漂流民・尾張の音吉の手助けによる近代日本の歴史最初の和訳で、貴重な覆刻。

A5判　192頁　本体8000円　2000年
4-400-10677-5

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
新約本文のパピルスⅢ
蛭沼寿雄著 故蛭沼氏の偉業が完結。新約本文パピルスの47番から100番までを扱う。単なる写本紹介を超えた労作。ⅠとⅡは大阪キリスト教書店より既刊。 B5判 380頁 本体15,000円 2010年 978-4-400-11022-4

幸いなるかな 初期キリスト教のマカリズム 原口尚彰著 新約聖書や使徒教父文書にも重要な役割を果たす「幸いの宣言」のユダヤ的背景に溯りつつ、初期キリスト教に独自の特質を明らかにした労作。 A5判 200頁 本体4700円 2011年 978-4-400-12769-7
--

イエスとその目撃者たち 目撃者証言としての福音書 R. ボウカム著 浅野淳博訳 福音書を目撃者証言というジャンルとして解釈する試み。古典から記憶理論までを駆使し、歴史における目撃者証言の信憑性を論じた偉業。 A5判 656頁 本体7600円 2011年 978-4-400-11180-1

イエス運動 ある価値革命の社会史 G. タイセン著 廣石 望訳 イエス運動の核心を、ラディカルな愛と和解のヴィジョンを掲げたユダヤ教革新運動と位置づけ、原始キリスト教への発展を多角的に解明する。 A5判 420頁 本体5000円 2010年 978-4-400-11148-1

原始キリスト教の心理学 初期キリスト教徒の体験と行動 G. タイセン著 大貫 隆訳 パウロや初期キリスト教徒たちがいかなる「心の世界」に住んでいたのかを「歴史的宗教心理学」という斬新な方法論を駆使して分析した大著。 A5判 860頁 本体9500円 2008年 978-4-400-11147-4

初期ユダヤ教の実像
土岐健治著 ファリサイ派は律法主義者だったのか。イエス時代のユダヤ教文献を博搜し、新約だけに拠りがちだったキリスト教側のユダヤ教像を書き換える。 46判 188頁 本体2000円 2005年 4-400-12429-0

土岐健治著 第一人者による待望の論文集。新約思想成立の背景となったユダヤ教内の特殊主義と普遍主義の相克を照射。「一神教と人類意識」「ヨナ書」他。 A5判 176頁 本体3500円 2006年 4-400-12430-4

初期キリスト教の思想的軌跡 〈オンデマンド・ブック〉 J. ロビンソン／H. ケスター 加山久夫訳 ナグ・ハマディ文書の発見によって明らかとなった初代教会の思想的多様性とその「正統と異端」をめぐるダイナミックな運動を解明した論集。 46判 452頁 本体4200円 (75年)2005年 4-400-14302-3
--

新約聖書 〈現代神学の焦点〉 G. ボルンカム著 佐竹 明訳 ドイツを代表する新約学者が、新約文書の成立の解明に主力を注ぎながら、新約後期諸文書の統一テーマ、神の出来事としてのイエスの歴史を示す。 小B6判 258頁 本体1600円 1972年 978-4-400-33216-9

新約思想の成立 〈オンデマンド・ブック〉 八木誠一著 今や独自の宗教哲学を構築した著者が新約思想の類型論的分析を打ち出した出発点。本書は初版以後の滝沢との論争をふまえた増補版。 A5判 368頁 本体5300円 (63年)2003年 4-400-10752-3

新約聖書の諸問題 〈オンデマンド・ブック〉 佐竹 明著 「イエスゆえの患難」「パウロにおける使徒職と恩恵」「パウロにおける苦難の理解」「パウロにおける十字架」等、重要論文12編収録。 46判 334頁 本体3900円 (77年)2003年 4-400-10763-9
--

四つの福音書、ただ一つの信仰
E. トロクメ著 加藤 隆訳 視点の異なる四つの福音書が正典に含まれている謎に迫り、初代教会の多様性と同時に、それらを貫くキリスト教信仰の統一性をも示す。 46判 162頁 本体1800円 2002年 4-400-12113-5

ナザレのイエスと信仰のキリスト
P. シュトゥールマツハー著 加藤善治／辻 学訳 新約学の泰斗が史的イエス問題に正面から答え、ナザレのイエスへの信仰告白の正当性を、イエス自身のメシア自覚に基礎づける。3講演を収録。 46判 204頁 本体1900円 2005年 4-400-12133-X

イエスとパウロ イスラエルの子
A. シュラキ著 長柴忠一訳 新約聖書の二人の中心人物を、ユダヤ教の信仰伝統を共有する預言者の実存として高く評価し、共感を込めて描き出す。 46判 122頁 本体1200円 2005年 4-400-12135-6

イエスとの初めての再会 史的イエスと現代的信仰の核心 M. ボーグ著 西垣二一・三ツ本武仁訳 「第三の探求」の成果に基づき、現代人にとって真に納得のいく聖書の読み方から導き出されたイエス観・神観・信仰観を積極的に提示する。 46判 254頁 本体2500円 2011年 978-4-400-12034-6

イエスとは誰か 史的イエスに関する疑問に答える J. D. クロッサン著 飯郷友康訳 自らのイエス観の核心をインタビュー形式に託して率直に語り、開かれた食卓と無償の癒しを通して神の国を「実演」したイエスを鮮烈に描き出す。 46判 192頁 本体1900円 2013年 978-4-400-12305-7
--

イエス あるユダヤ人貧農の革命的生涯 J. クロッサン著 太田修司訳 人類学や社会学に及ぶ学際的知見を総動員して史的イエスの実像に迫り、その革命的なライフスタイルに新しい光を当てた「第三の潮流」の代表作。 46判 352頁 本体3600円 1998年 4-400-12033-3
--

イエスの死の意味 〈新教セミナーブック〉 ケーゼマン／コンツェルマン／ローゼ／ヘンヘン他 現代教会の直面する「説教の危機」に答えるべく、宣教の中心主題であるイエスの死、十字架、復活を、ドイツ神学界の俊英が共同研究。安積鋭二訳 46判 218頁 本体1800円 (74年)2005年 4-400-32259-9

聖書学・聖書注解
イエスの十字架の意味 〈新教セミナーブック〉 ビツァー／ゲータース／シュラーゲ／クレック他 「救いの根拠としての主イエスの十字架」の意味を、厳密な聖書釈義の成果と宗教改革的な「十字架の神学」との折衝の中で問い直す。南 吉衛訳 46判 240頁 本体1800円 (75年)2005年 4-400-32561-X

イエスの復活の意味 〈新教セミナーブック〉 マルクセン／ヴィルケンス／ガイヤー他 村上 伸訳 現代の教会は「復活」の福音をいかに語りうるのか？ その史実性から使信の神学性に至る「復活」のダイナミズムを解明する。 46判 218頁 本体1800円 (74年)2005年 4-400-32255-6
--

ナザレのイエス 〈現代神学双書〉 G. ボルンカム著 善野碩之助訳 福音書の史的・批評的研究と初期キリスト教史研究の最新の成果をふまえて、史的イエスの現実を示し、福音の使信の現代的意味を追究した傑作。 B6判 358頁 本体3200円 1967年 4-400-13001-0
--

ユダヤ人イエス ユダヤ教とキリスト教の対話 D. フルッサー著 武田武長／武田 新訳 ユダヤ教の立場から初期キリスト教史を研究する著者が、イエスの言動のユダヤ的背景に照らしながらその独創性を論じた興味溢れる書。 46判 212頁 本体2400円 2000年 4-400-12100-3

イエシュア 現代人のモデル・イエス（新教ブックス） L. スウィードラー著 八木誠一訳 ユダヤ教徒として生き死にしたイエスを、新しく根本的にユダヤ教との対話の中に捉えなおした、キリスト者のための「キリスト教再入門」。 46判 224頁 本体2500円 1994年 4-400-12483-5
--

小さき者の友イエス 〈現代神学双書〉 三好 迪著 「小さき者の友」としての生きざまに学び、それをイエスの宣教の中心として、深い学殖と敬虔を傾けて書かれた福音書研究論文23篇を収録。 B6判 480頁 本体4200円 1987年 4-400-33071-0
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

イエスの裁判

J. プリンツラー著　大貫　隆／善野碩之助訳

カトリック教会の代表的な新約学者が、該博な古代法の知識と、初期キリスト教の史的研究を駆使して、イエスの裁判と十字架の死に挑んだ傑作。

46判　504頁　本体5000円　1988年
4-400-32374-9

イエスの宣教

〈新教セミナーブック〉

J. エレミアス著　角田信三郎訳

新約聖書の文学的・言語学的研究の世界的権威が、イエスの使信の独自性とその意味を追求し、雄大な構想のもと学殖を傾けて完成した大作。

B6判　614頁　本体4800円　1978年
4-400-33257-8

イエスの譬え

〈オンデマンド・ブック〉

J. エレミアス　善野碩之助訳

福音書に記された譬話の中にイエスの中心的メッセージを読みとるために、精密な編集史的分析を経てその最古の形態に至ろうとした労作。

46判　298頁　本体3000円　(69年)2005年
4-400-14303-1

イエスの譬え話 1

ガリラヤ民衆が聞いたメッセージを探る

山口里子著

あの不在地主や放蕩息子の父は果たして慈父の如き神の譬えなのか？　テキストの忠実な読みから浮かび上がるイエスの全く異なるメッセージ。

A5判　198頁　本体2000円　2014年
978-4-400-12758-1

イエスの働きと言葉

A. M. ハンター著　吉田信夫訳

神の子、苦難のメシア、主にして僕イエスへの真実な信仰と共に福音書に向かい、穏健な方法論に立って史的イエスの働きと言葉の全体像を把握。

46判　292頁　本体2300円　1989年
4-400-12382-0

マタイによる福音書

私訳と解説

宮平　望著

新約聖書全巻の逐条的コメントリーを志す壮図の第1巻。1節ごとに私訳を提示。聖書の内的証言を最優先し他箇所にも目配りしながら丁寧に解説。

A5判　640頁　本体4000円　2006年
4-400-11891-6

マタイによる福音書

〈シュラッター新約聖書講解 1〉

蓮見和男訳

近代ドイツ聖書学の代表シュラッターの名著。厳密な私訳の聖書本文、広い学識と敬虔な信仰の講解が一体化し、生きた神の言葉として語られる。

A5判　492頁　本体4000円　1976年
4-400-10351-X　僅少

主の祈りと山上の説教

新たな解釈の試み　〈大森講座 21〉

佐藤泰將著

敵対勢力との信仰の戦いでマタイ宗団存続のために主の祈りと山上の説教が果たした機能・意味を、精密な本文分析と社会学的知見も援用し探る。

46判　90頁　本体900円　2006年
4-400-31695-5

イエスの生と死　上巻

マルコ福音書に学ぶ　1-9 章

秋田　稔著

若人と共に自宅を開放して始めた聖書講義の記録。聖書学と対話しつつ、あくまで福音書を通してイエスと真摯に出会おうとする姿勢を貫く。

46判　372頁　本体3200円　2001年
4-400-12725-7

イエスの生と死　下巻

マルコ福音書に学ぶ　10-16 章

秋田　稔著

イエスのエルサレム入城から十字架刑までのマルコ福音書のクライマックスを扱う。付録として旧約聖書に関する講演 2篇を収録。

46判　344頁　本体3000円　2002年
4-400-12735-4

共観福音書の社会科学的注解

B. マリーナ／R. ロアボー著

大貫　隆監訳／加藤　隆訳

最新の歴史学・文化人類学の成果と共に、社会科学的視点を取り入れ、古代地中海世界の文書として福音書を読み、イエスの言動を見る画期的注解。

A5判　500頁　本体8214円　2001年
4-400-11146-6

古代ユダヤへのタイムトラベル

イエスが生きた世界

B. マリーナ著　浅野幸治訳

現代人が古代ユダヤに旅したら？　という想定の下、多数の挿話で、当時の社会の特質を浮き彫りにする文化人類学的聖書解釈のユニーク試み。

46判　328頁　本体3800円　1999年
4-400-22043-5

マルコ福音書 上巻 〈増補新版〉

〈現代新約注解全書〉

田川建三著

上巻は6章6節まで。最前線の批判的・学問的な聖書学の成果を非専門家読者に配慮しつつ歯切れの良い文体で明快に伝える。中巻準備中。

46判　403頁　本体4000円　(72年)2001年
978-4-400-11152-8

福音書作家マルコの思想

滝澤武人著

テキストと向き合い従来の通説の根拠を徹底的に吟味、「ガリラヤ民衆」の立場に立って批判的精神を貫徹した福音書作家の思想を浮彫りにする。

A5判　296頁　本体4000円　1995年
4-400-11067-2

ガリラヤへ行け

マルコ福音書研究

鈴木　浩著

様式史と編集史の研究成果を教会の聖書研究会にどう活かすか。著者が教会の聖研のために毎週書き続けた精緻なマルコ研究。聖書注解にも最適。

A5判　376頁　本体3600円　2005年
4-400-12765-6

マルコによる福音書

私訳と解説

宮平　望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判　432頁　本体2400円　2008年
978-4-400-11892-3

ルカによる福音書

私訳と解説

宮平　望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判　717頁　本体4000円　2009年
978-4-400-11893-0

時の中心

ルカ神学の研究 〈オンデマンド・ブック〉

H. コンツェルマン著　田川建三訳

ルカ神学の中核にある直線的な救済史観を、初めて厳密な文献批判と本文分析によって明らかに示したルカ - 行伝研究における金字塔的業績。

46判　452頁　本体5200円　(65年)2004年
4-400-10771-X

聖書学・聖書注解

前に向かって進む

「ルカ福音書」が語る主イエスのイメージ

茂　洋著

主イエスとはどのような時でも、死に至る旅でもつねに前に向かって進んでいかれる…私たちを力づけるルカ福音書のメッセージの定評ある講解説教。

46判　228頁　本体1900円　2008年
978-4-400-12784-0

栄光のキリスト

ヨハネによる福音書の受難物語　〈大森講座 25〉

高砂民宣著

共観福音書と著しく異なるヨハネの長大な受難物語を精密に分析し、「栄光」という視点からそのキリスト論の特色を明らかにする。

46判　120頁　本体1000円　2013年
978-4-400-31699-2

ヨハネによる福音書

私訳と解説

宮平　望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、一節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判　472頁　本体2500円　2010年
978-4-400-11894-7

ヨハネ福音書講解　上巻

1 章 1 節－8 章 11 節

アウグスティヌス著　中沢宜夫訳

ヒッポの司教・牧会者として会衆に語られた講解説教。古代修辞学の技法の全てを福音書の解き明かしに最大限傾注した流麗かつ白熱の説教。

A5判　540頁　本体7600円　1996年
4-400-10175-4

ヨハネ福音書講解　下巻

8 章 12 節－21 章 25 節

アウグスティヌス著　中沢宜夫訳

アウグスティヌスの代表的聖書講解を、30余年に及ぶ辛苦の末の個人による完訳。定本に忠実な読解と綿密な訳注によって説教の迫力を再現。

A5判　600頁　本体8214円　1992年
4-400-10176-2

ヨハネ福音書を読む

聖書に学ぶ

泉　治典著

ブルトマン、ヴィルケンズ、オリゲネス、アウグスティヌス、ルター、カルヴァン、バルトラの神学的註解とも対話を重ねた格好の学びの伴侶の書。

B6判　230頁　本体2100円　2008年
978-4-400-12744-4

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

ヨハネ福音書のイエス・キリスト 上

私たちを新しい生へと動機づける

秋田 稔著

篤実な無教会信仰に基づき自らの主宰する聖書勉強会で語った聖書講話。ブルトマン、シュルツ、タイセンらと真剣に対話しながら講解する。

A5判 300頁 本体3000円 2010年
978-4-400-12774-1

ヨハネ福音書のイエス・キリスト 下

私たちを新しい生へと動機づける

秋田 稔著

篤実な無教会信仰に基づき自らの主催する聖書勉強会で語った聖書講話。ブルトマン、シュルツ、タイセンらと真剣に対話しながら講解する。

A5判 240頁 本体2500円 2011年
978-4-400-12775-8

使徒行伝 上巻

〈現代新約注解全書〉

荒井 献著

使徒行伝を歴史文学として読み解き、史実の装いの背後にあるルカの思想、その動機などにも迫ろうとする本格注解。上巻は1章から5章まで。

A5判 431頁 本体6000円 1977年
4-400-11156-3

使徒行伝 中巻

〈現代新約注解全書〉

荒井 献著

上巻から37年ぶりの刊行となる中巻は、6:1-18:22を扱う。邦人の手になる学界最高水準の行伝注解である。

A5判 510頁 本体9000円 2014年
978-4-400-11157-3

使徒行伝 下巻

〈現代新約注解全書〉

荒井 献著

下巻は18章23－28章30節までを扱う。また巻末には「補論 最後のパウロ」および「概説 使徒行伝」が加わる。40年をかけてついに完結。

A5判 455頁 本体9000円 2016年
978-4-400-11158-0

使徒言行録

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、一節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判 464頁 本体2500円 2011年
978-4-400-11895-4

ロゴス・エートス・パトス

使徒言行録の演説の研究

原口尚彰著

使徒言行録に記されているペトロやパウロらの演説全29を修辞批評的な視点から分析し、それぞれの特質を明らかにした労作。

A5判 256頁 本体4700円 2005年
4-400-12766-4

グノーモン

新約聖書註解 1

J. A. ベンゲル著 岡本不二夫訳

18世紀ドイツ敬虔主義を代表する聖書学者の霊的な註解。ガラテヤ、エフェソ、フィリピ、コロサイ、フィレモンの5書簡を収録。

A5判 240頁 本体3000円 2006年
4-400-10130-4

イエス・キリストの信仰

ガラテヤ3章1節―4章11節の物語下部構造

リチャード・ヘイズ著 河野克也訳

キリスト教信仰と神学の根幹に関わる、長きにわたって争われてきた論争に、新たな視点から鮮やかな解決を提示した古典的論文。

A5判 510頁 本体6500円 2015年
978-4-400-12466-5

パウロは私たちにとって誰なのか 上

ローマ人への手紙に学ぶ 1―8章

秋田 稔著

パウロの生き方と信仰に生けるイエス・キリストの姿を見、人間とは何かを問う信仰の書。「聖書の思想の出発点」（創世紀1―11章）も収録。

46判 360頁 本体3000円 2004年
4-400-12770-2

パウロは私たちにとって誰なのか 下

ローマ人への手紙に学ぶ 9―16章

秋田 稔著

「私たちの聖書研究会」でのローマ書研究の完結巻。密度の濃い学問的聖書研究ながら、信徒に向けられた親しみやすい信仰書。巻末付録付。

46判 230頁 本体2800円 2005年
4-400-12771-0

使徒パウロ

伝道にかけた生涯 新版

佐竹 明著

1981年発行のNHKブックス版を読みやすく組み直したパウロの入門的評伝の新版。パウロ研究の第一人者が歴史的厳密性を保った記述で著す。

46判 280頁 本体2500円 2008年
978-4-400-11021-7

ローマの信徒への手紙 上巻

原口尚彰著

パウロと読者とのコミュニケーションに焦点を合わせて使信に迫る、修辞学的＝書簡論的分析の成果。邦人の手になる久々のローマ書本格注解。

A5判 270頁 本体4600円 2016年
978-4-400-11182-5

ローマ人への手紙

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、一節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判 270頁 本体2000円 2011年
978-4-400-11896-1

コリント人への手紙

私訳と解説

宮平 望著

信徒の聖書研究に最適な注解書の第7巻。聖書学の研究成果を十分に踏まえ丁寧な解説を施す。この巻はコリント前後書を含む。

A5判 464頁 本体2500円 2012年
978-4-400-11897-8

コリント信徒への手紙を読む

教会の土台を据える 〈聖書に学ぶ〉

泉 治典著

パウロが語り伝えようとした時代の転換と終末の希望を、テキストに即して徹底的に読み解く。コリント書簡を学ぶためのコンパクトな座右の書。

B6判 260頁 本体2200円 2006年
4-400-12720-6

ガラテヤ人への手紙

〈現代新約注解全書〉別巻

原口尚彰著

ガラテヤ書の修辞的機能に踏み込んで詳述した本邦初の本格的注解。古代書簡論の光の中で、パウロのメッセージが甦る。

A5判 272頁 本体4800円 2004年
4-400-11163-6

ガラテア人への手紙

〈現代新約注解全書〉

佐竹 明著

最高の学的水準をいく定番中の定番註解を読みやすい拡大版で重版。パウロ研究の第一人者による克明な註解は一般信徒にも利用しやすい必読書。

A5判 620頁 本体6660円 2008年
978-4-400-11150-4

聖書学・聖書注解

ガラテヤ人、エフェソ人、フィリピ人、コロサイ人への手紙

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先し、丁寧な解説を施す。聖書研究の座右の書。

A5判 464頁 本体2500円 2013年
978-4-400-11898-5

ピリピ人への手紙

〈現代新約注解全書〉

佐竹 明著

我が国におけるパウロ研究の第一人者による、3文書合成説に基づく最高の学的水準を保った克明な注解。一般信徒にも利用しやすい。

A5判 302頁 本体4800円 1969年
978-4-400-11151-1

テサロニケ人・テモテ・テトス・フィレモンへの手紙

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先し、丁寧な解説を施す。聖書研究の座右の書。

A5判 368頁 本体2400円 2014年
978-4-400-11899-2

ヘブライ人への手紙

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先し、丁寧な解説を施す。聖書研究の座右の書。

A5判 294頁 本体2200円 2014年
978-4-400-11900-5

ヤコブ・ペトロ・ヨハネ・ユダの手紙

宮平 望著

私訳と解説

信徒の聖書研究に最適の注解書。聖書全巻の逐条的コメントリーを志す壮図の第11作目。1節ずつメッセージ豊かで丁寧な解説を施す。

A5判 396頁 本体2500円 2015年
978-4-400-11901-2

偽名書簡の謎を解く

パウロなき後のキリスト教

辻 学者

なぜ書かれたのか、その主張や狙いは何か? 「第2パウロ書簡」について最新の研究成果に基づく、初めて邦語で読める包括的・画期的な入門書。

46判 233頁 本体2200円 2013年
978-4-400-12106-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

ヤコブの手紙

〈現代新約注解全書〉
辻 学著

思想内容、文学類型、著者問題などについて研究者たちを悩ませてきたヤコブ書に関する最高水準の学問的注解。5つの補論を付す。

A5判 300頁 本体5000円 2002年
4-400-11162-8

いのちの糧の分かち合い

いま、教会の原点から学ぶ
山口里子著

斬新な視点から聖書を読み直し隠された声なき声を聴き取る解釈学。目からウロコの刺激に満ちた8章。「ダヴィンチコード」もこう読める！

A5判 260頁 本体2200円 2013年
978-4-400-12757-4

新しい聖書の学び

山口里子著

最新の聖書学研究に基づいた知見を盛り込み、人間解放の視点に基づきつつ、大学1年生にもわかりやすく平易に聖書を読み解く道案内をする。

A5判 203頁 本体1900円 2009年
978-4-400-12755-0

マルタとマリヤ

イエスの世界の女性たち
山口里子著

歴史的想像力を駆使し獲得される聖書の豊かな生命力。フェミニスト神学が生んだ成果。英語版原書はアメリカカナダカトリック報道協会賞を受賞。

A5判 336頁 本体2800円 2004年
4-400-12753-2

パウロをどうとらえるか

〈オンデマンド・ブック〉
荒井 献編

「パウロ主義批判」をめぐる貴重な対論の記録。寄稿者は荒井 献・佐竹 明・田川建三・弓削達・青野太潮・八木誠一・碑文谷創・高尾利数他。

A5判 294頁 本体4200円 (72年)2003年
4-400-30756-5

主の祈り

イエスの祈りから弟子たちの祈りへ
M.フィロネンコ著 加藤 隆訳

主の祈りを当時のユダヤ教の祈りとの比較において検証し、その成立の起源にイエス自身の祈りと弟子たちに教示した祈りがあることを示す。

A5判 184頁 本体2200円 2003年
4-400-12118-6

ヨハネの黙示録

私訳と解説
宮平 望著

ヨハネの黙示録を、終末における天地再創造の約束を鍵として読み解く。個人による新約全巻注解全12冊、ここに完結。

A5判 308頁 本体2300円 2015年
978-4-400-11902-9

ヨハネの黙示録 上巻 序説

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

旧版を全面増補改訂、3巻本として刊行する。独自の段階的成立説に立ちながら、黙示録を立体的に考察、その謎を解明していく。

A5判 260頁 本体4800円 2007年
978-4-400-11164-1

ヨハネの黙示録 中巻

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

黙示録に関する世界最高水準の注解書。いよいよ本文1章から11章までの注解に入る。本書のドイツ語版は定評あるマイヤー注解シリーズ収録。

A5判 480頁 本体8500円 2009年
978-4-400-11165-8

ヨハネの黙示録 下巻

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

黙示録に関する世界最高水準の注解書。本文12章から22章までの注解。黙示録について真剣に学ぶ人、説教する牧師の必携書である。

A5判 480頁 本体8500円 2009年
978-4-400-11166-5

ヨハネの黙示録における祈りと讃美

長崎 巖著

「黙示録は讃美で始まり、祈りで終わる。そして全体は讃美と祈りに囲まれ、讃美と祈りが交互に入り組んで記されているのである」(本文より)。

46判 120頁 本体1200円 2002年
4-400-52673-9

ヨハネの黙示録を読む

再臨と神の国 〈聖書に学ぶ〉
泉 治典著

難解とされるテキストを、三つの主題(真の教会理解、受肉の確証、新しい天地)を中心に読み解く。巻末に付論として「バルトの終末論」。

B6判 217頁 本体2000円 2003年
4-400-12742-7

ヨハネの黙示録に学ぶ 改訂版

黙示録は私たちに何を問いかけているか
秋田 稔著

時代背景を踏まえ、ギリシャ語原文に即してテキストが何を語ろうとしているかを読み解く。危機的を生きる我々に、終末信仰の堅持を強く訴える。

46判 310頁 本体3000円 2009年
978-4-400-12772-7

新約聖書における教会像

〈オンデマンド・ブック〉
E.シュヴァイツァー著 佐竹 明訳

初代における教会観の多様性を、原始教会、パウロ、ヨハネ、および使徒教父の構想に即して解明すると同時に、その統一性の核心に迫る。

46判 382頁 本体4600円 (68年)2004年
4-400-10770-1

ペテロ

弟子・使徒・殉教者 〈オンデマンド・ブック〉
O.クルマン著 荒井 献訳

学問的かつ一般的にもよくまとまった、数少ない歴史的研究。神学的問題についても豊かな洞察を示し、「ペテロ問題」に関する必読書である。

46判 438頁 本体5000円 (65年)2004年
4-400-10768-X

イエスの復活とその福音

〈オンデマンド・ブック〉
レオン＝デュフル著 三保 元訳

復活を証言する福音書の「言語」に詳細な分析を加えると同時に、現代にそれをどう語るかという問題提起に及ぶ。70年代に論争を呼んだ名著。

46判 416頁 本体4800円 (74年)2004年
4-400-10769-8

聖書の女性 新約篇

A.カイパー著 中村妙子訳

「旧約篇」に続いて、新約聖書に登場する29人の女性の多彩な行動・性格を生きたきと描写しながら、現代人の信仰生活に大きな示唆を与える。

B6判 156頁 本体1000円 1980年
4-400-12213-1 僅少

ナザレのマリア

M. S.ハイスター著 出村みや子訳

ガリラヤのナザレ出身の無名の女性、イエスの母マリアが、信仰者の模範と希望になった経緯を、様々な伝承、信仰、神学の多様な視座から問う。

A5判 176頁 本体2800円 1988年
4-400-52377-2 僅少

新約聖書における模範

〈大森講座19〉
藤井和弘著

「和解の言葉」の担い手である教会の存在自体こそが《模範》に近づく道ではないか――現代の多様な価値観にあって教会の存在を問う。

46判 72頁 本体849円
2004年 4-400-31693-9

もう一つの召命物語

バルテマイの癒しから見た福音書記者マルコの神学
三永旨従著 〈大森講座14〉

マルコが記す11の奇跡のうちの最後に位置する盲人バルテマイの癒しの奇跡を、種々の特徴と文脈の分析から、これを「召命物語」と位置付ける。

46判 96頁 本体1000円 1999年
4-400-31688-2

しるしの福音書

〈大森講座1〉
山岡 健著

新進気鋭の聖書学者が、ヨハネ福音書の中心テーマをエピソード(20:30-31)の「しるし」に求め、それを焦点にヨハネ福音書の理解を試みた研究。

46判 74頁 本体800円
1986年 4-400-31675-0 僅少

ヨハネとパウロ

新約神学の統一性に関する一考察 〈大森講座12〉
鈴木牧雄著

パウロの信仰義認から学びつつ、その真理を今日に有効に提示できる伝道の原理をヨハネに求め、この視点から2人の補いあう関係を明らかにする。

46判 88頁 本体1000円 1997年
4-400-31686-6

覆刻馬太伝福音書・馬可伝福音書

ベッテルハイム聖書覆刻

幕末、教のため沖縄に渡来し琉球王府に捕えられながら新約の日本語訳に取り組んだ宣教師ベッテルハイムの「マタイ伝」「マルコ伝」の漢対訳

B4変型 138丁 本体38000円)1979年
4-400-10678-0

新約聖書の「本文」とは何か

E.グューティング著／前川 裕訳

聖書「本文」の性質、その研究方法、未解決の問題、本文校訂に携わる者への提案など、重要テーマを、正面から、かつコンパクトに扱う。

A5判 136頁 本体3500円 2012年
978-4-400-11026-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

【蛭沼寿雄著作選集】

新約本文学演習 マルコ・マタイ

蛭沼寿雄著作選集 第1巻
蛭沼寿雄著

複雑な写本情報を比較検討する校合作業をマルコ、マタイ両福音書を用いて丁寧に演習していくことで、本文学の醍醐味を伝える貴重な書。

A5判 600頁 本体4200円 2011年
978-4-400-11023-1

新約本文学演習 ルカI ギリシア語新約語法

蛭沼寿雄著作選集 第2巻
蛭沼寿雄著

演習はルカ福音書6章までの写本情報の校合作業。語法は新約に登場する様々な語法の実例を通して新約原典を学ぶ醍醐味を伝える。

A5判 600頁 本体4200円 2011年
978-4-400-11024-8

新約本文学史

蛭沼寿雄著作選集 第3巻
蛭沼寿雄著

本文学史における主要な研究者たちの手法や論理だけでなく彼らの生涯と業績までも紹介する。本文確立のために苦闘した先人のドラマが甦る。

A5判 530頁 本体4200円 2011年
978-4-400-11025-5

【カルヴァン新約聖書註解】

共観福音書 上

〈カルヴァン新約聖書註解〉1
森川 甫訳〈オンデマンド・ブック〉

初版1555年、『ハルモニー』と呼ばれる共観福音書註解より前半ルカ17:10までを収める。ジュネーヴでの改革運動の苦闘の中で生まれた書。

A5判 531頁 本体5700円 (84年)2005年
4-400-14407-0

ヨハネ福音書 上

〈カルヴァン新約聖書註解〉3
山本 功訳〈オンデマンド・ブック〉

ヨハネ福音書は、他の福音書の理解の扉を開く。ヨハネ書ほどキリストがこの世に來たことの意義と実りを教えてくれる書物はないことを力説。

A5判 337頁 本体3900円 (63年)2005年
4-400-14409-7

ヨハネ福音書 下

〈カルヴァン新約聖書註解〉4
山本 功訳〈オンデマンド・ブック〉

二重予定説に対する誹謗など数々の神学論争に巻き込まれ、人生最大の苦闘の時期である1550年代に書かれた本書は、著者充実期の名著でもある。

A5判 362頁 本体4200円 (65年)2005年
4-400-14410-0

使徒行伝 上

〈カルヴァン新約聖書註解〉5
益田健次訳〈オンデマンド・ブック〉

襲いかかる苦難を忍耐へと導くのは福音であることを教える使徒たちの歩みから、わたしたちに与えられる豊かな慰めを丁寧に解説。

A5判 419頁 本体4700円 (68年)2005年
4-400-14411-9

使徒行伝 下

〈カルヴァン新約聖書註解〉6
益田健次訳〈オンデマンド・ブック〉

1552年にジュネーブで出版。政治、経済、社会すべてが劇的に急変していた宗教改革期に、聖書を真心をこめて扱い、御言葉を聴いた軌跡。

A5判 391頁 本体4400円 (73年)2005年
4-400-14412-7

ローマ書

〈カルヴァン新約聖書註解〉7
渡辺信夫訳〈オンデマンド・ブック〉

宗教改革以前の「寓意的解釈」を廃し、著者の原意図を聖書からさぐり、読み解くことによって神の言葉を蘇らせたカルヴァン註解書最初の労作。

A5判 443頁 本体4900円 (59年)2005年
4-400-14413-5

コリント前書

〈カルヴァン新約聖書註解〉8
田辺 保訳〈オンデマンド・ブック〉

キリストと教会への真実の奉仕を願いながら筆を執ったコリント前書の註解。キリストのからだなる者の、愛による一致を強調する。

A5判 420頁 本体4700円 (60年)2005年
4-400-14414-3

コリント後書

〈カルヴァン新約聖書註解〉9
田辺 保訳〈オンデマンド・ブック〉

前書に引き続き1546年に完成。福音の使命の大綱を叙述し、福音の単純さから遠ざかることほど危険なことではないと力説する。

A5判 264頁 本体3200円 (63年)2005年
4-400-14415-1

ガラテヤ・エペソ書

〈カルヴァン新約聖書註解〉10
森井 真訳〈オンデマンド・ブック〉

聖書研究を通して著者の思想が十分に熟した1548年出版の充実した註解。プロテスタントへの迫害が激しさを増す中で書かれた「静かな」結実。

A5判 296頁 本体3600円 (62年)2005年
4-400-14416-X

ピリピ・コロサイ・テサロニケ書

〈カルヴァン新約聖書註解〉11
蛭沼寿雄・波木居斉二訳〈オンデマンドブック〉

教父の著述に詳しく同時代の著述にも通じていた著者の聖書注解は、今日なお古典としての輝きを失っていない。カルヴァンを知るための必読書。

A5判 318頁 本体3800円 (70年)2005年
4-400-14417-8

ヘブル・ヤコブ書

〈カルヴァン新約聖書註解〉13
久米あつみ訳〈オンデマンド・ブック〉

へブル書からキリストの祭司職とその真の犠牲への信仰を読みとり、ルターが「薬の書簡」と呼んだヤコブ書も無償の恩恵を説く正典として註解。

A5判 321頁 本体3800円 (75年)2005年
4-400-14419-4

ペテロ・ユダ書・ヨハネ書簡

〈カルヴァン新約聖書註解〉14
乾慶二郎・久米あつみ訳〈オンデマンド・ブック〉

当時の慣例に従いペテロ両書簡、ヨハネ1書、ヤコブ書、ユダ書の5書を「經典書簡」として一括して扱う。妻を亡くした1549年に講じた註解。

A5判 348頁 本体4000円 (63年)2005年
4-400-14420-8

【ブルトマン著作集】

聖書学・聖書注解

共観福音書伝承史 I

〈ブルトマン著作集1〉 〈オンデマンド・ブック〉
加山宏路訳

1921年の刊行以来、福音書研究の指針となってきた20世紀聖書学の金字塔。内容：I「イエスの言葉の伝承」(Aアポフテグマ、B主の言葉)。

A5判 360頁 本体5200円 (83年)2004年
4-400-10767-1

共観福音書伝承史 II

〈ブルトマン著作集2〉 〈オンデマンド・ブック〉
加山宏路訳

内容：II「物語素材の伝承」(A奇跡物語、B歴史物語と聖伝)、III「伝承素材の編集」(A〈話〉素材の編集、B物語素材の編集と福音書の形成)。

A5判 352頁 本体3500円 (87年)2005年
4-400-12136-4

新約聖書神学 I

〈ブルトマン著作集3〉
川端純四郎訳

今世紀における聖書神学研究の代表的業績の完訳。第1巻「新約聖書神学の前提と動機」。イエスの告知と原始教団のケリュグマを歴史学的に解明。

A5判 250頁 本体3200円 1963年
4-400-10503-2

新約聖書神学 II

〈ブルトマン著作集4〉 〈オンデマンド・ブック〉
川端純四郎訳

第2巻「パウロとヨハネの神学」第1部〈パウロの神学〉A：信仰の啓示以前の人間 B：信仰の下にある人間、第2部〈ヨハネ福音書の神学〉。

A5判 386頁 本体5300円 (66年)2009年
978-4-400-12138-1

新約聖書神学 III

〈ブルトマン著作集5〉
川端純四郎訳

第3巻「古教会への発展」第1部〈教会秩序の成立・最初の発展〉、第2部〈教会の発展〉、第3部〈キリスト者の生き方の問題 補説〉。

A5判 274頁 本体3500円 1980年
4-400-10505-9

イエス／原始キリスト教

〈ブルトマン著作集6〉
八木誠一／山本泰生訳

原始キリスト教の成立発展を古代宗教の枠内において捉え、その特質を明らかにした『原始キリスト教』と『イエス』(1926年初版)を収録。

A5判 456頁 本体5639円 1992年
4-400-10506-7

聖書学論文集 Ⅱ

〈ブルトマン著作集 8〉

杉原 助訳

『エクセゲティカ』第2分冊。1932-48年の9論文収録。「ヨハネ文書とグノース」『救済史と歴史』「古代における光の象徴的使用の歴史」他。

A5判 300頁 本体3800円 1985年
4-400-10508-3

聖書学論文集 Ⅲ

〈ブルトマン著作集 9〉

青野太潮／天野 有訳

『エクセゲティカ』第3分冊、1950-64年の論文と索引。「黙示文学はキリスト教神学の母か」「原始キリスト教のキリスト使信と史的イエスの関係」。

A5判 208頁 本体3300円 1994年
4-400-10509-1

神学論文集 I

〈ブルトマン著作集 11〉

土屋 博訳

『信仰と理解』第1巻(1933年)の全訳。1924-30年の15論文を収録。「自由主義神学と最近の神学運動」「カール・バルトの『死人の復活』」他。

A5判 404頁 本体6000円 1986年
4-400-10511-3

神学論文集 IV

〈ブルトマン著作集 14〉

山形孝夫／一柳やすか訳

『信仰と理解』第4巻(1965年)の全訳。1959-64年の13論文収録。「共観福音書の研究」「非神話化の問によせて」「神概念と現代人」他。

A5判 256頁 本体3500円 1983年
4-400-10514-8

【叢書 新約聖書神学】

マルコ福音書の神学

叢書 新約聖書神学 1

W. R. テルフォード著 嶺重 淑・前川 裕訳

聖書解釈学の多様な方法論を駆使し、他書との比較を通し、「神学者」マルコ独自のイエス理解に肉薄していく。

46判 338頁 本体4200円 2012年
978-4-400-10460-5

ルカ福音書の神学

叢書 新約聖書神学 2

J. B. グリーン著 山田耕太訳

先駆的な「物語神学者」としてのルカに着目し、その福音書に託されたラディカルな救済観を明らかにする。

46判 216頁 本体3600円 2012年
978-4-400-10461-2

ヨハネ福音書の神学

叢書 新約聖書神学 3)

D. M. スミス著 松永希久夫訳

キリスト論に焦点を当てながら、ヨハネ福音書の成立過程を初期キリスト教会の現実とその背景にある歴史的・社会的現実の中で詳述する。

46判 304頁 本体3500円 2002年
4-400-10457-5

使徒言行録の神学

叢書 新約聖書神学 4)

J. イェルヴェル著 挽地茂男訳

使徒言行録の著者ルカの捕らえた初期教会の形成と宣教の経過・意味・目的を、最新の研究成果に照らして、歴史的・神学的に明らかにした秀作。

46判 220頁 本体2800円 1999年
4-400-10453-2

第二コリント書の神学

叢書 新約聖書神学 7)

J. マーフィー・オコナー著 野田美由紀訳

現代のカトリックを代表するパウロ研究の第一人者が、書簡の複雑な成立事情を読み解きながら、パウロ思想の重要な側面を明らかにする。

46判 200頁 本体3000円 2009年
978-4-400-10459-1

ガラテヤ書の神学

叢書 新約聖書神学 8)

J. D. G. ダン著 山内 眞訳

著者は英語圏における最も有力なパウロ学者。本書はサンダースによって提起された「新しい視点」からガラテヤ書を考察した最初の研究書。

46判 264頁 本体2800円 1998年
4-400-10451-6

パウロ小書簡の神学

叢書 新約聖書神学 9)

K. ドンフリード、I. マーシャル著 山内一郎、辻 学訳

第一、第二テサロニケ書（ドンフリード）とフィリピ書、フィレモン書（マーシャル）。執筆時の歴史的状況を再構成し、各書簡の神学に迫る。

46判 270頁 本体4000円 2016年
978-4-400-10463-6

牧会書簡の神学

叢書 新約聖書神学 11)

F. ヤング著 土屋 博訳

テモテⅠ、Ⅱ、テトスから成る牧会書簡神学研究。最新の社会学的研究を生かし、牧会書簡の基本構造と実践的諸問題を把握し、その独自性を示唆。

46判 266頁 本体3000円 2000年
4-400-10454-0

ヘブル書の神学

叢書 新約聖書神学 12)

B. リンダース著 川村輝典訳

ヘブル書の筆者をパウロとヨハネに匹敵する新約における三大神学者の一人と位置づけ、同書の著者問題、思想内容について独自の解釈を施す。

46判 234頁 本体3000円 2002年
4-400-10456-7

共同書簡の神学

叢書 新約聖書神学 13)

A. チェスター／R. P. マーティン著 辻 学訳

ヤコブ書の思想性に肉薄するチェスター、広い学識に基づきユダ書・ペトロ書を堅実に解説するマーティン。共に邦語文献が乏しく貴重。

46判 234頁 本体3000円 2003年
4-400-10458-3

ヨハネ書簡の神学

叢書 新約聖書神学 14)

J. リュウ著 山岡 健訳

三つの長短異なるヨハネの手紙の神学思想を組織的に把握する難事業を見事に成し遂げ、愛の共同体としての教会への展望を指し示す驚くべき成果。

46判 220頁 本体2600円 1999年
4-400-10452-4

【現代のイエス理解】

イエスが生きた世界

危機に立つ1世紀のユダヤ教（現代のイエス理解 1）

J. リッチズ著 佐々木哲夫訳

イエスが生きた時代状況とはいかなるものか？イエスを当時のパレスチナの宗教状況に位置づけ、イエスの活動の民衆の動機と現実を明らかにする。

46判 190頁 本体2000円 1996年
4-400-11876-2

聖書学・聖書注解

イエスの弟子とは誰か

〈現代のイエス理解 2〉

J. D. G. ダン著 庄司 眞訳

イエスの根本的な使信の真実の現代的意味を、イエスの「弟子」であることの射程において捕らえ、その本質を当時のコンテクストから読み解く。

46判 200頁 本体2000円 1996年
4-400-11875-4

パウロから見たイエス

〈現代のイエス理解 3〉

V. ファニッシュ著 徳田 亮訳

パウロによるイエスの生涯と言葉の理解への試み。厳密な聖書解釈に立つて、双方の宣教の異同を読み解き、パウロが行なった神学化の核心に迫る。

46判 200頁 本体2000円 1997年
4-400-11877-0

イエスについて何を知りうるか

〈現代のイエス理解 4〉

H. C. キー著 浜野道雄訳

聖書学が細分化に伴う多様なイエス像理解の中から、イエスの統一的把握の困難性を越えて、複雑多岐な資料を検討し、核心的イエス像を描き出す。

46判 192頁 本体2000円 1997年
4-400-11878-9

教師としてのイエス

〈現代のイエス理解 5〉

Ph. パーキンス著 庄司 眞訳

神からカリスマを受けた教師・預言者イエスが、無名の民衆に譬えや格言で語り教えた使信、正義、富、赦し、愛を、余すところなく明らかにする。

46判 176頁 本体2000円 2000年
4-400-11879-7

【蓮見和男・聖書の使信】

マタイによる福音書 上 1-12 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 1〉

蓮見和男著

信徒が聖書を霊的な養いとして学ぶためのシリーズ冒頭。特に説教はメッセージ中心、書簡との関連を持たせてキリスト論的な展開を心がける。

46判 263頁 本体2800円 1985年
4-400-11801-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

マタイによる福音書 下 13-28 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 2〉

蓮見和男著

13 章以下の使信が、著者の心魂こめた講解によって、過不足なく提示される。読みやすく分かりやすい、マタイの独特の聖書の世界の導きと案内。

46判 310頁 本体3000円 1985年
4-400-11802-9

マルコによる福音書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 3〉

蓮見和男著

マルコ福音書の独自性の把握に基づき、十字架に向かうイエスの使信を、丁寧な私訳と要を得た注釈、明快かつ深い洞察のこもった説教で伝える。

46判 330頁 本体3800円 1999年
4-400-11803-7

ルカによる福音書 上 1-10 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 4〉

蓮見和男著

誕生物語からエルサレムへの旅の前半まで。明快な私訳と簡潔な注釈に基づく、47 編の講解説教のかたちで、ルカの使信が述べられる。

46判 276頁 本体2500円 1991年
4-400-11804-5

ルカによる福音書 下 11-24 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 5〉

蓮見和男著

エルサレムへの旅の後半から入城、受難、死、復活まで。ルカ福音書の独自の民衆の視点を伝える著者の聖書講解の独壇場。

46判 330頁 本体3000円 1992年
4-400-11805-3

ヨハネによる福音書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 6〉

蓮見和男著

難解かつ深遠なヨハネ独自の使信全体を、分かりやすく力強い説き明かしによって、この世の最前線で苦闘する日本の信徒に余す所なく示す。

46判 380頁 本体3400円 1994年
4-400-11806-1

使徒行伝

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 7〉

蓮見和男著

復活のキリストから弟子たちに託されたキリスト者の辿る福音宣教の道。その苦難を、ルカの証言を辿って教会的・神学的に説き証す。

46判 360頁 本体3200円 1989年
978-4-400-11807-7

ローマ人への手紙

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 8〉

蓮見和男著

パウロを代表する大書簡に、著者は特別の集中力を傾注してテキストに読解に取り組んだ。人間に對する神の義の世界の豊かな展望を明確に。

46判 260頁 本体2800円 1987年
978-4-400-11810-7

コリント人への第一の手紙

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 9〉

蓮見和男著

パウロの置かれた状況から本文を読み抜き、また本文から状況を見る往還作業。難解な 7 章、11 章、14 章を突破し I コリントの真髄を明示。

46判 228頁 本体2400円 1996年
4-400-11808-8

コリント人への第二の手紙

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 10〉

蓮見和男著

不信と争いに苦しむ共同体のためにパウロが訴える希望の使信。不安と絶望を越えて働くキリストの力と命を説き続ける使徒的信仰の真実。

46判 290頁 本体2400円 1998年
4-400-11809-6

ガラテヤ書・エペソ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 11〉

蓮見和男著

パウロの手紙群の中でも中編ながら福音の核心を説く二編。そこに示された十字架の真理、それから生まれる教会のあり方を深く鋭く説く。

46判 220頁 本体2600円 2001年
4-400-11811-8

ピリピ書・コロサイ書・テサロニケ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 12〉

蓮見和男著

ピリピの光の主キリストにある喜びと希望、コロサイの宇宙的キリスト論の広さと深さ、テサロニケの終末と主の来臨への待望を力強く解説。

46判 239頁 本体2700円 2002年
978-4-400-11812-1

テモテ書・テトス書・ピレモン書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 13〉

蓮見和男著

本当に小さな 3 つの書簡を通して、パウロの牧会者としての面目を溢れんばかりに伝える、キリストの真実の恵みを、豊かに穏やかに厳しく訴える。

46判 140頁 本体2000円 2005年
4-400-11815-0

ヘブル書・ヤコブ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 14〉

蓮見和男著

「大祭司キリスト」のリアリティをあくまでも深い下からの視点をもって示すヘブル書、信仰と行為の動的な一致を鮮やかに展開するヤコブ書。

46判 200頁 本体2400円 2004年
4-400-11814-2

ペテロ書・ヨハネ書・ユダ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 15〉

蓮見和男著

福音宣教と教会創設の重荷を負いつつ、迫害の苦難に耐え、信仰と希望と愛をもって終末の勝利を目指して生きる証人たちの証しに学ぶ。

46判 220頁 本体2500円 2003年
4-400-11813-4

ヨハネの黙示録

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 16〉

蓮見和男著

20 年の歳月をかけたシリーズ最終巻。著者の黙示録への取り組みは、シリーズ既刊の文脈を踏襲しつつもさらに力強く革新的な説得力に富む。

46判 192頁 本体2400円 2006年
4-400-11816-9

【松木治三郎著作集】

使徒パウロとその神学

新約聖書における宗教と政治 〈松木治三郎著作集 1〉

新約聖書学者である著者の主要著作を全 5 巻に網羅。第 1 巻には初期著作を代表する標題の 2 大作とその継承・発展と言うべき論文を収録。

A5判 330頁 本体5340円 1991年
4-400-10091-X

人間とキリスト・新約神学序説

〈松木治三郎著作集 2〉

パウロ研究の総括。人間の救済史的研究を試みた『人間とキリスト』と、福音書の史的批判的研究を徹底した『新約神学序説』を収録。

A5判 680頁 本体7573円 1991年
4-400-10092-8

聖書学・聖書注解

イエスと新約聖書の教会

イエスと新約聖書の関係 〈松木治三郎著作集 3〉

新約聖書の核心をなす事柄を今日の教会の問題と直結させ、理解し解釈することをライフワークとした著者のキリスト教本質論ともいべき論考。

A5判 640頁 本体6990円 1992年
4-400-10093-6

ローマ人への手紙

翻訳と解釈 〈松木治三郎著作集 4〉

学問的厳密さに徹した邦人聖書学者による画期的な注解。パウロ神学の核心をなすローマ書と取り組んで 30 有余年の著者の代表作。

A5判 650頁 本体7573円 1992年
4-400-10094-4 僅少

説教と私の聖書の学び

〈松木治三郎著作集 5〉

新約研究の極限と現代の人間状況の極限との間に身をさらし、神の言葉としての聖書の使信を鋭く温かく豊かに聞きかつ語った説教集。

A5判 516頁 本体5824円 1992年
4-400-10095-2

【続・黒崎幸吉著作集】

新約研究

ロマ書・第一コリント書〈続・黒崎幸吉著作集 2〉

戦後、『愛と真』『永遠之生命』誌に約 100 回に渡り連載された「ロマ書研究」と「第一コリント書研究」を収録。パウロの二大書簡の私訳と講解。

46判 582頁 本体4660円 1990年
4-400-00085-0

信仰・所感・回想

〈続・黒崎幸吉著作集 3〉

著者が『永遠之生命』『聖約』等の雑誌に掲載した論説、随想、巻頭言、回想等 80 篇を収録。著者の人格と信仰と学識の全体像が浮かびあがる。

46判 480頁 本体4650円 1990年
4-400-00086-9

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

創世記講解説教

小泉達人著

師・渡辺善太の研究手法に倣い、物語的要素の多い創世記を、「始源史」と「族長史」の二部構成で語り、神の支配の全能と恵みの豊かさを強調。

46判 402頁 本体2523円 1992年
4-400-51633-4 僅少

山上の煙

十戒をめぐる一解釈

ジョイ・デイヴィッドマン著 村井洋子訳

アメリカ共産党員からキリスト教に転向、後にC・S・ルイスの妻となり、病のため夭折したユダヤ人女性が記した歎びに満ちた信仰への招き。

46判 200頁 本体1900円 2008年
978-4-400-42732-2

真実の言葉を求めて

申命記による

柏井宣夫著

地方教会の現場で聖書学と宣教の両立という困難な課題に取り組んできた旧約学者が申命記の講解を通して現代における宣教の可能性を問うた労作。

46判 208頁 本体1200円 1980年
4-400-51605-9 僅少

平和な未来を告げる

イザヤ書による説教

柏井宣夫著

元農村伝道神学校校長である著者が、まぶね教会の牧師時代に語ったイザヤ書講解説教は会衆に力と励ましを与え感動をよんだ。15編を精選。

46判 160頁 本体1300円 2006年
4-400-12782-6

解放の歌

第二イザヤによる

太田愛人著

前上星川教会太田牧師が、8年間『辺境通信』に連載した「第二イザヤによる講解説教」の再構成。預言者イザヤの美しいメシヤ信仰の深い説き証し。

46判 360頁 本体2000円 1981年
4-400-51606-7

苦難と栄光の主

イザヤ書53章による説教〈オンデマンド・ブック〉

カルヴァン著 渡辺信夫訳

サンビエール教会の週日礼拝でなされた連続講解説教より、特にイザヤ書53章を扱った説教7編を収録。レントとイースターの黙想に最適の書。

46判 302頁 本体3600円 (58年)2007年
978-4-400-14430-4

ただ神を待つ

ダビデのまねび

石丸 新著

数十年にわたる牧師生活の中で読み進めてきた「詩編」を「ダビデのまねび」の観点から学び直した珠玉のメッセージ集（40編）。

46判 270頁 本体2200円 2014年
978-4-400-52719-0

主の名によって集まるところには

椿 憲一郎著

ひたすら福音のために奉仕してきた牧師の説教、論考等を集成。今日における伝道と教会形成の課題を真摯に考える。

46判 380頁 本体2000円 2010年
978-4-400-52141-9

命の光の中を歩む

椿 信子著

牧会者・教育者としての豊かな経験の中から語られた説教や若人への滋味あふれる御言葉の解きあかしを収録。

46判 160頁 本体1300円 2010年
978-4-400-52142-6

現代に聖書を読む

山田 隆著

メノナイト信仰に固く立ちつつ、あらゆる教条主義から自由に真理を追求、平和と正義を求めて語り続けた熱いメッセージを60編を精選。

A5判 480頁 本体3500円 2007年
978-4-400-52135-8

現代に聖書を読む 2

山田 隆著

個人月刊誌「現代に聖書読む」に毎月記し続けた真摯な福音のメッセージから60編を収録。この巻は2001年から2002年にかけてのもの。

A5判 480頁 本体3500円 2009年
978-4-400-52136-5

現代に聖書を読む 3

山田 隆著

自立した人間へと解放するキリスト教の使信を伸びやかに語り、「ヴォランタリーな主体的決断」を重んじる。1999年から2001年にかけての文章。

A5判 480頁 本体3500円 2010年
978-4-400-52137-2

現代に聖書を読む 4

山田 隆著

現代社会の病を鋭く見据えながら、イエスと出会って真の人間として生きる福音的な生の方向性を力強く語る。1998年から1999年にかけての文章。

A5判 440頁 本体3500円 2013年
978-4-400-52138-9

遠くて近い道

聖書と人生

小野経男著

心にしみる30の聖書講話。信仰を通して人生を複合的次元において見ることを学んだ著者の、御言葉との対話から紡ぎ出された恵みの証し。

46判 260頁 本体1900円 2008年
978-4-400-51995-9

アブラハムの神

創世記講解説教〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫著

創世記12章から22章までのいわゆる「アブラハム物語」を、神の恵みの物語として読み抜き、ひたすら説教として語った名著。

46判 278頁 本体3300円 (66年)2007年
978-4-400-58000-3

イサクの神、ヤコブの神

創世記講解説教

渡辺信夫著

創世記24章から36章までを講解した、全20編の説教を収録。最初の説教集『アブラハムの神』から半世紀を経て再び族長物語に取り組む。

46判 192頁 本体1800円 2010年
978-4-400-52438-0

マルコ福音書講解説教 1

1章から8章まで〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫著

1958年の受難週に東京郊外にて開拓伝道を開始した著者が、その後3年半にわたっておこなったマルコ福音書の講解説教を1本にまとめた。

46判 328頁 本体3600円 (66年)2007年
978-4-400-58001-0

マルコ福音書講解説教 2

9章から16章まで〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫著

主イエスの宣教と受難を語る福音書後半の迫力ある講解説教は、慰めと力に満ちた主の言葉を聴衆に取り次ぎ、読む人の心を砕き、喜びに溢れさせる。

46判 510頁 本体4700円 (68年)2007年
978-4-400-58002-7

説教集・信仰論

十字架につく神

〈共に生きようとされる神1〉十字架上の七つの言葉

戸田伊助著

著者主宰の聖書集会講義を全3巻にまとめる。本巻では十字架上のイエスの言葉をただひたすらに傾聴することから「生ける神」の愛を学ぶ。

46判 270頁 本体2000円 2006年
4-400-52132-X

うめき

〈共に生きようとされる神2〉ローマの信徒への手紙7章・8章

戸田伊助著

救いの完成を求めてうめかざるを得ない被造物全体のために、自ら苦しみを担ってうめいてくださる神の「与える義」を聖書から学ぶ。

46判 360頁 本体2000円 2006年
4-400-52133-8

愛

〈共に生きようとされる神3〉Iコリントー三章

戸田伊助著

13章で語られる「愛」を通して、私たちと共に生きようとされる神、自己贈与的な愛を啓示する自由な人格の主体者「生ける神」を学ぶ。

46判 430頁 本体2100円 2007年
978-4-400-52134-1

み言葉の調べ I

主イエスの生涯

宍戸 達、宍戸好子著

東京都国立市で長年にわたり堅実な牧会活動・教会形成を続けてきた宍戸牧師夫妻の、定評ある説教を収録。「Ⅱ」は詩編の講解説教集。

46判 184頁 本体1600円 2005年
4-400-12778-8

み言葉の調べ II

詩編講解

宍戸 達／宍戸好子著／訳

国立で堅実な牧会を続ける宍戸牧師夫妻の説教9編に牧師が私淑するトゥルンアイゼン、リューティ、デュールストの5編を加えたみ言葉の響き。

46判 184頁 本体1600円 2005年
4-400-12780-X

み言葉の調べ III

受難と復活

宍戸 達編訳

宍戸牧師が私淑するリ्यूティ、デュールストラによる「パーゼル説教集」への寄稿説教から、受難と復活を覚えて12編を精選して訳す。

46判 140頁 本体1500円 2010年
978-4-400-12785-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

預言者は何を語るか

樋口 進著

アモス、ホセア、イザヤなど8人の預言者をめぐる25の説教。旧約のメッセージを分かりやすく説くことで定評ある著者の、優れた預言者入門書。

46判 256頁 本体2200円 2005年
4-400-12776-1

聖書 読んで想う

渡辺正雄著

科学史家として著名な著者が自宅の家庭集会で語った聖書講話。平易な言葉で聖書を驚きと喜びの書として読む全36編の滋味溢れる信仰の手引き。

46判 224頁 本体1800円 2005年
4-400-12773-7

聖書 文化との接点

渡辺正雄著

聖書にみられる価値観は西洋文化の形成にいかなる役割を果たしたのか。科学史家の著者が、文化史の根本問題に切り込む興味尽きない講話集。

46判 144頁 本体1600円 2005年
4-400-12779-6

私には夢がある

M. L. キング講演・説教集

M. L. キング著 C. カーソン他編 梶原 寿監訳

39歳で凶弾に倒れたキング牧師の、公民権運動最初期の活動から文字通り暗殺前夜までの重要な講演11編を収録。各編に同時代人の証言を付す。

46判 256頁 本体2400円 2003年
978-4-400-42122-1

汝の敵を愛せよ

M. L. キング著 蓮見博昭訳

弾圧に屈せず、黒人差別撤廃、公民権獲得の戦いの陣頭に立ち、遂に凶弾に倒れたキングの講演と説教。「良き隣人であること」「働く愛」等17篇。

B6判 280頁 本体1700円 1965年
4-400-52009-9

答えをさがして

わたしたちの時代の苦難と希望

B. キング著 梶原 寿訳

公民権運動の父 M. L. キング牧師の娘が父の志を語る、アメリカ社会の再建と人間の再生への熱い願い溢れる17篇の説教。父から継ぐ魂の精髓。

46判 224頁 本体2200円 1998年
4-400-52039-0

キリストの復活

G. ネラン著

遠藤周作『おバカさん』のモデルとしても知られる著者が、自らの復活信仰を聖書を基に飄々と解き明かす。新版では幸田司教の葬儀説教を付す。

46判 210頁 本体2000円 1997年
978-4-400-32430-0

あなたはあなたでいい

あとはイエスにゆだねて

東後勝明著

英語教育の第一人者が57歳にして受洗。生活の折々から題材を取り、親しみやすく平易に語られた信仰入門。FEBCでの放送からの単行本化。

B6変形判 180頁 本体1100円 2010年
978-4-400-52143-3

イエスの道につながって

教会暦による随想とメッセージ

山口雅弘著

イエスの道につながって歩みたいとの思いを待降節、降誕節、復活節、聖霊降臨日と節目ごとに新たにする随想とメッセージ。

46判 220頁 本体1800円 2010年
978-4-400-52721-3

イエスの宣言

野村 喬著

心に真っ直ぐに届く107篇の小説教集。福音書が記すイエスの生涯を追いながら、「単純な真理」を多様な角度から、説得力をもって提示する。

46判 210頁 本体1700円 2009年
978-4-400-12800-7

イエスの実像と虚像

山上の説教・マルコ福音書講解

林 晃著

既成の教理にとらわれず、自らの生活の座から聖書に真摯に向き合い、そこで聞いた使信を会衆・説教者一体となって聴く喜びが横溢する。

46判 344頁 本体2200円 2004年
4-400-12764-8

メシアは夢か幻か

マルコ福音書による25の黙想

大庭昭博著

マルコ福音書をⅠガリラヤ、Ⅱ旅、Ⅲエルサレムの三部に分け、そこにキリスト信徒の主旋律を聴き取り、それを25編の証言とした美しい黙想集。

46判 176頁 本体1800円 2000年
4-400-12487-8

葬りを越えて

ルカによる福音書講解説教

岸本羊一著

前紅葉坂教会・故岸本羊一牧師が、晩年に語ったルカ講解説教22篇他を収録。現代、イエス・キリストの福音とは何かを、自らの実存を賭して語る。

46判 288頁 本体2135円 1992年
4-400-51441-2

イエスの言葉と現代

〈警え〉から〈根拠〉へ

亀田政則著

イエスの言葉によって生起する人間の心の出来事、実践的な地平において、人間存在の〈根拠〉の深部において把握しようとする意欲的な試論。

小B6判 128頁 本体1200円 1996年
4-400-52421-3

主イエスの弟子たち

武〈福音と預言〉双書1

武 祐一郎著

新しい文書伝道への志に動かされて双書を刊行。キリストの弟子たちの中からペトロ、ユダ、ヤコブの生き様を語り、現代の人間に説き及ぶ。

A5判 88頁 本体600円
2001年 4-400-50951-6

預言者アモスと現代

正義をつきない川のように 武〈福音と預言〉双書2

武 祐一郎著

農民の子アモスが民衆の視点から人間と世界に訴えた言葉は、争いと憎しみ、不義と不正に満ちた今の時代のためにこそ聞かれるべきである。

A5判 136頁 本体800円
2002年 4-400-50952-4

主イエスの譬え話

武〈福音と預言〉双書3

武 祐一郎著

「善きサマリヤ人」や「放蕩息子」など最もポピュラーなイエスの譬え話について、やさしく解き明かしながら福音の本質に迫る。

A5判 116頁 本体800円
2002年 4-400-50953-2

汝ら時を知るゆえに

井上良雄著

バルトに深く学びながら神の国のリアリティに促され、宣教と社会的実践に挺身してきた著者の『信徒の友』などに掲載された説教21編を収録。

46判 200頁 本体1600円 1987年
4-400-51436-6

山上の説教

終末時を生きる

井上良雄著

不安の中にある現代に生きる全ての人へ、今こそ山上の説教の力といのちを。神のこトバを遍く伝えたいとする著者の祈りをこめた格調高い講解。

46判 254頁 本体2200円 1994年
4-400-51147-2

新しい言葉をもって

マルコによる福音書講解説教集

佐藤司郎著〈シリーズこトバを生きる3〉

1991-93年、礼拝説教で語ったマルコ講解から23篇を収録。教義学的黙想を介しつつひたすら「テキストに聞く」誠実かつ現代的な説教スタイル。

46判 240頁 本体2200円 1996年
4-400-11827-4

マルコが語る主イエスのメッセージ

茂 洋著

「聞いてもらうために書かれた」最古の福音書と著者が位置づけるマルコから、生き生きとした主イエスの姿とメッセージを現代に発信する。

46判 300頁 本体2100円 2007年
978-4-400-12783-3

見えること・見えないこと

ヨハネによる福音書講解説教

茂 洋著

ヨハネ福音書の講解説教41編。見えるもの全てが虚無に服さざるをえない現実の中で、初めて見えない永遠のいのちを見ることができると説く。

46判 342頁 本体3000円 2000年
4-400-52711-5

合本 世の光キリスト・世の命キリスト

ヨハネ福音書による講解説教

森野善右衛門著

名著『世の光キリスト』（79年）、『世の命キリスト』（82年）を収める。ヨハネ福音書を通して語られるキリストの愛と光の御業が心にしみ入る。

B6判 292頁 本体2800円 2007年
978-4-400-51602-6

ここに教会は立つ

使徒言行録に学ぶ

岡崎 晃著

この日本に本当のキリスト教会を立てたいという願いから、使徒言行録に徹底して聞き、教会形成の道、教会の本質、使命、課題を語る教会論。

46判 244頁 本体2000円 2000年
4-400-52713-1

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

講解説教 降誕・復活

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

65年から最晩年の90年までの間に吉祥寺教会でなされた説教から、特に降誕・受難・復活に関する未発表の説教を収録。全21編。

46判 276頁 本体3300円 (92年)2006年 978-4-400-10779-8

講解説教 山上の説教

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

山上の説教ほど愛読され、また多く説教されるテキストはない。しかしその本質は人を感動させる美しい戒めではなく、真の福音だと説く。

46判 510頁 本体5200円 (90年)2006年 978-4-400-10780-4

ローマ書講解説教 I

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

1章1節から3章31節まで30回の連続講解。吉祥寺教会での礼拝説教が篤志家の手で筆記され死刑囚に回覧されていたことは有名な逸話。

46判 338頁 本体4200円 (62年)2004年 4-400-10776-0

ローマ書講解説教 II

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

4章1節から8章39節まで32回。「絶望の極にいたって、突然思いがけない言葉が出てまいります。それは、神に対する讃美の言葉であります。」

46判 361頁 本体4400円 (65年)2004年 4-400-10777-9

ローマ書講解説教 III

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

9章1節から16章27節まで、これにより98回に及ぶ講解が終わる。説教のあり方を考え抜いていた著者の一つの到達点を示す円熟の仕事。

46判 414頁 本体4800円 (72年)2004年 4-400-10778-7

講解説教 ガラテヤの信徒への手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

最後の入院直前まで続けていたガラテヤ書講解は結局3章で中断し、講解説教の遺稿となった。いわば説教者の最後のメッセージである。

46判 206頁 本体2700円 (91年)2006年 978-4-400-10781-1

講解説教 コリント人への第一の手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

計74回にわたって行われた講解説教に加筆・編集。多年にわたる神学教師・牧会者としての教育と信徒訓練に基づいた力溢れる解き明かし。

46判 646頁 本体6600円 (88年)2006年 978-4-400-10782-8

講解説教 コリント人への第二の手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

別名「涙の書簡」はコリント教会との対決後に得た和解の喜びに溢れているが、著者はここに己を無化しキリストのみ誇るパウロの真骨頂を見る。

46判 510頁 本体5400円 (85年)2006年 978-4-400-10783-5

講解説教 エペソ人への手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

世の始めに先立って計画された神の救いの計画とその成就を述べた書簡を、教理と教会形成の両面から懇切に説く。計42回の講解説教。

46判 422頁 本体4700円 (88年)2006年 978-4-400-10785-9

講解説教 ペテロの第一の手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

勝利の信仰をもって世の厳しい試練に立ち向かうキリスト者の姿勢を示したテキストを、今日の教会の問題と照らしながら解き明かす。

46判 422頁 本体4700円 (83年)2006年 978-4-400-10784-2

一人一人に与えられる賜物

コリントの信徒への手紙―講解説教

茂 洋著

人間的な混乱に陥っていた兄弟姉妹に宛てたパウロの恵み溢れる書簡を、深い思索と牧会経験に裏打ちされた著者が、懇切丁寧に解き明かす。

46判 233頁 本体1900円 2005年 4-400-12781-8

コリント前書の学び

西川博彬著

上諏訪教会における連続講解説教の記録。聖書を神の言葉と信じ、このみ言葉の上に教会を形成しようとする説教者・信徒の共同の労作。

46判 403頁 本体2500円 1996年 4-400-12652-8 僅少

福音の土台

コリント人への手紙による説教

喜田川信著

パウロ書簡中特に第一コリント書をローマ書と並んで最も重要な書物と評価する著者が、テキストと格闘しつつ福音の土台を熱く語る。

46判 241頁 本体2200円 1992年 4-400-51442-0

喜びの手紙

ピリビ人への手紙による信仰入門

蓮見和男著

思い煩らいのさなかにある人へ、特に若い世代に向けての福音への導き。ピリビ書にあるキリストの恩恵とキリスト者の生き方を平易に語る。

B6判 123頁 本体700円 1979年 4-400-73722-5

たといそうでなくても

説教集

小泉達人著

福音を「神の愛」として捕らえ、その信仰が新しい人生を切り開き、それが救いとなり恵みであると説く。そういう使信に溢れる説教12編を収録。

46判 176頁 本体1400円 2000年 4-400-52669-0 僅少

自由は汝の魂を歓呼して迎える

細川道弘著

パーキンソン症候群に襲われ5年あまりの壮絶な闘病の末に天に召された著者（1933-2000）の23編の説教を収録。イエスと共にある自由と喜び。

46判 112頁 本体900円 2002年 4-400-52733-6

愛せる自由をください

戸田伊助著

名古屋教会牧師として、キリストに向き合い、キリストの愛と霊の力によって、世と人間を愛する自由に生きられる喜びを、真剣に説く説教62編。

46判 380頁 本体2500円 1999年 4-400-51638-5 僅少

愛する勇氣

W. S. コフィン著 持田克己訳

公民権運動と平和運動の経験を持つリバーサイド教会前牧師の説教集。同性愛、軍拡をめぐる現代的課題や、近親の死に対する福音の力を弁証。

46判 160頁 本体1400円 1977年 4-400-52373-X

嵐を静めるキリスト

宮田光雄著

業績至上主義が支配する社会の中で、人間解放の喜ばしい約束と、時代の嵐に動じぬキリストへの根源的信頼に満ちた希望を、聖書から説き明かす。

46判 206頁 本体1553円 1989年 4-400-51569-9

荒れ野の旅に先立つ主

村上 伸著

89年11月、ベルリンの壁崩壊に始まる世界の激動を視野に収め、世界と人間の危機の中で、人間が教会が何に依り頼むべきかを訴えた説教16篇。

46判 192頁 本体1800円 1994年 4-400-51148-0

解放への巡礼

朴炯圭牧師論説集

朴 炯圭著 西片町教会編／いちじくの会訳

韓国民主化闘争を代表する元ソウル第一教会牧師の説教・講演集。投獄をものともせず、民衆の救い主イエスを証しする迫力にみちた証言と訴え。

46判 256頁 本体1800円 1986年 4-400-52351-9

悩みの日にわたしを呼べ

津島久雄著

ハンセン病の療養所にある家族教会で語られた珠玉の説教22編に折々の文章を併せて収録。著者は12歳で発症、14歳で受洗、後に牧師となる。

46判 296頁 本体1900円 2008年 978-4-400-51994-2

地べたの神

現代の低みからの福音

渡辺英俊著

寄せ場の労働者、移住労働者たちと共に聖書を読む中からつかんだ福音のメッセージ。渡辺牧師の総まとめともいえる福音書講解説教集。

46判 240頁 本体2200円 2005年 4-400-32489-3

神の盛大なる晩餐会

カール・ハイム説教集

K. ハイム著 高松義数訳

ハイムの膨大な説教から12篇を収録。チュービンゲンの教会で、中小商工業に従事している市民や周辺の農村の人々を対象とした建徳的な説教。

B6判 184頁 本体1200円 1981年 4-400-51930-9 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

キリストをあなたに

四電 揚著

自らの原爆体験に立ち、死と終末を見すえつつ、人間を生かし、世界を救うキリストの愛と恵みを豊かに伝えるため、真剣に説かれた伝道説教 14 篇。

46判 210頁 本体1600円 1988年
4-400-51437-2

幸せはここに

ロンドン説教集

盛永 進著

1973 年以来ロンドン日本人教会牧師として働く著者の 38 篇の説教。異郷に生きて孤独に悩む人にキリストの福音を慰めと喜びの使信として語る。

46判 344頁 本体3000円 1998年
4-400-52662-3

旅立ち

松浦大説教集

松浦 大著

1987 年 9 月、45 歳で早逝し池田五月山教会松浦牧師が、旧約への造詣と洞察に立って説き示す中で、限らない神の恵みの喜びを訴える説教 31 篇。

46判 220頁 本体2000円 1994年
4-400-51146-4

恵みと真実

四電一郎説教集

四電一郎著

広島教会牧師であつた著者が、50 余年の伝道教会生活の中で、命を賭けて説きあかした説教の中から 20 篇を厳選。老熟の福音的信仰が静かに迫る。

B6判 128頁 本体800円
1982年 4-400-51933-3 僅少

恵みに動かされて

柏井忠夫著

元室町教会牧師の 30 余年の宣教と牧会をしめくくる説教集。「主の祈り講解説教」を中心に、地味で清楚な説き証しに福音の中心真理が浮き彫り。

46判 192頁 本体1600円 1987年
4-400-51435-8 僅少

和解の務め

国安敬二説教集

国安敬二著

宣教 40 年の経験の中から、福音の真髄をキリストの「和解」に求め、その命と力と希望を、今日の教会に向かって真剣に訴えた説教キリスト告白。

46判 208頁 本体2000円 1995年
4-400-51149-9

デボーション

影の国に別れを告げて

C. S. ルイスの一日一章

C. S. ルイス著 中村妙子訳

創作と随筆を含む数多くの著作から信仰の省察を導いてくれる文章を精選し、1 日 1 頁の形式で配列。ルイスの世界への比類ない道案内でもある。

46判 552頁 本体4500円 1990年
978-4-400-52061-0

この日言葉をかの日に伝え

W・リュティ小説教一日一章

W.リュティ著 井上良雄訳

バルトやトゥルナイゼンの盟友であり、20 世紀を代表する名説教者の、アドベントから始まる力強く美しい小説教を、井上良雄氏の名訳で贈る。

B5変形判 684頁 本体6000円 1995年
4-400-50558-8

主のよき力に守られて

ボンヘッファー一日一章

村椿嘉信訳

その全著作から、御言葉への深い洞察に基づく慰めと希望に溢れた言葉を精選して 366 日に配列。一日一日を恵みの喜びに生きる力を与える。

46判 684頁 本体5000円 1986年
978-4-400-50315-6

信じつつ祈りつつ

ボンヘッファー短章 365 日

D. ボンヘッファー著 小池創造訳

信仰と行動とが渾然一体をなす珠玉の告白的文章から短章 366 篇を選ぶ。み言葉を、日々祈りつつ戦う力の源泉とするための聖想集。

46変判 136頁 本体1500円 1997年
4-400-50319-4

私にみ言葉をください

〈新教セミナーブック〉

K. バルト著 井上良雄他訳

『教会教義学』全 13 巻の各所にある膨大な聖書釈義から、教会暦と聖書日課に関連する 800 余を厳選、各主日中心に配列したバルトの 1 日 1 章。

A5判 684頁 本体5800円 1995年
4-400-10223-8 僅少

癒しと助けを求める祈り

W. バークレー著 本多峰子訳

肉体と心を病む人、その家族、また医療に従事する人々のために、バークレーが書いた祈り 90 編。祈り、聖句、歌が一体となって慰めに満ちた証し。

46判 210頁 本体1800円 1996年
4-400-52028-5 僅少

キリストにならいて《改訂版》

トマス・ア・ケンピス著 池谷敏雄訳

「キリストの模倣」を説く教会史上最高かつ不朽の古典。そのキリスト服従の聖書的で深い敬虔は、今日もお尽きぬ命と力を与え続ける。

B6判 310頁 本体2000円 1984年
978-4-400-62003-7

み言葉はあなたの近くに

新共同訳新約聖書通読の手引き

松田和憲著

長年にわたる札幌開拓伝道の中で、信徒が新約聖書を通読するために仕上げた、一日一章形式の、身近で手順な信仰の手引きとなる聖書案内。

46判 400頁 本体3800円 1996年
4-400-51636-9

御言葉はわが足のともしび

日々聞く聖書と祈り

蓮見和男著

毎日、聖書を読み、み言葉に聞き、祈るための 1 日 1 ページの小説教と祈り 366 篇。旧新約全体に目配りがきき、巻末に問題別、教理別索引を付す。

46判 420頁 本体3500円 1982年
978-4-400-51433-6

われらイエスを知るや I

A. シュラッター著 佐伯晴郎訳

老聖書学者／教義学者がファシズム台頭を前に最後の力をふりしぼった絶筆。イエスの姿を隈なく照らし出した日ごとの霊想。5 月 21 日まで。

46判 416頁 本体2800円 1983年
4-400-52328-4

われらイエスを知るや II

A. シュラッター著 佐伯晴郎訳

シュラッターの掉尾を飾る幻の名著。適切な聖句、懇切な語り口、1 日 1 章形式が相まって、イエスの本質を読者に鋭く問う。9 月 10 日まで。

46判 290頁 本体2200円 1984年
4-400-52331-4

説教集・信仰論

われらイエスを知るや III

A. シュラッター著 佐伯晴郎訳

第 3 分冊は、9 月 11 日より 12 月 31 日まで。イエスの十字架への道と死、復活と永遠の生命の啓示者の姿、新しい共同体の主となるイエスの 3 部。

46判 320頁 本体2500円 1984年
4-400-52334-9

祈りの花束

聖書から現代までのキリスト者の祈り

V. ズンデル編 中村妙子訳

聖書の祈りに始まり、教父、宗教改革者、近現代の哲学・文学者、キング牧師、マザーテレサらの祈り。各人の簡潔な伝記と肖像、イラスト付き。

B4 変型 126頁 本体3000円) 1987年
4-400-52568-6

黙想の伴侶

初代教会から現代までの信仰の精華

V. ズンデル著 中村妙子訳

初期教会から現代まで信仰から紡ぎだされた靈性溢れる言葉を、カラー図版と共に全巻にちりばめた魅力溢れる詞華集。靈的信仰への最高の手引き。

A4変型 120頁 本体2800円 1988年
4-400-52375-6

花嫁の聖書

ドーリング・キンダースリー・ブック編 牧野留美子訳

人生の歩みを支える聖句、愛と結婚にまつわる賢人たちの言葉を掲げ、ルノワール、モネ、ダヴィンチらの名画 40 葉オールカラーで配する。

小B6判 96頁 本体1500円 2001年
4-400-52037-4

母に贈るよろこびの詩

ドーリング・キンダースリー・ブック編 牧野留美子訳

こどもの誕生から人生の新たな一步を踏み出した女性に捧げる珠玉のような言葉 76 編と 44 編の名画を納めた全ページカラーの華麗な出来上がり。

小B6判 96頁 本体1500円 2000年
4-400-52048-X

ベツレヘムの星

聖書の象徴による黙想

宮田光雄著

コトバ中心の教条的な信仰理解を離れ、聖書に登場する多様な象徴に思いを馳せることで、信仰のメッセージを読み解く画期的な試み。図版多数。

A5変型判 216頁 本体1900円 2005年
4-400-52113-3

人生論・キリスト教入門

信じることをためらっている人へ

キリスト教「超」入門

岡野昌雄著

聖書に描かれる意外なイエスの姿からキリスト教用語の解説までクスツと笑いながら深くうなずかされる、楽しくやさしいキリスト教「超」入門書。

B6判 160頁 本体1200円 2016年
978-4-400-52728-2

私の聖書物語

イースター黙想

宮田光雄著

「復活」を巡って紡ぎ出される思索の跡を取めた、味わい深い黙想集。巻末に著者の信仰的自伝ともいうべき《私の聖書物語》を収録。

B6変判 220頁 本体1800円 2014年
978-4-400-52781-7

神に異をとなえる者

アベ・ビエール著 寺家村博／寺家村和子訳

フランスでもっとも愛される宗教者にして社会活動家がその最晩年に、親しい友との対話のなかで率直に披瀝した自らの自由闊達な信仰観。

B6変判 120頁 本体1200円 2012年
978-4-400-52144-0

人生の意味と神

信仰をめぐる対話

V. フランクル P. ラビーデ著 芝田豊彦 広岡義之訳

ナチ絶滅収容所を生き延びロゴセラピー（実存分析）を提唱した精神科医と、ユダヤ教の立場に立つ神学者とが、信仰とは何かを巡り真摯に対話。

46判 192頁 本体2400円 2014年
978-4-400-31072-3

フランクル人生論入門

広岡義之著

教育哲学の視点からフランクル思想の深い宗教性に着目し、その豊かな泉から、人格の成長の糧と人生の意味を探求する。フランクル入門の好著。

B6変判 266頁 本体2000円 2014年
978-4-400-31073-0

祈りの意味

H. E. フォスディック著 斎藤剛毅訳

100年近く読み継がれてきた祈り関する古典的名著。豊かな聖書の言葉と古今東西の先達からの引用が考察を導き、祈りを究め、祈りへと促す。

46判 354頁 本体2800円 2013年
978-4-400-52146-4

祈りについて

神との対話

カルヴァン著 J. ヘッセリンク編 秋山 徹訳

祈りを「神との対話」と呼んだカルヴァンの実際の祈りと祈祷論。祈りを学ぶだけではなく、『綱要』への、またカルヴァン神学への最適の入門書。

46判 210頁 本体1800円 2009年
978-4-400-30112-7

いちばん大事にすべきことは何か

ホセ・ヨンバルト著

著名な法哲学者・イエズス会司祭が、人生で大きなことを一つ一つ検討しながら、真の生きがいへの道案内をする。元氣が出る書き下ろし人生論。

46判 220頁 本体1900円 2009年
978-4-400-52664-3

瞑想とキリスト教

牧師が試みた禅・タオ・密教の世界

長谷川正昭著

信仰の新しい形の模索を、聖公会司祭が自分史と重ねユーモラスに語るユニークな瞑想論。からだと神にゆだねる「全託の信仰」への招き。

46判 240頁 本体1900円 2007年
978-4-400-51595-1

キリスト者は何を信じているのか

ハイデルベルク信仰問答入門〈大森講座 28〉

楠原博行著

450年以上も読み継がれているハイデルベルク信仰問答の129の問答の中から、核心部分を取り上げやさしく解説。巻末の「用語索引」は貴重。

46判 120頁 本体1000円 2014年
978-4-400-31702-9

ハイデルベルク信仰問答 証拠聖句付き

吉田 隆訳

新教新書の清新な訳文に、膨大な証拠聖句を全文併載。教会の勉強会、求道者のテキストに最適の書。どこでも聖書と教理を一体に学べる。

A5判 216頁 本体1700円 2004年
4-400-52130-3

力強い慰め

ハイデルベルク信仰問答講解

F. クルースター著 小峯 明訳

「慰め」をキーワードに、現代神学との対話にも目を配りながら、各問答の意味を丁寧に解説。宗教改革者の信仰の核心が平易な言葉で語られる。

46判 254頁 本体2300円 2005年
978-4-400-52131-0

ゴスペルエッセンス

君に贈る5つの話

宮平 望著

若手気鋭の神学者ミヤヒラ教授が、西南学院大学の学生たちに語った、とっておきのキリスト教秘話。福音が分かる！

B6判 112頁 本体950円
2004年 4-400-51769-X

ゴスペルフォーラム

君に贈る5つの話

宮平 望著

ミヤヒラ教授が、福音は面白い！と唱え、親しみやすい語り口で学生たちに伝えたキリスト教の世界とは。青年の入門書として最適。

B6判 132頁 本体1100円 2007年
978-4-400-51740-5

ゴスペルスピリット

君に贈る5つの話

宮平 望著

西南学院大学若手気鋭教授が語る、とっておきのキリスト教秘話。親しみやすい語り口とバラエティにとんだ内容は若者に福音を伝えるために最適。

B6判 116頁 本体1100円 2008年
978-4-400-51741-2

聖書によるキリスト教研究

竹田伸一著

聖書から52か所のテキストを選び、その意味の解釈と読み方の手引きを通して、キリスト教信仰の内実を指し示して、信仰生活の案内役を果たす。

46判 230頁 本体2380円 2001年
978-4-400-12714-7

光あふれて

聖書に聴くことば

仲原晶子／田添嬉雄編

ユニークな活動に励む関西学院大学宗教センター企画のチャペル・アワーでの奨励を一冊に編んだ、若い魂に送る新鮮なキリスト教信仰の入門書。

46判 172頁 本体1164円 1990年
4-400-51963-5

あなたはどう生きるか

現代キリスト教倫理入門

村上 伸著

女子大学学生のために、深い人間愛に基づいて、今日の人間の人間らしい生き方を提示。個人と社会、自然と世界の諸問題に福音の光を当てる。

46判 224頁 本体1900円 1997年
978-4-400-42432-1

あのお方は誰だったのですか

キリスト教再入門

藤倉恒雄著

「究極の真理」「霊性」の回復をめざし、人間としての自己理解確立のために、現代における信仰者の在り方の基本的ポイントを熱く説く。

46判 144頁 本体1500円 1994年
4-400-51584-2

あなたの日曜日

W. リュティ著 宍戸 達訳

日曜日の真の過ごし方を忘れている現代人に、名説教家として知られた著者が、安息日の意味と礼拝の喜びを滋味豊かに語りかける。

A5判 123頁 本体1900円 2002年
4-400-52112-5

信仰の豊かさを生きる

新しい日常性のための神学

A. ケーベルレ著 宮田光雄訳

キリスト教信仰の意味を現代人の生に即して説き明かす、新しいタイプの神学入門。聖書的象徴言語の再評価、新たなキリスト教的人間像の提起。

46判 282頁 本体2600円 1995年
4-400-52411-6

パン屑を集める心

逆説の真理としての聖書

原 栄作著

金城学院高校で30年余宗教主事を勤めた経験から「まことの神」が「まことの人」として十字架に死に、復活する逆説的真理を、平易に力強く説く。

46判 168頁 本体1747円 1993年
4-400-51144-8

迷っているけど着くはずだ

塩谷直也著

帰るべき場所を知らず、道に迷い、行き暮れる現代人に、究極の導き手・案内人であるイエスを贈る、ユーモア溢れる人生のガイドブック。

46判 186頁 本体2000円 2000年
978-4-400-51594-4

信仰の半歩前

オトコ、四十を過ぎれば
長尾 優著

仕事、家庭、そして教会奉仕に疲れたオトコたちが静かに心を委ねられるオトナの信仰とは？ しみじみ語るちよっぴり醒めた好エッセー集。

46判 272頁 本体2200円 2000年
4-400-52707-7

日々聖書を読む中で

一信徒の信仰と発言
佐野安雄著

戦後社会の激動の中で、生きる意味の追求の末に出会った聖書の世界の豊かさと深さ。病苦を乗り越えながら描く素朴で純粋な、熱い証言。

46判 142頁 本体1200円 1998年
4-400-52661-5

賢い悪魔

逆説的キリスト教入門（新教ブックス）
岩村太郎著

女子短大でキリスト教概論を講ずる著者の型破りな新しいキリスト教入門。実証的知識に支配されている若者たちに、軽妙に語りかける意欲作。

46判 200頁 本体1358円 1990年
4-400-52476-0

三代目のキリスト教

伝統文化との対決から深化へ
岩村信二著

40余年の牧会経験を「三代目」キリスト者という視座から総括し、キリスト教の可能性と教会と神学のホットな問題を説いたキリスト教案内。

46判 228頁 本体1553円 1990年
4-400-51670-9

天路歷程 正篇

J. パニヤン著 池谷敏雄訳

パニヤンの敬虔な信仰と霊性が生んだ「天路歷程」正篇全訳。罪の重荷にあえぎつつ、救いと永生を求めて旅する人の姿は、現代人の生きざまに似る。

B6判 286頁 本体1800円 1976年
978-4-400-62001-3

天路歷程 続篇

J. パニヤン著 池谷敏雄訳

基督者の妻と子供が、後を追って天国の巡礼に出発。あらゆる危機に打ち勝ち、神の御手に守られて、神の国の門に辿りつく信仰の勝利の旅を描く。

B6判 268頁 本体1800円 1985年
4-400-62004-2

信仰の証し

神の国の種を蒔こう

キリスト教メッセージ集

W. ヴォーリス著 岡田 学編 木村 晟監修

ヴォーリズの多彩な活動の中核にあった剛毅なキリスト教信仰を伝える珠玉のエッセイ 70 余編や、自伝的エッセイ「一粒の信仰」等を収録。

46判 336頁 本体2000円 2014年
978-4-400-52678-0

ことばのともしび

末盛千枝子著

配偶者と死別し幼い子を抱えながら絵本編集者として活躍した著者の、人生の様々な試練と出会いと恵みを美しい言葉で綴った待望のエッセイ集。

46判 160頁 本体1000円 2013年
978-4-400-52145-7

この器では受け切れなくて

山谷兄弟の家伝道所物語
菊地 譲著

日本最大の寄場で日雇いとして働きながら伝道と奉仕を始めて 30 年。様々な出会いと恵みを振り返り、格差社会に憤り、新たな社会を展望する。

46判 252頁 本体1500円 2012年
978-4-400-52723-7

すべては神さまのプログラム

鈴木伶子著

NCC 議長をはじめとするエキュメニカルな働きを通して出会った、平和のために献身する友人たちの面影を綴った自伝的エッセー集。

46判 160頁 本体1400円 2009年
978-4-400-52665-0

聖霊に導かれて聖書を読む

今、日本人として聖書をどう読むか
私市元宏著

聖書の中に生きて働く聖霊の力を発見する中で、その命と力に満ちた聖書への信頼と信仰に支えられて生きる喜びを見出すまでの誠実な告白証言。

46判 220頁 本体1800円 1997年
4-400-12431-2

はるかなる遠い日々

高倉徹の周辺

高倉雪江著

父徳太郎の遺した課題を負い地方教会へ赴任した高倉徹が、信徒との出会いから教会観を変革され、「戦責告白」を担うに至る歩みを夫人が活写。

46判 248頁 本体1941円 1992年
4-400-61574-X

ガンを知らされた牧師先生

岩村信二著

癌告知、教会における葬儀、記念会のあり方、キリスト教教育の問題等に解決の糸口を求めて書かれた信仰随想・キリスト教入門。

46判 180頁 本体1358円 1993年
4-400-61578-6

主の御腕に抱かれて

「足あと」に献げる感謝の花束
M. F. パワーズ著 尾崎 安訳

作者不詳のまま世界中に知られる名詩「足あと」。最近ようやく真相が明らかになった原作者に対して寄せられた、感動の手紙を収録。

46判 208頁 本体1800円 1997年
4-400-52436-1

植村環著作集 2

主は生きておられる
植村 環著

日本における女性牧師のパイオニア植村環が残した数多くの著作の中から味わい深い随筆や説教・論説・主張・講演等示唆に富んだ文章を収録。

46判 420頁 本体2800円 1984年
4-400-50076-4

植村環著作集 3

私の歩んだ道

植村 環著

自伝「私の歩んだ道」、伝道的文章、教会の歴史的歩みに関する随想、戦後書かれたアイゼンハワー大統領夫人宛て公開状等の 60 通の書簡を収録。

46判 414頁 本体2800円 1985年
4-400-50077-2

少女よ、起きなさい！

新約聖書の女たちの物語

I. クルーゼ著 千田まや訳

イスラエルの野山を訪ね歩きつつその土地と深く結びついた聖書の女性をとりあげ、その生き様、生の喜び悲しみを想像力豊かに味わい深く描く。

46判 264頁 本体2200円 1995年
4-400-52026-9

起きよ、光を放て

呉 薫齡著 金 慈林訳

韓国の劇作家・英文学者として高名な著者が癌の宣告を受けながらも、不安と恐れを越えて戦い、ついには奇跡的に癒されるまでの闘病の記。

46判 244頁 本体1800円 1988年
4-400-61566-9

涙の衣をぬいで

鈴木信子著

愛息を若くして交通事故で失った母が、残された家族と共に教会や知己の交流を通して与えられた深い問いと答えを静かに力強く語り訴える随想集。

B6判変形 118頁 本体949円 2003年
4-400-52746-8

豊かなる流れ

日野綾子著

長年捜真学園の現場の最前線で活動してきた著者が、長い魂の遍歴を語る中で、キリスト教教育の意味、女性宣教師の信仰等を伝える話の玉手箱。

A5判 680頁 本体4854円 1992年
4-400-51985-6 僅少

望みつつ歩む

日野綾子著

横浜で捜真学院院长として、キリスト教女子教育に献身して来た経験を、その信仰・人格・知性を傾けて語りつくした美しい証言 70 篇を収録。

46判 336頁 本体2000円 1995年
4-400-51997-X

備えたもう主の道を

ふたりの自伝

宍戸 寛／宍戸峰子著

同盟（時事）通信社入社以来 38 年間記者として戦中戦後の世界を走り抜き、平和運動に尽力、その後の信徒伝道者として歩みを終えた著者の証し。

46判 280頁 本体2330円 1991年
4-400-61573-1

わが涙よわが歌となれ

原崎百子著

ガンを知らされた牧師夫人が残した病床日記。絶望的事態を冷静に受けとめ、家族や友人を励す姿は、主にあって死を克服することの力を示す。

46判 256頁 本体1600円 1979年
4-400-61495-6

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

兵士と人間

混沌を越えて 郡司益良軍隊日記
郡司益良著

1945年華北戦線で倒れるまでの2年余に秘かに書き綴られ奇跡的に保存された学徒兵陣中日記。人間の深淵から発した清澄な思想と透明な信仰。

46判 240頁 本体1200円 1984年
4-400-61561-8 僅少

主に負われて百年

川西田鶴子文集

川西 薫／川西 剛／川西 進編

著者（1898-1999）は兄三谷隆正、姉民子の薫陶を受けて信仰を得、内村に師事して福音の敬虔を全うした。「みつばさのかげに」等60編を収録。

46判 432頁 本体3500円 2003年
4-400-52675-5

愛のしるし

松本寛二著

神学校卒業後、ジャーナリスト、神戸女学院や東洋英和女学院教師を歴任した著者が、少年少女たちに福音をとりつぐ、滋味あふれるエッセー集。

46判 256頁 本体1600円 1984年
4-400-51937-6

神は見て良しとされた

島崎光正著

二分脊椎症の重い障害を、弱さの中の強さとして誇る純な信仰をもって、天性の詩人魂で人間と世界の現実を凝視、その美しさと豊かさを讃美告白。

B6判 266頁 本体2135円 1991年
4-400-61572-3 僅少

高原の記録

松田智雄と信州

小山源吾／小山 洋／新井 明編

信州農村で生きた社会学者松田が農民に説いた福音的文化講演を精選、編集。彼の示した農村理想型から、農業者のヴィジョンジが浮かび出る。

46判 146頁 本体1600円 1996年
4-400-52423-X 僅少

いのちの水は流れて

日本ハンセン病者福音宣教協会 (MOL) 編

日本ハンセン病者福音宣教協会・創立10周年記念証詞集。苦難と恩寵の体験を赤裸々に綴った記録14篇と、宣教と証しとしての説教17篇を収録。

B6判 328頁 本体1200円 1979年
4-400-61497-2

祈の友召天記 I

午後3時祈の友会編

戦前から戦後にかけて結核に倒れ、天に召されたキリスト者が、十字架の苦難を偲んで、死を乗り越えて行くために結んだ祈りの共同体の証詞集。

46判 400頁 本体2913円 1993年
4-400-61981-8

祈の友召天記 II

午後3時祈の友会編

戦前から戦後にかけて重い病で天に召された無名のキリスト者たち。彼らが生きる意味を問い、十字架の苦難を偲んで結んだ祈りの証し、第2巻。

46判 420頁 本体2913円 1994年
4-400-61988-5

主イエス共に歩みたもう

隅谷三喜男著

長年、日本キリスト教海外医療協力会理事長の立場から献身的に奉仕、その中で絶えず聖書に聞いた経験を綴った聖書聖想を16のテーマに集約。

46判 200頁 本体1800円 1998年
4-400-42443-X

ドイツの根底にあるもの

ヨーロッパの街角から

蓮見幸恵著

90年代のドイツで牧師の夫と共に宣教と神学の研鑽に励んだ生活の記録。市民生活の根底に潜む精神を、豊かな感性でとらえた美しいエッセー。

46判 200頁 本体2400円 2001年
4-400-52724-7

初めに闇があった

ある失明者の聖書との対話

J. M. ハル著 土屋澄男訳

中途失明者で長年教育の現場に携わっていた著者が、盲目について聖書はどんなメッセージを語っているのか詳細に読み解き、実感を込めて著した。

46判 254頁 本体2400円 2008年
978-4-400-41991-4

サタンとの対話

片岡 篤著

悪霊どもの王サタンとの緊張をはらむ対話形式で、旧約から新約にわたる救いのドラマを描き、預言者の信仰とキリストの恵みの勝利を奏でる。

46判 340頁 本体2500円 1985年
4-400-56941-4

永遠の腕のもとに

アメリカの一女性に宛てた手紙

C. S. ルイス著 C. キルビー編 小峰三和子訳

ルイスが、カトリック信徒の未亡人メアリ・ウィルズ・シェルバーンに宛てた138通の書簡。1963年のルイスの死まで13年間に及ぶ温かい交流。

46判 216頁 本体2300円 2010年
978-4-400-52065-8

【C. S. ルイス宗教著作集】

悪魔の手紙

〈C. S. ルイス宗教著作集 1〉

C. S. ルイス著 森安 綾／蜂谷昭雄訳

老練の悪魔が甥の新米悪魔にキリスト教信者の青年を誘惑するための具体的指針を書簡対で綴る奇抜な風刺文学。著者が生涯こだわり続けた著作。

46判 220頁 本体2200円 1979年
4-400-52051-X

四つの愛 [新訳]

〈C. S. ルイス宗教著作集 2〉

C. S. ルイス著 佐柳文男訳

愛情、友情、恋愛、聖愛の四つの愛を挙げ、それぞれの意味と独自性を示すルイスの言葉は、まことに深いユーモアと鋭い洞察に溢れて飽かせない。

46判 232頁 本体2200円 2011年
978-4-400-52059-7

痛みの問題

〈C. S. ルイス宗教著作集 3〉

C. S. ルイス著 中村妙子訳

「なにゆえ神は、創られしものが痛み苦しむことを許したもうか？」この難題に正面から取り組み、自らの人生を踏まえて語りかける。全面改訳。

46判 230頁 本体2500円 2004年
4-400-52053-6

キリスト教の精髄

〈C. S. ルイス宗教著作集 4〉

C. S. ルイス著 柳生直行訳

ラジオで毎回15分29回にわたり親しみやすく語りかけたルイスの信仰論。深い洞察と機知に溢れた言葉がさえる。定評ある名訳で贈る。

46判 358頁 本体2800円 1977年
4-400-52054-4

説教集・信仰論

詩篇を考える

〈C. S. ルイス宗教著作集 5〉

C. S. ルイス著 西村 徹訳

詩篇を信仰の書と同時にユダヤ教文学の精華としても楽しみ、その魅力をくつろいだ筆致で縦横に語る。ユダヤ系の妻ジョイを得た喜びが反映。

46判 200頁 本体2000円 1976年
4-400-52055-2

悲しみをみつめて

〈C. S. ルイス宗教著作集 6〉

C. S. ルイス著 西村 徹訳

ルイスが59歳で結婚したヘレンは、間もなくがんに冒されて世を去った。彼が悲嘆の底から書いた稀有な魂の記録は、貴重な文学作品となった。

46判 144頁 本体2000円 1976年
978-4-400-52056-6

神と人間との対話

〈C. S. ルイス宗教著作集 7〉

C. S. ルイス著 竹野一雄訳

死の半年前に完成された最後の著作。神の真実に至るべき祈りの問題を、実践と瞑想の両面にわたって弁証。ルイスの確信の最後の反復。

46判 230頁 本体2200円 1977年
4-400-52057-9

栄光の重み

〈C. S. ルイス宗教著作集 8〉

C. S. ルイス著 西村 徹訳

ルイスの信仰の敬虔を代表する説教、「栄光の重み」を初め、12編の説教を収録。英国文学とキリスト教を代表する説教選集。

46判 208頁 本体2500円 1976年
4-400-52058-7

偉大なる奇跡

〈C. S. ルイス宗教著作集 別巻〉

C. S. ルイス著 本多峰子訳

ルイス最晩年の作品。洗練されたスタイルで現代に生きる人間の生の諸問題に信仰がどこまで有効かを問う。聖書的信仰の持つ力に目を向けさせる。

46判 270頁 本体2600円 1998年
4-400-52063-3 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

バーゼル

ライン河畔に息づく死と生の文化

横手征彦著

独特の生と死をめぐる精神文化を育んできたバーゼル。その精神的・信仰的系譜を、ホルバイン、ニーチェ、バルト等々多様な生きざまに探る。

46判 358頁 本体3000円 2007年
978-4-400-22119-7

ジョン・ウェスレー伝

M. シュミット著 高松義数訳

ドイツの教会史家の特異なウェスレー伝。歴史的背景、生い立ちから回心まで、特にドイツ敬虔主義とウェスレーのつながりを究明して興味深い。

46判 450頁 本体3452円 1985年
4-400-62339-4 僅少

19 世紀アメリカンボードの宣教思想 I 1810—1850

塩野和夫著

アジア伝道を行い、試行錯誤と艱難辛苦をなめ尽くしたアメリカンボードがアジア諸国、諸民族に及ぼした功罪を発見し把握する意欲的な試み。

A5判 230頁 本体2800円 2005年
4-400-42775-7

プロテスタンティズムとメキシコ革命

市民宗教からインディヘニスモへ

大久保教宏著

反宗教的性格を持つとされている 20 世紀初頭のメキシコ革命でプロテスタント知識人が果たした大きな役割を解明した労作。義塾賞受賞。

A5判 320頁 本体4700円 2005年
4-400-22774-X

なぜ私は生きているか

フロマートカ自伝〈オンデマンド・ブック〉

J. L. フロマートカ著 佐藤 優訳

第一次大戦前後から冷戦期に至る 20 世紀の激動期、民族主義、ファシズム、マルクス主義の狭間で「神学する」ことを貫いたチェコの知識人。

46判 193頁 本体2380円 (97年)2008年
978-4-400-34415-5

思想としての編集者

現代プロテスタンティズムと出版史

深井智朗著

ディーディリス、レンプ、ミュンツェンベルクらが 20 世紀ドイツ神学史に果たした役割を論じ、神学の背後にいる編集者に光を当てた意欲作。

46判 240頁 本体2380円 2011年
978-4-400-31052-5

十字架とハーケンクロイツ

ドイツ教会闘争の思想史的探究

宮田光雄著

40 年にわたるナチズム研究の掉尾を飾る記念碑的労作。ナチ宗教政策や戦後罪責論争など教会闘争を多様な側面から照らし出す 5 本の論文。

A5判 464頁 本体7600円 2000年
4-400-42710-2

ドイツ現代史とキリスト教

河島幸夫著

大戦中から 20 世紀終焉までのドイツ政治史に教会はどのように関わってきたのか。ナチズムや宗教政党などのテーマから読み解いた労作。

A5判 230頁 本体3000円 2011年
978-4-400-21223-2

戦後ドイツの光と影

文学・政治・教会

富坂キリスト教センター編

ドイツにおける「過去の克服」の明暗を、文学史・政治史・教会史共同研究を通して検証。学際的・キリスト教的視座の広がりは、類書を圧倒する。

46判 330頁 本体2900円 1995年
4-400-41237-7 僅少

フリードリヒ・ユストゥス・ペーレルス

告白教会の顧問弁護士

雨宮栄一著

告白教会の顧問弁護士としてドイツ教会闘争を支え、抵抗運動に参与し 34 歳でナチに処刑された弁護士。その生涯を丹念に辿った貴重な労作。

46判 310頁 本体3100円 2014年
978-4-400-21320-8

二人の平和主義者の殉教

H. シュテールと D. ボンヘッファー

雨宮栄一著

ヒトラーの恐るべき戦争政策に抗して、平和のために生命を賭した 2 人の神学者・牧師の苦闘の軌跡を、同時代史的な視野で描いた力作。

46判 280頁 本体2600円 1999年
4-400-41236-9 僅少

ヒトラーと闘った女性たち

ルート・V・クライスト＝レッツォウ夫人の生涯

J. ペイシャ著 友枝久美子／矢田裕華子訳

告白教会に参与して抵抗運動を組織、孫娘マリーアとボンヘッファーを婚約させるなど、気丈さと優しさを合わせ持つプロイセン女丈夫の年代記。

46判 480頁 本体5700円 1997年
4-400-61590-1

終末・預言・安息日

19 世紀アメリカとエレン・ホワイトの安息日論

村上良夫著

19 世紀アメリカに台頭したセブンスデー・アドベンチスト発展の過程を、創設者、エレン・ホワイトに集中して追跡、その歴史的全体像を描出。

46判 400頁 本体4500円 1998年
4-400-42660-2

アメリカ南部バプテスト連盟と歴史の審判

ひとつの根源的な罪の痕跡

E. L. コーブランド著 八田正光訳

アメリカ最大の教派である南部バプテスト連盟の歴史を出発点の奴隷制度防衛から説き起こし、連盟の罪責を客観的資料に基づき解説する。

46判 280頁 本体2500円 2003年
4-400-42125-2

素顔のモルモン教

アメリカ西部の宗教 その成立と展開

高橋 弘著

本邦初の本格的な研究。豊富な資料に基づき秘密のベールに包まれた教団の実態、その人種主義や多妻婚の変遷、内部論争などに迫る。

46判 311頁 本体2400円 1996年
4-400-42417-0

約束の地をめざして

M. L. キングと公民権運動

梶原 寿著

黒人の人権確立にあたり、巨大な寄与を果たした公民権運動の指導者キング牧師のダイナミックな闘いの歴史に、その深い信仰と神学を見る。

46判 284頁 本体2200円 1989年
4-400-41525-2

信じること働くこと

ジミー・カーター自伝

J. カーター著 瀬戸毅義訳

2002 年ノーベル平和賞を受賞した元米国大統領の自伝。激動の現代史を背景にしながら著者の信仰者としての内面が浮き彫りにされる。

46判 280頁 本体2400円 2003年
4-400-42124-4

C・S・ルイス評伝

A. N. ウィルソン著 中村妙子訳

母との死別、父との葛藤、親友の母親との関係、信仰への回心、トールキンとの友情、晩年の結婚などルイスの人間の実存を赤裸に解き明かす評伝。

A5判 460頁 本体3900円 2008年
978-4-400-22122-7

歴史・評伝

C・S・ルイスとともに

ジョイ・デイヴィッドマン・ルイスの生涯

R. W. ドーセット著 村井洋子訳

ルイスの愛読者だったジョイが晩年のルイスと出会い、短いが満ち足りた結婚生活の後にガンで没するまでの、二人の愛を描いた感動の伝記。

46判 240頁 本体2300円 1994年
4-400-52062-5

死から生へ

J. マッキンレイ著 宮崎 亮訳

バングラデシュ独立戦争の最中にアメリカ人宣教師マッキンレイ牧師が、前線に残された信徒の安否を問うべく奮闘した姿を綴ったドキュメント。

46判 270頁 本体2500円 1994年
4-400-51987-2

星を仰いで路地を見よ

ある牧師の自伝

J. ツィンク著 宍戸 達訳

ドイツで最も著名な伝道者・キリスト教著述者が、戦争体験に始まる激動の生涯を振り返り、信仰と思想の深まりを静かに綴った美しい自伝。

A5判 400頁 本体4200円 2004年
4-400-52128-1

子ブルームハルトの生涯と使信

R. ルジューン編 Ch. ブルームハルト著 井上良雄訳

子ブルームハルトの代表的な説教 9 編とルジューンによる短くも鋭く力強い伝記。この暗い時代を生きる福音の証しと告白の書。

46判 224頁 本体2600円 2001年
4-400-52104-4

激動のドイツと教会

〈新教コイノニア〉

村上 伸／佐々木悟史編著

ベルリンの壁の崩壊から、東西ドイツの統一に至る激変に直面する教会を、多面的に描いた記録評論。東独の教会の果たした預言者的役割を示す。

A5判 106頁 本体970円 1990年
4-400-40708-X 僅少

日本とアジア

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

人を恐れず天を仰いで

復刊『一週一信』

広岡浅子著　影山礼子解説

明治実業界の女傑と呼ばれ、女子高等教育にも尽力した浅子の、剛毅にして瑞々しい信仰が窺われる自伝とエッセイを復刊。

B6変　160頁　本体1700円　2015年
978-4-400-52148-8

逆境の恩寵

祈りに生きた家族の物語

徳永　徹著

洗うが如き赤貧と病苦に苛まれながら、常に喜びをもつて福音を説き続けた信徒伝道者・徳永規矩と妻歌子の生涯を描く。

B6変　229頁　本体1800円　2015年
978-4-400-52073-3

新島襄物語

良心へ向かう志

富田正樹／山本真司著

同志社で学ぶ中高生のために書き下ろされた新島襄の入門書だが、新島のことを知りたい一般読者にも最適のテキスト。オールカラー。

A5判　72頁　本体1200円　2015年
978-4-400-51758-0

近代化への挑戦

ペイルートのアメリカン大学と京都の同志社

アレクサンドラ・コビルスキ著　北垣宗治訳

アラブと極東の2大学は共に19世紀後半アメリカン・ボードの支援を受けて建学された。グローバルな視点から見直す画期的な同志社成立史。

A5判　280頁　本体2800円　2015年
978-4-400-22661-1

市民K、教会を出る

韓国プロテスタントの成功と失敗、その欲望の社会学

金　鎮虎著　香山洋人訳

韓国教会の自己省察の書。冷戦・開発独裁下の高度成長期と、その後の高度消費社会において、韓国プロテスタント教会が果たした役割を分析。

A5判　240頁　本体2400円　2015年
978-4-400-40735-5

キリストにある真実を求めて

出会い・教会・人間像

塩野和夫著

福音の真理は「出会い」の中にある。著者の多岐にわたる関心を貫く一本の線＝「出会い」を中心に編まれた論集。

46判　340頁　本体2000円　2015年
978-4-400-42777-3

私の人生のテーマは「現場」

韓国教会の同時代史を生きて

呉　在植著　山田貞夫訳

戦後の韓国教会史に多くの働きを残し、常に「現場」でエキュメニカルな人と人とのつながりを作るに努めた呉牧師の、波乱に富んだ生涯の回顧。

46判　350頁　本体2500円　2014年
978-4-400-52349-9

折られた花

日本軍「慰安婦」とされたオランダ人女性たちの声

M.ハーマー著／村岡崇光訳

8人のオランダ人女性たちの体験をつぶさに綴る。戦後の人生をも丹念にたどり、戦時下性暴力がいかに深い傷を残したかを示す貴重な証言。

46判　216頁　本体1900円　2013年
978-4-400-40729-4

八重のことば

新島八重とその同時代人が語り伝えた生き方

坂本優二著

彼女のことばを多数取り上げ背景を解説、また兄や二人の夫をはじめ同時代人の証言から、幕末から昭和を生き抜いた生涯を浮かび上がらせる。

46判　300頁　本体1500円　2012年
978-4-400-22666-6

評伝井上良雄

キリストの証人

雨宮栄一著

戦前は気鋭の文芸評論家、戦後はバルトに拠りつつ教会のために奉仕した一信徒神学者の生涯。その全体像を初めて明らかにした本格評伝。

46判　480頁　本体3800円　2012年
978-4-400-21318-5

内村鑑三と再臨運動

救い・終末論・ユダヤ人観

黒川知文著

大正期のキリスト教界を揺るがした再臨運動を内村の信仰形成史に位置づけ、同時代人の受容と批判、さらに彼のユダヤ人観との関わりから考究。

46判　300頁　本体2200円　2012年
978-4-400-31050-1

日本プロテスタント海外宣教史

乗松雅休から現在まで

中村　敏著

日本発の海外宣教師たちの軌跡を戦前から現在まで教派を超え概観する。母国の帝国主義と宣教地の間に立たされた宣教師たちから考える教会論。

A5判　304頁　本体2500円　2011年
978-4-400-21316-1

日本プロテスタント・キリスト教史

〈新教セミナーブック〉

土肥昭夫著

教派的に偏向しがちであった従来の教会史の枠組みを破り、近代100年の流れを問題史的視座から整理し、各時代の様相を浮き彫りにした名著。

A5判　488頁　本体5000円　1980年
4-400-30652-6

思想の杜

日本プロテスタント・キリスト教史より

土肥昭夫著

日本人の精神構造を解析し、湯浅治郎ら先達の働きに学び、また教会の歴史、日韓交流の足跡などを歴史家の透徹した眼差しで論じ課題を訴える。

A5判　270頁　本体3400円　2006年
4-400-21300-5

日本キリスト教史論

〈オンデマンド・ブック〉

石原　謙著

11論文を収録。とりわけ「日本基督教団の成立とその進展」「会派問題」「戦後二十年のキリスト教」は今日の教団問題を考えるための基礎文献。

A5判　360頁　本体5200円　(67年)2003年　4-400-20755-2

日本キリスト教史を読む

塩野和夫著

日本のキリスト教の総合的・大局的な把握と理解を深めることを目指して、高校生、短大生向けに大胆な構想のもとに書き下ろされた野心的な試み。

A5判　168頁　本体1500円　1997年
4-400-21293-9

フルベッキ書簡集

〈オンデマンド・ブック〉

高谷道男編訳

安政6年来日し明治31年客死するまでの40年近くに及ぶ書簡。伝道、聖書翻訳、衆議院顧問等々多彩な活動記録は、第一級の資料価値をもつ。

A5判　454頁　本体5700円　(78年)2007年　978-4-400-26001-1

女性宣教師の日本探訪記

明治期における米国メソジスト教会の海外伝道

齋藤元子著

19世紀、女性宣教師が報告書簡で本国にもたらした地理的知識。3人の女性宣教師の活動を検討し地理学史から宣教史への新たな視点を切り開く。

46判　280頁　本体2800円　2009年
978-4-400-21309-3

物語日本キリスト教史

日米キリスト者群像を辿る

志茂望信著

日本の近代史ならびにキリスト教を語る際に抜くことのできない「アメリカ」。本書は両国の激動の関係史に光をあてた異色のキリスト教史。

46判　680頁　本体5300円　1998年
4-400-21294-7

同志社の独立

ミッション・スクールからの脱皮

P.グリーシー著　北垣宗治訳

初期同志社の歴史、すなわちアメリカン・ボードからの独立のプロセスを「土着化」の成功例と捉え、そこに作用した要因を緻密に分析した労作。

A5判　520頁　本体4000円　2012年
978-4-400-22662-8

アメリカンボードと同志社

1875-1900

P.ボラー著　北垣宗治訳

宣教師と同志社との四半世紀にわたる協力関係を膨大なアメリカン・ボード文書から探る。学校の自立にともなう宣教目的の変化が明らかに。

A5判　291頁　本体2800円　2007年
978-4-400-22663-5

アメリカン・ボード宣教師文書

上州を中心として

新島学園女子短期大学付属新島文化研究所・編訳

明治年間、アメリカン・ボード派遣宣教師として上州宣教に携わったその経験をボストン本部に報告した通信を収録した明治期日本伝道の記録。

A5判　460頁　本体8000円　1999年
4-400-22664-6

ヘンリー・スタウトの生涯

G. D. レーマン著　峠口　新訳

明治初期・長崎を拠点とし、九州一円の伝道に献身、多くの教職と信徒を育てた宣教師スタウト。その信仰と志と活動の跡の探求を、初めて紹介。

46判　202頁　本体1600円　1986年
4-400-21229-7

大儀見元一郎とその時代

サムライから牧師へ

太田愛人／秋山繁雄／岡見　璋著

幕臣、大儀見は、維新の後、明治3年、森有礼一行に加わり渡米、留学中に回心、牧師となって帰国した。本書はその波瀾万丈の生涯を描く。

A5判　400頁　本体6000円　1994年
4-400-41234-2

日本におけるドイツ

ドイツ宣教史百二十五年

日本におけるドイツ宣教史研究会編

シュビンナーらドイツ語圏からの宣教師たちの活動と影響を振り返った共同研究の成果。その影響から生まれた雑誌『眞理』の総目次付き。

46判　216頁　本体2600円　2010年
978-4-400-22709-0

闇を照らした人々

相馬黒光・山室軍平・石井十次・井口喜源治論
葛井義憲著

明治政府が民衆を犠牲にし、天皇制確立と富国強兵に邁進した時、辺境の人々と共に生き、社会改革を志したキリスト信仰の先達たちの戦い。

A5判　350頁　本体4854円　1992年
4-400-41232-6

続・明治人物拾遺物語

キリスト教の系譜

秋山繁雄著

デビッドソン、桑田繁太郎、矢島重虎、長山萬次、子安千代松、ミラー夫妻ら日本基督教会と明治学院をめぐる人々の精緻な資料による人物評伝。

46判　300頁　本体2600円　1998年
4-400-21230-0

日本組合基督教会史研究序説

塩野和夫著

日本組合基督教会の歴史・伝統成立の志を探究しながら、教派的教会としての日本のキリスト教を理解するための広く、新しい視野を開く好著。

A5判　580頁　本体7300円
1995年　4-400-21288-2

旧日本基督教会試験

教会・文化・国家

木下裕也著

旧日基の伝統をいかに自覚的・批判的に継承し、発展させていくか。鋭い問題意識のもとに取り組んだ、植村・高倉・熊野らを巡る意欲的論集。

46判　288頁　本体2000円　2007年
978-4-400-21307-9

権威と服従

近代日本におけるローマ書十三章

宮田光雄著

天皇制国家とキリスト教信仰との緊張葛藤、特に太平洋戦争下の協力と抵抗の諸相を聖書解釈史を通して描き出した近代日本キリスト教思想史論。

46判　320頁　本体2600円　2003年
978-4-400-32747-9

若き植村正久

雨宮栄一著

植村評伝の第1部。旧幕臣としての生い立ち、キリスト教との出会い、回心、献身。著作の経緯や啓蒙思想との折衝からもその素顔に肉薄する。

46判　366頁　本体2900円　2007年
978-4-400-21304-8

戦う植村正久

雨宮栄一著

20代後半から30代後半の教会形成、伝道、文筆で七面六臂の活躍を見せた時期を扱う。新神学、ナショナルリズムとの関係、藤村たちとの交流など。

46判　400頁　本体3100円　2008年
978-4-400-21305-5

牧師植村正久

雨宮栄一著

好評の植村評伝3部作の完結編。「自由なる国民教会」の形成を目指し、情熱を注いで奮闘した壮年期から死に至る植村と、その時代背景を活写。

46判　400頁　本体3100円　2009年
978-4-400-21306-2

植村正久論考

大内三郎著

日本キリスト教思想史研究に大きな足跡を残した著者による、植村正久に関する論考を収録。緻密膨大な日録の研究に裏づけられた貴重な考証。

46判　292頁　本体2800円　2008年
978-4-400-21308-6

植村正久

植村正久とその弟子たち 1

佐藤敏夫著

近代日本の教会を代表する植村正久の信仰と神学を吟味、その流れを汲む福音的キリスト教の系譜を辿りながら、牧師植村の新しい人間像を提示。

46判　160頁　本体1700円　1999年
4-400-51861-2

復刻『宗教及び文藝』

第1号―第8号（植村正久主幹・福音新報社）

別冊解説＝武田清子／齊藤　勇

明治44年（1911年）に植村が創刊したこの雑誌は、第8号で突然廃刊、世人々ら忘れられたが、この時期の植村らの活動を知るために必須の資料。

菊判　750頁　本体8000円　2001年
4-400-10679-9

井深梶之助宛書簡集

明治学院創立120周年記念出版編

明治・大正・昭和初期の指導者、井深宛書簡は、東京一致神学校入学時から死去まで200通以上にも及ぶ。植村正久、新島襄ら150名の書簡を収録。

A5判　444頁　本体5000円　1997年
4-400-42656-4

高倉徳太郎日記

秋山憲兄編

初めて公にされる約三千日分を含む「完本」。既発表分を原本から一部補正するとともに、大部の未公表部分を加える。牧師の魂の軌跡。

46判　910頁　本体5000円　2015年
978-4-400-21321-5

評伝高倉徳太郎　上

雨宮栄一著

福音的キリスト教の確立にささげた生涯を描く「神学的評伝」。上巻は、生い立ちから38歳で英国留学から帰国した1924年までを扱う。

46判　384頁　本体3100円　2010年
978-4-400-21311-6

評伝高倉徳太郎　下

雨宮栄一著

下巻は、開拓伝道、日本神学校での教職、『福音的基督教』の執筆、晩年の病と死までの道程を描き、高倉が実存をかけたその神学に迫る。

46判　368頁　本体3000円　2011年
978-4-400-21312-3

高倉徳太郎傳

〈オンデマンド・ブック〉

小塩　力著

幼少期から自死に至る生涯と神学形成の道程を描いた力作。高倉に親しく師事した著者ならではの深い理解は、未だに評伝の決定版たるを失わない。

B6判　330頁　本体3500円　2006年(54年）
4-400-21240-8

日本キリスト教史における賀川豊彦

その思想と実践

賀川豊彦記念松沢資料館編

熊野義孝から栗林輝夫まで16名の論者による多面的な賀川論を集大成。「賀川論」の過去と現在、またその幅広さを展望できる貴重な論集。

A5判　584頁　本体4000円　2011年
978-4-400-21314-7

歴史・評伝

賀川豊彦

愛と社会正義を追い求めた生涯

R.シルジェン著　賀川豊彦記念松沢資料館監訳

アメリカ側の資料を駆使して賀川のキリスト伝道、労働運動、農民組合運動、協同組合運動、平和運動など多方面にわたる活動に迫った大作評伝。

A5判　413頁　本体4000円　2007年
978-4-400-21302-4

青春の賀川豊彦

雨宮栄一著

歴史的資料の徹底的な渉猟と、鋭い思想的人間的洞察をもって模索した賀川研究の労作。生い立ちから神戸・新川に入るまでの期間に焦点をあてる。

46判　328頁　本体2500円　2003年
4-400-52745-X

貧しい人々と賀川豊彦

雨宮栄一著

神戸新川のスラムに入居した賀川豊彦夫妻の救霊活動の実態等、本所セツルメント開設に至るまでの賀川の救貧活動の実態に迫る。

46判　340頁　本体2700円　2005年
4-400-52777-8

暗い谷間の賀川豊彦

雨宮栄一著

著者渾身の賀川論最終巻。非戦同盟、神の国運動、満州開拓農民、対米平和使節、逮捕拘留事件、世界連邦運動などの事件、運動を精査し総括。

46判　370頁　本体3000円　2006年
4-400-52778-6

昭和日本基督教会史

天皇制と15年戦争の下で

金田隆一著

天皇制ファシズムと軍国主義の重圧の下で苦難の中に辿った日基の運命を追跡、信仰と国家意識の問題性を問う。教会史に問う戦争責任論の力作。

A5判　520頁　本体6700円　1996年
4-400-21291-2

十五年戦争期の天皇制とキリスト教

富坂キリスト教センター編

あの「天皇制の狂奔期」に、諸教派や学校の態度決定はいかなるものであったのか。ほぼ全教派の抵抗と協力の諸相を精査した学際的研究の成果。

46判　620頁　本体5700円　2007年
978-4-400-21301-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

戦後教会史と共に

1950-1989

井上良雄著

社会と国家に対する教会の責任を、バルト神学を導きとしつつ徹底的に思索し、教会的な実践に参与してきた著者の時論的発言 41 編を集大成。

46判　392頁　本体3600円　1995年
4-400-41238-5

井上良雄研究

「世のための教会」を求めて（新教コインノーニア23）

雨宮栄一　小川圭治　森岡　巖編

井上が生涯追求した「世のための教会」の継承を願いながら、教会的・神学的同志らが寄稿した井上良雄論。巻末に詳細な井上良雄文献目録付き。

A5判　180頁　本体1900円　2006年
4-400-30716-6

内村鑑三不敬事件

〈オンデマンド・ブック〉

小沢三郎著

事件の経過を綿密に解明、更に当時の新聞・雑誌の記事を広く蒐集、キリスト教界内外の発言を網羅し、この事件の内容・影響を克明に示した労作。

A5判　276頁　本体4200円　2004年(61年）
4-400-40783-7

神社問題とキリスト教

〈オンデマンド・ブック〉

戸村政博編

明治維新以後の膨大な文献を収集整理し、「宗教法案」を中心とする国家とキリスト教の緊張関係を多角的に浮き彫りにした資料集。

A5判　420頁　本体6000円　2011年(76年）
978-4-400-20785-6

孤憤のひと　柏木義円

天皇制とキリスト教

片野真佐子著

天皇制下、国家主義に流れた明治から昭和前期、安中教会の講壇から、また『上毛教界月報』を通して果敢に闘う柏木義円の希有な生涯とその信仰。

46判　380頁　本体3882円　1993年
4-400-61469-7

田川大吉郎とその時代

遠藤興一著

明治から昭和にまたがり、言論・政治・社会・教育の広範な領域で活躍したキリスト者の活動の全貌。戦時下の思想、和平工作活動を詳しく解明。

46判　300頁　本体3000円　2004年
4-400-42758-7

土着と背教

伝統的エトスとプロテスタント（オンデマンド・ブック）

武田清子著

「埋没・孤立・対決・接木（土着）・背教」という五類型を、著名なキリスト者を例に提示し、プロテスタント信仰の受容仕方を解明した名著。

A5判　360頁　本体5400円　(67年)2004年　4-400-40780-2

土着と挫折

近代日本キリスト教史の一断面

佐治孝典著

賀川豊彦、波多野鶴吉、大原孫三郎らの近代キリスト教の土着化への苦闘を、人物史論を縦軸、天皇制との関わりを横軸に描いたキリスト教史論。

46判　270頁　本体2233円　1991年
4-400-21221-1

日本基督教会鎮西中会記録

日本基督教会柳川教会編

明治 14 年（1881 年）九州地方の日本基督教会によって組織され、昭和 18 年の教団統合によって解消いたる、61 年間の詳細な記録。

B5判　410頁　本体12000円　1980年

日本基督教会山陽中会記録

日本基督教会山陽中会記録編纂委員会編

1881 年、鎮西中会より独立、西日本四県と愛媛県を伝道圏に、1941 年、日本基督教団成立まで 57 回の中会を開催した山陽中会の全記録。

B5判　400頁　本体20000円　1990年
4-400-41219-9　僅少

改革派カテキズム日本語訳研究

石丸　新著

「ジュネーブ教会信仰問答」「ウェストミンスター信仰告白・大教理問答・小教理問答」等の日本語訳の歴史、内容、翻訳出版の経緯の綿密な研究。

46判　166頁　本体1500円　1996年
4-400-52422-1

特高資料による戦時下のキリスト教運動　1

〈オンデマンド・ブック〉

同志社大学人文科学研究所編

昭和十一年から十五年まで。「支那事変」への諸教団の反応、燈台社（ものみの塔）の治安維持法違反事件、日本ハリストス正教会の「内紛」等。

A5判　350頁　本体8900円　(72年)2003年　4-400-20757-9

特高資料による戦時下のキリスト教運動　2

〈オンデマンド・ブック〉

同志社大学人文科学研究所編

昭和十六年から十七年まで。無教会主義者の「要注意言説」、キリスト教界の日米平和運動、教団合同問題、ホーリネス弾圧など。

A5判　422頁　本体8900円　(72年)2003年　4-400-20758-7

特高資料による戦時下のキリスト教運動　3

〈オンデマンド・ブック〉

同志社大学人文科学研究所編

昭和十八年から十九年まで。「大東亜戦争」に対するキリスト者の「要注意行動」、日本基督教団第二回総会の模様など。総索引付き。

A5判　338頁　本体8900円　(73年)2003年　4-400-20759-5

スキャンダラスな人々

レーン夫妻スパイ事件と私たち

岸本羊一著

戦時下レーン宣教師夫妻のスパイ容疑事件に光を当てる。イエスを主とする時、国家権力は「スキャンダラスな人」として排除するしくみを描く。

46判　168頁　本体1747円　1991年
4-400-41231-8

戦時下ホーリネスの受難

山崎鷲夫編

近代史最大の教会的受難、42 年 6 月のホーリネス系教会弾圧事件をめぐる 60 人余の牧師・信徒の証詞、その他問題の歴史的研究など 70 篇を収録。

A5判　676頁　本体4854円　1990年
4-400-21220-3

回想　黒崎幸吉・光子

松田智雄監修

黒崎幸吉没後 20 年、夫人光子没後 1 年を記念し、内村鑑三の日記、手紙等、無教会の内外の二人の信仰の生涯をめぐる文章と資料 170 篇を収録。

46判　488頁　本体3882円　1991年
4-400-51972-4　僅少

江原萬里・祝

遺稿と回想

松田智雄／江原　望監修

内村鑑三門下の無教会キリスト者・江原萬里は、大学在職中に結核に倒れ、貧窮の中で壮絶な病死を遂げる。本書は妻祝と萬里の遺稿と回想。

46判　472頁　本体4500円　1994年
4-400-51986-4　僅少

歴史・評伝

ある平和主義者の回想

中川晶輝著

敗戦前後の中国で医師として働き、戦後は老人福祉医療に携わりながら平和運動に挺身してきた著者の回想。当時の「大東亜書翰」への批判収録。

46判　176頁　本体1600円　2002年
4-400-52729-8　僅少

勝利は武器によるものでなく

日系アメリカ人キリスト者戦時下強制収容の証言

V. オカダ編　今泉信宏訳

アメリカ市民でありながら開戦と共に突如大統領命令により強制収容所へ送られた日系人。過酷な運命を信仰によって堪え忍んだ歴史の証言。

46判　200頁　本体2200円　2002年
4-400-42111-2

追憶　熊野義孝先生

熊野義孝先生追憶文集刊行会編・発行

熊野義孝と親交のあった先輩・同僚・後輩・教会員たち 82 名の追想と、西田幾多郎・田辺元・吉満義彦の書簡。熊野清子「熊野義孝について」収録。

46判　318頁　本体3398円　1994年
4-400-51992-9　僅少

明治学院人物列伝

近代日本のもうひとつの道

明治学院人物列伝研究会編

建学以来 120 年の歴史の中から輩出された、文学・思想・社会・教育等の各分野で特異な存在として活躍した 29 人の人物評伝。

46判　470頁　本体3000円　2003年
4-400-21295-5

本のはなし（改訂増補版）

明治期のキリスト教書

秋山憲兄著

伝道の一翼を担った出版物と文書の研究、味わい深い随想、また『ギュッラフ訳約翰福音之伝』履刻版解説など、長年の古書収集と研究の集大成。

A5判　320頁　本体2800円　2008年
4-400-22665-4

一本の道

キリスト教出版 70 年の歩み

秋山憲兄著

戦前より日本のキリスト教出版とともに歩んできた著者の道程とその途上での出会いの記録。日本のキリスト教出版史としても貴重な資料。

46判　284頁　本体2000円　2010年
978-4-400-52666-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

続・一本の道

待ちつつ、急ぎつつ

秋山憲兄著

満 95 歳の著者が、青年時代から今日までの人生の歩みを綴る。特に教会生活や亡き夫人との追想は心打つ。

46判 267頁 本体2000円 2012年
978-4-400-52667-4

日本キリスト教出版史夜話

創立 40 年記念出版

西阪保治／河本哲夫／秋山憲兄著

新教出版社の源流、日曜世界社、新生堂、長崎書店の歴史と経験の証言を軸に、教出版の現実と問題を探り、文書伝道の課題と使命を真剣に訴える。

新書判 104頁 本体480円 1984年
4-400-51315-7

路上の信仰

韓国民主化運動を闘った一牧師の回想

朴 炯圭著 山田貞夫訳

激動の韓国現代史をめぐる第一級の証言。日帝下の少年期、軍事政権により幾たびも投獄された過酷な民主化闘争、そして現在までを振り返る。

46判 450頁 本体2381円 2012年
978-4-400-52350-5

在日朝鮮基督教会の女性伝道師たち

77 人のバイブル・ウーマン

呉 寿恵著

戦前の在日朝鮮基督教会の伝道と教会形成に大切な役割を担った「バイブル・ウーマン」一人ひとりの足跡を掘り起こした、画期的な労作。

A5判 280頁 本体4300円 2012年
978-4-400-22711-3

時代のように訪れる朝を待つ

「日韓併合」101 年、キリスト者たちの対話

「福音と世界」編集部編 〈コイノニア 25〉

「日韓併合」100 年目に寄せられた「韓国からの声」に 101 年目の「日本からの応答」を付した、両国からの多彩な 18 名による熱い対話集。

A5判 180頁 本体1800円 2011年
978-4-400-21315-4

近代韓国における大復興運動の歴史的展開

大森講座 24

崔 炳一著

なぜ韓国ではキリスト教が定着したのか。1903 年から 1907 年の大復興（リバイバル）運動を歴史的に解明し、「韓国型」教会の形成の源流を探る。

46判 125頁 本体1100円 2009年
978-4-400-31698-5

アジア・エキュメニカル運動史

山本俊正著

エキュメニカル運動のアジアにおける変遷を、CCA（アジアキリスト教協議会）の歴史を軸にしながら追う。類書に乏しい貴重な通史。

46判 176頁 本体1600円 2007年
978-4-400-22708-3

アジアのキリスト教の展望

関西エキュメニカル・フォーラム実行委員会訳

多様な宗教とイデオノロジーが混在するアジアでキリスト教の宣教の使命を担って第一線で活動する神学者が、21 世紀への展望の中で語り合う。

46判 144頁 本体1358円 1993年
4-400-41537-6

日韓キリスト教関係史資料 Ⅱ

1922-1945

富坂キリスト教センター編

近代史の中、帝国主義日本の植民統治に参与した日本キリスト教の赤裸々な姿と、朝鮮教会への神社参拝・皇民化強制等痛みに満ちた関係史の全容。

A5判 880頁 本体14000円 1995年
4-400-41223-7

韓国キリスト教の受難と抵抗

韓国キリスト教史 1919-45 年

韓国基督教歴史研究所編 蔵田雅彦／韓 哲義監訳

植民統治下、韓国キリスト教が最も過酷な運命におかれた 1919-45 年を、宣教的・民族的・民衆的視点から掘り下げた韓国第一級の共同研究の成果。

A5判 380頁 本体4600円 1995年
4-400-41542-2

韓国の民衆宗教とキリスト教

趙 載国著

韓国民衆宗教とキリスト教に共通の民族意識と信仰体系を分析、福音と民衆宗教の合流の過程を解明。日本の教会の同時代史的考察の必然性を示唆。

46判 300頁 本体4200円 1998年
4-400-41294-6

韓国民主化闘争資料集

韓国問題キリスト者緊急会議編

韓国民主化闘争の代表的な宣言・訴え等を網羅し、闘争に献身する韓国民衆の告白と証言、それに呼応する全世界大の連帯の声を盛った貴重な資料集。

B6判 278頁 本体1600円 1975年
4-400-41251-2 僅少
英語版 2520 円 1976年 41253-9

尹致昊と金教臣 その親日と抗日の論理

近代朝鮮における民族的アイデンティティとキリスト教
梁 賢惠著

近代朝鮮における二人のキリスト者知識人の対照的な軌跡を通して、歴史と思想のダイナミックな連関に迫った力作。96 年度中村元賞受賞。

46判 266頁 本体3200円 1996年
4-400-42627-0 僅少

金教臣の信仰と抵抗

韓国無教会主義者の戦いの生涯

新堀邦司著

1920 年代留学中師・内村鑑三に出会い、刺激と励ましを受け、清新自由な民族的信仰を鼓吹して朝鮮に無教会主義運動を起こした金教臣の生涯。

46判 144頁 本体1500円 2004年
4-400-42756-0

神社参拝を拒否したキリスト者

付・平壤地方法院予審終結決定書

証言・趙 寿玉 聞き手・渡辺信夫

神社参拝を拒否し 4 年に及ぶ獄中生活を経、戦後の混乱の中で社会福祉事業に献身した女性の証言。植民地支配を法的側面から示す貴重な資料を伴載。

46判 240頁 本体2000円 2000年
4-400-41544-9

日韓関係史研究

1965 年体制から 2002 年体制へ

池 明観著

韓国を代表する知識人が、鋭い歴史的洞察眼をもって、共生と連帯の創造に生きる願いと共に提示する、日韓関係史の歴史的現実と将来的展望。

46判 400頁 本体4000円 1999年
4-400-21296-3

韓国から見た日本

池 明観著

朴政権時代から数えて 20 年、その歴史的経験を、帰国を前にして主張と訴える。日本の教会に伝える、両国の共生を願う愛に満ちた預言者の発言。

46判 276頁 本体2620円 1993年
4-400-41536-7

韓国と日本の間で

沢 正彦著

日本人キリスト者の歴史意識に立ち「贖罪の求道者」として日韓の間に生きた沢正彦牧師の遺稿論文集。日韓中間係史の他、多彩な証言を収録。

46判 288頁 本体3106円 1993年
4-400-41538-4

歴史・評伝

朝鮮半島の平和と統一をもとめて

〈新教コイノニア〉

韓国問題キリスト者緊急会議編

今日、東アジアの平和にとって最大の課題である朝鮮半島分断の悲劇の克服に向けて、日本、韓国、北朝鮮のキリスト者の講演、論文、声明を精選。

A5判 128頁 本体970円 1989年
4-400-40706-3

民衆による平和と統一

文 益煥著 矢野百合子訳

民主化の志を高く掲げ、学生・労働者と共に戦列に立つ文牧師の講演・説教集。深まる危機の中に生きる民衆に、民衆自身の平和と統一の幻を提示。

46判 232頁 本体1800円 1986年
4-400-41518-X

ヨベルの年に向かって

南北の平和統一と宣教

在日大韓基督教会総会編

南北朝鮮統一の問題を当事者と共に議論する動きが世界教会の中にあった。その流れの中で在日大韓基督教会が 90 年に開いた歴史的な会議の記録。

46判 192頁 本体1553円 1991年
4-400-41533-3 僅少

中国の近代化とキリスト教

深沢秀男著

16 世紀、西欧諸国の進出、キリスト教の布教によって近代化して行く中国の歴史研鑽の集大成。政治変動、宣教師、中国人キリスト者の多彩な研究。

A5判 320頁 本体4000円)2000年
4-400-22706-5 僅少

原典 現代中国キリスト教資料集

プロテスタント教会と中国政府の重要文献 1950–2000

富坂キリスト教センター編

驚異的な成長を遂げる教会の姿、また中国政府の宗教政策の基調を知る上で必須の文献集。教会の重要文書から党や政府の声明、関連法規まで網羅。

A5判 944頁 本体12000円 2008年
978-4-400-22707-6

【日本キリスト教史双書】

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

日本キリスト教社会経済史研究

工藤英一著

日本の教会の体質を決定した明治前期のキリスト教受容とその屈折の動態を、地方産業の担い手でもあった教会信徒層の分析により解明する。

B6判　272頁　本体2000円　1980年
4-400-41276-8

尾張名古屋のキリスト教

真山光彌著

幕末・明治初期にかけて諸教派の伝道活動が押し寄せ特異な様相を呈した中京における教会形成とその展開を体系づけた名古屋キリスト教史。

B6判　324頁　本体2800円　1986年
4-400-21281-5

明治初期神戸伝道と D. C. グリーン

茂　義樹著

アメリカン・ボード最初の宣教師グリーンの生涯。切支丹禁制下における神戸を中心とする宣教活動をつ綿密な資料を駆使して追跡した感動的な読物。

B6判　268頁　本体2200円　1986年
4-400-21282-3

ジョナサン・ゴープル研究

川島二郎著

明治初期バプテスト派宣教師として来日したゴープル。一般庶民への伝道・聖書翻訳・明治政府との交流など、その波乱に富んだ生涯を伝える。

B6判　386頁　本体3200円　1991年
4-400-21283-1

天皇制と韓国キリスト教

藏田雅彦著

天皇制帝国主義により韓国キリスト教が経験した苦難と抵抗を、新資料を余すところなく駆使して、全体的かつ詳細に描いた驚くべき歴史的研究。

B6判　270頁　本体2523円　1991年
4-400-41532-5　僅少

夜が明けるまで

南長老派ミッションの宣教の歴史

J. A. カグスウェル著　真山光彌他訳

金城学院、高知女学校、神戸学校の設立にあたった在日南長老教会ミッション。1885 年同派伝道開始から 1967 年までの宣教の記録。

B6判　380頁　本体2913円　1991年
4-400-21284-X

愛知のキリスト教

真山光彌著

メソジスト監督教会、オランダ改革派教会、米国南長老教会の愛知県下の伝道開始期の事情と金城女学校・神社参拝拒否事件についての貴重な論考。

B6判　410頁　本体3688円　1992年
4-400-21286-6

無教会史　I

第一期　生成の時代

無教会史研究会編著

内村鑑三の創唱に始まった無教会の活動の過程を、8 人の真摯な研究の共同執筆により全体的かつ包括的に跡づけた労作。I は 1930 年内村の死まで。

B6判　272頁　本体2523円　1991年
4-400-21285-8

無教会史　Ⅱ

第三期　結集の時代

無教会史研究会編著

敗戦の挫折感から立ち直り、戦後の混乱と動揺に満ちた時代に深く根を下す無教会。内村鑑三の遺志を継承し、全国各地に進展してゆく活動を描く。

B6判　368頁　本体4100円
1995年　4-400-21289-0

無教会史　Ⅳ

第四期　連帯の時代

無教会史研究会編

80 年代以降の全国各地・海外における集会の動静。無教会運動の転機・危機を乗り越えて新しい連帯を作り出そうとする潮流を展望する。

46判　408頁　本体4500円　2002年
4-400-21299-8

長老・改革教会来日宣教師事典

中島耕二／大西晴樹／辻　直人著

日本基督一致教会成立の 1877 年前後までに米国長老教会、アメリカ・オランダ改革教会、スコットランド一致教会から派遣された 26 名の宣教師。

46判　320頁　本体3000円　2003年
4-400-22740-5

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

渡辺禎雄聖書版画集
くすしきみわざ
渡辺禎雄／解説＝神田健次、アン・パイル
伝統的な型染版画を通して「くすしきみわざ」を賛美し続けたわが国キリスト教美術の一頂点。生誕 100 年を記念し代表作 73 点を収録した作品集。
A4判　184頁　本体5000円　2013年
978-4-400-80061-3

美と真実

近代日本の美術とキリスト教

竹中正夫著

51 名の美術家たちを取り上げ、近代日本美術史とキリスト教との関連を明らかにした待望の書。伝記的資料を丁寧に辿った貴重な労作。

A5判　360頁　本体3800円　2006年
4-400-82767-4

心の美術館

シスター・ウェンディ・ベケット著　本多峰子訳

BBC テレビの美術番組で人気司会者を務める著者が、厳選した 73 点を隠されたテーマを軸に深い精神性から読み解く。独創的な美術観賞の誘い。

B5変型　160頁　本体3200円　1999年
4-400-52044-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

私たちの間のイエス

祈りの芸術　写本絵画でたどるキリストの生涯

シスター・ウェンディ・ベケット著　本多峰子訳

中世期に描かれた膨大な聖書装画から 43 葉を選び、キリストの生涯を黙想する。名もなき画工たちの筆使いに秘められた信仰との響きあい。

B5変型　95頁　本体3000円　2001年
4-400-52103-6

耳をすまして

ほんとうにたいせつなこと

シスター・ウェンディ・ベケット著　本多峰子訳

シスターがこどもたちに贈る初めての絵本。信じること、愛すること、ゆるすこと……人生の大切なテーマを 12 枚の名画の中に探る。

A4変型　32頁　本体1900円　2002年
4-400-60813-1

ジョットのイエス伝

平川祐弘解説

美術史上初〈生けるキリスト〉を描出し、近代絵画の発端となったスクロヴェーニ聖堂のイエス伝連作 28 面を現地撮影フィルムから完全複製。

B4変型　図版36　本体18000円　1976年
4-400-10676-4　僅少

中世人の知恵

バーゼルの美術から

海津忠雄著

プラント『阿呆船』、シェーデル『世界年代記』、ホルバイン『死の舞踏』を柱に、ヨーロッパ中世の秋における思想と世界観を掘り下げる。

46判　224頁　本体2200円　1984年
4-400-81460-2

雪に閉ざされて

冬の田園詩

J. G. ホイッティア著　根本　泉訳

少年時代に大雪が降った時の想い出をうたった牧歌詩だが、社会観、宗教観など詩人の思想の集大成。内村や新渡戸もこの詩を特に愛した。初訳。

46判　120頁　本体1700円　2016年
978-4-400-62773-9

創造と再創造

N.フライ著　高柳俊一訳
西欧精神の形成に聖書の概念とイメージはどう寄与したか。この探求に終生をかけた知の巨人が、「創造」という概念に取り組んだ3つの講義。
46判　130頁　本体1800円　2012年 978-4-400-62133-1

ダブル・ヴィジョン
宗教における言語と意味
N.フライ著　江田孝臣訳
自然的主体と意識的主体との対比を、空間認識、時間認識、歴史認識、神認識において精査し、「ダブル・ヴィジョン」の意味を解き明かしていく。
46判　176頁　本体2000円　2012年 978-4-400-62134-8

ゴルゴタへの道
ドストエフスキイと十人の日本人
芦川進一著
親鸞から遠藤周作に至るまで十人の日本人とドストエフスキイ、そして彼の文学に溢れるキリスト教的テーマが交差する斬新で鋭い文学－信仰論。
46判　246頁　本体2400円　2011年 978-4-400-62771-5

天国と地獄の離婚
ひとつの夢
C. S. ルイス著　柳生直行・中村妙子訳
地上の生を終えた亡者たちが影のような体で天国に行き、そこで堅固な体をもつ霊の人たちと交わす奇妙な対話。ナルニアの原点となる小説。
46判　216頁　本体1900円　2006年 4-400-62354-8

ドグマこそドラマ
なぜ教理と混沌のいずれかを選ばなければならないか
D. セイヤーズ著　中村妙子訳
アガサ・クリスティと並び称される「ミステリーの女王」が、キリスト教教理の復権を説いた興味尽きないエッセイ集。現代文明批判など全7編。
46判　184頁　本体1900円　2005年 4-400-62132-4

いのちの歌
東條歌一作品集
東條歌一著
著者はハンセン病療養所で夭逝したカトリック詩人（1912-1942）。親友北條民雄と共に文学的研鑽に励み、優れた作品を残した。その初の作品集。
46判　226頁　本体2500円　2009年 978-4-400-62769-2

このあかるさのなかへ
八木重吉の詩を読む
今高義也著
没後60年を経た八木重吉。著者は信仰者としての共感をもってその詩の世界を道案内する。『福音と世界』好評連載随想に論文講演3編を追加。
46判　232頁　本体2300円　2008年 978-4-400-62767-8

石原吉郎　詩文学の核心
柴崎　聡著
石原の詩の根幹にあるシベリヤ抑留体験、キリスト教信仰、聖書理解をライフワークとして追い続けてきた著者による石原詩文学論の集大成。
46判　350頁　本体2200円　2011年 978-4-400-62770-8

文学の比喩　聖書の比喩
柴崎　聡著
小説、詩などの文学作品はもとより聖書にも多用されている比喩。その形と働きを豊富な具体例を通して考察し、本質と魅力、機能と限界に迫る。
46判　200頁　本体1900円　2009年 978-4-400-62768-5

詩の喜び　詩の悲しみ
柴崎　聡著
優れた実作者でもある著者が、読み巧者として近代詩の豊かな世界を案内する。詩の言葉を通して、日常が開かれ、新しい世界と歴史が現出する。
46判　224頁　本体1900円　2004年 4-400-62766-7

詩人イエス
〈新教ブックス〉
A. ヤング著　船戸英夫訳
英国国教会司祭、宗教詩人ヤングの詩的・観想的イメージに溢れたイエス伝。イエスの詩人的資質に光をあて、豊かな人間性を敬虔な筆致で描く。
46判　144頁　本体1455円　1992年 4-400-52479-5

みあしのあと
主イエスならどうなさるか？
チャールズ・シュeldon著　川越敏司・堀　繭子訳
1896年発行以来「世界で最も読まれた10冊」に選ばれロングセラーを続けるクリスチャン小説の古典。主イエスにならう生き方の実践と恵み。
46判　168頁　本体1700円　2008年 978-4-400-62355-7

ドストエフスキイ
近代精神克服の記録
吉村善夫著
キリスト教信仰に対する的確な理解を欠いた従来へのドストエフスキイ研究の致命的な欠け目をつき、思想的発展の跡を追究。新解釈と理解を提示。
46判　406頁　本体3106円　1969年 4-400-61451-4

椎名麟三論
その作品にみる
高堂　要著
実存主義文学の旗手・椎名麟三の文学の全体像を、代表作を分析しながら信仰と文学の関係に新たな照明をあて、改めて今日的な視点で問い直す。
46判　258頁　本体2400円　1989年 4-400-61465-4

芥川龍之介の遺書
曹　紗玉著
著者は仁川大学助教授。韓国の女性研究者が、晩年の5作品を芥川の魂の記録として読み解き、作家とキリスト教との関係如何に迫った。
46判　200頁　本体1800円　2002年 4-400-62727-6

罪と死の文学　増補新版
戦後文学の軌跡
斉藤末弘著
敗戦の廃墟から立ち上がって、加害者の原罪意識、ユーモアによる現実相対化への格闘、戦後文学の課題と対決して来たキリスト者作家の苦闘の跡。
46判　240頁　本体2500円　2001年 4-400-62715-2

有島武郎研究
増子正一著
キリスト教との激しい葛藤の中で、聖書を熟読した有島武郎。本書は、彼の全作品と聖書との関わりを追究し、独自の解釈を示した驚くべき大作。
A5判　288頁　本体12000円　1994年 4-400-61470-0

イエス伝詩集・信仰詩集
尾崎　安編訳
欧米のすぐれた宗教詩から60篇を選んで、8章に編集した《イエス伝詩集》と5章に編集した《信仰詩集》を一挙に収録。
46判　376頁　本体3800円　1988年 4-400-62424-2　僅少

エマオへの旅
尾崎　安著
『イエス伝詩集・信仰詩集』の名訳を寄せる著者の、13篇のキリスト教文学関係論文集。「ジャン・バニヤン序説」「ウィリアム・ブレイク論」他。
46判　270頁　本体2400円　1987年 4-400-61950-8　僅少

生一本のキリスト教
お伽の国の倫理学
柳生直行著
1986年9月に急逝した偉大なユマニストが死の床で綴った白鳥の歌。キリスト教信仰の喜びと、現代社会と人間性に対する省察を述べた遺作。
46判　272頁　本体1800円　1987年 4-400-51565-2

走者イエス
M. ボイド著　宇都宮秀和訳
孤独なランナーをどこまでも追い続ける走者イエスとの対話を、散文詩の形をとって書かれた珠玉の詩集。著者は公民権運動などに深く関わる。
B6判　204頁　本体1200円　1976年 4-400-52572-4

漱石文芸の世界
〈水谷昭夫著作選集 1〉
奥野政元／山内祥史他編集
漱石研究で高名な著者の代表作『漱石文芸の世界』。『我輩は猫である』の世界／狂気への方法／漱石の苦悩と罪／漱石文芸とドストフスキ」他。
46判　320頁　本体3695円　1997年 4-400-62611-3

漱石の原風景
〈水谷昭夫著作選集 2〉
奥野政元／山内祥史他編集
「漱石研究」の中から、単行本未収録作を中心に編集した珠玉の論集。『虞美人草』の世界／漱石の混沌とロンドン／漱石初期同時代批評覚書他。
46判　288頁　本体3695円　1997年 4-400-62612-1

近代文芸とキリスト教
〈水谷昭夫著作選集 3〉
奥野政元／山内祥史他編集
山本周五郎、三浦綾子らについて先駆的評伝を、椎名麟三、遠藤周作らに関するモノグラフィーを発表した著者の卓越した論攷 14篇を収録。
46判　320頁　本体3700円　1998年 4-400-62613-X

山本周五郎の世界

〈水谷昭夫著作選集 別巻〉
奥野政元／山内祥史他編集

信仰者の視点から山本文学を読み解いたユニークな論考 34 篇。特に聖書との関連を論じた「山本周五郎とキリスト教」は本書中の圧巻。

46判 301頁 本体3700円 1998年
4-400-62614-8

イエスの生涯

いま始まった
水谷昭夫著

福音書テキストとの尽きることのない対話、その背後に立つ方との出会いと交わりを通して、生きたイエス像を描く希有な証言文学。

46判 188頁 本体1842円 1991年
4-400-61468-9

テキストの魅惑

出会いと照応
牧野留美子著

繊細・鋭利な感覚と明確な方法論に加えて、テキストへの熱い傾注から紡ぎだされた珠玉の作家・作品論。小川国夫、フロバール論等 17 篇を収録。

46判 448頁 本体3700円 1995年
4-400-61995-8

天国と真理

C. S. ルイスの見た実在の世界
本多峰子著

ルイス文学の根底にあるキリスト教理解と信仰の全貌を体系的に分析。キリスト論弁証論の現代的意味を積極的に証明した意欲的著作。

A5判 392頁 本体5000円 1995年
4-400-61471-9

天に架ける橋

野島鳥の殉教者
申 英傑著

韓国中西部の名もなき小漁村の教会を舞台に、純朴なキリスト者達が戦中・戦後に体験した苦難と殉教の戦いを、リアルに描いた物語。

46判 362頁 本体2600円 1986年
4-400-61564-6

天の墓標 句文集

林 文雄著

その純真な人となりで多くのハンセン病者に慕われた医師。病友達が追悼のために出版したものを、召天 30 年を記念して新資料を加えて編集。

B6判 330頁 本体1800円 1978年
4-400-51924-4 僅少

真昼の悪夢

佐藤誠第九歌集
佐藤 誠著

冤罪により「牟礼事件」の犯人とされ、死刑囚となった著者が、若き日からのキリスト教信仰に支えられつつ詠み継いできた絶唱の数々。

46判 246頁 本体1247円 1979年 僅少

時といのち

D. ロメロ著 長尾ひろみ訳

小児癌で6歳半の男の子を亡くした母親による、看病・臨終・その後の生活を歌った詩集。み言葉と共有してけなげに生きる母子の姿。

46判 240頁 本体1738円 1993年
4-400-61577-4 僅少

音楽・賛美歌

私のごすべるくろにくる

沢 知恵著

同時代史と重ねながら聴いてきた・うたってきた「私にとってのごすべる」への思い。あらゆる境界線をまたぎ越して愛をうたう歌手が、熱く語る。

B6変 120頁 本体1500円 2016年
978-4-400-80001-9

聖書と音楽

大野恵正著

聖書を題材にしたクラシック音楽から傑作 28 曲を選び、聖書解釈が創作の過程でどう結晶化するかを読み解く。信仰と芸術との神秘的出会い。

46判 368頁 本体4600円 1999年
4-400-82703-8

モーツァルト

K. バルト著 小塩 節訳

心底からのモーツァルト好きであったバルトが、驚くべき愛着を赤裸々に語るエッセー、対談 6 編。自由奔放に歌う主の創造の世界の賛美は圧倒的！

46判 150頁 本体1600円 1957年
978-4-400-62337-8

モーツァルト 超越性の痕跡

H. キュンク著 内藤道雄訳

カトリックの進歩的神学者によるバルト、ヒルデスハイマーらとの対話。アマデウスへの愛の告白の中にモーツァルトの宗教性と信仰的核心を追求。

46判 160頁 本体1845円 1993年 4-400-62409-9

黒人霊歌とブルース

アメリカ黒人の信仰と神学
J. コーン著 梶原 寿訳

著者の父祖たちが奴隷制時代に生き延びるため作り出した黒人霊歌と、奴隷解放後も吟吟する黒人たちが生み出したブルースを共感を持って分析。

46判 302頁 本体2400円 1983年
4-400-42320-4

だれかが私の名を呼んでいる

黒人宗教音楽の社会史

W. T. ウォーカー著 梶原 寿訳

黒人霊歌からゴスペルまで黒人宗教音楽の歴史を、社会史と関わらせて描く。著者は M・L・キングと共に公民権運動の陣頭に立った活動家。

46判 296頁 本体2329円 1991年
4-400-82378-4

神は愛なり

讃美歌物語 3
梅染信夫著

好評「讃美歌物語」の第 3 集。32 曲の歌詞や曲の来歴を滋味豊かに記す。1、2 と併せて著者愛唱の 100 曲に達し、信仰を歌った先達の姿を偲ぶ。

46判 188頁 本体1500円 1994年
4-400-81989-2

『新撰讃美歌』研究

神戸女学院大学「新撰讃美歌」研究会編

日本讃美歌史上の最高傑作『新撰讃美歌』をめぐる神戸女学院讃美歌研究会員による総合的論集。歌詞と英詞との関係／オルチン師と讃美歌他。

A5判 460頁 本体2800円 1999年
4-400-80054-7

上り列車の時代の歌

昭和流行歌覚え書

滝口明男著

山室軍平の「平民の福音」を畢生名著として高く評価する著者が、流行歌、艶歌の世界に分け入り、大衆性、卑俗性の中に潜む真実と魅力を語る。

46判 208頁 本体1747円 1994年
4-400-51309-2 僅少

みたまのかぜよ

前田 豊著

著者が霊的で詩的な敬虔の念を込めて作詞。溢れる詩情をほとばしらせて、聖霊のいのちと力を誉め讃える子どものためのユニークな賛美歌 32 編。

B6変型判 80頁 本体950円 2004年
4-400-2772-7

光の中で信じ歌う

前田 豊作 島塚 光曲

子供の信仰問答の第 1 部「光によって光をみる」、子供の賛美の歌 22 篇の第 2 部「光の中で歌おうよ」からなる。新しい賛美の世界が出現。

A5判 168頁 本体1500円 1994年
4-400-73758-6

すくいのかみ イエス・キリスト

前田 豊著

牧会伝道者として長年讃美歌にたくし神の愛を証ししてきた著者による 32 編の新讃美歌詩集。キリストの生涯に現れた神の恵みといのちの歌。

B6判変型 80頁 本体950円 2006年
4-400-52773-5

能ドラマと聖書

響き合う女性たちの物語
湯浅裕子著

「マクダラのマリヤと井筒」など能と聖書から選り出した 5 つの物語。女性たちの生の響き合いを描き、異文化交流的な聖書読解の展望を拓く。

46判 90頁 本体1200円 2007年
978-4-400-12574-3



〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
--

新教新書

《放蕩息子》の精神史

イエスのたとえを読む
新教新書 271
宮田光雄著

このたとえが、時代や文化を越えて人々にいかなる刺激を与え続けてきたかを、美術や文学を追跡。30点以上の豊富な図版が読者の理解を助ける。

新書判 184頁 本体1400円 2012年
978-4-400-54262-9

キリスト教会と天皇制

歴史家の視点から考える
新教新書 272
土肥昭夫著

講演・エッセイや、靖国・天皇制問題情報センターの通信に50回以上連載して多くの愛読者を得た巻頭言を一書にまとめる。

新書判 260頁 本体1700円 2012年
978-4-400-21319-2

仕事と人間

聖書神学的考察
新教新書 273
A. リチャードソン著 西谷幸介訳

キリスト教文化の底流をなす聖書の仕事観・人間観を、著名な英国の聖書学者が探った古典的名著。グローバル化時代の労働倫理を考えるために。

新書判 152頁 本体1300円 2012年
978-4-400-42727-8

権力を志向する韓国のキリスト教

内部からの対案
新教新書 274

崔 亨默著 金 忠一訳

韓国民主化闘争、民衆神学だけにとどまらない「その後の韓国のキリスト教」とその病弊について鋭く分析し、対案を追求した類書の乏しい書。

新書判 180頁 本体1700円 2013年
978-4-400-40726-3

新約聖書入門

新教新書 275

笠原義久著

「正典」としての意味、背後にある初期キリスト教の多様性、主な文書の神学思想、そして新しい聖書学研究の傾向などを、やさしく解説。

新書判 208頁 本体1500円 2013年
978-4-400-11074-3

信仰の手引き

〈新書 1〉

J. カルヴァン著 渡辺信夫訳

宗教改革者カルヴァンがジュネーヴ教会のために書いた『キリスト教綱要』の要約的信仰指導書。改革派的な信仰内容が平易で簡明に示されている。

新書判 154頁 本体1000円 1954年
4-400-54001-4

新約聖書の信仰

〈新書 4〉

A. M. ハンター著 竹森満佐一訳

新約聖書学の碩学が、文献的、語学的研究方法を駆使し、史的イエスの問題を探究した古典的名著。新約聖書入門としても最適。

新書判 228頁 本体1000円 1959年
4-400-14004-0

信仰・希望・愛

〈新書 6〉

E. プルンナー 熊沢義宣訳

キリスト教の基本概念、信仰・希望・愛の意味と相違点、その統一性と関連性を、人間実存に関わらせつつ分析し、分かりやすく解明する信仰入門。

新書判 152頁 本体1000円 1957年
4-400-54006-5

母モニカ

〈新書 11〉

アウグスティヌス著 中沢宜夫訳

「告白」の中からアウグスティヌスが心からの感謝と思慕を持って書き綴った母モニカの思い出。彼の信仰形成において母親が果たした役割とは。

新書判 95頁 本体1000円 2007年
978-4-400-64011-0

改革者の祈り

〈新書 12〉

C. L. マンシュレック編 平井 清訳

ルター、カルヴァンはじめ16世紀の宗教改革者の祈り280余篇。改革者たちの魂の奥底から湧いて来る祈りと信仰の本質がにじみ出る精神の結晶。

新書判 204頁 本体1200円 1959年
4-400-54012-X

祈りと慰めの言葉

〈新書 14〉

M. ルター著 藤田孫太郎編訳

悩める友人のために、父のために、福音教会のために、聖書の言葉によってわれわれがいかに祈り、いかに慰められるかを説くルターの手紙と説教。

新書判 146頁 本体1000円 2007年
978-4-400-54014-4

貧しき信徒

〈新書 21〉

八木重吉著

読む者の心をうるおす遺稿150篇を「自然・人間・死」「心・美しき世界・詩」「キリスト」「信仰・愛・祈り」という内容ごとに構成した詩集。

新書判 126頁 本体800円
1958年 4-400-64021-3

われ山に向かいて眼をあぐ

〈新書 23〉

K. バルト／E. トゥルナイゼン著 井上良雄訳

二人の盟友が、心をつづにして御言葉に聴き、待降・降誕・受難・復活にわたる聖書の使信を、美しく、力強く告げ知らせる小説教41編の名訳。

新書判 178頁 本体1200円 1955年
4-400-54023-5

神学入門

〈新書 29〉

北森嘉蔵著

福音の究極を提示した「神の痛みの問題」を手がかりに「神の痛みの中学」の神学的理解をさらに発展させた求道者・一般信徒向きの神学入門書。

新書判 155頁 本体1000円 2007年
978-4-400-34029-4

啓示・教会・神学 福音と律法

〈新書 34〉

K. バルト著 井上良雄訳

当時のバルトのものとしては最も平易なものの一つである「啓示・教会・神学」、そして「福音と律法」は教会闘争時代のバルトを代表する秀作である。

新書判 233頁 本体1000円 2007年
978-4-400-34034-8

キリスト者の完全 附・伝記

〈新書 36〉

P. T. フォーサイス著 石島三郎訳

キリスト者の無罪、聖潔を論じ、その完全とは、キリストに在ること他に他ならぬと説く著者代表作。訳者による著者の生涯と思想を附記。

新書判 136頁 本体1200円 2007年
978-4-400-34036-2

新教新書

愛と自由について

〈新書 37〉

吉村善夫著

「信仰の本質は自由にある」との思いで綴られた、人が人生においてぶつかる幸福、孤独、愛、自由、生などについての含著に富んだ省察の精髓。

新書判 162頁 本体1000円 1960年
4-400-54037-5

説教・告解・聖餐

〈新書 38〉

W. リュティ／トゥルナイゼン著 赤木善光訳

共にスイスの優れた神学者・牧会者が、教会の実存を支える三つの柱の意義について一般信徒にも分かり易いように明快に説く。

新書判 161頁 本体1000円 2007年
978-4-400-54038-0

放蕩息子

〈新書 48〉

J. シュニーヴィント著 蓮見和男訳

ルカ福音書にしか記されていない放蕩息子のたとえを解明し、神への回帰と信仰による喜びについて力強く説いた好著。

新書判 160頁 本体800円 1961年
4-400-14048-2

反ナチ抵抗者の獄中書簡

〈新書 52〉

H. ゴルヴィツァー編 大岩美代訳

ヒトラーの全体主義政治の暴虐に抵抗して戦い倒れた人々の日記の断片、記録、詩、手紙等、強制収容所からの力強い使信。

新書判 182頁 本体1000円 1961年
4-400-64052-9

現代信仰問答

〈新書 53〉

D. ボンヘッファー著 森野善右衛門訳

ヒトラーが政権を握っていた危機の時代の中で、キリスト教信仰とは今日何を意味するかについて、青少年のために書き下ろされた信仰問答。

新書判 114頁 本体1000円 1961年
978-4-400-54053-3

神を呼ぼう

〈新書 55〉

八木重吉著

誠実、真のありのままの素朴な表現で、魂の底より神を呼び求めた詩人の調べ高き心の歌。261篇の詩を内容別にまとめた珠玉の信仰詩集。

新書判 176頁 本体1000円 1961年
978-4-400-64055-4

信仰の本質と動態

〈新書 56〉

P. ティリッヒ 谷口美智雄訳

信仰とは何か？ 何でないか？ その信仰の本質を求めて、現代における信仰の力と可能性を究明する。ティリッヒ神学の中心問題を開示する力作。

新書判 168頁 本体1000円 1961年
978-4-400-34056-0

わが幼少年時代

〈新書 57〉

A. シュヴァイツェル著 波木居斉二訳

医療伝道にその一生を捧げたシュヴァイツェルが信仰に護り育てられた幼き日々を振り返り、生への畏敬に目覚めていくその過程を描いた自伝。

新書判 118頁 本体800円 1966年
4-400-64057-4

我は生ける神を信ず

使徒信条講解説教 〈新書 58〉

E. ブルンナー著 大木英夫訳

危機の時代の中でこそ生ける神を固く信じて生きることを目指し示す。弱い者を強くし、絶望していた者に希望を与えてきた使徒信条の講解説教。

新書判 212頁 本体1200円 1962年
4-400-54058-8

聖金曜日

〈新書 59〉

バルト、トゥルナイゼン著 井上良雄訳

受難、復活、聖霊降臨を主題とした13編の説教。読む人の心を、神の御言葉による慰めに満ち溢れさせる名著。格調高い名訳。

新書判 202頁 本体1200円 2007年
978-4-400-54059-5

主の祈り

世界を包む祈り 〈新書 65〉

H. ティーリケ著 大崎節郎訳

11の迫力ある講解説教を収録。「主の祈り」の言葉がわれわれに与えるメッセージこそ、全人類を一つに結ぶ、新しい生命の根源であると説く。

新書判 233頁 本体1300円 2007年
978-4-400-14065-8

使徒的宣教とその展開

〈新書 68〉

C. H. ドッド著 平井 清訳

原始教会の宣教者が伝えた福音の内容を検討し、パウロとヨハネに至る発展の跡を辿り、現代教会の宣教にいかにも多大の示唆を与えたか説き明かす。

新書判 140頁 本体1000円 1962年
4-400-14068-7

ジュネーヴ教会信仰問答

〈新書 69〉

J. カルヴァン著 外山八郎訳

若きジュネーヴ教会の福音的な成長を願って、カルヴァンが宗教改革の戦いの最中に筆をとった信仰問答。プロテスタントの信仰の起点となった。

新書判 160頁 本体1000円 1964年
978-4-400-54069-4

降 誕

ルカ1ー2章講解説教 〈新書 70〉

K. バルト 秋山憲兄・蓮見和男訳

待降節のためのルカ1章講解と、降誕節のためのルカ2章の説教。バルトの鋭い聖書的・神学的洞察が、救い主の降誕の秘義を鮮やかに開示する。

新書判 150頁 本体1000円 1962年
978-4-400-54070-0

キリストの王権

〈新書 76〉

W. A. ヴィサー・トーフト著 菅 円吉訳

第2次大戦直後、教会と神学の再構築を提言した世界教会のリーダーの歴史に残る名著。ヨーロッパ神学の動きを簡潔・明確に捉える。

新書判 158頁 本体1000円 1963年
4-400-34076-7

預言者の研究

〈新書 80〉

浅野順一著

旧約の預言者、エリヤ、アモス、ホセア、イザヤ、ミカ、エレミヤの人間像、召命経験、贖罪経験などを当時の時代的背景等を折り混ぜて描く。

新書判 256頁 本体1200円 1963年
4-400-14080-6

現代キリスト教講話

〈新書 87〉

熊沢義宣著

現代人に対して、キリスト教の根本問題を、ニーチェ、サルトル、芥川龍之介等40人の思想家・作家に対論しつつ神学的に平易に解明。

新書判 168頁 本体600円 1964年
4-400-54087-1 僅少

空虚な墓 キリスト者の兵役

〈新書 91〉

H.F.v.カンペンハウゼン著 蓮見和男、畑 祐喜訳

イエスの復活を史実と認識し、復活告知の神学的理解に寄与する。他に初代教会の平和思想、および教会秩序に関する論文2篇を収録。

新書判 144頁 本体1000円 2007年
978-4-400-44091-8

キリスト教倫理 I

神の前での自由 〈新書 94〉

K. バルト著 鈴木正久訳

序説で一般的倫理学の課題を論述し、神の創造の領域の諸問題を解明。主の日、信仰告白、祈りの問題を神学的实际的に解説。『創造論IV』の要約。

新書判 190頁 本体1100円 1964年
978-4-400-44094-9

キリスト教倫理 II

交わりにおける自由 〈新書 95〉

K. バルト著 鈴木正久訳

人間の交わりの問題としての男と女の問題、結婚と性、親と子、民族等の問題を聖書の神の言葉の光に照らし、的確に評価する。

新書判 218頁 本体1000円 1964年
4-400-44095-6

キリスト教倫理 III

生への自由 〈新書 96〉

K. バルト著 村上 伸訳

生への畏敬とは何か？ 健康・生命・労働・奉仕・戦争・自殺・安楽死、死刑等の問題を究明し、教会の責任について鋭く考察。

新書判 286頁 本体1200円 1964年
978-4-400-44096-3

キリスト教倫理 IV

制約における自由 〈新書 97〉

K. バルト著 佐々木悟史訳

一回限りの生の限定性の中で、人間の自由はいかに生かされるか。人間の召命と職業の問題を中心に、徹底的に解明。「キリスト教倫理」の最終巻。

新書判 256頁 本体1200円 1969年
978-4-400-44097-0

旧約聖書の時代

〈新書 98〉

W. F. オルブライト著 和井田学訳

言語学者・考古学者・オリエンタリストとして活躍する著者が、ヘブル民族の起源からペルシアの滅亡までをコンパクトにまとめる。

新書判 216頁 本体1000円 1965年
4-400-14098-9

信仰と自由の手紙

ガラテヤ人への手紙講解 〈新書 100〉

鈴木正久著

律法と福音の関係を「私が生きること自体の問題」と捉えてガラテヤ書と取り組み、その消息をあくまで分かりやすく伝えようと試みた連続講解。

新書判 194頁 本体1000円 1965年
4-400-14100-4

アウグスティヌス

キリスト教的古代と中世 〈新書 110〉

トレチ著 西村貞二訳

20世紀初頭の宗教社会学の泰斗が、「キリスト教的古代」と「中世」を架橋する決定点としてアウグスティヌスを論じた画期的な試み。

新書判 180頁 本体1200円 2007年
978-4-400-34110-9

八木重吉

詩と生涯と信仰 〈新書 112〉

関 茂著

30年という短い生涯でありながら、豊かさに満ちていたキリスト者詩人・八木重吉の作品の世界。生涯を支えたキリスト信仰を克明に跡付ける。

新書判 224頁 本体1200円 1965年
978-4-400-64112-0

新約聖書の中心的使信

〈新書 120〉

J. エレミアス著 川村輝典訳

新約から後期ユダヤ教に至るまで、多岐にわたる研究を行った碩学エレミアスの書いた3つの論文。文献的・語学的研究方法を駆使。

新書判 228頁 本体1400円 1966年
978-4-400-14120-4

植村正久

その人と思想 〈新書 121〉

京極純一著

日本人による日本人のための教会の理想を求めて、信仰と忍耐を持って労苦した植村の姿の詳細を明らかにしつつその神学と行動を分析・評価。

新書判 172頁 本体1000円 2007年
978-4-400-64121-6

イエスの生涯 I

宣教者イエス 〈新書 122〉

W. パークレー著 大島良雄訳

代表作 Mind of Jesus の前半部。宣教の始まりと軌跡を追うことで宣教者イエスの実像と信仰に迫る。主の愛を宣べ伝えることとは何かを探る。

新書版 306頁 本体1300円 2007年
978-4-400-14122-8

イエスの生涯 II

十字架と復活 〈新書 123〉

W. パークレー著 大島良雄訳

十字架に至るまでの過程、そして昇天と復活。その道のりの一つひとつの出来事が意味するものとその生涯が私たちに与える愛とは何かを説く。

新書判 266頁 本体1300円 2007年
978-4-400-14123-5

論争された聖書

〈新書 124〉

C. ヴェスターマン著　西山健路訳

教会で語られる聖書と、学問的に解釈される聖書、この二つを結ぶための指針をもたらす書。いかに聖書に対決すべきかとの問いに答える好書。

新書判　204頁　本体1200円　2007年
978-4-400-14124-2

信仰のキリスト I

〈新書 127〉

W. パークレー著　大島良雄訳

人、神、ダビデの子、神の子、人の子、メシヤ、神の僕、よき羊飼いなどイエスの称号を包括的かつ綿密に考察する救い主の本質。

新書判　320頁　本体1300円)2007年
978-4-400-14127-3

信仰のキリスト II

〈新書 128〉

W. パークレー著　大島良雄訳

I に引き続き、救い主、預言者、王、石、花婿、道・真理・命、など聖書に記されたイエスの 42 に及ぶ称号を考察することから解明する救い主の本質。

新書判　320頁　本体1300円　2007年
978-4-400-14128-0

大いなる時の始まり

〈新書 136〉

吉田満穂著

「大いなる喜びのおとずれ」(4 章) にはじまり、「生けるイエスに会う」(28 章) で終わるマタイ福音書の使信に関する感動的な 21 篇の説教。

新書判　192頁　本体1000円　1967年
4-400-14136-5

キリスト教の歩み I

宗教改革の前夜まで 〈新書 142〉

ラトゥレット著　小黒　薫訳

アメリカのバプテスト教会牧師でありアメリカ歴史学会会長を歴任した著者が、豊富な材料を駆使した公平な記述で述べる分かり易い歴史案内書。

新書判　248頁　本体1300円　2007年
978-4-400-24142-3

キリスト教の歩み II

宗教改革から現代まで 〈新書 143〉

ラトゥレット著　小黒　薫訳

近代から現代まで、宗教改革とその影響、海外伝道とくに東洋伝道について述べ、同時にキリスト教の将来あるべき方向を示唆する。

新書判　232頁　本体1300円)2007年
978-4-400-24143-0

祈　り

〈新書 162〉

K. バルト著　川名　勇訳

周到な配慮のもとに用意された神学者バルトの説教前後の祈り 50 篇。神に向かって注ぎ出されるひとりのキリスト者バルトの魂の告白。

新書判　160頁　本体1000円　1963年
978-4-400-54162-2

キリストの来臨

〈新書 166〉

C. H. ドッド著　神田盾夫訳

ドッドが待降節において語った終末論に関する講話と「福音書について」の講演ほか、共に簡潔にして実に含蓄深い 4 篇。

新書判　192頁　本体1000円　1953年
4-400-14166-7

信仰への旅立ち

読書のすすめ 〈新書 201〉

宮田光雄著

「一麦学寮」での読書指導の経験から厳選された文学書・思想書・信仰書 12 篇の深い学び。読書を通して追求した人生論。巻末に「一麦文庫百選」。

新書判　160頁　本体649円　1982年
4-400-54201-7

人は何によって生きるか

〈新書 204〉

松永晋一著

永遠への思い、出会い、賜物、自己の発見、使命、聖書、信仰、愛、希望、教会生活という 10 のテーマを中心に探ね求める。『生きる道』の姉妹篇。

新書判　160頁　本体640円　1983年
978-4-400-54203-2　僅少

落第人生論

〈新書 206〉

宮島新也著

種々多様な人間が、神の恵みの下でのびのびと生きる聖書の世界と今日の競争社会を対置させつつ、落第生の世界をユーモアをもって描く。

新書判　176頁　本体718円　1983年
4-400-54206-8

人間の人間らしさ

〈新書 212〉

小原　信著

やさしさとしなやかさをもって人間世界を観る時、無意味感じられる現実が感動と奇蹟に満ちているかを、若者に語りかける新しい人生論。

新書判　176頁　本体720円　1984年
4-400-44212-8

平和を造り出す力

非暴力直接行動の現代的意義 〈新書 214〉

L. S. アブシー著　林　好人／石谷　行訳

権力の暴力に果敢に立ち向かった非暴力行動の事例を抵抗の歴史から掘り起こし、私たちが生活の中で実践していくことが可能であることを語る。

新書判　146頁　本体700円　1984年
4-400-54214-9

現存する神

〈新書 218〉

安　炳茂著

韓国の民衆神学の創造に参与してきた新約学者アン・ビョンム氏の聖書講解説教 10 篇。民衆との聖書の学びによって生まれたメッセージ。

新書判　156頁　本体700円　1985年
4-400-54218-1

清らかな鈴の音を

〈新書 223〉

特別養護老人ホーム清鈴園編

被爆者の看護と被爆体験の継承という二つの課題を引き受けて、ヒロシマの心を伝えるホームとして形成された「清鈴園」の歩みと人々の証言。

新書判　228頁　本体800円　1975年
4-400-54223-8

育ち行く者たちと共に

〈新書 224〉

藤原史朗著

在日二・三世の韓国・朝鮮人の高校生に通名で生きることを強いながらも、他方で就職の門を閉ざす日本人社会の差別構造に対して戦う教師の手記。

新書判　204頁　本体921円　1987年
4-400-44224-1

キリスト教倫理の未来

〈新書 225〉

D. ゼレ著　吉村秀子訳

キリスト教の歴史の中で永く倫理的美徳の尺度として尊重されてきた「従順」を再検討し、真の意味を探り、新たなキリスト教倫理の展開を試みる。

新書判　128頁　本体600円　1987年
4-400-54225-4

神が来られるなら

〈新書 226〉

J. モルトマン著　蓮見幸恵／蓮見和男訳

キリストの自由によりて解放された人間と教会が、喜びと希望をもち生きる道を平易に力強く説き示す。民衆と共に生きる教会を展望する論文 4 篇。

新書判　150頁　本体700円　1988年
4-400-34226-3

イエスのたとえ話

〈新書 227〉

J. デュボン著　石脇慶総訳

「イエスのたとえ話」の今日的意味を追究したユニークな研究書。イエスの語った「たとえ話」の聞き手、イエスの用いた対話方法等を平易に分析。

新書判　152頁　本体700円　1988年
4-400-14227-2

愛の勝利の輪

〈新書 228〉

H. G. クロトウェル編　飯野かおり／奥田暁子訳

父権制社会の中で形成された聖書の中に男女両性によって多様な仕方で語られる神の言葉を発見しようとする。アメリカの女性たちによる説教集。

新書判　160頁　本体850円　1988年
4-400-34228-X

いのちといのちとの出会い

〈新書 229〉

益　巖著

日本の三大寄せ場の一つ、横浜寿町の教会に赴任した若き伝道者の宣教リポート。日雇労働者の人々の苦悩に、教会は何を語り、何をなしうるのか。

新書判　146頁　本体800円　1988年
4-400-44229-2　僅少

嵐の中の教会

ヒトラーと戦った教会の物語 〈新書 230〉

O. プルーダー著　森　平太訳

1960 年に邦訳出版されて以来、広く愛読されてきた実話小説。山村の小さな教会を襲った嵐に抗して福音を証した信徒と牧師の姿。(改訳)

新書判　186頁　本体950円　1989年
4-400-54230-0

目標をみざして走り

〈新書 231〉

森野善右衛門著

聖書を正しく理解し、どのように信じ告白しつつ生きるかを、若い世代の人々と共に考えようとした講話集。キリストの自由と平和を開示する。

新書判　198頁　本体951円　1990年
4-400-54231-9

象徴天皇制とキリスト教

〈新書 232〉

塚田　理著

象徴天皇制を、日本の教会と神学に対する根本的な問いとして受け止めてきた著者は、象徴天皇制からの自他の解放こそ宣教の課題であると力説。

新書判　176頁　本体921円　1990年
4-400-54232-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

石を取り除け

東独革命における教会の言葉 〈新書 234〉

H. ファルケ他著 佐々木悟史監訳

1989 年秋、東欧変革の嵐の中で、東独教会はベルリンの壁の解放に大きな役割を果たした。激動の最中に、東独各地の教会で語られた説教を収録。

新書判 164頁 本体951円 1991年
4-400-54234-3

一人の人間に

〈新書 235〉

塩野和夫著

福音によって、一人の人間となる力を得、弱い人・悲しむ人・苦しめる人と共に生きる姿勢を、ユーマアを交え証して訴えるエッセー・小説教集。

新書判 160頁 本体777円 1991年
4-400-54235-1

大バビロンが倒れた

〈新書 236〉

森野善右衛門著

元東北学院大学教授である著者が、東北学院チャペルあるいは近隣の教会の講壇で語った説教 23 篇。「いのちの夜明け」「新しい人を着る」他。

新書判 226頁 本体971円 1992年
4-400-54236-X

もし愛がなければ

〈新書 239〉

吉武 誠著

苛酷な戦争体験、戦後の精神的遍歴、召命体験の中から救いの喜びに溢れて証する伝道説教 7 篇。身近な語り口で、神の愛の豊かさが伝わる。

新書判 160頁 本体900円 1993年
4-400-54239-4

ウェストミンスター信仰基準

〈新書 240〉

日本基督教改革派教会大会出版委員会訳

健全な聖書信仰、厳粛な神中心主義、質実なキリスト教倫理を体现し、今も生きた信仰の指針でありつづける優れた信仰規準。

新書判 336頁 本体1800円 1994年
4-400-54240-8

高校生と学ぶ十戒

〈新書 243〉

武 祐一郎著

福音を理解するための土台として、また現代世界に生きる青年たちの倫理の土台として、十戒の学びが不可欠との信念から十戒を講義した記録。

新書判 256頁 本体1300円 1995年
4-400-54243-2

使徒信条講解

〈新書 244〉

C. E. B. クランフィールド著 関川泰寛訳

イギリス改革派教会の神学者が、求道者会や成人クラスを指導する牧師のために執筆した、特色あるコンパクトな「使徒信条」講解。

新書判 133頁 本体1000円 1995年
4-400-54244-0

キリスト信仰と服従の道

ヤコブの手紙講解 〈新書 246〉

中川晶輝著

戦中・戦後、キリスト教の平和問題に取り組み、医師の立場から老人福祉に関わって苦闘してきた著者の信仰と経験がヤコブ書を読み説く。

新書判 140頁 本体900円 1996年
4-400-54256-4

新しいライフスタイル

開かれた教会を求めて 〈新書 248〉

J. モルトマン著 蓮見幸恵訳

モルトマンが一般信徒向けに、新しい教会と人間の生き方を語った講演 7 篇を収録。生きる希望と宣教の壁を克服するイエスのいのちを提示。

新書判 176頁 本体1100円 1996年
4-400-54258-0

高校生と学ぶ山上の説教

〈新書 249〉

武 祐一郎著

山上の説教を通して示されたイエスの生きざまの中に、生きる人間の道を学び、不安と息苦しさを覚える若者に、福音が与える喜びを告げ知らせる。

新書判 328頁 本体1800円 1996年
4-400-54259-9

子育てを見直す

スポック、ギノット、シェリルに学ぶ 〈新書 250〉

安達寿孝著

スポック、ギノットならびにキリスト教教育学のシェリルの三人の、主要著作をしつけを視点にすえて見直した内容豊かな書。

新書判 160頁 本体1200円 1996年
4-400-74250-4

聖書の手引き

〈新書 251〉

G. ハークネス著 熊沢義宣訳

新自由主義の立場から語られた旧新約聖書入門。背景、構造、成立事情、等、聖書の全貌が簡潔に解明。新共同訳聖書をテキストに改訳新版。

新書判 192頁 本体1000円 1997年
4-400-14251-5

ハイデルベルク信仰問答

〈新書 252〉

吉田 隆訳

宗教改革の信仰を最も豊かに告白し、読み継がれている『ハイデルベルク信仰問答』の新しい翻訳。読みやすさに徹し、レイアウトに工夫をこらす。

新書判 148頁 本体900円 1997年
978-4-400-54252-0

御言葉はわたしの道の光

ローズンゲン物語 〈新書 253〉

宮田光雄著

全世界で二百万に及ぶ愛読者を持つといわれる『日々の聖句』（ローズンゲン）。その成立の由来や聖句の選ばれ方など、興味尽きない精神史。

新書判 160頁 本体1000円 1998年
4-400-54253-X

問う私、問われている私

〈新書 254〉

塩野和夫著

人間としてこの時代に生きる道を、自分の歩んできた道を誠実に見つめることから見出そうとして、その苦闘を若者に訴える教師・牧師の証言。

新書判 144頁 本体949円
1999年 4-400-54254-8

み足の跡をしたいて

キング牧師における信仰のかたち 〈新書 261〉

梶原 寿著

公民権運動から反戦運動に突き進んで凶弾に倒れたキング牧師の鮮やかな足跡から、現代に生きるキリスト教信仰のかたちを見出そうとする試み。

新書判 180頁 本体1200円 2000年
4-400-54261-0

教会と同性愛

互いの違いと向き合いながら 〈新書 263〉

A. ブラッシュ著 岸本和世訳

同性愛への早急な断罪を退け、同性愛批判の聖書テキストを丁寧に吟味し、人間の性の真摯に考察の上、教会の中の真実な対話と対応を勧める。

新書判 140頁 本体1000円 2001年
4-400-44263-2

いのちの継承

〈新書 264〉

小原 信著

ひとつのいのちが終わり、また新しいいのちが受け継がれていく。そのプロセスに関わった著者の出会いと別れを反映した 21 編の講演とエッセイ。

新書判 176頁 本体1000円 2001年
4-400-44264-0

新教新書

若者と学ぶフィリピ書

〈新書 265〉

武 祐一郎著

著者が基督教独立学園高校の校長時代に行った 20 講に及ぶ懇切な解説。身近な例話をふんだんに用いて、パウロの福音を若者たちの心に届ける。

新書判 304頁 本体1500円 2002年
4-400-14265-5

フェミニスト視点による聖書読解入門

〈新書 266〉

P. トリプル著 絹川久子・森真弓・湯浅裕子・河野信子訳

ジェンダー批判の視点に立ったテキスト分析の具体的な方法を実例に即して平易に解説。父権制の流れに抗する声なき声を掘り起こす試み。

新書判 128頁 本体1000円 2002年
4-400-14266-3

われは教会を信ず

エフェソの信徒への手紙に学ぶ 〈新書 267〉

佐藤司郎著

エフェソ書の語る「キリストのからだ」なる教会の意味を掘り下げ、今日の教会の務めや信徒の倫理を平易な言葉で解き明かした講解説教。

新書判 162頁 本体1400円 2011年
978-4-400-11828-2

「十字架の神学」をめぐる

講演集 〈新書 268〉

青野太潮著

イエスの十字架をどうとらえるのか。聖書の緻密な読みから、十字架と贖罪論の間に「楔を打ち込む」大胆な問題提起を含む 4 つの講演を収録。

新書判 282頁 本体1700円 2011年
978-4-400-12103-9

キリスト教概説

熊野義孝著

近代日本、とくに明治初期における「プロテスタント」教会の形成と発展のあとを、社会科学と福音の接点から解明しようとしたユニークな教会史。

新書版 157頁 本体1000円 1997年
4-400-54063-4

近代日本の形成とキリスト教

隅谷三喜男著

近代日本、とくに明治初期における「プロテスタント」教会の形成と発展のあとを、社会科学と福音の接点から解明しようとしたユニークな教会史。

新書版 142頁 本体1000円 2008年
978-4-400-24027-1

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
旧約聖書物語
H. ニーバー 著　中村妙子 訳 イスラエルの民に臨んだ神の摂理：天地創造、律法、約束の地、王国の盛衰、メシアの待望等、旧約聖書の物語を巧みな構想で中学生に語る。 B6判　172頁　本体660円 1960年　4-400-73708-X

私たちのキリスト 中・高校生のマルコ福音書研究 蓮見和男 著 中高生のために・マルコによる福音書を、忠実に章節を追いつながら克明にわかりやすく講解し、イエスの生涯とその福音を鮮明に伝える。 B6判　170頁　本体800円 1981年　978-4-400-73711-7

私たちの『使徒行伝』増補版
土戸　清 著 「使徒行伝」全体を章節を追って克明に講解。キリストの福音を全世界に伝えようとしたペテロ、パウロらの苦難と勝利の歩みを語る。中高生向き。 B6判　200頁　本体1000円　2001年 4-400-73726-8/73726-X

私たちの信仰告白
K. シェンケル 他著　蓮見和男／蓮見幸恵 訳 スイス改革派教会が若い世代のために編んだテキスト。第1部はハイデルベルク信仰問答を骨格とした問答形式、第2部は信仰と生活を考える。 B6判　120頁　本体900円) 1983年　4-400-73724-1

私たちの救い主 中・高校生のルカ福音書研究 蓮見和男 著 イエスの生涯を記述して神の救いの業の成就を証言し、福音の普遍性、世界性を強調したルカによる福音書を青少年のために丹念に講解。 B6判　150頁　本体1000円　1985年 4-400-73725-X

私たちの『創世記』
今橋　朗 著 中・高生のために「創世記」全体（天地創造からヤコブの死まで）をくわしく興味深く講解しながら、人間を救いへと導く神の摂理について説明。 B6判　140頁　本体680円 1967年　978-4-400-73715-5

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス
教科書
13歳にもわかるキリスト教 キリスト教スタディーブック・シリーズ4 美濃部信 著 初めて聖書とキリスト教に接する中学生のために若手教師が書き下ろした待望のオール・イン・ワンの総合的なキリスト教入門。オールカラー。 A5判　100頁　本体900円　2016年 978-4-400-51759-7

GOOD NEWS　新約聖書編 キリスト教スタディーブックシリーズ1 関西学院大学神学部監修　福島　旭 著 初めて聖書に接する中高生に向けて作られたワークブック。中学で教鞭をとる筆者の工夫満載の内容で自然に聖書に興味がわき知識が身につく。 B5判　140頁　本体914円　2008年 978-4-400-51751-1
--

EXODUS（エクソダス）旧約聖書 キリスト教スタディーブックシリーズ2 福島　旭 著 初めて旧約聖書に向き合う中高生に、興味を持続しながら読み進めてもらう工夫が満載。知識偏重ではなく、考えながら自主的に学ぶ姿勢を応援。 B5判　160頁　本体1060円　2009年 978-4-400-51752-8
--

BibleChallenge(バイブルチャレンジ) 1 キリスト教スタディーブックシリーズ3 田邊哲朗 著 聖書の素晴らしさに出会う前に、読むことをあきらめてしまう学生が多いことから、まずは代表的な聖書の箇所を知り、親しむことを勧める。 A5判　72頁　本体660円　2009年　978-4-400-51754-2

エレメンツ 新約聖書ギリシャ語教本　増補改訂版 J. ダフ 著　浅野淳博 訳 オクスフォード、ケンブリッジ大学新入生必須のギリシャ語翻訳試験のための教本。徹底的に合理化された内容と丁寧な手ほどきで入門者に最適。 B5判　260頁　本体4000円　2016年 978-4-400-11027-9

生きるってなんだ　1 新約聖書に学ぶ 澄田　新 著 生きること疲れ、悩んでいる現代の高校生と共に現場で悩みながら歩んできた著者の聖書入門。「イエスってどんな人」「自然のイエス」他。 A5判　116頁　本体800円 1997年　978-4-400-51732-0

生きるってなんだ　2 旧約聖書に学ぶ 磯貝曉成 著 旧約に登場する人物たちのストーリーから、人間とは何者か、自立や真の豊かさとは何を意味するかを考える。 A5判　116頁　本体800円 1997年　978-4-400-51733-7

生きるってなんだ　3 総合的に学ぶ 澄田　新／磯貝曉成 著 総合的学習の時間に応じる新タイプの聖書科教科書。「人間関係」「福祉活動」「自然環境」「現代医療」「情報社会」「21世紀」の6テーマ。 A5判　110頁　本体800円 2002年　978-4-400-51736-8

聖書と人間　1 イエスに学ぶ人間像 原　栄 著 「イエスのたとえ話」「イエスの生と死」「イエスに出会った人々」の3部構成。イエスを学び、現代における探究。 A5判　120頁　本体700円 1974年　978-4-400-51712-2
--

聖書と人間　2 旧約に学ぶ人間像 原　栄 著 「創世記と人間」「出エジプト記とモーセ」「旧約の人々」の3部に分け、聖書の人間観を解明、現代青年との対話を通し考察。 A5判　132頁　本体700円 1975年　978-4-400-51713-9
--

聖書と人間　3 現代に生きる人間像 原　栄 著 真実と自由と連帯を求め、激変の現代を生きる十代の青年におけるキリスト教倫理入門。巻末に日本近代キリスト教人物史を付す。 A5判　112頁　本体700円 1977年　978-4-400-51714-6
--

こども・青年
ジュニアのための聖書入門 新版 後藤田典子 著 「ほんとうに中学生に読んでもらえる教科書」をめざし、中学校の現役教師が書き下ろした意欲作。CSの教材としても最適。 A5判　100頁　本体800円 2011年　978-4-400-51737-5

イエスをたずねて
陶山義雄 著 多様性、世俗化の時代に、現代人にとってイエスとは誰であるかを青年たちと共に考える。イエスの探求と生き方の密接な関わりを語る。 A5判　112頁　本体620円 1975年　4-400-51715-2

イエスに出会った一人
久保田純一 著 「大切な一人」「共に生きた一人」シリーズの第3冊目。イエスと出会い、その福音をのべ伝えたパウロ、ペテロ、マリアなどの生き様を描く。 A5判　102頁　本体749円 1995年　4-400-51731-4

イエスの道を行く 聖書地図帖・新約聖書1 木村栄寿 著 イエスの時代のパレスチナの宗教と政治、風土、産業を概説。共観福音書に即してイエスの歩んだ道を、カラー地図・白地図に書き込みながら学ぶ。 B5判　28頁　本体416円 1986年　4-400-41727-1

生き方を「考える」トレーニング
土井かおる 著 宗教嫌いの若者に贈る聖書から入る人生論。「自己」「関係」「愛」「待つこと」「喜び」といったテーマを考える。各章末にトレーニング問題付。 A5判　68頁　本体849円 2004年　4-400-51738-1

いのちへの道 キリストのかたちなるまで 村上　伸 著 生命の畏敬、愛と性、平和等の問題を、シュヴァイツァー、バルト、ボンヘッフアーの信仰と思想を引用、青年のために解りやすく語る。 A5判　100頁　本体620円 1984年　978-4-400-51723-8
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

聖書講義・ロマ書

〈高倉徳太郎著作集 第5巻〉
〈オンデマンド・ブック〉

1924-26年および28-30年の2度にわたって東京神学社で行ったロマ書講義をすべて収録。神の主権、義認と聖化に関する高倉の信仰の精髓。

46判 494頁 本体4300円 (64年)2005年 4-400-34275-1

【鈴木正久著作集】

1938～1951年

〈鈴木正久著作 1〉

キリストの良き証人として、日本の教会の指導者として敬愛された元日本キリスト教団総会議長鈴木正久牧師の初期の説教・随想・論説を網羅。

46判 520頁 本体2800円 1980年 4-400-50040-3

1952～1960年

〈鈴木正久著作 2〉

1950年代、牧師であることの光榮ある使命に生き、日本における自立的・主体的な教会の課題を徹底的に追求する中から生まれた発言。

46判 480頁 本体2800円 1980年 4-400-50041-3

1961～1969年

〈鈴木正久著作 3〉

1960年代教会と歴史の必然にうながされて、日本キリスト教団を中心とする日本の教会の状況の前面に躍り出る。祈り、告白、主張、議論の足跡。

46判 456頁 本体2800円 1980年 4-400-50042-X

【熊野義孝全集】

聖書講解 下

〈熊野義孝全集 2〉

「ガラテヤ書研究」他、パウロの手紙と関連文書の講解を収録。建徳のかつ堅牢な注解の基礎作業の上に、パウロの福音的な使信の全貌を解明。

A5判 560頁 本体5000円 1978年 4-400-10026-X

教会と文化

〈熊野義孝全集 9〉

「キリスト教倫理入門」「キリスト教の特異性」等の単行本の他、ヒューマニズムと文化、宗教を考察した広い視野からなる神学的文化論を収録。

A5判 506頁 本体5500円 1981年 4-400-10026-X

別巻Ⅰ 神学論

1. 聖書関係論文、2. 神学論考（「歴史主義の問題」「弁証法的神学における神学的諸問題」等20篇）、3. 人と神学（ルター、カルヴァン、バルト）。

A5判 490頁 本体4800円 1984年 4-400-30037-4

別巻Ⅱ 信仰論

1. 説教（12篇）、2. 教会生活と伝道（14篇）、3. 自著、読書について（15篇）、4. 基督に生きる人々（10篇）、5. 人物（9篇）からなる人間味溢れる内容。

A5判 392頁 本体4800円 1984年 4-400-30038-2

【岡村民子著作集】

岡村民子著作集 1

聖書学者渡辺善太が体系化した聖書正典論を継承展開。「信仰的甘えの暴露」（78年）と「証言者の主体をして賭けさせる歴史の主」（2000年）。

46判 393頁 本体4000円 2001年 4-400-10064-2

岡村民子著作集 2

カトリックとプロテスタントの相違を解明する「聖典としての聖書」、特殊啓示の問題を追求する「聖書各巻のかけがえのなさ」を収録。

46判 450頁 本体4000円 2001年 4-400-10065-0

岡村民子著作集 3

正典の形態的解釈原論の試みである「聖書解釈試論」、聖書正典における配列順序における一貫的理解を目指す「聖書を貫く救済史観」を収録。

46判 410頁 本体4000円 2001年 4-400-10066-9

岡村民子著作集 4

「旧約聖書概論」（52年）、「聖書における人間の主体性」（69年）を収録。創造主の神言の規範性に対する主体の触発を論じる。

46判 500頁 本体4000円 2001年 4-400-10067-7

岡村民子著作集 5

「対話の場としての正典」（71年）、「聖書的文脈においてのひびきあい」（92年）および「聖書66巻の文脈的模索」（書き下ろし）を収録。

46判 400頁 本体4000円 2002年 4-400-10068-5

【咸 錫憲著作集】

死ぬまでこの歩みで

〈咸錫憲著作集 1〉
小杉尅次訳

3・11運動への参与、関東大震災下の死との直面、戦時下共産主義体制下での苦難、民主化闘争体験と、その生涯が生きてきと平明に語られる。

46判 444頁 本体3106円 1991年 4-400-52601-1

個人著作集

新しい時代の宗教

〈咸錫憲著作集 4〉
森山浩二訳

安心立命の源としての宗教ではなく、時代に対して良心の声をあげうる宗教こそが、新しい時代の宗教たりうる。韓国の預言者の透徹した宗教論。

46判 320頁 本体3800円 1994年 4-400-52605-4

シアル革命の夢

〈咸錫憲著作集 8〉
高崎宗司監訳

北に生まれ、共産主義の弾圧を受け韓国に逃げざるをえなかった著者。南北の平和統一はその生涯の夢、課題であった。南北平和統一論の集大成。

46判 274頁 本体3106円 1992年 4-400-52603-8

考える民でこそ生きられる

〈咸錫憲著作集 9〉
仁科健一訳

政治体制・法体系・経済構造も、無限の可能性をばらむ民衆を中心にしてこそ意味を持つものとなる。草の根として主張する人間としての民衆論。

46判 260頁 本体2912円 1992年 4-400-52602-X

【福田正俊著作集】

神学論文集

〈福田正俊著作集 2〉

高倉徳太郎、カール・バルト、宗教改革の神学を視座に教会形成に努めた著者の思索と祈りの結晶、その教会論の集大成。

46判 472頁 本体3882円 1994年 4-400-50062-4

聖書研究・エッセイ集

〈福田正俊著作集 3〉

名著「主の祈りーキリスト教の小さな学校」、「リビング書研究」の他、エレミヤ、ヨブの省察と小説教、その他エッセイ、バルト訪問記などを収録。

46判 480頁 本体3882円 1994年 4-400-50063-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

イザヤ書

〈寺田博著作集『恩寵』3〉

飯田吾妻町教会牧師としてイザヤの精神を受け継ぎ、イザヤ書講解を語り続けて『恩寵』誌に発表した旧約預言者の発言。51篇を収録。

A5判 490頁 本体5500円 1989年
4-400-10080-4 僅少

ローマ書

〈寺田博著作集『恩寵』4〉

信州飯田の恩寵学堂での毎月の講壇でロマ書を繰り返し講じた中から、ロマ書学道8章私訳と講解23篇、ロマ書講解1章～12章31篇他を収録。

A5判 458頁 本体5500円 1988年
4-400-10081-2 僅少

神に信じる

〈寺田博著作集『恩寵』5〉

聖書の原文を厳密に読んで、「神に信じる」としか表現できない〈聖書本来の信仰の独自性〉を旧新約聖書全体にわたって講解。草稿から再構成。

A5判 368頁 本体4000円 1988年
4-400-10082-0 僅少

聖書学道

〈寺田博著作集『恩寵』6〉

50年にわたる聖書学道から生まれた「隠れたる現実と隠れたる現実人」、「聖書の1方向を見出す」等と『恩寵』誌から編纂した「求道ノート」他

A5判 334頁 本体3000円 1989年
4-400-10083-9

上 巻

〈宮本武之助著作集〉

日本神学校、東京神学大学で宗教哲学を講じ、東京女子大学学長、フェリス女学院院長を歴任した著者のキリスト教倫理学、宗教哲学研究の集大成。

A5判 404頁 本体4853円 1992年
4-400-10096-0 僅少

下 巻

〈宮本武之助著作集〉

20世紀プロテスタント神学者の文化観を論じた労作「キリストと文化」、教育者としての多年の経験に基づく「学校教育とキリスト教」他、収録。

A5判 510頁 本体4853円 1992年
4-400-10097-9 僅少

【増田 孝著作集】

人生と宗教と教育

〈増田孝著作集 1〉

1935年北九州・折尾に、キリスト教信仰を柱とする実業専修の私学校を設立、以来55年間ユニークな女子教育を実践してきた志を訴える論説。

A5判 318頁 本体2911円 1991年
4-400-50087-X 僅少

学園創設とその後の歴史

苦難と恩寵 〈増田孝著作集 2〉

1935年北九州・折尾に誕生した簿記専門学校が、地方性と独自性を持つ折尾女子学園へと発展を遂げて行く足跡。聖書に固く立つ教育の本質を語る。

A5判 320頁 本体2911円 1992年
4-400-50088-8 僅少

自 伝

〈増田孝著作集 3〉

キリスト教主義に根ざした独自の女子教育を貫いてきた著者の90年余の生涯の回顧。生い立ち、修業時代、そして女子教育の長い道のりを語る。

A5判 176頁 本体2911円 1995年
4-400-50089-6 僅少

日記・書簡・思い出の人々

〈増田孝著作集 4〉

キリスト教女子教育一筋に歩んだ生涯の軌跡を、毎年末に綴られた総括的反省と、数々の出会いの思い出に残る人物像の記録。

A 5 判 300頁 本体2911円 1993年
4-400-50090-X 僅少

【寺田 博著作集『恩寵』】

【宮本武之助著作集】

書名索引

あ

愛 81
愛する勇氣 85
愛せる自由をください 85
愛知のキリスト教 106
アイデンティティーへの侵略 52
愛と自由について 113
愛と正義 19
愛の勝利の輪 117
愛のしるし 92
アウグスティヌス 115
アガペーとエロース 1～3 16
芥川龍之介の遺書 109
悪の意味 25
悪魔の手紙 93
アジア・エキュメニカル運動史 104
アジアの風に吹かれて 57
アジアのキリスト教の展望 104
アジアの地下水 57
新しい言葉をもって 83
新しい時代の宗教 127
新しい聖書の学び 70
新しいライフスタイル 118
新しく生きる道 51
あなたのガリラヤへ 78
あなたの子どもは大人になれるか 55
あなたの日曜日 89
あなたはあなたでいい 82
あなたはどう生きるか 89
あなたはどんな修行をしたのですか？ 49
あなたはむさぼってはならない 60
あなたはヨブと出会ったか 78
あのお方は誰だったのですか 89
アブラハムの神 81
アブラハム物語を読む 59
アメリカ教会の現実と使命 42

アメリカ・キリスト教史 95
アメリカ南部バプテスト連盟と歴史の審判 97
アメリカの戦争と宗教 50
アメリカン・ボード宣教師文書 99
アメリカンボードと同志社 99
嵐の中の教会 117
嵐を静めるキリスト 85
有島武郎研究 109
ある平和主義者の回想 103
荒れ野の旅に先立つ主 85
アンセルムスの神学 17

い

イエシュア 65
イエス（クロッサン） 65
イエス（ソン） 22
イエス運動 64
イエスが生きた世界 75
イエス・キリストその教会 22
イエス・キリストの生涯 78
イエス・キリストの生涯の要約 78
イエス・キリストの信仰 68
イエス／原始キリスト教 73
イエス伝詩集・信仰詩集 109
イエスという人の物語 78
イエスと新約聖書の教会 77
イエスとその目撃者たち 64
イエスとの初めての再会 65
イエスとパウロ イスラエルの子 65
イエスとは誰か 65
イエスと非暴力 49
イエスについて何を知りうるか 75
イエスに出会った一人 123
イエス入門 63
イエスの言葉と現代 83
イエスの裁判 66
イエスの実像と虚像 82
イエスの死の意味 65
イエスの十字架の意味 65

イエスの生涯 110
イエスの生涯Ⅰ 115
イエスの生涯Ⅱ 115
イエスの生と死 上巻 66
イエスの生と死 下巻 66
イエスの宣教 66
イエスの宣言 82
イエスの誓え 66
イエスのたとえ話 117
イエスの誓え話 1 66
イエスの誓え話 2 1
イエスの弟子とは誰か 75
イエスの働きと言葉 66
イエスの復活とその福音 71
イエスの復活の意味 65
イエスの道につながって 82
イエスの道を行く 123
イエスをたずねて 123
生き生きと農業をするための勇氣 56
生き方を「考える」トレーニング 123
生きるってなんだ 1～3 123
生ける主に従う 34
イサクの神、ヤコブの神 81
イザヤ書（寺田） 128
イザヤ書Ⅱ（DSB） 62
石原吉郎 詩文学の核心 108
石を取り除け 118
イスカリオテのユダ 30
偉大なる奇跡 93
痛みの問題 93
いちばん大事にすべきことは何か 88
一本の道 103
井上良雄研究 102
いのちといのちとの出会い 117
いのちの泉 39
いのちの歌 108
いのちの糧の分かち合い 56,70
いのちの神 41
いのちの継承 119
いのちの時間 121

命の光の中を歩む 80
いのちの水 3
いのちの水は流れて 92
いのちへの道 123
祈りと慰めの言葉 113
祈り（長崎嶺） 46
祈りについて 88
祈りの意味 88
祈の友召天記Ⅰ、Ⅱ 92
祈りの花束 87
祈り（バルト） 116
いばらに薔薇が咲き満ちる 22
井深樺之助宛書簡集 101
今、教会を考える 44
今、なにをなすべきか 47
いやしから救いへ 54
癒しと助けを求める祈り 87
岩手靖国違憲訴訟戦いの記録 52
インクルーシブ神学への道 43
インドネシア教会の宣教と神学 41

う

ウィクリフ 26
ウェストミンスター信仰基準 118
ウェスレー著作集 40, 41
ウェスレーと聖化 40
ウェスレーの聖霊の神学 40
ヴェーバーとビューリタニズム 17
内なる生 1
植村環著作集 91
植村正久（京極純一） 115
植村正久（佐藤敏夫） 100
植村正久著作集 124, 125
植村正久論考 100
内村鑑三と再臨運動 98
内村鑑三不敬事件 102
美しい少年・ナザレのイエス 120
海と灯台の本 120
うめき 81

え

永遠帰郷の神話と終末論 21

永遠の腕のもとに 93
栄光の重み 93
栄光のキリスト 67
EXODUS（エクソダス）旧約聖書 122
エクレスシアの探求 44
エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記 62
エゼキエル書 62
エデンからゴルゴタまで 79
江原萬里・祝 103
エマオへの旅 109
エレミヤ書 59
エレメンツ 122
エレメンツ 新約聖書ギリシャ語教本 15

お

王道 23
大いなる招待 78
大いなる時の始まり 116
大儀見元一郎とその時代 99
岡村民子著作集 1～5 126,127
起きよ、光を放て 91
幼子の救い 22
小塩力神学論集 23
お父さんの手紙 121
折られた花 98
おりておいで！ 57
尾張名古屋のキリスト教 106
終りの中に、始まりが 39
恩寵と類比 34
女の語る神・男の語る神 42

か

改革者の祈り 112
改革神学の展望 26
改革派カテキズム日本語訳研究 102
改革派神学の光と影 26
改革派説教ノート 46
戒規か対話か 43
回想 黒崎幸吉・光子 103
解放の歌 80
解放の出来事 60
解放への巡礼 85
科学技術とキリスト教 56

科学と知恵 39
賀川豊彦 101
影の国に別れを告げて 86
賢い悪魔 90
カッパドキア教父 95
合本 世の光キリスト・世の命キリスト 83
悲しみに寄り添う 43
悲しみをみつめて 93
カナダ合同教会の挑戦 53
神が来られるなら 117
神・キリスト・悪 40
神さまのこどもたちへ 2～3 121
神と人間との対話 93
神とはいったい何ものか 18
神に信じる 128
神に異をとなえる者 88
神認識と神奉仕 32
神の国の証人ブルームハルト父子 34
神の国の種を蒔こう 90
神の言としてのコヘレト 61
神の言葉の神学 34
神の盛大なる晩餐会 85
神の到来 38
神の和の神学に向けて 2
神の和の神学入門 21
神は愛なり 111
神は見て良しとされた 92
神への然り、カイザルへの否 51
神への問い 20
神を考える 42
神をめぐる対話 20
神を呼ぼう 113
からだの救い 24
ガラテヤ人への手紙（佐竹） 69
ガラテヤ・エペソ書（カルヴァン） 73
ガラテヤ書・エペソ書（蓮見） 76
ガラテヤ書の神学 74
ガラテヤ人への手紙（原口） 69
ガラテヤ人、エフェソ人、フィリビ人、コロサイ人への手紙

(宮平) 69
カラー版聖書大事典 15
ガリラヤへ行け 67
カルヴァンから学ぶ信仰の筋道 26
カルヴァン神学論文集 26
カルヴァンの『キリスト教綱要』を読む 26
カルヴァンの神学 26
カルヴァンの神学と霊性 26
カルヴァン 霊も魂も体も 25
カルヴァン 歴史を生きた改革者 26
カール・バルト 33
カール・バルト＝滝沢克己往復書簡 32
カール・バルトと現代 33
カール・バルトと反ナチ闘争 上巻 33
カール・バルトと反ナチ闘争 下巻 33
カール・バルトとユダヤ人問題 33
カール・バルトの教会論 33
カール・バルトの生涯 改訂新版 33
カール・バルトのローマ書研究 34
カール・バルト『和解論』における復活 34
河原の教会にて 44
韓国から見た日本 105
韓国キリスト教の受難と抵抗 104
韓国と日本の間で 105
韓国の民衆宗教とキリスト教 104
韓国民主化闘争資料集 104
ガンを知らされた牧師先生 91

き

生一本のキリスト教 109
危険な旅 121
技術社会と信仰 56
北国の理想 51
希望の神学 39
希望の倫理 39
金教臣の信仰と抵抗 105

偽名書簡の謎を解く 69
逆説から歴史へ 33
逆境の恩寵 98
救済の神学 20
旧新約聖書神学辞典 15
旧日本基督教会試論 100
旧約詩編の文学的研究 60
旧約聖書と新約聖書 58
旧約聖書に親しむ I～II 59
旧約聖書入門 1～2 58
旧約聖書の時代 115
旧約聖書の信仰の真髄 59
旧約聖書のメッセージ 59
旧約聖書の預言と黙示 59
旧約聖書物語 122
教会教育による教会形成 45
教会教義学

神の言葉 I /1 27
神の言葉 I /2 27
神の言葉 II /1 27
神の言葉 II /2 27
神の言葉 II /3 27
神の言葉 II /4 27
神論 I /1 27
神論 I /2 27
神論 I /3 27
神論 II /1 27
神論 II /2 28
神論 II /3 28

創造論 I /1 28
創造論 I /2 28
創造論 II /1 28
創造論 II /2 28
創造論 II /3 28
創造論 III /1 28
創造論 III /2 28
創造論 IV /1 28
創造論 IV /2 28
創造論 IV /3 28
創造論 IV /4 29
和解論 I /1 29
和解論 I /2 29
和解論 I /3 29
和解論 I /4 29
和解論 II /1 29
和解論 II /2 29
和解論 II /3 29

和解論 II /4 29
和解論 III /1 29
和解論 III /2 29
和解論 III /3 29
和解論 III /4 30
和解論 IV 30
教会史綱要 95
教会と地域福祉実践 55
教会であること 44
教会と核武装 51
教会と国家 51
教会と戦争 47
教会と同性愛 119
教会の告白と実践 44
教会の信仰告白 32
教会の性差別と男性の責任 42
教会の洗礼論 32
教会の本質 35
共観福音書 上 (カルヴァン) 72
共観福音書伝承史 I、II 73
共観福音書の社会科学的注解 66
教会論 上下 44
教義学要綱 32
教義学論文集 中下 (バルト) 30
教皇フランシスコ 94
教皇フランシスコとの対話 94
教師としてのイエス 75
清らかな鈴の音を 117
ギリガイ 120
ギリシャ人には愚かなれど 20
キリストが主だから 47
キリスト教国アメリカ再訪 50
キリスト教概説 119
キリスト教会と天皇制 112
キリスト教家庭教育の展開 54
キリスト教教育の現代的展開 54
キリスト教綱要 第1篇～第4篇 25
キリスト教史 上下 95
キリスト教思想史 I 16
キリスト教思想史 II 2
キリスト教思想の形成者たち 16
キリスト教神学概論 20

キリスト教的生 I、II 31
キリスト教と社会の危機 48
キリスト教と人間形成 41
キリスト教と民主主義 48
キリスト教とローマ帝国 95
キリスト教の歩み I、II 116
キリスト教の起源 94
キリスト教の教師 24
キリスト教の教理 32
キリスト教の自己批判 18
キリスト教の修練 24
キリスト教のスピリチュアリテイ 94
キリスト教の精髓 93
キリスト教の歴史 増補新版 94,124
キリスト教本質論に関する一考察 22
キリスト教倫理 I～IV 115
キリスト教倫理学総説 I /1～II /2 31
キリスト教倫理の未来 117
キリスト者と福祉の心 55
キリスト者の完全 附・伝記 113
キリスト者の標識 2
キリスト者は何を信じているのか 88
キリスト信仰と服従の道 118
キリストにある真実を求めて 98
キリストに従う 36
キリストにならいて《改訂版》 87
キリストの王権 114
キリストの現実生きて 36
キリストの復活 82
キリストの復活事件と教会 19
キリストの平和 51
キリストの来臨 116
キリストへのかぎりなき出発 124
キリストへの信徒 22
キリスト論 (清水義樹) 22
キリスト論 (ボンヘッフアー) 36
キリスト論要綱 19
キリストをあなたに 86

ギレアド 3
近代化への挑戦 98
近代韓国における大復興運動の歴史的展開 104
近代キリスト教思想史 I 17
近代世界の成立にとってのプロテスタンティズムの意義 94
近代日本の形成とキリスト教 119
近代の神学 17
近代プロテスタント思想史 17
近代文芸とキリスト教 109

く・け

空虚な墓 キリスト者の兵役 114
GOOD NEWS 新約聖書編 122
苦難と栄光の主 80
グノーモン 68
熊野義孝全集 21
暗い谷間の賀川豊彦 101
暗い森を抜けて 121
荆冠の神学 21
啓示・教会・神学 福音と律法 113
激動のドイツと教会 97
権威と服従 100
原罪論 18
原始キリスト教の心理学 64
原子力発電と日本社会の岐路 1
原子力発電の根本問題と我々の選択 48
現存する神 117
現代アメリカ神学思想 21
現代教義学総説 20
現代キリスト教講話 114
現代キリスト教倫理 増補改訂版 36
現代神学の最前線 21
現代神学の論理の転換 24
現代信仰問答 113
現代世界と宗教学 23
現代に生きる教会 3
現代に生きる思想 23
現代に生きる人間 124

現代に聖書を読む 1～4 80,81
現代の終末論とフェミニズム 39
現代の宣教と聖書解釈 45
現代の宣教と伝道 45
現代プロテスタンティズムの政治思想 40
原典 現代中国キリスト教資料集 105
現場からの道 57
原発社会に生きるキリスト者の責任 48
原発とキリスト教 48
現場の神学 21
原理主義 49
権力を志向する韓国のキリスト教 112
権利論 47

こ

行為と存在 35
講解説教 エベソ人への手紙 84
講解説教 ガラテヤの信徒への手紙 84
講解説教 降誕・復活 84
講解説教 コリント人への第一の手紙 84
講解説教 コリント人への第二の手紙 84
講解説教 山上の説教 84
講解説教 ペテロの第一の手紙 84
高原の記録 92
高校生と学ぶ山上の説教 118
高校生と学ぶ十戒 118
降誕 114
合同教会の「法」を問う 43
公同書簡の神学 75
幸福のレシピ 54
黒人霊歌とブルース 111
告白教会と世界教会 35
告白する教会を求めて 44
告白と抵抗 36
ここに教会は立つ 83
心の宗教哲学 23
心の美術館 107
心の病いとその救い 54

心を見つめる教育 55
ゴスペルエッセンス 89
ゴスペルスピリット 89
ゴスペルフォーラム 89
子育てを見直す 118
古代イスラエル預言者の思想的
世界 60
古代イスラエル預言者の特質
58
古代キリスト教思想家 16
古代キリスト教探訪 95
古代ユダヤへのタイムトラベル
66
答えをさがして 82
国家の暴力について 31
国家の論理といのちの倫理 48
ゴッホと〈聖なるもの〉 2
言葉と水とワインとパン 46
ことばによる闘い 50
ことばのともしび 90
ことばは光 1 58
子どもたちへの手紙 120
こどもの苦しみと喜び 55
こどものこころ 55
このあかるさのなかへ 108
この器では受け切れなくて 90
この日言葉をかの日に伝え 86
この世的に生きるキリスト者
37
子ブルームハルトの生涯と使信
97
孤憤のひと 柏木義円 102
コリント後書（カルヴァン）
73
コリント信徒への手紙を読む
69
コリント前書（カルヴァン）
72
コリント前書の学び 84
コリント人への第一の手紙（連
見） 76
コリント人への第二の手紙（連
見） 76
コリント人への手紙（宮平）
69
ゴルゴタへの道 108
コンテクストの中の神学 34

さ

最初期キリスト教思想の軌跡
63
罪責を担う教会の使命 44
在日朝鮮基督教会の女性伝道師
たち 104
幸いなるかな 64
幸いへの招き 79
サタンが稲妻のように落ちるの
が見える 20
サタンとの対話 92
サムエル記 59
サムエル記を読む 60
山上の煙 80
山上の説教 83
山上の説教から憲法九条へ 2
三代目のキリスト教 90
3・11 後を生きるキリスト教
48
賛美歌にあった「君が代」 46
三位一体と神の国 38
三位一体の神 34
三位一体論的神学の可能性 20

し

しあわせなれば 120
幸せはここに 86
椎名麟三論 109
C・S・ルイスとともに 97
C・S・ルイス評伝 97
死から生へ 97
司教と貧者 95
死刑囚の母となって 53
仕事と人間 112
自殺者の遺族として生きる 43
事実によりて 1
自死と遺族とキリスト教 53
詩人イエス 108
自然的世界とキリスト教 56
思想としての編集者 96
思想の杜（もり） 99
時代のように訪れる朝を待つ
104
下町の主の証人として 52
十戒（パークレー） 49
十戒（リュティ） 79
実践する神秘主義 18

使徒行伝 上・中・下巻（荒井献）
68
使徒行伝 上・下（カルヴァン）
72
使徒行伝（連見） 76
使徒言行録（宮平） 68
使徒言行録の神学 74
使徒信条講解 118
使徒的宣教とその展開 114
使徒パウロ 68
使徒パウロとその神学 77
死人の復活 32
死の意味 24
詩の喜び 詩の悲しみ 108
地べたの神 85
詩篇 1～4（カルヴァン） 61
詩篇研究 60
詩篇 II（DSB） 62
詩篇の思想と信仰 I～IV 60
詩篇を考える 93
死まで生き生きと 20
鳥の小さな教会 43
自民党改憲草案を読む 47
市民K、教会を出る 98
市民生活とボランティア 55
市民的抵抗 50
しもべとなった王 22
社会倫理と霊性 37
ジャン・パニエの言葉 53
主イエス共に歩きたもう 92
主イエスの譬え話 83
主イエスの弟子たち 83
自由意志論 18
19世紀アメリカンボードの宣教
思想 I 96
十九世紀のプロテスタント神学
上中下 30
宗教改革史 2
宗教改革と現代 2
宗教改革の神学 27
宗教改革の人間群像 1
宗教・科学・いのち 56
宗教間対話と原理主義の克服
49
宗教間の対話と共生のために
49
宗教と労働者階級 41
十五年戦争期の天皇制とキリス

ト教 101
13歳にもわかるキリスト教
122
十字架とハーケンクロイツ 96
十字架につく神 81
「十字架につけられ給ひしま
なるキリスト」 78
十字架につけられた神 39
「十字架の神学」の成立 18
「十字架の神学」の展開 18
「十字架の神学」をめぐって
119
十字軍とイスラーム世界 94
自由に生きる 52
自由の擁護 60
自由は汝の魂を歓呼して迎える
85
自由への旅 42
終末・預言・安息日 97
祝福される人々 79
祝福したもう神 59
出エジプトと解放の政治学 42
ジュニアのための聖書入門
123
主に負われて百年 92
受肉者イエス 22
受肉と聖霊の注ぎ 34
ジュネーヴ教会信仰問答 114
主よ、いつまでですか 55
主の祈り（ティーリケ） 114
主の祈り（フィロネンコ） 70
主の祈り（リュティ） 79
主の祈りと山上の説教 66
主の名によって集まるところに
は 80
主の御腕に抱かれて 91
主のよき力に守られて 86
小アジアの古代都市 94
状況倫理 49
少女よ、起きなさい！ 91
女性たちの聖書注解 58
象徴天皇制とキリスト教 117
勝利と敗北の逆説 23
勝利は武器によるものでなく
103
昭和日本基督教会史 101
初期カルヴァンの政治思想 26
初期キリスト教とローマ社会

95
初期キリスト教の思想的軌跡
64
初期ユダヤ教の実像 64
初期ユダヤ教研究 64
食材としての説教 78
女性宣教師の日本探訪記 99
ジョットのイエス伝 107
ジョナサン・ゴープル研究
106
ジョン・ウェスレー伝 96
ジョン・H・ヨーダーの神学
50
ジョン・マクマレー研究 2
ジョン・マクラウド・キャンベ
ルの贖罪論 24
自立と共生の場としての教会
43
しるしの福音書 71
神学諸科入門 22
神学史論文集 30
神学的思考の諸経験 38
神学入門（北森嘉蔵） 113
神学入門（フロマートカ） 19
神学の起源 17
神学の方法と内容 24
神学の履歴書 25
神学部とは何か〈シリーズ神学
への船出00〉 19
新教＝タイムズ聖書歴史地図
15
新共同訳聖書コンコルダンス
15
新共同訳 聖書辞典 15
信教の自由とアメリカ 51
箴言（DSB） 62
信仰・希望・愛 112
信仰告白と教会 17
信仰短言 暁に翼をひろげ 2
79
信仰と経験 19
信仰と自由の手紙 115
信仰のキリスト I、II 116
信仰の手引き 112
信仰の半歩前 90
信仰の本質と動態 114
信仰の豊かさを生きる 89
信仰への旅立ち 116

信じつつ祈りつつ 86
真実の言葉を求めて 80
信じない人のためのイエス入門
63
神社参拝を拒否したキリスト者
105
神社問題とキリスト教 102
人種の問題 51
信条集 16
信じること働くこと 97
信じることをためらっている人
へ 88
人生の意味と神 88
人生を聖書と共に 63
『新撰讃美歌』研究 111
身体性と神学 24
身体性の神学 24
信徒の神学 44
申命記 62
新約思想の成立 64
新約聖書 64
新約聖書神学 I～III 73
新約聖書と神の民 上巻 63
新約聖書における教会像 71
新約聖書における模範 71
新約聖書入門 112
新約聖書小辞典 15
新約聖書の諸問題 64
新約聖書の信仰 112
新約聖書の中心使信 115
新約聖書の伝道理解 63
新約聖書の「本文」とは何か
71
新約聖書の礼拝 46
新約全書 63
新約本文学演習 マルコ・マタ
イ 72
新約本文学演習 ルカ I ギリシ
ア語新約語法 72
新約本文学史 72
新約本文のバビルスⅢ 64
人類に希望はあるか 40

す・せ・そ

素顔のモルモン教 97
スキャンダラスな人々 103
すくいのみみ イエス・キリス
ト 111

鈴木正久著作集 126
図説・新約聖書の歴史と文化 15
すべてのわざには時がある 54
すべては神さまのプログラム 90
正義と愛の御国を 41
世紀末のアメリカとキリスト教 51
正教会入門 2
聖金曜日 114
性差別と神の語りかけ 43
聖餐 イエスのいのちを生きる 45
聖餐の豊かさを求めて 45
政治的宗教と政治的神学 39
聖書 58
聖書 文化との接点 82
聖書 読んで想う 82
聖書学堂 128
聖書から聖餐へ 45
聖書と音楽 110
聖書と人間 1～3 123
聖書によるキリスト教研究 89
青春の賀川豊彦 101
聖書の女性 新約篇 71
聖書の宣教と風土・文化 58
聖書の手引き 118
聖書の中のワイン 55
聖書を読む技法 58
せいのなるよのたからもの 120
性の意味 25
生命への畏敬 48
聖霊と人間 23
聖霊に導かれて聖書を読む 90
聖霊の力における教会 39
責任を負う自己 49
世俗都市 24
世俗都市の宗教 23
説教(トゥルナイゼン) 41
説教講義 46
説教・告解・聖餐 113
説教と牧会 35
説教と私の聖書の学び 77
絶対的平和主義とキリスト教 49
セバステイアン・カステリョ

95
戦後教会史と共に 102
戦後ドイツの光と影 96
戦後70年の神学と教会 3
戦時下ホーリネスの受難 103
洗礼とはなにか 45
洗礼論概説 46
走者イエス 109
創世記1(カルヴァン) 61
創世記(ケンブリッジ) 59
創世記Ⅰ、Ⅱ(DSB) 61
創世記講解説教 80
漱石の原風景 109
漱石文芸の世界 109
創造と再創造 108
続・一本の道 104
続・黒崎幸吉著作集 77
続・明治人物拾遺物語 100
ソクラテスの死とキリストの死 18
組織神学1～3(ティリッヒ) 38
育ち行く者たちと共に 117
備えたもう主の道を 91
尊厳とは何か 48

た

大学とキリスト教教育 49
大切な一人 124
大地は主のもの 56
第二コリント書の神学 74
第二コリント書8-9章 3
大バビロンが倒れた 118
対話する神——三位一体論 20
高倉徳太郎著作集 125, 126
高倉徳太郎傳 101
高倉徳太郎日記 101
田川大吉郎とその時代 102
戦う植村正久 100
ただ神を待つ 80
たといそうでなくても 85
ダニエル書 62
旅する教会 1
旅立ち 86
旅人の時代に向かって 45
ダブル・ヴィジョン 108
民人と自然 53

だれかが私の名を呼んでいる 111

ち・つ

小さき者の友イエス 65
ちいさなもののいのり 120
知恵なる神の開かれた家 20
知解を求める信仰 30
力強い慰め 89
地球温暖化とキリスト教 56
地球のみんなと生きる 124
地上を旅する神の民 32
乳と蜜の流れる国 42
知的障碍者と教会 1
地の基は震え動く 79
チャイルド・ライフの世界 55
仲介者なる神 23
中国の近代化とキリスト教 105
中世人の知恵 107
朝鮮半島の平和と統一をもとめて 105
長老・改革教会来日宣教師事典 106
ツヴィングリ 改革派教会の遺産と負債 25
ツヴィングリの人と神学 26
追憶 熊野義孝先生 103
塚本虎二訳 新約聖書 63
翼をもつ言葉 33
罪と死の文学 増補新版 109

て

ディアコニー共同体 55
D. ボンヘッファールの政治思想 37
ティリッヒ神学における存在と生の理解 38
ティリッヒの神と諸宗教 38
ティリッヒの『組織神学』研究 38
ティリッヒの人間理解 38
テキストの魅惑 110
テサロニケ人・テモテ・テトス・フィレモンへの手紙 69
テモテ書・テトス書・ピレモン書 76
天国から締め出されたローマ法

王の話 25
天国と地獄の離婚 108
天国と真理 110
伝道の書・雅歌 62
天に架ける橋 110
天皇制と韓国キリスト教 106
天皇制の検証 52
天皇制の神学的批判 52
天皇とキリスト 52
天皇の葬儀 52
天の墓標 句文集 110
天路歷程 正篇 90
天路歷程 続篇 90

と

ドイツ現代史とキリスト教 96
ドイツの根底にあるもの 92
統一協会と文鮮明 50
同行二人 57
同志社の独立 99
同時代史を生きる 50
トゥルナイゼン著作集
問う私、問われている私 119
遠くて近い道 81
時といのち 110
時の中心 67
ドグマこそドラマ 108
都市の神学 24
途上のキリスト論 34
ドストエフスキ 109
土着と挫折 102
土着と背教 102
特高資料による戦時下のキリスト教運動 1～3 102, 103
共に生きた一人 124
共に生きるために 57
共に生きる生活 35

な

ナザレのイエス 65
ナザレのイエスと信仰のキリスト 65
ナザレのイエスとは誰か 22
ナザレのマリア 71
なぜ「秘密法」に反対か 47
なぜ私は生きているか 96
七転び八起き寝たきりのいのちの

証し 56
涙の衣をぬいで 91
悩みの日にわたしを呼べ 85
汝の敵を愛せよ 82
汝ら時を知るゆえに 83

に・ね・の

新島襄物語 98
21世紀の信と知のために 18
21世紀の倫理とキリスト教 48
二十世紀キリスト教の歴史観 18
二十世紀神学の形成者たち 17
二十世紀の聖書理解 18
20世紀のプロテスタント神学上 17
20世紀のプロテスタント神学下 17
虹は私たちの間に 53
日韓関係史研究 105
日韓キリスト教関係史資料Ⅱ 104
日本基督教会山陽中会記録 102
日本基督教会鎮西中会記録 102
日本キリスト教史における賀川豊彦 101
日本キリスト教社会経済史研究 106
日本キリスト教出版史夜話 104
日本キリスト教史論 99
日本キリスト教史を読む 99
日本基督教団戦争責任告白から50年 1
日本組合基督教会史研究序説 100
日本国を建てるもの 47
日本人は宗教が分かっているか 21
日本で神学する 2
日本のプロテスタンティズムの政治思想 47
日本におけるカール・バルト 33
日本における宣教的共同体の形成 21
日本におけるドイツ 100

日本の神学の方法と課題 21
日本の説教者たち 46
日本プロテスタント海外宣教史 98
日本プロテスタント・キリスト教史 99
人間とキリスト・新約神学序説 77
人間になる 54
人間の盾 51
人間の人間らしさ 116
人間への途上にある福音 19
ねことふしぎなぶどう酒 121
能ドラマと聖書 111
望みつつ歩む 91
上り列車の時代の歌 111

は

ハイデルベルク信仰問答 119
ハイデルベルク信仰問答 証拠 聖句付き 88
BibleChallenge(バイブルチャレンジ) 1 122
パウロから見たイエス 75
パウロカルターか 22
パウロ小書簡の神学 74
パウロの出発 124
パウロは私たちにとって誰なのか 上 68
パウロは私たちにとって誰なのか 下 68
パウロをどうとらえるか 70
破局の時代に生きる信仰 23
初めに闇があった 92
パーゼル 96
働く人間像を求めて 52
花嫁の聖書 87
母に贈るよこびの詩 87
母モニカ 112
パパやママががんになったら 54
はるかなる遠い日々 91
バルト神学研究 34
バルト神学入門 33
バルト神学の行程 34
バルト・セレクション1、4、5 31
バルメン宣言の政治学 47

パン屑を集める心 89
咸錫憲著作集
反ナチ抵抗者の獄中書簡 113
晩年に贈られた友情 31

ひ

東アジアでボンヘッファーを読む 36
東アジアの平和とキリスト教 49
東と西の間の聖書 58
光あふれて 89
光の中で信じ歌う 111
光は闇の中に輝いている 52
ビザンティン神学 16
人が神にならないために 78
人が孤独になるとき 79
人が共に生きる条件 79
美と真実 107
人は何によって生きるか 116
人への奉仕と神の国 39
ヒトラーと闘った女性たち 96
一人の人間に 118
一人一人に与えられる賜物 84
ひとりぼっちのちいさなエルフ 120
人を恐れず天を仰いで 98
ひびきあういのち 54
日々聖書を読む中で 90
ヒマラヤ診療その日その日 57
評伝井上良雄 98
評伝高倉徳太郎 上・下 101
ビリビ・コロサイ・テサロニケ書（カルヴァン） 73
ビリビ書・コロサイ書・テサロニケ書（連見） 76
ビリビ書注解（バルト） 32
ビリビ人への手紙（佐竹） 69
ヒロシマと平和の福音 50

ふ

フィロンと新約聖書の修辭学 63
フェミニスト視点による聖書読解入門 119
フォーサイス神学の構造原理 17
福音主義神学入門 32

福音主義神学の展開 24
福音書作家マルコの思想 67
福音宣教の使命に生きる教会 44
福音的キリスト教 21
福音と現代倫理 48
福音の土台 85
服従と抵抗への道 新版 37
福田正俊著作集 127
二人が向かい合うために 54
二人の平和主義者の殉教 96
ブツァーとカルヴァン 26
復活と歴史的理性 19
復活の神学 19
復刻『宗教及び文藝』 100
覆刻馬太伝福音書・馬可伝福音書 71
フランクル人生論入門 88
フリードリヒ・ユストゥス・バーレルス 96
ブルトマン著作集 73
ブルトマンとナチズム 23
フルベッキ書簡集 99
プロテスタンティズムとメキシコ革命 96
プロテスタント・スコラ神学の再考察 17
文学の比喩 聖書の比喩 108
文脈化するキリスト教の軌跡 1

へ

兵士と人間 92
平和憲法を守りひろめる 50
平和創造への道 48
平和な未来を告げる 80
平和のコンセプト 49
平和の憲法と福音 50
平和の神学 1938-1965（ティリッヒ） 50
平和の神学（テート） 37
平和を造り出す力 117
平和を目指す共生神学 50
ベツレヘムの星 87
ベテロ 71
ベテロ書・ヨハネ書・ユダ書（連見） 77

ベテロ・ユダ書・ヨハネ書簡（カルヴァン） 73
ヘブライ人とギリシヤ人の思惟 16
ヘブライ人への手紙（宮平） 69
ヘブル書の神学 75
ヘブル書・ヤコブ書（連見） 77
ヘブル・ヤコブ書（カルヴァン） 73
ヘンリー・スタウトの生涯 99

ほ

《放蕩息子》の精神史 112
放蕩息子 113
葬りを越えて 83
牧師 44
牧師植村正久 100
ほくのらいおん 120
星を仰いで路地を見よ 97
ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの贖罪論 47
牧会カウンセリング入門 43
牧会者カルヴァン 25
牧会書簡の神学 75
牧会としての礼拝 46
ポップカルチャーを哲学する 2
本のはなし（改訂増補版） 103
ボンヘッファー紀行 36
ボンヘッファー家の運命 37
ボンヘッファー獄中書簡集
編 35
ボンヘッファー聖書研究 新約編 35
ボンヘッファー説教全集 1～3 35
ボンヘッファー伝 1～4 36,37
ボンヘッファーとその時代 36
ボンヘッファーと日本 37
ボンヘッファーの生涯 37
ボンヘッファーの神学 37
ボンヘッファー／マリーア 36

ま

前に向かって進む 67
マグダラのマリヤ、第一の使徒 94
貧しい人々と賀川豊彦 101
貧しき信徒 113
増田孝著作集 128
マタイによる福音書（シュラッター） 66
マタイによる福音書 上下（連見） 75,76
マタイによる福音書（宮平） 66
待ちつつ祈りつつ 2
真昼の悪夢 110
幻なき民は減ぶ 51
迷っているけど着くはずだ 89
マリヤ 121
マルコが語る主イエスのメッセージ 83
マルコによる福音書（連見） 76
マルコによる福音書（宮平） 67
マルコ福音書 上巻（増補新版）（田川建三） 67
マルコ福音書講解説教 1～2（渡辺信夫） 81
マルコ福音書の神学 74
マルタとマリヤ 70

み・む

みあしのあと 108
み足の跡をしたいて 119
見えること・見えないこと 83
み言葉の調べ I～III 81
み言葉はあなたの近くに 87
御言葉はわが足のともしび 87
御言葉はわたしの道の光 119
ミシュカ 120
みたまのかげよ 111
耳をすまして 107
宮本武之助著作集 128
未来をひらく人権 52
みわざの現れるために 54
民衆が時代を拓く 41
民衆による平和と統一 105
民衆の神学をめざして 42
民衆神学の形成と展開 42

民衆神学の探究 42
民衆神学を語る 42
民数記 61
民族主義とキリスト教 23
無教会史 I、III、IV 106

め・も

明治学院人物列伝 103
明治初期神戸伝道と D. C. グリーン 106
瞑想とキリスト教 88
恵みと真実 86
恵みに動かされて 86
恵みの契約 45
メシアは夢か幻か 82
滅亡の予感と虚無をいかに生きるのか 57
もう一つの召命物語 71
黙想の伴侶 87
目標をみざして走り 117
もし愛がなければ 118
モーツァルト 110
モーツァルト 超越性の痕跡 111
最も大切なもの 78
物語神学へ 19
物語日本キリスト教史 99
もみの木 121
森のサンタクロース 121
モンスターチルドレン 53

や・ゆ

八重のことば 98
八木重吉 115
約束の大地へ 124
約束の地をめざして 97
ヤコブ（リュティ） 79
ヤコブの手紙（辻） 70
ヤコブの手紙（トゥルナイゼン） 41
ヤコブ・ベトロ・ヨハネ・ユダの手紙（宮平） 69
山の上にある病院 57
山本周五郎の世界 110
闇を照らした人々 100
唯一神教の創出とその展開 19
唯一なる神 58

ユーカリスト 45
雪に閉ざされて 107
豊かな生命を求めて 124
豊かなる流れ 91
ユタ州とブリガム・ヤング 95
ユダヤ人イエス 65
尹致昊と金教臣 その親日と抗日の論理 105

よ

幼児の心との対話 55
夜が明けるまで 106
預言者アモスと現代 83
預言者サムエル 79
預言者と政治 60
預言者ネヘミヤ 79
預言者の研究 114
預言者は何を語るか 82
四つの愛 [新訳] 93
四つの福音書、ただ一つの信仰 64
世にあるキリスト 35
世に遣わされて 53
世のために存在する教会 45
ヨハネ書簡の神学 75
ヨハネとパウロ 71
ヨハネによる福音書（連見） 76
ヨハネによる福音書（宮平） 67
ヨハネの黙示録 上中下（佐竹） 70
ヨハネの黙示録における祈りと讃美 70
ヨハネの黙示録に学ぶ 改訂版 71
ヨハネの黙示録（連見） 77
ヨハネの黙示録（宮平） 70
ヨハネの黙示録を読む 70
ヨハネ福音書 上下（カルヴァン） 72
ヨハネ福音書講解 上下 67
ヨハネ福音書のイエス・キリスト 上下 68
ヨハネ福音書の神学 74
ヨハネ福音書を読む 67
約翰福音之傳・約翰上中下書 63

ヨブ記（ケンブリッジ） 59
ヨブ記（DSB） 62
ヨベルの年に向かって 105
よみがえれ、平和よ！ 51
喜びのいのち 54
喜びの手紙 85

ら・り・る

落第人生論 116
ラディカル・ラブ 53
ラビの聖書解釈 59
隣人愛のはじまり 63
ルカによる福音書 上下（蓮見）
76
ルカによる福音書（宮平） 67
ルカ福音書の神学 74
ルター自伝 1
ルツ 121

れ・ろ

礼拝学概論 46
礼拝論入門 46
歴史観とキリスト教 94
歴史の主に従う 19
歴代志 62
歴代のローマ教皇 95
「レズビアン」という生き方

53
列王記 62
レビ記 61
ログス・エートス・バトス 68
ロゴセラピーのエッセンス 53
路上の信仰 104
ローマ書（カルヴァン） 72
ローマ書講解説教 I～Ⅲ（竹森
満佐一） 84
ローマ書（バルト） 31
ローマ書（寺田） 128
ローマ帝国のたそがれとアウグ
スティヌス 3
ローマ帝国とイエス・キリスト
63
ローマの信徒への手紙 上巻
（原口） 69
ローマ人への手紙（蓮見） 76
ローマ人への手紙（宮平） 69
ローマ人への手紙（松木） 77
論争された聖書 116

わ

わが足を広きところに 39
和解と希望 33
和解の務め 86
わが祈りの座 57
若き植村正久 100

わが涙よわが歌となれ 91
若者と学ぶフィリピ書 119
わが幼少年時代 114
私たちの間のイエス 107
私たちのキリスト 122
私たちの『使徒行伝』増補版
122
私たちの信仰告白 122
私たちの救い主 122
私たちの『創世記』 122
わたしたちは、いまどこにいる
のか 56
私には夢がある 82
私にみ言葉をください 86
私のごすべるくろにくる 110
私の人生のテーマは「現場」
98
私の聖書物語 88
渡辺禎雄聖書版画集 107
われ信ず 32
我は生ける神を信ず 114
われは教会を信ず 119
われ山に向かいて眼をあぐ
113
われらイエスを知るや I～Ⅲ
87

あ

相沢好則 51
会津 伸 48
アウグスティヌス 67, 112
青野太潮 13, 18, 63, 70, 74, 78,
119
青山学院大学総合研究所 23, 41,
94
赤木善光 26, 113
赤坂桃子 53, 121
梶田信子 95
秋田 稔 66, 68, 71
秋山繁雄 99, 100
秋山卓也 22
秋山 徹 88
秋山憲兄 63, 103, 104, 114
アクロイド 59
浅井 力 41
朝岡 勝 47
浅野淳博 15, 64, 122
浅野幸治 47, 53, 54, 66
浅野順一 114
浅見一羊 35
浅見 洋 43
浅見洋一 35
芦川進一 108
芦名定道 50, 56
安積鋭二 32, 65
麻生信吾 19
阿蘇敏文 49, 57
安達寿孝 54, 118
アブシー 117
アベ・ビエール 88
阿部恭嗣 56
天野 有 31, 74
雨宮栄一 33, 36, 37, 44, 96, 98,
100, 101, 102, 151, 156, 159
新井 明 92
荒井 献 13, 68, 70, 71, 78, 94,
156
荒井章三 15, 42, 58, 61
荒川純太郎 57
有馬平吉 120
アレックス 121
アンダーヒル 1, 18
アンデルセン 121

著 訳 者 名 索 引

安 炳茂 42, 117
アンプロジェクト 94

い

イーヴァント 46
飯 謙 60
飯郷友康 65
飯野かおり 117
イエルヴェル 74
猪狩由紀 1
池田 伯 44
池谷敏雄 87, 90
池永倫明 19, 35, 41, 51
石川 立 61
石島三郎 113, 150
石谷 行 50, 117
石田 学 2, 16, 21, 95
石原 謙 99
石丸 新 46, 80, 102
石脇慶総 44, 117
泉 治典 60, 67, 69, 70
磯貝曉成 123
磯部 隆 3, 63
いちじくの会 85
一柳やすか 74
伊藤邦幸 57
伊藤聡美 57
井上良雄 2, 24, 29, 30, 31, 32, 34,
44, 78, 79, 83, 86, 95, 97, 98, 102,
113, 114, 156, 162
今井 献 26
今泉信宏 103
今井敬隆 78
今高義也 108
今橋 朗 22, 122
今村嗣夫 52
イムホフ 121
岩切正一郎 20
岩手靖国違憲訴訟を支援する会
52
岩波哲男 30
岩橋常久 95
岩見育子 46
岩村信二 45, 90, 91
岩村太郎 90
岩村 昇 57
岩村史子 57

イングベン 121

う

ヴィゴダー 15
ヴィサー・トーフト 114
ウイアマス 41
ウィトマー 53
ウイリモン 44, 46
ヴィルケンス 65
ウィルソン 97
ウインク 49
ヴィンターホフ 53
ウエア 2
ヴェスターマン 116
ウエスト 51
ウェスレー 40, 41, 96
植田重雄 16
上村 静 18, 48, 58
植村 環 91
上山修平 1
ウォーカー 111
ウォーザー 42
ウォーリズ 90
ウォリス 51
宇都宮秀和 109
宇野 元 3, 31
梅染信夫 111
梅津順一 17, 47

え

エイトケン 62
エスコバル 94
江田孝臣 108
エドワーズ 18, 54
NCC 宗教研究所 49
NCC 障害者と教会問題委員会
54
榎本栄次 50
江原 望 103
エラスムス 25
エレミアス 66
遠藤興一 102

お

大岩美代 113
大内三郎 100, 125

著 者 名 索 引

大内弘助 16
大木英夫 114
大久保教宏 96
大倉一郎 41, 44
大崎節郎 34, 35, 114
大島かおり 22, 23, 42
大島良雄 115, 116
大住雄一 60
太田愛人 80, 99
太田修司 65
太田道子 58
大塚和子 55
大友 浩 51
オートン・ジョーンズ 120
大西晴樹 106
大貫 隆 64, 66
大野恵正 58, 59, 110
大庭昭博 37, 82
大宮有博 2, 24
オールド 62
岡崎 晃 83
オカダ 103
岡田 学 90
岡野昌雄 88
岡見 璋 99
岡村民子 126, 127
岡本不二夫 68
小川国夫 78, 110
小川圭治 20, 30, 33, 49, 102
沖野政弘 38
奥田暁子 42, 117
奥田和弘 54
奥田知志 35
奥野政元 109, 110
小黑 薫 40, 116
尾崎 安 62, 91, 109
小沢三郎 102
小塩 節 110
小塩 力 15, 21, 23, 101
呉 寿恵 104
織田晶子 53
小田兼三 55
オット 56
小野 文 19
小野功生 42, 58, 62
小野忠信 17
小野経男 81
小原 信 116, 119
呉 薫齡 91
オムリ 48
オランダ改革教会 51, 106

オルブライト 115

か

カー夫妻 43
カーソン 82
カーター 97
カービッツ 36
海津忠雄 107
貝沼 信 50
カイバー 71
ガイヤー 65
加賀乙彦 78
賀川豊彦記念松沢資料館 101
カグスウェル 106
笠井恵二 17, 18, 56
笠原義久 112, 156
柏井宣夫 58, 59, 80
柏木哲夫 56
梶原 寿 22, 82, 97, 111, 119
片岡 篤 92
片野真佐子 102
片山 寛 1, 16
勝村弘也 57
桂川 潤 42
加藤明子 58
加藤英治 1
加藤善治 65
加藤 隆 64, 66, 70
加藤常昭 32, 46, 150
金井美彦 60
金子麻里 1, 18
金田隆一 101
加納孝代 61
禿 準一 45
亀田政則 83
加山宏路 73
カルヴァン 25, 26, 32, 80, 112, 114, 126
カルヴォネン 120
カルデナル 41
川越敏司 22, 43, 108
川島堅二 35
河島幸夫 96, 157
川島二郎 106
川名 勇 116
川西 薫 92
川西 進 92
川西田鶴子 92
川西 剛 92
河野信子 119
川端純四郎 47, 48, 73

川村輝典 75
川村永子 23
菅 円吉 30, 34, 114
韓国基督教歴史研究所 104
韓国問題キリスト者緊急会議 104, 105
関西エキュメニカル・フォーラム 実行委員会 104
姜 尚中 1
関西学院大学キリスト教と文化研究センター 48, 50
神田健次 49, 107
神田盾夫 116
カンペンハウゼン 16, 114

き

キー 75
菊地 譲 90
私市元宏 90
岸田 紀 41
岸 千年 16
岸本和世 119
岸本羊一 103
北垣宗治 99
桂川 潤 42
喜田川信 24, 40, 85
北川三夫 23
木田猷一 59
北澤宏一 48
北村慈郎 43
北村慈郎牧師の処分撤回を求め、
ひらかれた合同教会をつくる会 43
北森嘉蔵 27, 113
絹川久子 119
木下裕也 100
木ノ脇悦郎 1, 25
ギブソン 61, 62
金 慈林 91
金 忠一 42, 112
木村 晟 90
木村栄寿 123
木村公一 41, 51
ギューティング 71
ギュツラフ 63
キュネット 19
キュンク 16, 44
キュング 111
京極純一 115
キリスト教古典双書刊行委員会 16
キルケゴール 24

キルビー 93
キング 82
金 山徳 17
金城学院大学キリスト教文化研究所 56

く

クービッシュ 33
草間信雄 40
クスケ 37
楠原博行 88
グッグスベルク 95
グティエレス 41
クドウあや 120
工藤英一 106
工藤万里江 53
国谷純一郎 41
国安敬二 86
久保田純一 123, 124
熊沢義宣 112, 114, 118
熊野義孝 21, 103, 119, 126
熊野義孝先生追憶文集刊行会 103
久米 博 19, 20, 32
クラウス, C. N. 22
クラウス, H. J. 26
蔵田雅彦 104, 106
クラッパート 18, 33, 159
克蘭フィールド 118
グリーシー 99
グリーン 74
栗林輝夫 2, 21, 48, 101
クリュゼマン 60
クルースター 89
クルーゼ 91
クルマン 71
クレイギ 62
クレーマー 44
クレック 65
グレメルス 37
黒川知文 94, 98
黒崎幸吉 77, 103
クロツサン 65
クロトウエル 117
郡司益良 92

け

ケーゼマン 65
ゲーターズ 65
ケーベルレ 89

こ

小池創造 79, 86, 156
小泉達人 59, 80, 85
神戸女学院大学「新撰讃美歌」研究会 111
河本哲夫 104
コーブランド 97
コーラー 55
コーン 111
古賀清敬 60
小暮修也 52
午後3時祈の友会 92
呉 在植 98
越川弘英 44, 46
小杉尅次 48, 127
コックス 23
コットレ 26
後藤田典子 123
小中陽太郎 51
小林信雄 44
小林玲子 19
小原克博 56
小樋井滋 30
小檜山ルイ 43
コフィン 85
小峯 明 89
小峰三和子 93
小山源吾 92
小山 洋 92
ゴルヴィツァー 24, 113
コルモン 120
ゴンサレス 2, 16, 95
コンツェルマン 65, 67

さ

斎藤剛毅 88
斎藤末弘 109
斎藤 勇 100
斎藤正彦 79, 94
斎藤正彦 124
斎藤元子 99
在日大韓基督教会総会 105
崔 炳一 104
佐伯晴郎 87, 124
酒井 修 30
坂本清音 44
坂本優二 98
櫻井康人 94
左近 淑 60
笹川紀勝 52

佐々木悟史 97, 115, 118
佐々木哲夫 75
佐々木徹 34
佐々木敏郎 15
佐治孝典 102
佐竹 明 3, 64, 68, 69, 70, 71
サダト 120
佐藤司郎 30, 33, 34, 35, 83, 119
佐藤貴史 30
佐藤敏夫 17, 20, 21, 22, 30, 100
佐藤 誠 110
佐藤 優 19, 25, 96
佐藤泰将 66
里野泰昭 44
真田 泉 24
佐野一雄 93
佐野安雄 90
佐柳文男 93
沢 知恵 110
沢 正彦 105

し

CCA 都市農村宣教部 42
シーモア 54
シェンケル 122
塩谷直也 89
塩月賢太郎 24
塩野和夫 59, 60, 96, 99, 100, 118, 119
四竈一郎 86
柏井忠夫 86
四竈 揚 86
寺家村和子 88
寺家村博 88
茂 洋 38, 67, 79, 83, 84
茂 義樹 106
四国学院大学キリスト教教育研究所 49
穴戸好子 81
穴戸 達 22, 32, 45, 46, 79, 81, 89, 97
穴戸峰子 91
穴戸 寛 91
シスター・ウェンディ 107
柴崎 聰 108
芝田豊彦 88
柴田ひさ子 18
島崎光正 92
島 創平 95
島 多代 120
島塚 光 111

著 訳 者 名 索 引

清水光雄 40
清水義樹 22
志村 真 49, 50
志村 恵 49
志茂望信 99
初宿正典 37
シュヴァイツァー, A. 48
シュヴァイツァー, E. 71
シュヴァイツェル 114
シューベルト 95
シュトゥールマッハー 65
シュトゥルンク 22
シュニーヴィント 113
シュミット 96
シュメーマン 45
シュラーゲ 65
シュラキ 65
シュラッター 66, 87
シュリンク 46
東海林勤 15
庄司 眞 75
正田倫顕 2
ジョーンズ 15
ジラール 20
シルジェン 101
申 英傑 110
新教出版社 15, 21, 104
新教出版社編集部 2, 3
新名友子 55
新免 貢 57

す

スウィードラー 65
末盛千枝子 90
杉原 助 74
勝呂 奏 78
鈴木正三 36, 49
鈴木信子 91
鈴木 浩 16, 67
鈴木文治 43
鈴木牧雄 71
鈴木正久 115, 126
鈴木元子 58
鈴木伶子 90
スターク 94, 95
スチュアート 22
ストーン 50
スミス, D. M. 74
スミス, J. 55
澄田 新 123

隅谷三喜男 49, 92, 119
陶山義雄 123
ズンデル 87

せ

セイヤーズ 108
清鈴園 117
世界教会協議会 44, 56
世界教会協議会「正義・平和・被造物」部局 56
関川泰寛 118
関 茂 115
関 正勝 56
瀬戸毅義 97
ゼレ 42, 51, 117
全国キリスト者障害者団体協議会 54
善野碩之助 65, 66

そ

徐 南同 42
ソン 22

た

タイセン 45, 64
タイナ 120
高尾 利数 30, 39, 70
たかお・まゆみ 54
高尾 哲 59
高倉徳太郎 21, 127
高倉雪江 91
高崎宗司 127
高砂民宣 67
高谷道男 99
高堂 要 109
高橋 弘 95, 97
高橋優子 2
高橋祐次郎 36, 37
高松義数 85, 96
高柳俊一 24, 108
高柳富夫 45
田川建三 67, 70
滝口明男 111
滝澤武人 67
滝沢陽一 62
田口江司 50
武田 新 65
武田清子 100, 102
竹田伸一 89
武田武長 18, 41, 45, 65

竹中正夫 107
竹之内裕 56
竹森満佐一 84, 112
武祐一郎 83, 118, 119
田添嬉雄 89
棚瀬多喜雄 22
田邊哲朗 122
谷口美智雄 38, 114
田上雅徳 26
ダフ 15, 122
田淵 結 59
WCC 世界宣教・伝道委員会 45
玉井邦夫 120
多摩美術大学環境デザイン学科 43
田村宏之 34
田母神顯二郎 20
俵さん石川さんと共に歩む会 57
ダン 74, 75

ち

チェスター 75
崔 亨默 112
チェン 53
千田まや 91
千葉 眞 40
池 明観 23, 52, 105
趙 載国 104
趙 寿玉 105
趙 容来 42
曹 紗玉 109

つ

ツインク 22, 55, 97
塚田 理 56, 117
塚本虎二 63
月本昭男 60
辻 直人 106
辻 学 24, 58, 63, 65, 69, 70, 74, 75
津島久雄 85
津田謙治 95
土戸 清 49, 122
土屋 清 38
土屋澄男 26, 92
土屋 博 74, 75
角田信三郎 44, 66
つのぶえだん 120
椿憲一郎 22, 80
椿 信子 80

て

ディーシェ 121
ティーリケ 114
デイヴィス 58
テイラー 23
ティリッヒ 17, 18, 37, 38, 50, 79, 114
デヴィッドソン 59
デヴィドソン 62
テート 37
デ・グルーチー 48
出村 彰 2, 25, 26, 61, 95
出村みや子 71
デュボン 117
寺島俊徳 50
寺園喜基 32, 33, 34, 54
寺田 博 128
テルフォード 74
デンツラー 51

と

土井かおる 123
土井健司 95
土井省悟 49
ドイツ福音主義教会 48
土居真俊 38
東京ミッション研究所 52
東京ミッション研究所ヨーダー研究会 50
峠口 新 99
東後勝明 82
同志社大学人文科学研究所 102, 103
東條耿一 108
東方敬信 49
トゥルナイゼン 41, 113, 114
ドーセット 97
ドーリング・キンダースリー・ブック 87
土岐健治 64
「時の徴」同人 1
徳田 亮 75
戸口日出夫 30
特定秘密保護法に反対する牧師の会 47
徳永 徹 98
渡久山章 53
戸田伊助 81, 85
ドッド 114, 116
土肥昭夫 52, 99, 112, 125, 153

トマス・ア・ケンピス 87
富坂キリスト教センター 21, 41, 49, 52, 54, 56, 96, 101, 104, 105, 124, 150, 153, 154, 158
戸村政博 102, 159, 161
友枝久美子 62, 96, 121
戸山靖一 95
外山八郎 114
トリプル 119
トレルチ 115
トロクメ 64
ドンフリード 74

な

ナイト 61, 62
内藤道雄 42, 55, 111
長尾ひろみ 110
長尾 優 90
中川晶輝 103, 118
長崎 巍 46, 70
中沢宣夫 67, 112
長柴忠一 65
中島耕二 106
中平健吉 53
中田元子 42
永野羊之輔 41
仲原晶子 89
中道政昭 59
中村 敏 98
中村妙子 71, 87, 93, 97, 108, 120, 121, 122, 149, 150, 157
中村吉基 3
永本哲也 1
中山弘正 49
並木浩一 79, 160

ね

根本 泉 107

の

野上文夫 55
野崎卓道 79
野田正彰 48, 49
野田美由紀 74
野町 裕 94
野村 喬 19, 82
野村文子 51
野村 実 48
野呂幸子 124
野呂芳男 40

は

バーカート 121
パーキンス 75
ハークネス 118
パークレー 49, 87, 115, 116
ハーバー 3

ハーベル 59
ハーン 46, 63
バーンズ 58
ハイスター 71
生原 優 35
ハイム 85
パイル 107
パウアーズ 1
芳賀繁浩 26, 39
芳賀 力 58
袴田巖さんを救う会 55
袴田康裕 17
量 義治 44
波木居斉二 114
バキオキ 55
朴 聖煥 42
朴 炯圭 85, 104, 149
橋本左内 50
バスカル 78
蓮見和男 20, 26, 30, 38, 39, 66,
75, 76, 77, 85, 87, 113, 114, 117,
122, 149, 156
蓮見幸恵 39, 92, 117, 118, 122
長谷川晴子 35
長谷川正昭 88
バターワース 121
畠山保男 19
畑 祐喜 24, 35, 55, 114
蜂谷昭雄 93
パニエ 53, 54
パニヤン 90, 121
パネンベルク 19
濱崎雅孝 30
浜野道雄 75
早川朝子 1
林 晃 82
林 巖雄 41
林 文雄 110
原 栄作 89, 123
原口尚彰 64, 68, 69
原崎百子 91
原谷 勉 124
ハル 92
バルト 17, 18, 21, 27, 29, 30, 31,
32, 33, 34, 40, 41, 70, 74, 86, 110,
111, 113, 114, 115, 116, 123, 126,
127
バルト神学受容史研究会 33
パワーズ 91
韓 哲義 104
ハンター 66, 112

ハントリー 53

ひ

ピータース 56
挽地茂男 74
樋口 進 58, 62, 78, 82, 152
久山療育園 54
ビツァー 65
ヒック 18
ひとひとの会 50
日野綾子 91
ホセ・ビヒル 78
マリア・ビヒル 78
碑文谷創 70
ビュッサー 26
平井 清 112, 114
平川祐弘 107
平野清美 19
蛭沼寿雄 64, 72, 73, 125, 156
廣石 望 19, 45, 64
広岡義之 88

ふ

ファージョン 120
ファイル 37
ファニッシュ 75
ファルケ 118
フォーサイス 113
フィオレンツァ 20
フィロネンコ 70
フート 49
フーパー 56
フォスディック 88
深井智朗 17, 23, 96
深沢秀男 105
深瀬忠一 50, 51
福島 旭 122
福岡 揚 39
福田正俊 127
藤井あけみ 54, 55, 121
藤井和弘 71
藤井孝夫 19, 22, 23, 48
藤井 創 48, 51, 56, 57
葛井義憲 100
藤倉恒雄 38, 55, 89
藤田英夫 61
藤田英彦 52
藤田孫太郎 1, 113
藤本四郎 120
藤本鈴恵 62

藤原史朗 117
ブッシュ 33
船戸英夫 108
フライ 108
ブラウン, R. M. 51
ブラウン, N. 63
ブラッシュ 119
フランクル 88
フランクル 53, 88
ブリケット 58
ブリチャード 15
プリンツラー 66
ブルーダー 117
ブルームハルト 35
フルッサー 65
ブルトマン 23, 73, 74
フルベッキ 100
古屋安雄 49, 50
ブルンナー 112, 114
ブロック 94
フロマートカ 19, 96

へ

ベイシャ 96
ヘイズ 58
平和と核廃絶を求める委員会 51
ペイン 62
ペイントン 2
ペートゲ 37
ペール 48, 110
ペールマン 20, 22, 154
ヘッセリンク 88
ベンゲル 68
ヘンドリー 55
ヘンヘン 65

ほ

ホイッティア 107
ボイド 109
ボウカム 63, 64, 162
北條元子 41
ボーグ 65
ボーマン 16
ボクロフスキー 120
細川道弘 34, 48, 85
ボラー 99
堀 蘭子 108
堀 光男 35
ボルンカム 64, 65
ホロウエイ 42

本多峰子 87, 93, 107, 110
ボンヘッファー 22, 33, 35, 36, 37,
82, 86, 96, 113, 123

ま

マーシャル 74
マーセル 94
マーティー 42
マーティン 75
マーネル 51
マーフィー－オコナー 74
前川 裕 71, 74
前島宗甫 48
前田 豊 111
牧野留美子 49, 62, 87, 110
マゴネット 59
マコンヴィル 62
増子正一 109
益 巖 117
増田 孝 128
松浦 謙 121
松浦 大 59, 86
マッキー 25
松木治三郎 77
マッキンレイ 97
マッコリー 49
松島雄一 2, 45
松平陽子 62
松田和憲 44, 45, 87
松田智雄 92, 103
松谷邦英 48
松谷暉介 23
松谷好明 48
松田真理子 56
松永希久夫 74
松永晋一 24, 51, 116
松見 俊 20
松村国隆 48
松本寛二 92
松本襄二 54
松本卓夫 40
松本宣郎 95
松本富士男 15
松本雅弘 45
松谷さやか 120
松山興志雄 46
マヤコフスキー 120
真山光彌 106
マリーナ 66
マルクセン 65
丸橋 裕 62

マロウ 45
マンシュレック 112

み

三浦安子 36
三小田敏雄 16
水谷昭夫 109, 110
水谷八也 61
水野たかし 53
水野 誠 55
水野隆一 48, 59
みつじまちこ 120
三ツ本武仁 65
三永旨従 71
南 吉衛 65
嶺重 淑 24, 74
三野和恵 1
美濃部信 122
三保 元 71
三村 修 44
宮城多佳子 56
三宅威仁 42
宮崎 亮 97
宮島新也 116
宮谷宣史 24, 25
宮田光雄 2, 21, 33, 36, 47, 50, 85,
87, 88, 89, 96, 100, 112, 116, 119,
151, 155, 160, 162
宮平 望 2, 21, 66, 67, 68, 69, 89
宮本武之助 128, 129
三好 明 60
三好 迪 65

む

向井武子 53
無教会史研究会 106
宗藤尚三 50
村井洋子 80, 97
村上和男 22
村上達夫 23
村上 伸 24, 35, 36, 37, 65, 85,
89, 97, 115, 123, 150, 151, 159
村上良夫 97
村瀬義史 49
村椿嘉信 86
村松恵二 33
村山幸輝 55
文 益煥 105

め

メイエンドルフ 16
明治学院人物伝研究会 103
メッツ 39
メレディス 95
メロニー 121

も

最上敏樹 48
持田克己 85
望月麻生 3
森岡 巖 37, 44, 102
森岡清美 45
森川 甫 78
森島 豊 17
森田 進 56
森田安一 26
盛永 進 86
森野善右衛門 3, 35, 36, 37, 44,
83, 113, 117, 118, 124, 158, 159,
160, 161, 162
森 平太 35, 36
森 真弓 119
森本あんり 18, 95, 155
森安 綾 93
森山浩二 127
森山 恣 52
モルトマン 12, 13, 20, 38, 39, 40,
42, 117, 118, 149, 150, 153, 154,
155, 156, 157, 158, 159, 161
モルトマン＝ヴェンデル 39, 42
モンテフィオレ 56

や

八重樫克彦・由貴子 94
八木重吉 113, 115
八木誠一 64, 65, 70, 73
柳生直行 93, 108, 109
安酸敏真 30
矢田裕華子 96
矢田由香子 121
八田正光 97
矢野百合子 105
山内一郎 15, 24, 40, 49, 74
ヤマウチ 94
山内 真 74
山岡 健 71, 75
山形孝夫 74
山我哲雄 60
山口里子 1, 20, 45, 53, 56, 66, 70
山口雅弘 45, 82
山口希生 63

山口陽一	47
山崎和明	37, 48
山崎鷺夫	103
山下秋子	51
山下慶親	48, 51
山田耕太	63, 74
山田貞夫	98, 104
山田 隆	80, 81
山内祥史	109, 110
山本 和	32
山本光一	50
山本大丙	1
山本俊正	104
山本泰生	73
山森みか	62
山谷省吾	15, 94, 125, 150, 151, 154, 155, 156, 159, 160, 162
ヤング, F.	75
ヤング, A.	108
梁 賢恵	105

ゆ	
湯浅裕子	111, 119
由木 康	46
弓削 達	70

	よ
横田耕一	47
横田法路	63
横手征彦	96
吉岡 繁	46
吉武 誠	118
吉田信夫	66
吉田 新	43, 45

吉田 隆	88, 119
吉谷かおる	94
吉田満穂	116
吉永正義	27, 30, 31, 34
吉村秀子	117
吉村善夫	31, 109, 113
ヨンバルト	88

ら	
ライザー	44
ライブホルツ	37
ラウシェンブッシュ	48
ラッセル, D. S.	62
ラッセル, L. M.	42
ラトゥレット	116
ラビーデ	88
ラベル	55
ラマー	43
ラング	58
ランドル	50

り	
リース	26
リガンズ	61
リクール	19, 20
リチャードソン	112
リッチズ	75
リッチュル	24
リュウ	75
リユーサー	43
リュティ	79, 86, 89, 113
リンダース	75
リントシュトレーム	40

る	
ルアーノ	121
ルイス	93, 97, 108, 110, 120
ルター	1, 113
ルビン	94

れ	
レーナルト夫妻	54
レーマン	99
レオン＝デュフル	71

ろ	
ロアボー	66
ロイエンベルガー	45
ローゼ	65
ロバートソン	26
ロビンソン	3
ロメロ	110

わ	
和井田学	115
和賀真也	50
若林 裕	18
渡辺禎雄	107, 120, 162
渡辺省三	19
渡辺信夫	25, 26, 44, 61, 72, 80, 81, 105, 112
渡辺英俊	45, 85
渡辺正雄	82
王 艾明	23

品切書名索引

あ
愛することと信じること（小副川幸孝）……1995
愛する人が襲われたら？（ヨーダー）……1998
愛・力・正義（ティリッヒ）……1957
愛とパンと自由を（カルデナル）……1982
愛に生きる教会（ゴルヴィツァー）……1987
愛の体制（原 良三）……1946
愛への解放（渡辺英俊）……1980
アウグスチヌス「告白」講義（矢内原忠雄）……1946
アウグスチヌスの「告白」（ハルナック）……1957
青学神学科訴訟（青学神学訴訟を支援する会）……1979
アガサ・クリスティーの真実（中村妙子）……1979
暁を呼びさます鐘（金 鎮洪）……1975
芥川龍之介の思想（滝沢克己）……1967
悪太郎の一生（パニヤン）……1955
アコルの谷を望みの門となす（柏井光蔵）……1945
麻生信吾説教集 1～2……1973
アジア宗教と福音の論理（池 明観）……1970
アジアの革命と神の支配（トーマス）……1972
アジアの呼び声に応じて（隅谷三喜男）……1990
明日に生きる寄留の民（李 仁夏）……1987
明日の社会と明日の教会（ホーケンダイク）……1966
アタナシオスの救済論（有賀文彦）……1998
アダム（リュティ）……1972
新しい人生の創造（パークレー）……1966
新しい人間像を求めて（佐古純一郎）……1963
新しい福音（進見和男）……1970
新しい革袋（丸尾俊介）……1974
新しき教会の生命と使命（トーフト）……1960
新しき存在（ティリッヒ）……1958
新しきミューズ（山形和美編）……1987
集められた共同体（ウェーバー）……1979
あなたはどこにいるのか（宗藤尚三）……1971
アルファとオメガ（エルブ）……1959
アブラハム（リュティ）……1973
アブラハム物語（井関かずみ）……1954
アフリカ物語（シュバイツァー）……1952
アモス書・ホセア書を読む（泉治典）……2001
嵐の中の牧師たち（辻 宣道）……1992
アンジェラスの鐘（田中忠雄）……1958
アンセルムス研究（印具 徹）……1951
安中教会史（新島学園文化研究所編）……1988

い
イエス（ディベリウス）……1973
イエス（ブラウン）……1970
イエス・キリスト（上沢謙二）……1966
イエス・キリストの道（モルトマン）……1992
イエス伝（本田正一）……1954
イエス伝研究（高柳伊三郎）……1951
イエス伝とその周辺（高柳伊三郎）……1957
イエスと呼びしあった女たち（横田幸子）……1995
イエスと黒人革命（コーン）……1971
イエスと子ども（野辺地天馬）……1956
イエスと子どもたち（ウェーバー、H. R.）……1980
イエスとの出会い（カファレナ、他）……1977
イエスとわれら（佐伯晴郎）……1970
イエスの政治（ヨーダー）……1992
イエスの弟子たち（パークレー）……2007
イエスの弟子達（西阪 盾）……1953
イエスに従おうとするなら（朴 炯圭）……1976
イエスの足あと（ヴィルク）……1977
イエスの根源志向（高尾利数）……1970
イエスの譬えの意味（A.M. ハンター）……1982
イエスのたとえ話（西阪 盾）……1954
イエスの学び（佐伯晴郎）……1981
イエスの幼年時代（三浦アンナ）……1958
イエスは生きておられる（ツィンク、レーリヒト）……1971
イエスは革命家であったか（ヘンゲル）……1974
イエスは神の御子キリスト（長崎 巍）……1999
イエスは主なり（バルト、トゥルナイゼン）……1950
イエス物語（吉野丈夫）……1949
イエスをめぐる女性たち（モルトマン＝ヴェンデル）……1982
家の教会の論理（佐伯晴郎）……1987
いかに生きるか（岡 通）……1964
生きにくさをかかえて（東京・障害者問題を考える集い編）……2002
異教徒の憂い（キェルケゴール）……1976
生きる道（松永晋一）……1976
生きる道を探して（西川博彬）……1980
イザヤ書（中澤洽樹）……1990
イザヤ書 旧約註解合本（手塚儀一郎、中澤洽樹）……1964
石ではなくパンを（フィオレンツァ）……1992
イスカリオテのユダ（バルト／川名訳）……1963
イスラエルの起こり（長谷川初音）……1953
傷める葦（小塩 力）……1946

傷める葦を折ることなく（島崎光正）……1976
いと小さき者の神 旧約篇（ショットロフ）……1981
いと小さき者の神 新約篇（シュテーゲマン）……1981
生命の原点（高橋三郎）……1971
いのちの御霊（モルトマン）……1994
いのちの道を行く者（宍戸好子）……1982
いのちの倫理を考える（NCC 生命倫理委員会）……2004
いのちを愛して（岡 通）……1961
いのちを望む神（村上 伸）……1992
祈（植村正久）……1943
祈りの世界（ケルヴェン）……1970
祈りは力である（藤井孝夫）……1991
祈ること生きること（シェーンヘル）……1979
いばらの冠（NCC 部落差別問題委員会編）……1983
癒しと救い（ウールリッヒ・バッハ）……1993
インマヌエル（橋本 鑑）……1966
インマヌエル・アーメン（寺田 博）……1945

う

ウェストミンスター信仰告白講解（矢内昭二）……1969
ウェスレー著作集 3（説教 上）……1961
ウェスレー著作集 5（説教 下）……1972
ウェスレー著作集 6（神学論文 上）……1967
ウェスレー著作集 7（神学論文 下）……1973
ウェスレーの神学（野呂芳男）……1960
ウェスレー篇 古典叢書 9（NCC 文書篇）……1958
植村環先生の時代（今村武雄）……1987
植村正久説教集（加藤常昭編）……1972
植村正久の福音理解（藤田治芽）……1981
内村鑑三と無教会（カルダローラ）……1978
内村鑑三・ベルにおくった書翰（山本泰次郎編訳）……1949
美しい大地（ツィンク）……1983
海辺のキリスト（リルエ）……1958
運命と摂理（池田浩平）……1969

え

永遠（ブルンナー）……1957
永遠なるものとの対話（水谷昭夫）……1983
永遠者の探求（赤岩 栄）……1948
永遠なる言（松木治三郎）……1946
永遠の今（ティリッヒ）……1986
栄光、神にあれ（梅染信夫）……1992
英国宗教詩鑑賞（斎藤 勇）……1958
英国人と基督教（好本 督）……1948
永生（植村正久）……1948

エコロジーとキリスト教（富坂キリスト教センター編）……1992
エステル物語（野田光子）……1953
エゼキエル書（ケンブリッジ旧約聖書註解 18）……1980
海老名弾正説教集（加藤常昭編）……1973
エペソ・ビリビ・コロサイ・ピレモン（山谷省吾）……1975
エマオ途上の旅人（大村 勇）……1975
選ばれた鳥（青木恵哉）……1972
選びの歴史（榊原康夫）……1995
エリヤ・エリシャ物語（石島三郎）……1953
エルサレムの城壁（新見 宏）……1960
エレミヤよ、何が見えるか（大島純男）……1995

お

老いの豊かさ（シュルツ編）……1981
逢坂元吉郎著作集 上・中……1971
逢坂元吉郎著作集 下……1972
逢坂元吉郎の生涯と思想（石黒美穂）……1964
大いなる終末（高橋泰二）……1982
オカルドウンガ診療所（伊藤邦幸／伊藤聡美）……1981
沖縄から天皇制を考える（新教出版社編）……1988
沖縄からヤスクニを問う（池永倫明）……1979
沖縄にこだわりつつけて 新版（平良 修）……2002
小塩力説教集 1、2……1977
小塩力説教集 3……1978
お伽の国の神学（柳生直行）……1984
男・女・結婚（トゥルナイゼン、ヴィサー・トーフト他）……1954
男と女（ビエレール）……1964
小野村林蔵全集
1……1977、 2、3……1978
お日さまとお月さま（朱）……1979
終わりから始まる（小幡慶助）……1992
恩寵と召命（高倉徳太郎）……1952
お星さまのおくりもの（中村妙子訳）……1989
恩恵の栄光（高倉徳太郎）……1984

か

カール・バルト戦後神学論集……1989
カール・バルト著作集（＊印は新教セミナーブックにて新装復刊）
1（教義学論文集 上）……1968
5（倫理学論文集）……1986
6（政治・社会問題論文集 上）……1969
7（政治・社旗問題論文集 下）……1975
8（知解を求める信仰・われ信ず＊）……1983
9（神認識と神奉仕＊・教会の信仰告白＊・キリスト教の教理＊）……1971

10（教義学要綱＊・福音主義神学入門＊）……1968
15（死人の復活＊・ビリビ書注解＊・ローマ書新解＊）……1981
16（説教 上）……1967
17（説教 下）……1970
カール・バルトにおける神認識の特徴（田部郁彦）……1991
改革教会における霊性《大森講座 15》（東野尚志）……2000
改革主義信仰と説経（松田真二）……1990
改革主義信条の神学（ヤコブス）……1981
改革派教会の伝統（リース）……1989
改革派教会の礼拝（後藤憲正）……1987
カイザルのものと神のもの（宮田光雄）……1971
回心記（石原兵永）……1959
回心の前後（ブルンス）……1955
改造途上のキリスト（森 明）……1954
帰ってこない子供たち（宮崎 亮・宮崎安子）……1991
革命の時代の教会と神学（ロマドカ）……1962
解放者イエス（安 炳茂）……1977
解放の神学（コーン）……1973
解放の神学をたずねて（渡辺英後）……1988
解放の地平をめざして（グティエレス）……1985
解放と変革の神学（グティエレス）……1979
科学の時代の中のキリスト（クールソン）……1955
科学の時代の中の聖書（リチャードソン）……1970
かがやく星を道しるべに（ウェンセル、ホイク）……1994
賀川豊彦先生（横山春一）……1952
核戦争と性の問題（島崎暉久）……1984
隠れたる現実と隠れたる現実人（寺田 博）……1946
駆けよってくださる神（ロッホマン）……2000
片隅が天である（渡辺英後）……1995
片隅からの平和発言（中村 静）……1996
カトリックとは何ぞ（ホッジ）……1954
カトリックとプロテスタント（和蘭改革派教会教書）……1959
カトリック倫理とプロテスタント倫理（ロジェ・メール）……1990
神（オット）……1975
神（植村正久）……1947
神さまのおとずれ（蓮見和男）……1993
神さまのこどもたちへ（松浦 謙）……2002 年
神さまの約束（スマート）……1954
神さまはお急ぎにならない（松本寛二）……1986
神さま、ようこそわが家へ（ツィンク夫妻）……1981
神とこの世（マッコーリー）……1971
神との邂逅（NCC 文書編）……1954
神の栄光の神学（ニーゼル）……1981

神の革命と人間の責任（コックス）……1970
神の家族（バッハ、他）……1981
神の国のおとずれ（鈴木正久）……1969
神の国の約束に生きて（村上 伸）……1982
神の国は近づいた（喜田川信）……1976
神の言葉はとこしえに保つ（雨宮栄一）……1984
神の真理（ハワーウス／ウィリモン）……2001
神の算盤（大塚節治）……1965
神の死の神学（ハミルトン、アルタイザー）……1969
神の創造と科学の世界（ピーコック）……1983
神の場（ネラン）……1972
神の平和（イシガ オサム）……1971
神はわれらの避け所（ブルンナー）……1955
神への思い（キエルケゴール）……1958
神わが友（スピーリー）……1946
神われらと共に（ゴルヴィツァー）……1975
神を知る道（松田正三）……1983
神を讃う（新堀邦司）……1999
神を求めよさらば生くべし（バルト、トゥルナイゼン）……1951
からだと倫理（松永晋一）……1976
ガラテヤ書講解（ルター）……1956
ガラテヤ書注解（松本卓夫）……1955
ガラテヤ・テサロニケ人への手紙（山谷省吾）……1972
カルヴァン 研究と年譜（郷司慥爾）……1952
カルヴァン説教集……1952
カルヴァンの人と神学（ドゥメルグ）……1977
カルヴァン篇 古典叢書 8（NCC 文書編）……1959
カルヴィニズム（ミーター）……1949
彼らは如何に導かれたるか（植村正久）……1947
河井道の生涯（関根文之助）……1954
関係の教育（ミラー）……1971
韓国のキリスト教会史（関 庚塔）……1981
韓国現代史と教会史（池 明観）……1975

き

キエルケゴール（高橋 亘）……1950
キエルケゴール説教集……1948
キエルケゴールと現代の神学（喜田川信）……1971
キエルケゴール篇
上（NCC 文書編）……1959
下（NCC 文書編）……1961
危機に生きる信仰（マイケルソン）……1959
菊池吉弥説教集 1……1981
菊池吉弥説教集 2……1983
危険な旅（パニヤン）……1987
北からの平和（深瀬忠一／榎本栄次編）……1975
きつねがのぞいたクリスマス（バターワース）……1989
義と憐れみ（ニーバー、R. H.）……1975

昨日と明日の間の神学（ロマドカ）……1963
希望の神（喜田川信）……1979
基本信条（東京基督教研究所訳）……1946
奇妙な国（島比呂志）……1980
逆境の恩寵（徳永規矩）……1958
究極的なものを求めて（ティリッヒ、他編）……1968
求道者に寄す（植村正久）……1948
旧約外典概説（高橋 虔）……1954
旧約各書概説（興梧正敏）……1990
旧約宗教の社会的背景（関根正雄、内田芳明）……1954
旧約神学の諸問題（浅野順一）……1953
旧約聖書（ヴォルフ）……1991
旧約聖書概論（岡村民子）……1956（＊『岡村民子著作集Ⅳ』に収録）
旧約聖書緒論
1、2（ファイファー）……1956
3（ファイファー）……1962
4（ファイファー）……1963
5（ファイファー）……1964
旧約聖書通論（松田明三郎）……1959
旧約聖書の思想（興梧正敏）……1977
旧約聖書の中心（木田献一）……1989
旧約聖書の手引き（アプリ）……1974
旧約聖書の人々（興梧正敏）……1960
旧約聖書は何を語るか（樋口 進）……1997
旧約注解
1 創世記（高橋 虔）……1956
2 出エジプト（馬場嘉一）……1957
3 レビ記（山崎 亨）……1967
4 民数記（興梧正敏）……1959
5 申命記（田中理夫）……1958
9 歴代志（新屋徳治）……1960
10 エズラ・ネヘミヤ・エステル（加納政弘、新屋徳治）……1966
11 ヨブ記（手塚儀一郎）……1957
12 詩篇 1（松田明三郎）……1956
13 詩篇 2（松田明三郎）……1957
14 詩篇 3（松田明三郎）……1957
16 伝道の書・雅歌・哀歌（浅野順一、興梧正敏）……1967
17 イザヤ書 1（手塚儀一郎）……1959
18 イザヤ書 2（中澤洽樹）……1959
19 エゼキエル書（城崎 進）……1959
20 ダニエル書・小預言者（手塚儀一郎）……1967
旧約における神の独一性（関根正雄）……1947
旧約預言者像（新屋徳治）……1993
教育と宗教（関西学院宗教活動委員会）……1965
教会（植村正久）……1948
教会（ウィリアムス）……1969

教会（バルト）……1978
教会（福田正俊）……1948
教会が教会であるために（渡辺信夫）……1993
教会史概説（ホイシ）……1966
教会生活とは何か（江口武憲）……1970
教会堂建築 第2版（田淵論）……2009
教会と国家（バルト）……1954
教会と社会の間で（ニーバー、R. H.）……1971
教会と世界の出会（ゲープル）……1964
教会と文化（熊野義孝著作集 9）……1981
教会に未来はあるか（キュンク）……1980
教会の改革形成（ブローシュ）……1982
教会の改革と形成（ニーゼル）……1970
教会の革新（トーフト）……1959
教会の起源と本質（高橋三郎）……1975
教会の神学（ディーム）……1965
教会のパピロン幽囚（ルター）……1957
教会・律法・社会（アウレン）……1953
教会論入門（渡辺信夫）……1963
共観福音書概説（高橋三郎）……1973
共産主義世界における福音の宣教（バルト、ハーメル）……1963
共同体を生きる（西田 晃）……1969
教理の手引き（カー）……1958
きよしこのよる（ラーゲルレーヴ）……1992
キリスト教概論（熊谷政喜、深町正信）……1984
キリスト教家庭教育の源流（安達寿孝）……1989
基督教教育（高橋 毅）……1957
キリスト教教育講座 1～4（高橋 毅、他）……1958
キリスト教教育の革新（ラッセル）……1971
キリスト教教理（石島三郎）……1956
基督教講座 1～10（東京神学大学）……1951～53
基督教綱要聖句便覧（新教出版社編）……1949
キリスト教綱要（渡辺信夫訳、旧版）
I ……1962
II ……1962
III /1……1963
III /2……1964
IV /1……1964
IV /2……1965
別巻 ……1965
キリスト教綱要抄（カルヴァン／カー）……1954
キリスト教国アメリカ（古屋英雄）……1967
キリスト教史（柏井 園）……1956
基督教史（松尾喜代司）……1956
基督思想史概説（高柳伊三郎）……1953
キリスト教思想の流れ（高尾利数）……1969
基督教社会倫理（ベネット）……1950
キリスト教社会倫理概説（ヴェントラント）……1981
キリスト教社会倫理の現代的視点（細川道弘）……

1977
キリスト教主義大学の死と再生（高尾利数）……1969
キリスト教女性観（キルシュバウム）……1956
基督教神学概論（桑田秀延）……1952
キリスト教神学序説（マカイ）……1956
キリスト教信仰案内（ハンター）……1978
キリスト教信仰の本質（エーベリング）……1963
キリスト教信仰の本質（高橋三郎）……1971
基督教生活（植村正久）……1948
基督教的焦燥（小田切信男）……1950
キリスト教的平和主義（ヨーダー）……1957
キリスト教と教育（ワータリンク）……1962
キリスト教と近代文化（佐藤敏夫）……1964
キリスト教と社会秩序（テンブル）……1951
キリスト教と大嘗祭（富坂キリスト教センター）……1987
キリスト教と西田哲学（川村永子）……1988
キリスト教と日本の現状況（滝沢克己）……1972
キリスト教と部落問題（工藤英一）……1983
キリスト教と文学（佐古純一郎）……1965
キリスト教と文明の諸問題（ブルンナー）……1982
キリスト教と歴史（土肥昭夫教授退職記念論文編集委員会）……1997
キリスト教入門（石島三郎）……1947
基督教人間観（ニーバー、R. H.）……1951
キリスト教の神（フェレー）……1962
キリスト教の現代的使命（鈴木正久）……1969
キリスト教の現代的展開（古屋英雄）……1969
キリスト教の人間観（野村耕三）……1985
キリスト教の道しるべ（森 好春）……1952
キリスト教の非戦平和主義（リチャード）……1952
キリスト教の揺籃期（トロクメ）……1998
キリスト教本質論（熊野義孝著作集 6）……1979
基督教倫理（ニーバー、R. H.）……1949
キリスト教倫理思想史（細川道弘、小林照夫）……1974
キリスト告白と平和（ドイツ改革派教会平和宣言）……1984
キリスト讃歌（小塩 力）……1959
基督者と生活（植村正久）……1948
キリスト者の勝利（横井憲太郎追想録刊行会）……1978
キリスト者の生活（ヘッサート）……1970
キリスト者の政治責任（飯坂良明）……1970
キリスト者の成長（長崎 颯）……1946
キリスト者の倫理（藤井孝夫）……1966
キリスト小伝（パスカル）……1951
キリスト称念（清水義樹）……1946
キリスト伝説物語 12 話（梅染信夫）……1997
キリストとキリスト者（フェレー）……1961
キリストと神話（ブルトマン）……2007

キリストと歴史（ティリッヒ）……1971
キリストとわたし（船本弘毅）……1968
キリストに存る自由（栗原久雄）……1946
キリストに従いし人々（新教出版社編）……1954
キリストに従う者と戦争（リンド）……1957
キリストによる自由（柏井忠夫）……1976
キリストの体なる教会（NCC 文書館）……1958
キリストの共同嗣業（田中剛二）……1947
キリストの死（デニー）……1992
キリストの死（ノックス）……1963
キリストの証人（小塩力編）……1951
キリストの証人ヨブ（バルト）……2000
キリストの新精神（富永徳磨）……1970
キリストのほたりの中で（吉岡千里）……1971
キリストの未来と世界の終わり（モルトマン）……1973
寄留の民の叫び（李 仁夏）……1979
岐路に立つ（岩田雅一）……1990
キング牧師ってどんな人？（ドゥケイ）……1985
近代世界とプロテスタンティズム（トレルチ）……1962
近代世界における人間の運命（ベルジャイエフ）……1946
金大中氏たちと共に（和田春樹、清水知久）……1983
近代天皇制の形成とキリスト教（富坂キリスト教センター編）……2004
近代日本のキリスト教と女性たち（富坂キリスト教センター）……1995
近代の日本の終焉と宗教裁判（堀井順次）……1972
銀の燭台（新教出版社編）……1957

く

愚者の饗宴（コックス）……1971
苦難の意義（浅野順一編）……1948
苦難の韓国民衆史（咸錫憲著作集 2）……1993
苦難の僕（中澤洽樹）……1964
熊野義孝全集
1（聖書講解 上）……1977
3（聖書神学）……1979
4（神学概論）……1982
5（終末論・キリスト論・教会論）……1979
6（キリスト教本質論）……1978
7（教義学 上）……1980（＊オンデマンド版で復刊）
8（教義学 下）……1982（＊オンデマンド版で復刊）
9（教会と文化）……1981
10（歴史と現代 上）……1981
11（歴史と現代 下）……1979
12（日本のキリスト教）……1982
熊野義孝の神学（熊野義孝記念論文集刊行会）……

1986
クラーク先生とその弟子達（大嶋正健）……1948
暮らしの中のキリスト教（新名忠臣）……1993
クリスチャンのための親業 ABC（ゴールキィ）
……1985
クリスマスの贈り物（ヘップナー）……1982
クリスマスの思い出（ヘップナー）……1991
クリスマスの奇蹟（ボンヘッファー）……1997 年
苦しみ（ゼレ）……1948
黒崎幸著作集
1、2……1972
3～7……1973

け

敬虔なるリベラリスト（新島学園文化研究所）……
1984
芸術・信仰・青春（小塩 節）……1969
ゲーテ（シュヴァイツァー）……1949
結婚の神聖について（ヒルティ）……1946
原始教会の信仰告白（クルマン）……1957
原始教会の伝承（クルマン）……1958
原始キリスト教と礼拝（クルマン）……1957
現世の福音としてのファウスト 1～4（斎藤平四郎
、他）……1957～59
現代教育の宗教的関心（フェニックス）……1968
現代教会こころ事情（有馬式夫）……1998
現代教義学総説（パールマン）……1982
現代キリスト教神学思想事典（マクグラス）……
2001
現代キリスト教人画像（宮本武之助）……1958（＊
品切後『宮本武之助著作集』上巻に収録）
現代キリスト教問答（松木治三郎、他）……1972
現代史を生きる教会（池 明観）……1982
現代人と宗教（細川道弘、他）……1971
現代人と聖書（細川道弘、他）……1972
現代人のキリスト（バルチュ）……1958
現代人のキリスト神学（高橋俊一）……1974
現代人は愛しうるか（佐古純一郎）……1961
現代新約聖書入門（ハンター）……1983
現代とキリスト教（マタイス）……1973
現代に生きる使徒信条（ボルンカム、モルトマン）
……1970
現代における神（モルトマン）……1981
現代日本とキリスト教（隅谷三喜男）……1962
現代日本を考える（久世 了）……1973
現代のイエス伝（ハンター）……1956（＊刊行中の
『イエスの働きと言葉』は同書新訳）
現代の教会と信仰告白（高松牧人）……1992
現代の教壇（NCC 文書編）……1958
現代の神学（バックハウス）……1960
現代の神学と日本の宣教（吉村善夫）……1964
現代の人間解放の倫理（小幡慶助）……1988

現代ヨーロッパ神学（トーフト）……1953
現代を聖書に問う（小林融弘、内坂 晃）……1985
ケンブリッジ旧約聖書註解
2（出エジプト記）……1981
3（レビ記）……1983
6（ヨシュア記）……1982
9（列王記）……1980
11（ルツ記・エステル記・伝道の書）……1981
13（詩篇 1-75）……1984
14（詩篇 76-150）……1984
15（箴言）……1983
18（エゼキエル書）……1980
19（ダニエル書・ホセア書・アモス書）……1981

こ

講解説教ハイデルベルグ信仰問答（竹森満佐一編）
……1971
講解説教イエス伝（竹森満佐一編）……1990
高校生と学ぶ使徒信条（武祐一郎）……1994
口語訳 聖書辞典……1968
口語訳聖書コンコルダンス……1978
「合祀」いやです（中谷康子さんを支える全国連絡
会編）……1993
降誕と復活（植村正久）……1948
合同教会としての日本基督教団（日本基督教団教職
者懇談会）……1989
幸福論（三谷隆正）……1968
浩平詩集（池田浩平）……1976
心に残るキリスト教のお葬式とは（井上彰三）……
2005
心の旅路（関根文之助）……1959
心は夕日よりも明るく（シュバイツァー）……1967
小島の春（小川正子）……1947
古代オリエントの衣装（ワトソン）……1991
古代教会の信仰告白（渡辺信夫）……2002
古代世界とキリスト教（山谷省吾）……1963
こだまするいのち（三宅 廉）……1992
国家本質に関する二大思潮の対立（中島 重）……
1946
国権と良心（種谷牧師裁判を支援する会）……1975
ゴッホ（久米あつみ）……1965
ことばは光 2（太田道子）……2006
鼓動する東アジアのキリスト教（富坂キリスト教セ
ンター企画）……2001
こどものイエスさま（西阪保治）……1952
子どもの神学（上山修平）……1988
子どもの信仰と教会（ウェスターホフ）……1981
この囲いの外の羊をも（戸村政博）……1998
この人を見よ（ボンヘッファー）……1969
この人を見よ（増田 祈）……1997
湖畔の小さな教会（星野正興）……1983
コリント前書講解説教（松本 廣）……1985

コリント前書要解（松本卓夫）……1952
コリント人への第一の手紙（山谷省吾）……1970
コリント人への第二の手紙（山谷省吾）……1962
コンコルダンス（広田花崖編）……1953
コンコルダンス 文語・口語兼用（新教出版社編）
……1957
近藤治義説教集……1978
今日キリスト教とは何か（堀井順次）……1972
今日キリストは私たちにとって何者か（モルトマン）
……1996
今日、福音の証しに召されて（世界改革派教会連盟）
……1986

さ

最高裁と神々（津地鎮祭違憲訴訟を守る会）……
1980
最後の勝利をわかちあうまで（金 大中）……1984
最後の証し（バルト）……1973
差別をめぐって人間を考える（日本基督教団全国教
会婦人会連合）……1994
サムソン物語（海老沢宣道）……1955
されど神の言葉はつながられたるにあらず（ニーメラ
ー）……1962
山上の垂訓（トゥルナイゼン、他）……1953（＊品
切後『トゥルナイゼン著作集』第1巻に収録）
山上の説教（菊池吉弥）……1983
山上の説教を生きる（モルトマン）……1985
サンタクロースのお手伝い（ジーゲンターラー）
……1988
讃美歌物語 3（佐々木祐継）……1954

し

死（ユンゲル）……1972
椎名麟三（吉村善夫）……1955
然りと否（浅野順一）……1946
時間と空間のかなたに（茂 洋）……1972
時間に追われる人間（佐藤敏夫）……1990
死刑廃止とキリスト教（死刑廃止キリスト者連絡会）
……1994
自己確認の旅（大島孝一）……1980
自殺の危機（リングエル）……1976
十戒の倫理と現代世界（笠井恵二）……2002
十戒（シュタム／アンドリユウ）……1980
実践的伝道論研究（吉岡 繁）……1996
実存と歴史（マイケルソン）……1968
史的イエスの探求（ツァールント）……1971
自伝・日記・手紙・年譜（鈴木正久 4）……1980
児童説教（西阪保治）……1951
使徒行伝と歴史（トロクメ）……1969
使徒行伝要解（吉岡 勝）……1955
使徒信条（森本あんり）……1995
使徒的な教会（ウィズロー）……1965

使徒と天才の相違（キェルケゴール）……1948
死の理解（浅野順一編）……1946
詩篇 旧約註解合本（松田明三郎）……1964
詩篇 1-75（ケンブリッジ旧約聖書註解 13）……
1984
詩篇 76-150（ケンブリッジ旧約聖書註解 14）……
1984
詩篇講解抄（ルター）……1961
詩篇選釈（浅野順一）……1962
詩篇入門（バルト）……1967
島の牧師（白川藤太郎）……1972
市民社会の中の信仰（宮田光雄）……1964
使命に生きる教会の建設（森野善右衛門）……1983
社会的激変に対決する教会（WCC 総会報告）……
1961
主イエスよ来たり給え（安 炳茂、他）……1978
シュヴァイツァー（笠井恵二）……1989
宗教改革研究 論文集（岸 千年、他）……1968
宗教改革者カルヴァン（渡辺信夫）……1962
宗教改革者ルターとその周辺（石原 謙）……1967
宗教改革の世界的影響（リッター）……1967
宗教史大系（ソーセー）……1945
宗教と現世（内村鑑三）……1980
宗教文集（網島梁川）……1948
宗教法人の解説と運営（吉田孝一）……1947
宗教を考える（小泉達人）……1996
十字架（植村正久）……1947
十字架と革命（モルトマン）……1974
十字架のイエスに会った人々（シュトゥルク）
……1985
自由の原点・インマヌエル（滝沢克己）……1969
自由の証人（杉原 助）……1980
自由の神学（山本 和）……1963
自由の道しるべ（ロッホマン）……1985
自由の要求（ゴルヴィツァー）……1964
終末をつげる群れ（MOL 編）……1974
主体性の基盤（高橋三郎）……1975
出エジプト記（エリソン）……1991
出エジプト記（ケンブリッジ旧約聖書註解 2）……
1981
受肉のキリスト（熊野義孝、赤木善光）……1975
受肉の信仰（隅谷三喜男）……1982
主の道を生きて（加藤常昭）……1964
主の眼をすえて（大野寛一郎）……1975
主の祈り・十誡（宮内 彰）……1948
主の生涯のパレスチナ（小河内美男）……1977
主よ、われら誰に行かん（井上良雄）……1970
シュライエルマッハー（ゲリッシュ）……2000
シュライエルマッヘル（石井次郎）……1948
シュラッター新約聖書講解
2 マルコによる福音書……1977
3 ルカによる福音書……1976

4 ヨハネによる福音書……1978
5 使徒行伝……1978
6 ローマ人への手紙……1977
7 コリント人への第一の手紙……1978
8 コリント人への第二の手紙……1978
9 ガラテヤ・エペソ書……1976
10 ビリビ・コロサイ・ピレモン……1977
11 テサロニケ・テモテ・テトス書……1979
12 ヘブル人への手紙……1977
13 ヤコブ・ペテロ・ユダ書……1979
14 ヨハネの手紙・黙示録……1979
別巻 自伝・総索引……1979
終末論・キリスト論・教会論（熊野義孝著作集 5）……1979
主を覚え、死を忘れるな（雨宮栄一）……2002
巡礼者（高倉徳太郎）……1948
障害者神学の確立をめざして（NCC）……1988
「常識」の壁に向かって（東京・障害者問題を考える集い編）……1994
象徴としての哲学（宮本武之助）……1948
少年イエス（西阪 盾）……1952
逍遙するキリスト者（ケルケゴール）……1970
勝利の信仰（バルト）……1958
初期キリスト教史の諸問題（荒井 献）……1973
女性解放とキリスト教（クライスト、他編）……1982
神学概論（熊野義孝著作集 4）……1982
神学総論（メランヒトン）……1949
神学とは何か（ワイルズ）……1986
神学の展望（モルトマン）……1971
神学の方法と内容（清水 正）……1991
神学要綱（キルン）……1962
神学論文下（ウェスレー著作集 7）……1973
神学論文集Ⅰ（ブルトマン著作集 11）……1986
神学論文集Ⅱ（ブルトマン著作集 12）……1981
神学論文集Ⅲ（ブルトマン著作集 13）……1984
箴言（興相正敏）……1986
箴言（ケンブリッジ旧約聖書註解 15）……1983
人権の思想（テート、フーバー）……1980
信仰告白（バルト）……1953（＊品切後『バルト著作集』第 9 巻に収録）
信仰生活入門（石島三郎）……1962
信仰短言 曉に翼をひろげ（小池創造）……2005
信仰と自然科学との対話（ワイツェッカー、他）……1963
信仰と人生（山本泰次郎）……1952
信仰と歴史（ニーバー、R. H.）……1950
信仰の五つの柱（フェレー）……1959
信仰の生活（植村正久）……1946
信仰の論理（三谷隆正）……1970
信ずること（ネラン編）……1974
真人の共同体（竹中正夫）……1962

新生（福田正俊）……1946
新撰讃美歌（原 恵解説）……1979
新日本建設原理（山谷省吾）……1945
新約外典概説（蛭沼寿雄）……1953
新約講解
1 共観福音書（熊野義孝）……1952（＊品切後『熊野義孝全集』第 1 巻に収録）
2 ヨハネ伝・使徒行伝（村田四郎、山谷省吾）……1954
新約思想の探求（八木誠一）……1972
新約聖書（遠見和男）……1955
新約聖書 現代語訳（柳生直行）……1985
新約聖書案内（ハンター）……1972
新約聖書概論（高柳伊三郎）……1952
新約聖書ギリシャ語入門（左近義慈）……1953
新約聖書語句研究（松本卓夫）……1951
新約聖書神学概論（コンツェルマン）……1974
新約聖書神学概論（石島三郎）……1954
新約聖書神学辞典（小塩 力編）……1949
新約聖書註解
上 福音書～使徒行伝（熊野義孝監修）……1956
下 手紙～黙示録（熊野義孝監修）……1958
新約聖書通論（竹森満佐一）……1958
新約聖書と解釈（松木治三郎）……1986
新約聖書と神話論（ブルトマン）……1954
新約聖書入門（笠原義久）……2000
新約聖書の手引き（高柳伊三郎、高崎 毅）……1952
新約聖書本文批評（蛭沼寿雄）……1965
新約聖書物語（ニーバー、R. H.）……1960
新約全書（ブラウン）……2011
真理と自由（村田四郎）……1946
真理の言葉（バーンハウス）……1954

す

杉田つる博士小伝（石原兵永編）……1958
救い主イエス様のご一生（ディケンス）……1981
救われし人々（斎藤善代子）……1953
鈴木正久著作集 4（自伝・日記・手紙・年譜）……1980
図説・旧約聖書の歴史と文化（ジョーンズ）……1973

せ

正義がわれを呼ぶとき（朴 永昌）……1980
世紀の人シュワイツェル（鈴木俊郎編）……1948
聖餐式のための説話（ケルケゴール）……1949
政治・社会問題論文集 上（カール・バルト著作集 6）……1969
政治・社会問題論文集 下（カール・バルト著作集 7）……1975
聖書（ドッド）……1953

聖書解釈試論（岡村民子）……1964（＊『岡村民子著作集』第 3 巻に収録）
聖書解釈の歴史（グラント）……1966
聖書学論文集Ⅰ（ブルトマン著作集 7）……1982
聖書クイズ・ブック（カリンスキー）……1978
聖書研究（ボンヘッファー選集 9）……1965
聖書少年文庫
1 世界のはじめ（吉野丈夫）……1957
2 イスラエルの父（海老沢宣道）……1957
3 エサウとヤコブ（中村妙子）……1957
4 ヨセフ物語（岩村安子）……1957
5 雲のはしら（野辺地天馬）……1956
6 勇ましい士師達（吉田源治郎）……1957
7 ルツ物語（阿部光子）……1956
8 サムエル物語（西阪保治）……1957
9 ダビダ王物語（由木 康）……1957
10 エリヤとエリシャ（石川儀一）……1957
11 神の言葉を伝えた人々（深津文雄）……1957
12 神の言葉を伝えた人々（田坂惇己）……1957
13 エステル物語（村岡花子）……1956
14 苦しみに勝った人（賀川豊彦）……1957
15 ダニエル物語（関根文之助）……1956
16 神様の都（山本 彰）……1957
17 イエス・キリスト（上沢謙二）……1956
18 イエス・キリスト（上沢謙二）……1957
19 12 人の弟子（小出正吾）……1957
20 パウロ（高田 彰）……1958
聖書神学（熊野義孝著作集 3）……1979
聖書新辞典（新教出版社編）……1952
聖書大辞典（日曜世界社編）……1951
聖書大辞典 増補（新教出版社編）……1951
聖書と現代社会（太田道子／佐藤 研）……1991
聖書と信仰（戸島貫太郎）……1979
聖書とは何か（興相正敏）……1968
聖書とわたしたち 1～3（佐伯晴郎）……1966
聖書における人間の主体性（岡村民子）……1969（＊『岡村民子著作集』第 4 巻に収録）
聖書に方向を見い出す（寺田 博）……1974
聖書に見る女性差別と解放（ショットロフ）……1986
聖書のイエスと現代の思惟（滝沢克己）……1965
聖書のキリストと実存（八木誠一）……1967
聖書の時間 1（佐野 昇）……1977
聖書の時間 2（佐野 昇）……1978
聖書の女性 旧約篇（カイバー）……1980
聖書の真髄（深津文雄）……1953
聖書の物語とリクール哲学（ヴァンフーザー）……1999
聖書のらい（犀川一夫）……1994
聖書の霊感と權威（ウォーフィールド）……1959
聖書物語 旧新約合本（ニーバー、R. H.）……1953
聖書論（渡辺善太）

1 正典論……1949
2 解釈論……1954
3 聖書神学論……1963
聖書を貫く救拯史観（岡村民子）……1972（＊『岡村民子著作集』第 3 巻に収録）
聖戦（パニヤン）……1957
聖想 100 篇（田辺 保編訳）……1960
聖徒の交わり（ボンヘッファー選集 1）……1963
性の進歩と愛の調和（マタイス）……1974
聖霊とキリスト教の生活（バルト）……1965（＊後に『バルト著作集』第 1 巻に収録）
聖霊は女性ではないのか（モルトマン＝ヴェンデル編）……1996
世界の命キリスト（W C C）……1983
世界のはじまり（西阪保治）……1954
世界の光（福田正俊）……1968
世界のよこび（鶴田雅二）……1946
せせらぎのほとり（せせらぎ会）……1986
世俗化時代の信仰（コックス）……1969
説教の本質と実際（バルト）……1977
絶対恩寵の宗教（高木順一）……1977
雪片（ウイン）……1957
宣教する教会の説教（岩崎 謙）……2003
宣教の神学（クレーマー）……1960
閃光録（黒崎幸吉）……1975
戦時下キリスト教の抵抗と挫折（金田隆一）……1985
戦争責任と戦後責任（渡辺信夫）……1971
戦争と平和について（関根正雄）……1950
戦争・ナチズム・教会（河島幸夫）……1993
戦争の罪責を担って（渡辺信夫）……1994
戦争・平和・キリスト者（ペイントン）……1963
洗礼 その起源と意義（小林信雄）……1956
洗礼とは何か（バルト、クルマン）……1971

そ

創世記・出エジプト記 旧約註解合本（高橋虔、他）……1967
創造（ヴェスターマン）……1972
創造と墮落（ボンヘッファー）……1972（＊「ボンヘッファー聖書研究 旧約編」に収録）
創造における神（モルトマン組織神学論叢 2）……1991
続・黒崎幸吉著作集 1 旧約研究……1990
続・受肉のキリスト（石黒美種）……1978
続・目で見る聖書の世界（馬場嘉一）……1977
祖国の罪を負う者（渡辺善太）……1946
組織神学 第二巻（ティリッヒ）……1969
その日の広島（松本卓夫、四竈一郎）……1965
その故は神知りたもう（シュザンス）……1961
存在の喜びの神学（モルトマン）……1973
存在への勇氣（ティリッヒ）……1969

日本で考えたこと（呉　英元）……1993
人間とキリスト（松木治三郎）……1955（＊後に『松木治三郎著作集』第2巻に収録）
人間と社会（ビエレーレ）……1964

ね・の

ネパール通信（岩村　昇、岩村史子）……1968
ネパールで起こった奇蹟（岩村　昇、岩村史子）……1973
ネパールのはるかな道（桜井正恵）……1978
ネパールの一粒の麦（岩村　昇、岩村史子）……1975
ノアの方舟（西阪保治）……1955
望みなき時にも（戸田伊助）……1976
…のような気がする（岩崎賢江）……1985

は

ハイデルベルク信仰問答講解（ベリー）……1971
パウロ・シュナイダーの殉教（シュナイダー）……1974
パウロ（波多野精一）……1947
パウロ（ディベリウス）……1965
パウロ（ボルンカム）……1970
パウロ（山谷省吾）……1964
パウロ思想概説（村田四郎）……1957
パウロとイエス（ユンゲル）……1970
パウロの自伝（柏井　圃）……1952
パウロの神学（山谷省吾）……1950
パウロの手紙（小林　宏）……1976
パウロの手紙講話（山谷省吾）……1967
白馬に乗れるロゴス（三浦アンナ）……1957
派遣される教会（森野善右衛門）……1957
バプテスト教会の形成（メアリング、ハドソン）……1992
林竹治郎画集……1979
林文雄の生涯（おかのゆきお）……1974
バラの乙女（スビーリ）……1950
バルト自伝（バルト）……1961
バルト初期神学の展望（トーランス）……1977
バルト神学における神と人間（近藤定次）……1950
バルトとの対話（ゴッドシー）……1965
バルト＝ボンヘッファーの線で（クラッパート）……1996
バングラデシュに生きて（宮崎　亮／宮崎安子）……1989
半月の詩（木村伊佐）……1976
パンセ（パスカル）……1966
『パンセ』の原点をさぐる（田辺　保）……1976

ひ

東と西の間にある教会（バルト）……1951（＊後に『バルト著作集』第7巻に収録）

流れに抗して（池　明観）……1966
泣く者と共に（梶原　寿）……1972
夏目漱石の思想（滝沢克己）……1968
何ぞ御霊を試みんとするか（高柳伊三郎）……1947
悩める魂への慰め（ブルームハルト）……1975
ナルニヤの国は遠くない（柳生　望）……1981
汝我と共にパラダイスにあるべし（玉井義治編）……1954

に

新島 襄（吉田曠二）……1988
西ドイツ教会事情（村上　伸）……1984
西ドイツの空の下で（村上　伸）……1969
二十世紀神学の展望（モルトマン）……1989
二十世紀の世界像と信仰（シュライ）……1964
20世紀のプロテスタント神学 上（ツァールント）……1975
日曜日（ボンヘッファー）……1987
日韓キリスト教関係史料1（小川主治、池　明観）……1984
日韓キリスト教交流史（呉　允台）……1968
日本基督教会北海道中会記録（歴史編纂委員会）……1985
日本キリスト教団教会論（雨宮栄一）……1981
日本近代詩とキリスト教（佐藤泰正）……1968
日本語聖書翻訳史（門脇　清、大柴　恒）……1983
日本人と靖国問題（戸村政博編著）……1971
日本人の回心（野村耕三）……1976
日本人の終末観（野村耕三）……1981
日本におけるブルンナー（中沢治樹、川田殖編）……1974
日本の教会と信仰告白（堀　光男）……1970
日本の教会の行くえ（高崎　毅）……1966
日本のキリスト教（熊野義孝著作集12）……1982
日本のキリスト教とバルト（新教出版社編）……1986
日本のキリスト教の現在と将来（新教出版社編）……1985
日本の近代化とキリスト教（同志社大学人文研究所編）……1973
日本の告白教会の形成（雨宮栄一）……1975
日本の再出発（カー）……1951
日本のファシズムと靖国問題（戸村政博編著）……1974
日本プロテスタント史論（隅谷三喜男）……1983
入門　解放の神学人間（ボフ）……1999
人間（シン）……1969
人間（ブルンナー）……1956
人間（ブルンナー）……1956
人間解放とキリスト教教育（文　東煥）……1975
人間解放の神学（リューサー）……1976
人間苦とキリスト（ジョーンズ）……1951
人間であること（赤岩　栄）……1959

津地鎮祭違憲訴訟（津地鎮祭違憲訴訟を守る会）……1972

て

出会いと摂理（ティーリケ）……1985
出会いの広場（小川圭治）……1995
出会いの論理（菅　支那）……1982
ティートリヒ・ボンヘッファー（ベートゲ夫妻）……1992
デイリー・スタディー・バイブル（DSB）
3（出エジプト記）……1991
7（ヨシュア記・士師記・ルツ記）……1998
8（サムエル記）……1993
13（詩篇Ⅰ）……1991
17（イザヤ書Ⅰ）……1988
19（エレミヤ書・哀歌）……1987
22（十二預言書Ⅰ）……1989
23（十二預言書Ⅱ）……1989
ティリッヒ組織神学の構造（茂　　洋）……1971
転換期に生きる（大串元亮）……1975
転換期に立つ神学（ホーダーン）……1969
天国に関する研究（藤井　武）……1947
天国についてのすべて（クリフト）……1983
伝道者ソロモン（リュティ）……1975
天皇制下のキリスト教（塚田　理）……1981
天皇制を考える（立教女学院短期大学公開講座編）……1991

と

ドイツ教会闘争への道（クビッシュ）……1967
ドイツ神学（ルター編）……1949
統一教会（和賀真也）……1978
道徳と宗教（田辺　保）……1970
トゥルナイゼン著作集1（ピリビ人への手紙・山上の説教）……1986
遠き広き国へ（橋本郁子）……1995
ドーラの五つの星（スビーリ）……1956
時の徴（福田正俊、小塩　力）……1948
土岐林三説教集……1972
ドストエフスキー（トゥルナイゼン）……1957（＊『トゥルナイゼン著作集』第6巻に収録）
トマス・ウィン伝（中沢正七編）……1967
富める社会と解放の神学（ペイヤー）……1990
共に歩むキリスト（渡辺総一）……2004
共に生きる（高倉雪江編）……1987
奴隷と自由（ベルジャエフ）……1953
奴隷の宗教（田辺　保）……1970

な

内面への旅（ゼレ）……1983
中村獅雄著作集1-3……1968

た

大革命的原点を求めて（滝沢克己）……1969
大正デモクラシー・天皇制・キリスト教（富坂キリスト教センター）……2001
代祷（小塩　力）……1948
対論　教会と無教会（無教会史研究会）……1995
台湾山地伝道記（井上伊之助）……1960
高倉徳太郎とその時代（佐藤敏夫）……1983
滝沢克己　人と思想（追悼論文集刊行会編）……1986
滝沢克己とバルト神学（浜田達男）……1974
他者中心なる神（高橋敬基）……1973
他者のための教会（森野善右衛門）……1980
戦いの視点（高橋三郎）……1977
戦う教会（堀　光男）……1970
戦うキリスト（バークレー）……1969
戦う使徒たち（バークレー）……1971
ただ神の栄光のために（シュティッケルベルガー）……1956
ただ進み進みて（森岡　巖）……2011
ただひとつの慰め（ガウルース）……1980
たとい我死の陰の谷を歩むとも（ボンヘッファー）……1956
田中剛二著作集
1　新約聖書の終末論……1982
2　カルヴァン……1984
3　ガラテヤ書講義……1985
4　説教……1986
ダニエル書・ホセア書・アモス書（ケンブリッジ旧約聖書註解18）……1981
楽しいみんなのクリスマス（チャップマン）……1983
誰が信じ得たか（興侶正敏）……1980

ち・つ

小さき花（テレジア）……1952
小さな鳥からの大きな問い（平良　修）……1998
知恵の招き（クレンショウ）……1987
知識・信仰・道徳（三谷隆正）……1971
知解を求める信仰（カール・バルト著作集8）……1963
父と母のこと（井上おきつ）……1966
「乳と蜜の流れる地」から（山森みか）……2002
地の果ての証人たち（MOL編）……1976
地の基ふるい動く（ティリッヒ）……1974
中国の家の教会（R.フン編）……1984
中国のキリスト者はかく信ず（丁光訓他）……1984
長老制とは何か（澤　正幸）……1992
沈黙と愛（松木治三郎）……1966（＊『松木治三郎著作集』第5巻に収録）
杖の音（吉成　稔）……1977

光と闇を越えて（ハル） ……1996
光遙かに（武岡洋治） ……1996
低きに下りたもうて（島崎光正） ……1996 年
被告席に立つ神（ルイス） ……1998
日ごとの讃美（テゼー共同体） ……1982
一つなる教会（クレイグ） ……1955
一粒の麦死なずば（宮田光雄） ……1987
人はひとりである（浅野順一） ……1969
火花よこの闇を照らせ（金 一哲） ……1979
日々の糧 聖書の日課（赤岩 栄編） ……1946
ヒューマニズム（バルト） ……1951（＊後に『バルト著作集』第5巻に収録）
ヒューマニズムを越えるもの（内坂 見） ……1982
ピューリタニズムの倫理思想（大木英夫） ……1966
病気になった時（ビーバー） ……1975
病床から病床へ（病院伝道文書刊行会） ……1951
病床の花（病院伝道文書刊行会） ……1951
ピリピンへの手紙・山上の説教（トゥルナイゼン著作集1） ……1986
ピリビ・ビレモン書（山谷省吾） ……1948
翻って生きよ（小副川幸孝） ……1996
ひろしまを考える旅（日本 YMCA 編） ……1983
ヒロファンとミサファン（中牧美抄子） ……2002

ふ

深き淵より（アンダーソン） ……1989
福音主義教会の形成の課題（加藤常昭） ……1973
福音書概説（高柳伊三郎） ……1951
福音信仰と現実（原田博充） ……1978
福音的基督教（高倉徳太郎） ……1955
福音と律法（バルト） ……1952（＊後に新教新書）
福音に生きる（森野善右衛門） ……1981
福音にふさわしく（柏井忠夫） ……1970
福音の真理（宮本武之助） ……1952
福音の歴史化と回心の神学（野村耕三） ……1988
福永武彦巡礼（水谷昭夫） ……1989
福田正俊著作集1（説教集） ……1993
不死（ベツナー） ……1957
ふしぎなたまごのおはなし（シュロースマッハー／ギダー） ……1999
二つとなき福音（NCC 文書編） ……1955
復活（ヴィルケンス） ……1971
復活の福音（ナイルズ） ……1976
覆刻 新撰讃美歌（原 恵解説） ……1979
覆刻『志無也久世無志與』（ブラウン） ……2008
覆刻 讃美歌并楽譜（神戸女学院大編） ……1991
覆刻 明治初期讃美歌 ……1978
父母とわれら（植村 環） ……1966
フランチェスコ物語（高崎 毅） ……1959
ブルトマン著作集
7（聖書学論文集Ⅰ） ……1982
11（神学論文集Ⅰ） ……1986

12（神学論文集Ⅱ） ……1981
13（神学論文集Ⅲ） ……1984
ブルームハルト（トゥルナイゼン） ……1965（＊後に『トゥルナイゼン著作集』第6巻に収録）
プロセス神学の展望（カブ、グリフィン） ……1978 年
プロテスタンティズムと伝統（赤木善光、石黒美穂） ……1988
プロテスタンティズムになぜ聖餐は必要か（佐藤敏夫） ……1996
プロテスタンティズムの明日（カー） ……1954
プロテスタントの神学（清水義樹） 1 ……1961
プロテスタントの神学（清水義樹） 2 ……1963
文化と倫理（シュバイツァー） ……1953
文化の神学（ティリッヒ） ……1969
文化の没落と再建（シュバイツァー） ……1951

へ

平和（シュミット、H） ……1973
平和憲法を守るキリスト者（深瀬忠一、橋本左内） ……1968
平和への巡礼（吉田 満） ……1982
平和を可能にする神の国（ハワーワス） ……1992
平和を願う遺族の叫び（小川武満） ……1983
ヘール日本伝道記（ヘール） ……1969
ベツレヘムの星（水野良平） ……1959
ベテスダ（麻生信吾） ……1946
ベテスダの池のほとりで（中川恒子） ……1972
ヘブライズムの人間感覚（並木浩一） ……1997
ヘブル書要解（近藤治義） ……1957
弁証法神学の倫理思想（山本 和） ……1961

ほ

望楼に立つ（江口武憲） ……1969
ホーリネス・バンドの奇跡（弾正史刊行会） ……1983
星は導く（赤岩 栄） ……1945
教会百話（多田 素、吉田満穂） ……1969
微笑みをください（青木義昭） ……1985
頌むべきかな（梅染信夫） ……1993
ボンヘッファー家のクリスマス（S. ボンヘッファー） ……1993
ボンヘッファー獄中詩篇 ……1989
ボンヘッファー獄中書簡集 ……1988
ボンヘッファー選集
1（聖徒の交わり） ……1963
2（行為と存在） ……1965（＊新訳を2007年に刊行）
3（キリストに従う） ……1966（＊新教セミナーブックで復刊）
4（現代キリスト教倫理） ……1966（＊新教セミナーブックで復刊）
5（抵抗と信徒） ……1964

6（告白教会と世界教会） ……1968（＊新教セミナーブックで復刊）
8（説教） ……1964
9（聖書研究） ……1965
ボンヘッファーの世界（バートゲ） ……1981

ま

マーティン・L・キング（ベネット） ……1966
マクサの子供たち（スピーリ） ……1950
貧しい人々と福音（シュテアーゲマン） ……1982
マリア（リューサー） ……1983
マリアとは誰だったのか（モルトマン・ヴェンデル／キュンク） ……1993
マルクス主義と基督教（矢内原忠雄） ……1947
マルクス主義からの問い（マコヴェック） ……1970
マルクス主義の宗教批判（ゴルヴィツァ） ……1967
マルコ伝要解（赤岩 栄） ……1957
マルティン・ニーメラー（シュミット、D） ……1966
マルティン・ルター（青山四郎） ……1968

み

み国をめざして（水野源三） ……1984
み言を求めて（熊野清子） ……1989
水と原生林のはざまにて（シュヴァイツァー） ……1950
道しるべ（島 勉） ……1979
未来（マルシュ） ……1972
民衆宗教の時代（コックス） ……1978
民主救国の道（金 大中） ……1980
民話の神学（宋 泉盛） ……1984

む・め・も

無教会史Ⅱ（中澤治樹） ……1970
無教会精神の探求（高橋三郎） ……1970
棕の木池物語（吉武 誠） ……2002
無神論者のための福音（ロマードカ） ……1964
無力の力強さ（モルトマン） ……1998
明治人物拾遺物語（秋山繁雄） ……1982
目覚めている精神の輝き（ルイス、キルビー編） ……1982
メシアと受難の秘密（シュヴァイツァー） ……1956
目でみる聖書の世界（馬場嘉市） ……1975
もう一人の博士（ダイク） ……1983
もう一人の羊飼（ウィルソン） ……1959
燃える花なれど（水谷昭夫） ……1986
モーセ物語（吉野丈夫） ……1949
最も大いなるものは愛である（斎藤久吉） ……1988
ものがたり説教（西阪保治） ……1953
もはや悲しみも痛みもなく（ハガイ） ……1980
燃やしつくす火（マクドナルド） ……1983

森 明著作集（基督教共助会編） ……1970
モルトマン組織神学論叢2（創造における神） ……1991

や・ゆ

約束の大地へ（野呂幸子） ……1992
ヤコブ・ユダ書要解（高柳伊三郎） ……1957
靖国公式参拝を批判する（新教出版社編） ……1985
靖国神社法案の問題点（東京弁護士会編） ……1976
靖国闘争（戸村政博編著） ……1970
靖国問題と戦争責任（戸村政博編著） ……1973
安らかな死と生を求めて（高橋孝二） ……1993
病と死についての瞑想（パスカル） ……1959
ユーカリの実るを待っていた（内田 守編） ……1976
勇気の源泉（島崎暉久） ……1986
雪国の小さな高校（武 祐一郎） ……2000
誘惑（ボンヘッファー） ……1958（＊『ボンヘッファー聖書研究 旧約編』に収録）
豊かな結婚生活を（メイス夫妻） ……1980
ユダヤ終末論におけるギリシャの影響（グラッソン） ……1984
夢と現実主義（高橋三郎） ……1972
ゆるぎなき権威？（キュンク） ……1973

よ

夜明けの光（小島誠志） ……2000
よき力に不思議に守られて（石原 博） ……1990
抑圧された者の神（コーン） ……1976
預言者アモス（リュティ） ……1975
預言者エレミヤ（ウェスターマン） ……1998
預言者ダニエル（リュティ） ……1978
預言者ネヘミヤ（リュティ） ……1987
預言者の信仰（クレメンツ） ……1971
預言者ハバクク・マラキ（リュティ） ……1982
預言者ヤコブ（リュティ） ……1974
ヨシュア記（ケンブリッジ旧約聖書註解6） ……1982
ヨセフ物語（吉野丈夫） ……1952
四つの愛（ルイス、蛭沼訳） ……1977
世に勝つ信仰（NCC 文書編） ……1956
世のいのちのために（シユメーマン） ……2003
世の命キリスト（森野善右衛門） ……1983
世の光キリスト（森野善右衛門） ……1979（＊「合本 世の光キリスト・世の命キリスト」に）
世の光キリスト（WCC 第3回世界大会報告） ……1962
ヨハネ書翰要解（宮内 彰） ……1951
ヨハネ伝要解（森 好春） ……1951
ヨハネ福音書を読む（井上良雄） ……1998
ヨハネ黙示録 上（佐竹 明） ……1978
ヨハネ黙示録 下（佐竹 明） ……1989

ヨハネ福音書の現代的理解（ハンター）……1985
 ヨハネ黙示録の神学（ボウカム）……2001
 ヨハネ黙示録要解（石島三郎）……1953
 ヨブ記（中澤洽樹）……1991
 ヨブ記講解（佐藤陽二）……1971
 喜びに生きる 新版（佐竹 明）……2004
 喜びの日も涙の夜も（鈴木正久）……1995

ら・り・る・れ

ラインホルド・ニーバーとアメリカ（鈴木有郷）……1998
 ランバレネ通信（シュヴァイツァー）……1954
 理性（オットー）……1971
 良心的兵役拒否（日本友和会）……1967
 倫理学論文集（バルト）……1986
 ルカ（シュヴァイツァー）……1985
 ルター・生涯と思想（ストール）……1955
 ルター選集 1, 2……1948, 1949
 ルター篇 古典叢書 7（NCC 文書編）……1956
 ルツ物語（高橋マリア）……1953
 ルツ記・エステル記・伝道の書（ケンブリッジ旧約聖書註解 11）……1981
 礼拝への招き（森野善右衛門）……1997
 歴史と解釈学（ブラーテン）……1969
 歴史と現代 上（熊野義孝著作集 10）……1981
 歴史と現代 下（熊野義孝著作集 11）……1979
 歴史の中のイエス（川島貞男、中村民男編）……1983
 レジャーの神学（佐藤敏夫）……1988
 列王記（ケンブリッジ 旧約聖書註解 9）……1980
 レビ記（ケンブリッジ旧約聖書註解 3）……1983
 レンブラント（ヴィサートフト）……1961
 レンブラントのイエス伝（八代修次、海津忠雄）……1975

ろ

ローマ書講義（ルター）上下巻……1959, 1960
 ローマ書新解（バルト）……1981
 ローマの信徒への手紙講解（大島純男）……1990
 ローマの人への手紙（山谷省吾）……1967
 ロマ書教理の理解（中村獅雄）……1954
 ロマ書・私訳と解釈（山谷省吾）……1952
 ロマ書・私訳と解釈（ブルンナー）……1954
 魯迅の友 内山完造の肖像（吉田曠二）……1994

わ

若き人びとと共に（宮田光雄）……1993
 わが心、主をあがめ（リルエ）……1973
 わが魂の遍歴（コーン）……1987
 わが談話・わが宣教（森 好春）……1955
 わがふるさとネパール（岩村 昇、岩村史子）……1970
 わが道の光（興相正敏）……1978
 私たちの人生案内（佐古純一郎）……1966
 私たちの聖書物語（ラント、パウマン）……1980
 わたしのランターン（河井 道）……1968
 私はイエスに出会った（セントクレア）……1955
 渡辺雄雄版画集「イエスの生涯」連作……1975
 我は三一の神を信ず（ゴーガルテン）……2010
 我は初めなり終わりなり（リュティ）……1960
 われ弱き時に強し（シュミット）……1982
 われら何をすべきか（シュヴァイツァー）……1975
 われらの信仰（ブルンナー）……1966
 われらの救い主イエス（ハンター）……1981